

松阪市 市民意識調査

【結果報告書】

令和7年1月

松阪市

目次

I	調査の概要	1
	1. 調査目的	2
	2. 調査概要	2
	3. 報告書における図表の見方	3
	4. 標本誤差	3
II	調査結果	5
	ご自身のこと及び松阪市のまちづくりについて	
	ご自身のことについて	6
	市政全般等について	27
	松阪市の個々の課題について	
	選挙啓発について	64
	シビックプライドについて	69
	総合計画の横断的取組について	72
	各種手続きのオンライン化について	78
	ゼロカーボンシティの実現に向けて	84
	選定療養費、救急車の適正利用、適切な医療機関受診について	90
	鈴の音バスとコミュニティ交通にかかる地域負担や税負担の増加を踏まえた今後のあり方について	95
	COPD（慢性閉塞性肺疾患）に係る認知度について	98
	松阪市男女共同参画プラン策定にかかる意識調査	
	男女共同参画の意識について	100
	就労やワーク・ライフ・バランスについて	108
	DV（ドメスティック・バイオレンス）について	115
	セクシュアル・ハラスメントについて	120
	政策・方針の場への男女共同参画について	125
	性の多様性について	131
	行政の取組について	136
III	自由記述	138
IV	調査票	159

*本報告書はUD（ユニバーサル・デザイン）フォントを使用しています。

I 調査の概要

1. 調査目的

松阪市の市政運営の基礎資料とするため、アンケート調査を行い、市民の市政に対する意識や要望を調査、把握するために実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査の名称

松阪市市民意識調査

(2) 調査対象

市内にお住まいの15歳以上の方

(3) 調査時期

令和6年9月17日～10月4日

(4) 調査方法

無作為に抽出した3,000人の市民に対し郵送にて調査票を送付

郵送による調査票の返送およびWEB回答により調査を実施

(5) 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
令和6年度(今回)	3,000	1,379	46.0	1,379	46.0
		995		995	
		384		384	
令和5年度(前回)	3,000	1,328	44.3	1,327	44.2
		1,059		1,058	
		269		269	
令和4年度	3,000	1,440	48.0	1,437	47.9
令和3年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
令和元年度	3,000	1,558	51.9	1,554	51.8
平成29年度	3,000	1,330	44.3	1,330	44.3
平成27年度	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4

※有効回収数：回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

3. 報告書における図表の見方

- ①図表内の「n」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②単数回答の設問は帯グラフ、複数回答の設問は棒グラフとする。
- ③集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ④複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑥本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

4. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N：母集団数（調査の対象となる集団の総数）

n：サンプル数（有効回答数）

P：回答比率（ある選択肢の回答割合）

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

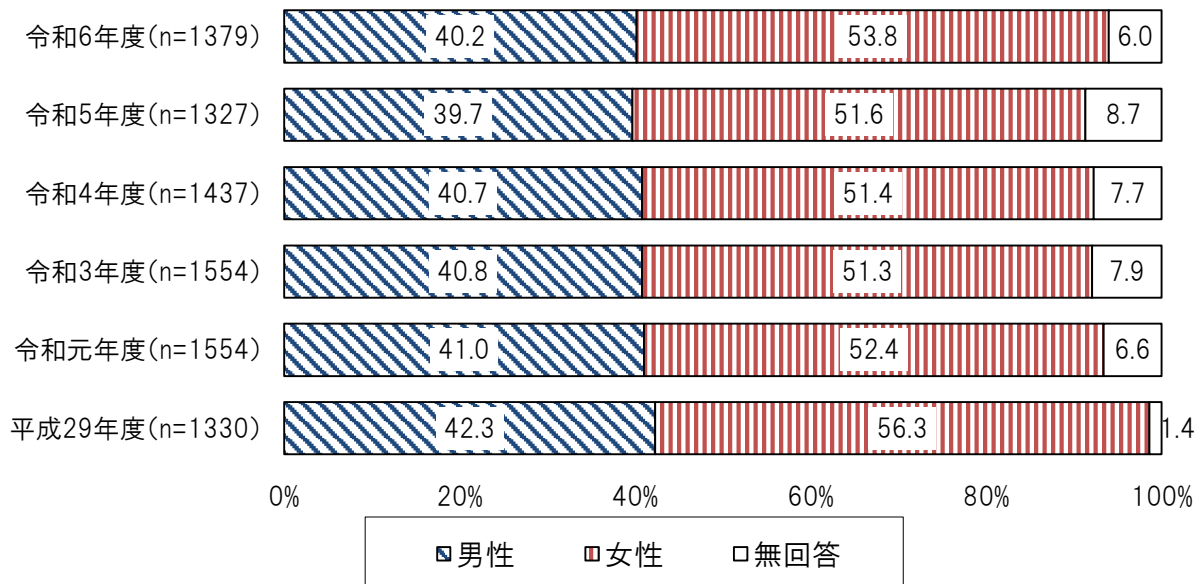
（1）松阪市市民意識調査（N=156,508）令和6年8月1日現在の住民基本台帳人口

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,379（全数）	±1.58%	±2.10%	±2.41%	±2.57%	±2.63%
554（男性）	±2.49%	±3.32%	±3.80%	±4.06%	±4.15%
742（女性）	±2.15%	±2.86%	±3.28%	±3.51%	±3.58%

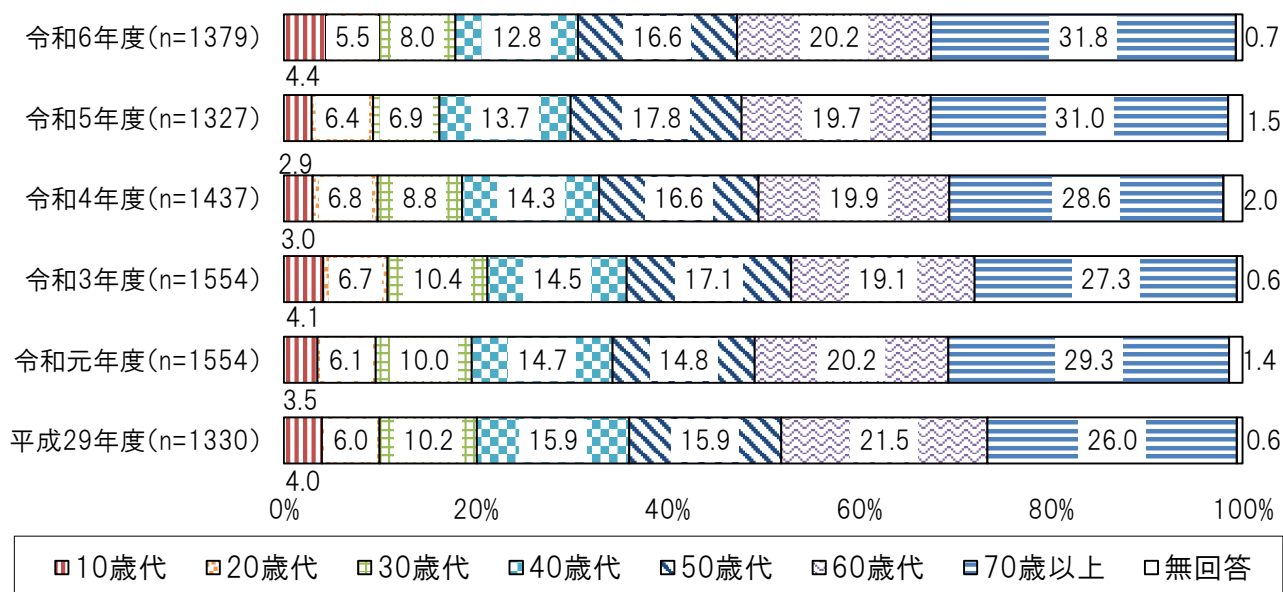
Ⅱ 調査結果

問1 あなたご自身についておうかがいします。

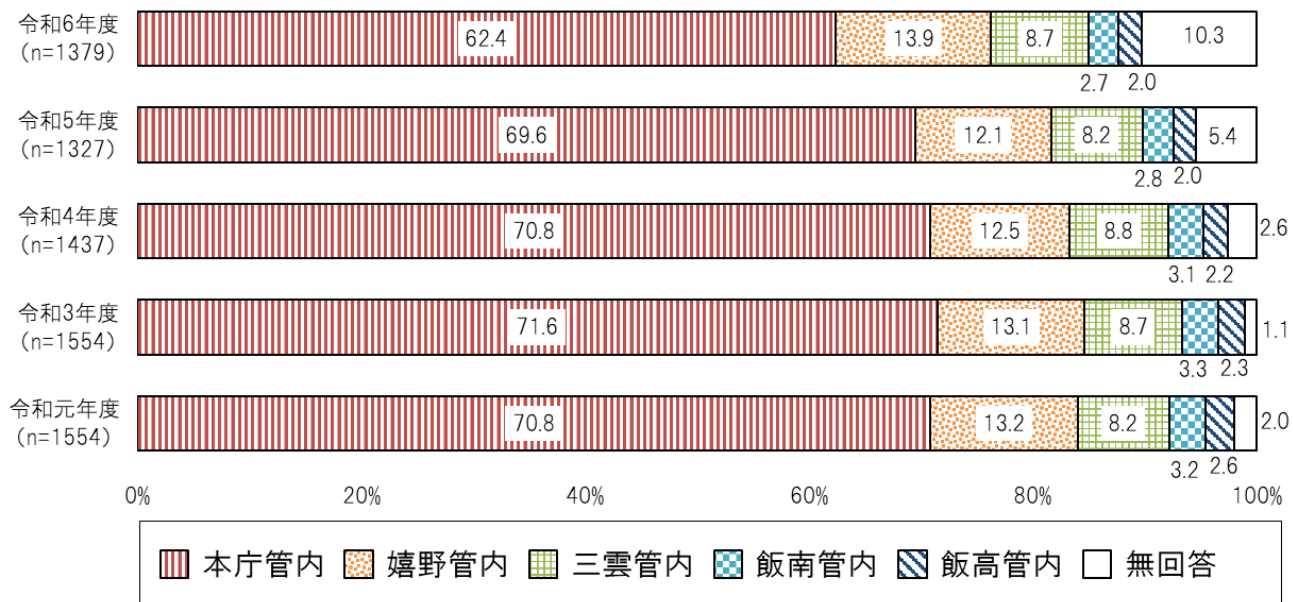
(1) 性別



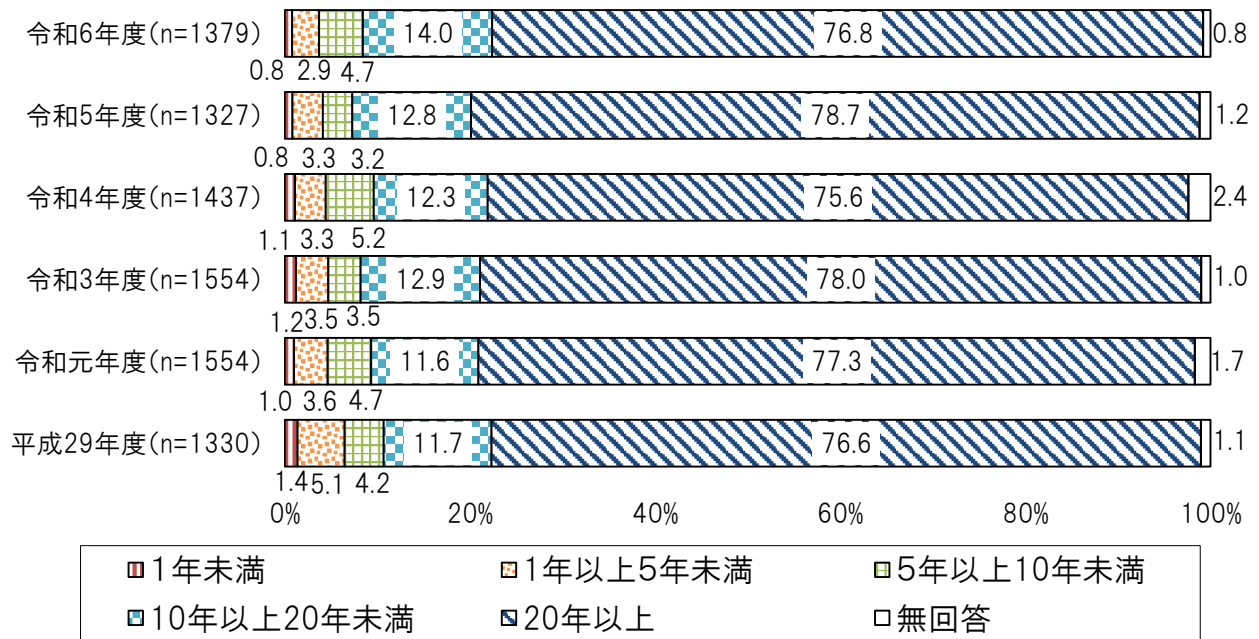
(2) 年齢



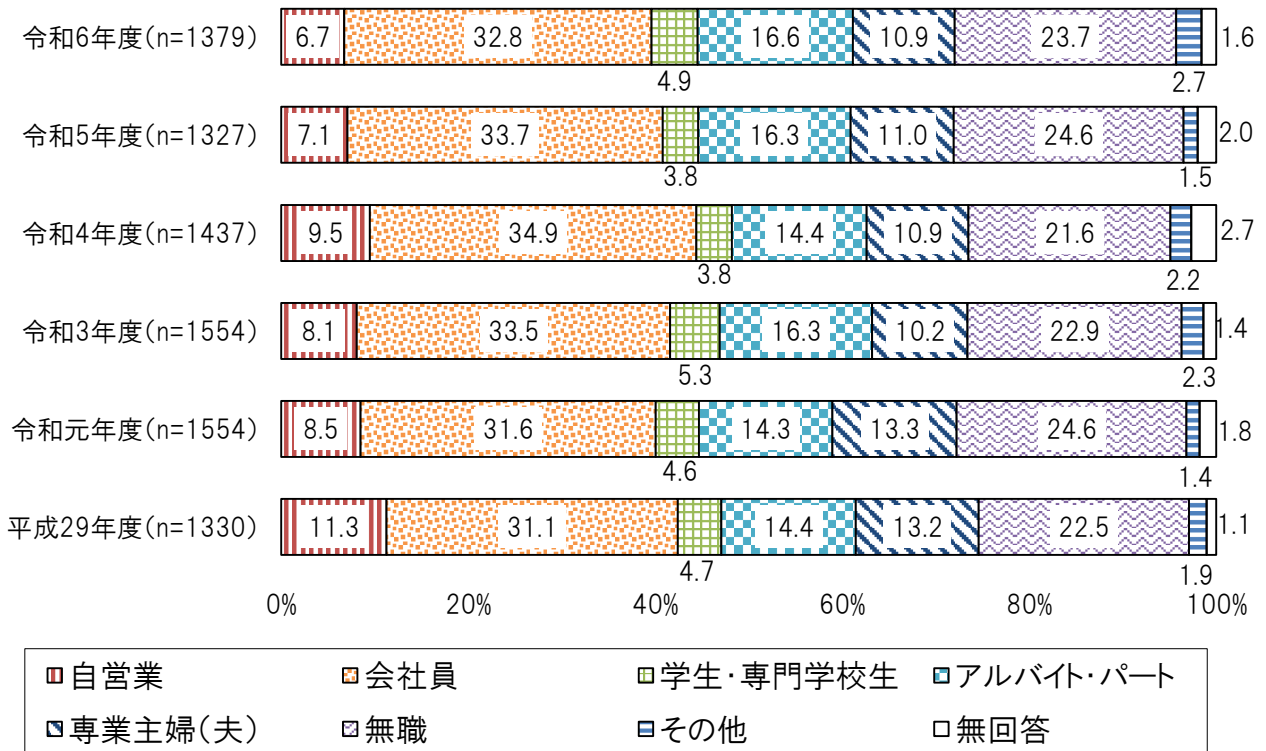
(3) 居住地



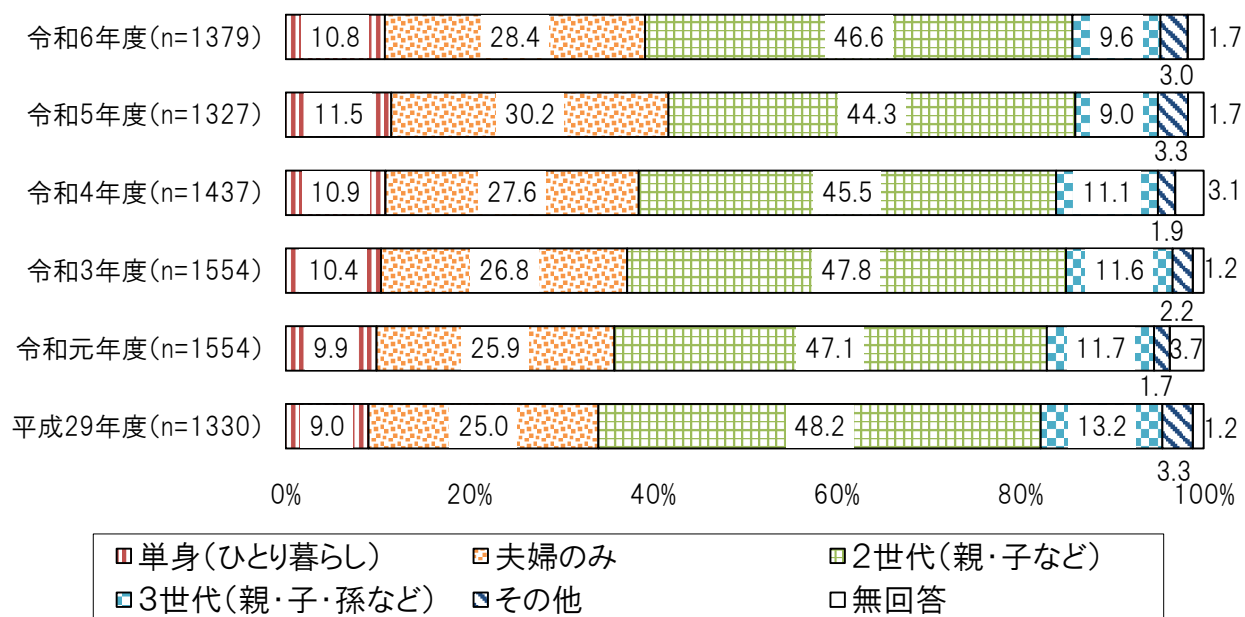
(4) 居住年数



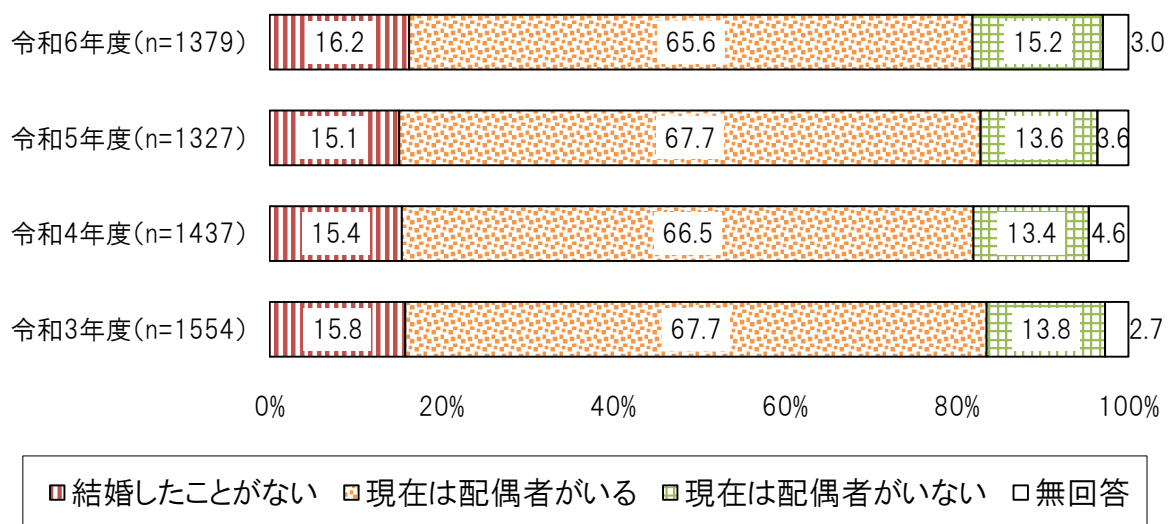
(5) 職業



(6) 家族構成



(7) 婚姻状況



問2 あなたの現在の状況についておうかがいします。

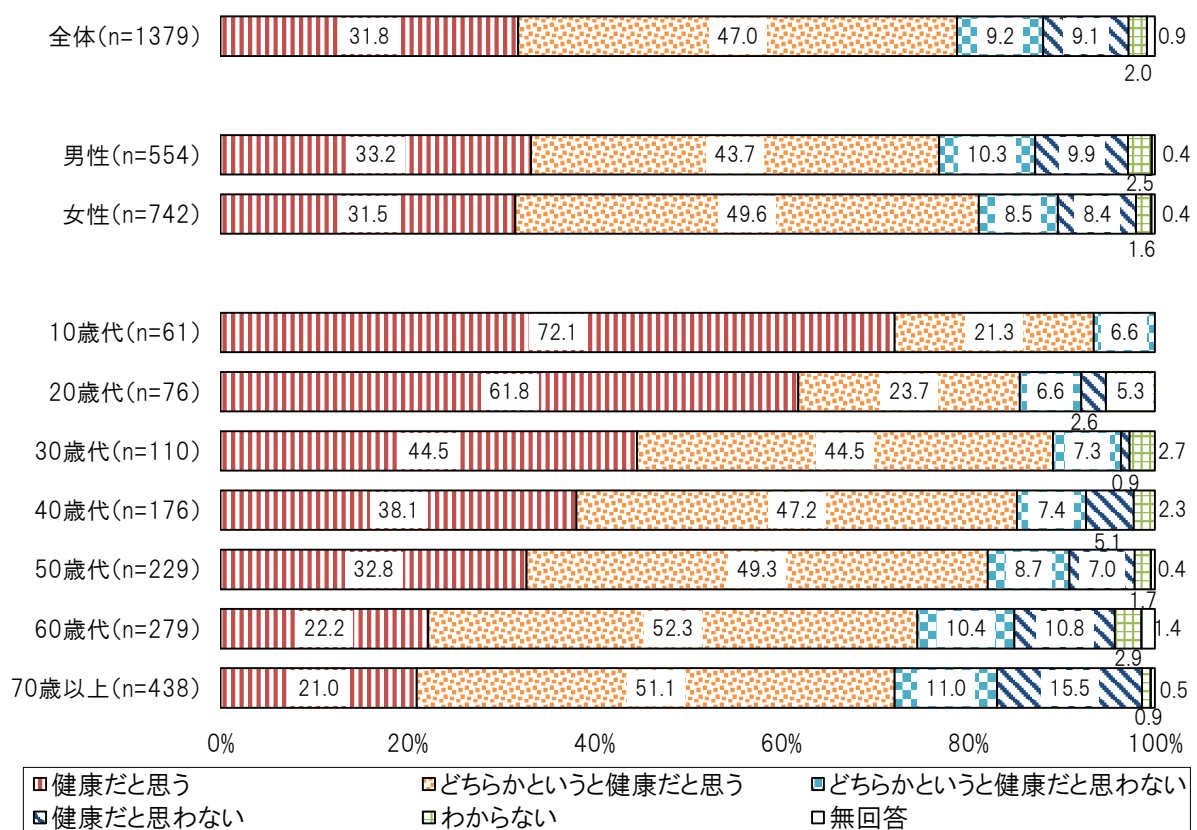
(1) 健康だと思いますか。(○は1つだけ)

「どちらかという健康だと思う」が47.0%と最も高く、次いで「健康だと思う」が31.8%となっている。

性別にみると、男女ともに「どちらかという健康だと思う」が最も高くなっている。

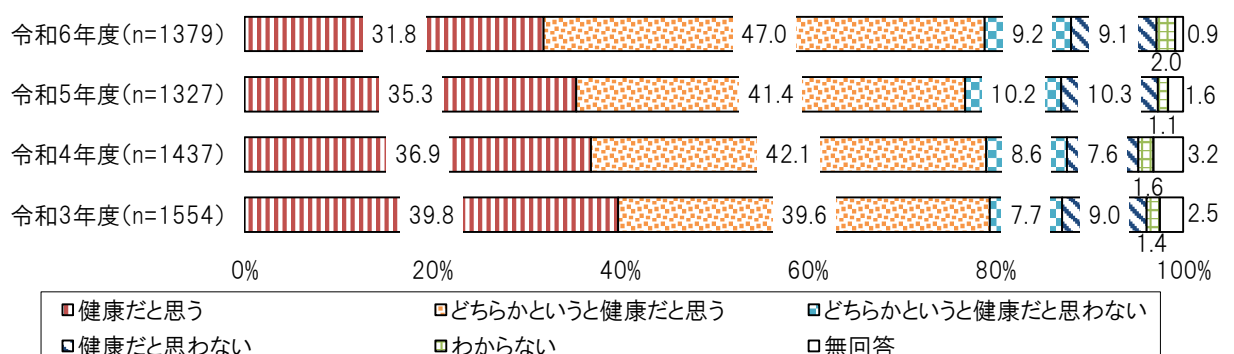
年代別にみると、「健康だと思う」が年代が上がるにつれて低くなる傾向にある。「どちらかという健康だと思う」「健康だと思わない」を合計した割合は、50歳代までは2割未満であるが60歳代では21.2%、70歳以上では26.5%と高くなっている。

問2(1) 健康だと思うか



前回と比較すると、「健康だと思う」割合が35.3%から31.8%と低くなった一方、「どちらかという健康だと思う」は、前回は41.4%であったのが今回は47.0%である。また「どちらかという健康だと思わない」、「健康だと思わない」とする割合は前回よりも減っている。

問2(1) 健康だと思うか

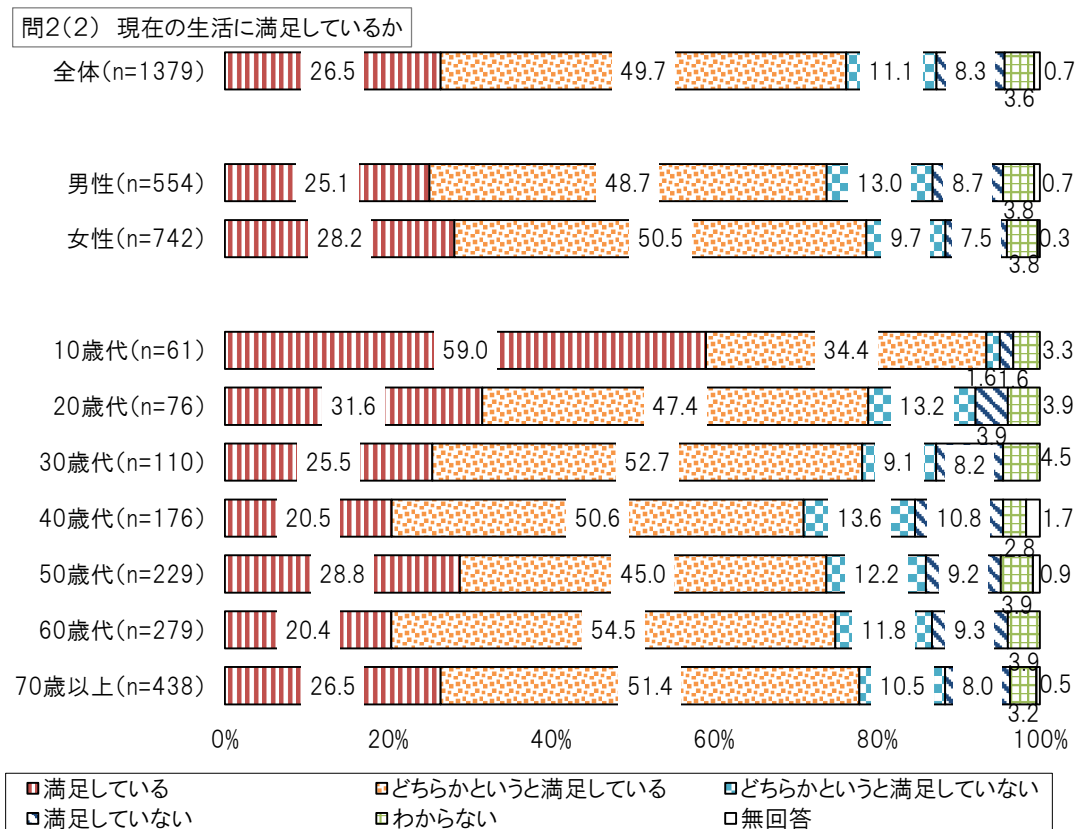


(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

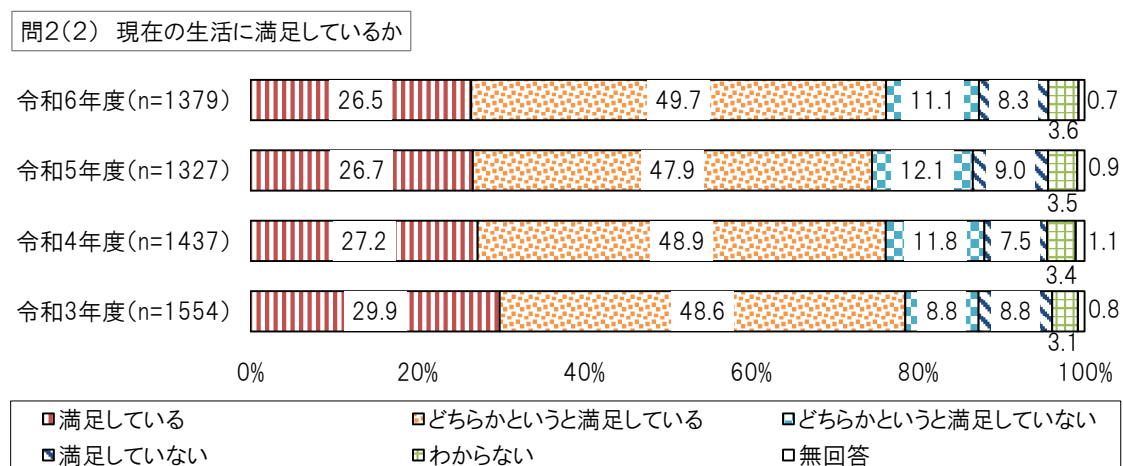
「どちらかという満足している」が49.7%と最も高く、次いで「満足している」が26.5%、「どちらかという満足していない」が11.1%となっている。

性別にみると、「満足している」「どちらかという満足している」の合計の割合は男性が73.8%、女性が78.7%で女性の方が男性よりも4.9ポイント高くなっている。

年代別では、10歳代は「満足している」の割合が高く、他の年代よりも20ポイント以上高くなっている。「満足している」「どちらかという満足している」を合計した割合も10歳代が他の年代と比べて高くなっている。



前回と比較すると、「満足している」と「どちらかという満足している」を合計した割合は前回は74.6%であったのに対し今回は76.2%であり、前回より1.6ポイント高くなっている。



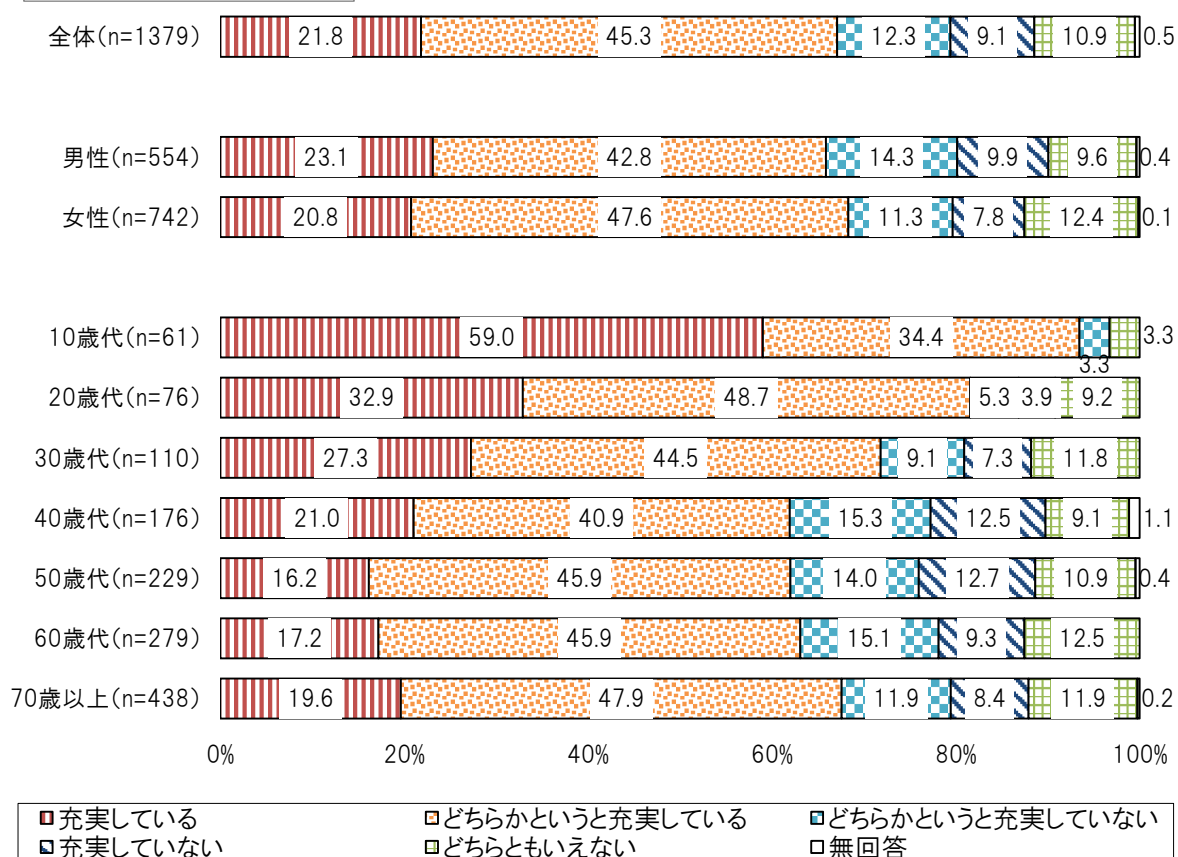
(3) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという充実している」が45.3%と最も高く、次いで「充実している」が21.8%、「どちらかという充実していない」が12.3%となっている。

性別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合をみると、男性が65.9%、女性が68.4%となっている。

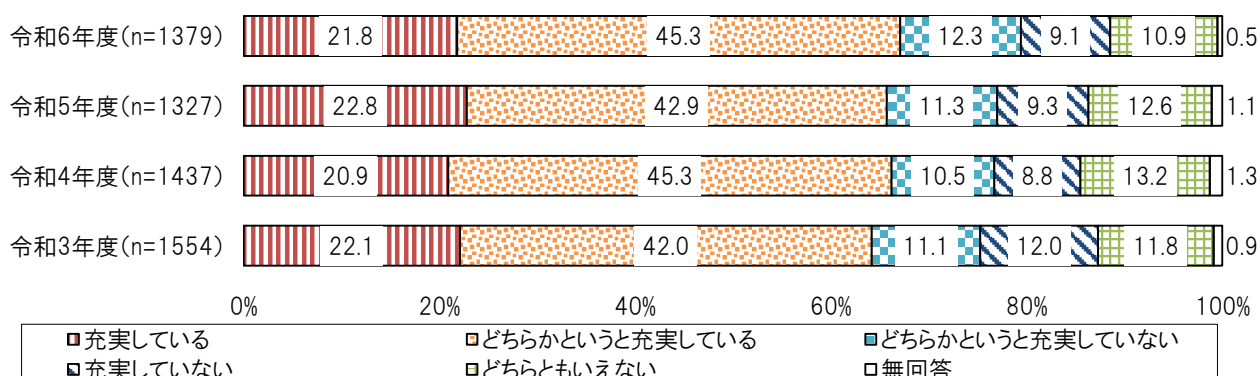
年代別では、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は10歳代で最も高く93.4%となっている。

問2(3) 余暇は充実しているか



前回と比較すると、「充実している」「どちらかという充実している」の合計の割合は前回が65.7%であったのに対し今回は67.1%と1.4ポイント高くなっている。

問2(3) 余暇は充実しているか

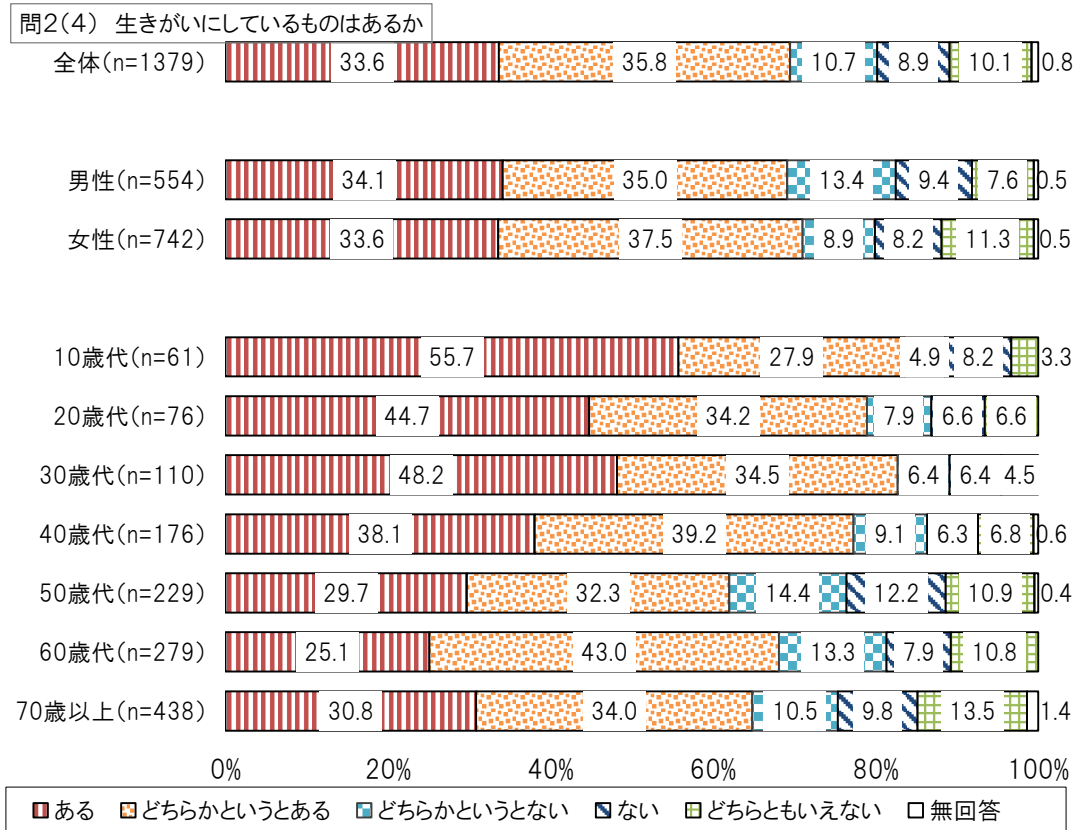


(4) 生きがいになっているものはありますか。(〇は1つだけ)

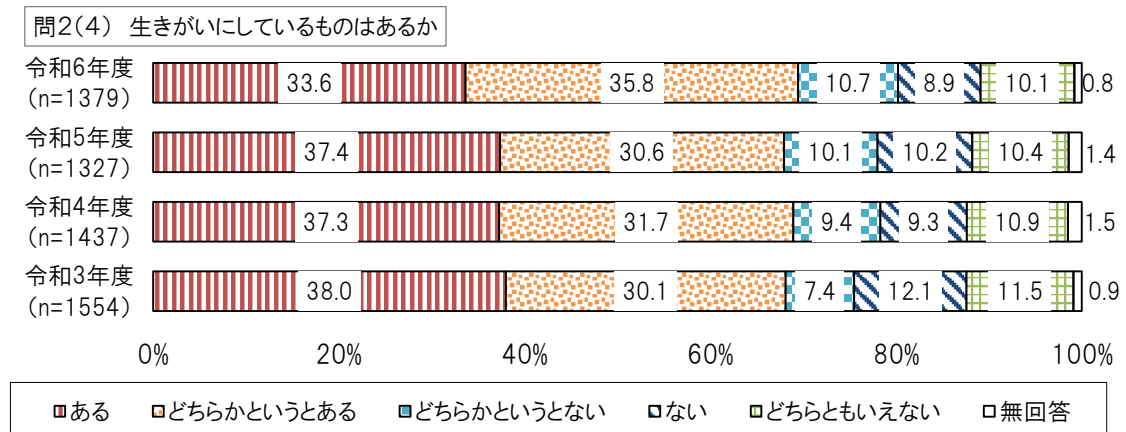
「どちらかというところ」が35.8%と最も高く、次いで「ある」が33.6%、「どちらかというところない」が10.7%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合をみると、男性が69.1%、女性が71.1%で女性の方が男性よりも若干高くなっている。

年代別にみると、10歳代で「ある」の割合が最も高く55.7%となっている。「ある」「どちらかというところ」の合計の割合をみると、10歳代が83.6%と他の世代と比べ高い。



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところ」を合計した割合は、前回は68.0%であったのに対し今回は69.4%と若干高くなっている。

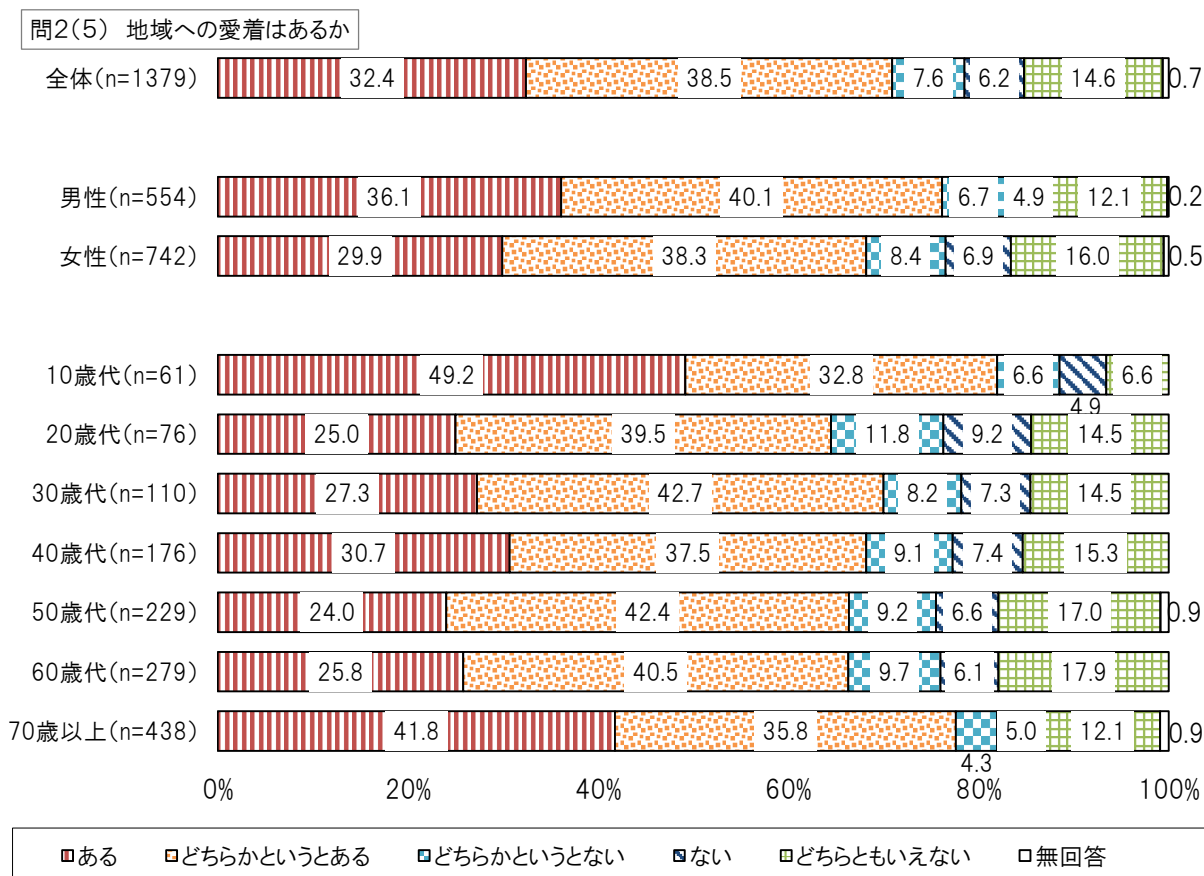


(5) 地域への愛着はありますか。(〇は1つだけ)

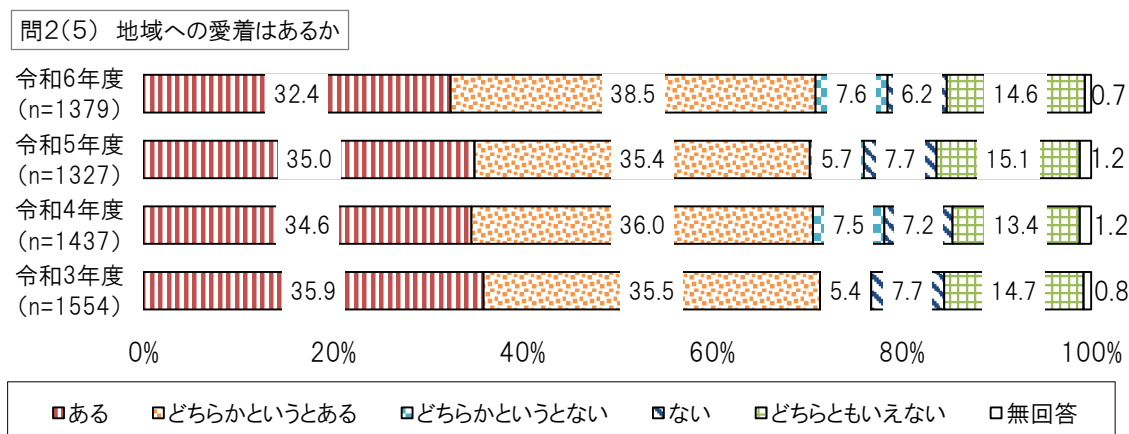
「どちらかというところ」が38.5%と最も高く、次いで「ある」が32.4%、「どちらともいえない」が14.6%となっている。

性別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合は、男性が76.2%、女性が68.2%で男性の方が女性よりも8.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」「どちらかというところ」の合計の割合は10歳代が最も高く82.0%であり、次いで70歳以上で77.6%となっている。その中で、10歳代のほぼ半数(49.2%)が「ある」と答えている。



前回と比較すると、「ある」「どちらかというところ」を合計した割合は、前回は70.4%で、今回は70.9%とほぼ横ばいである。

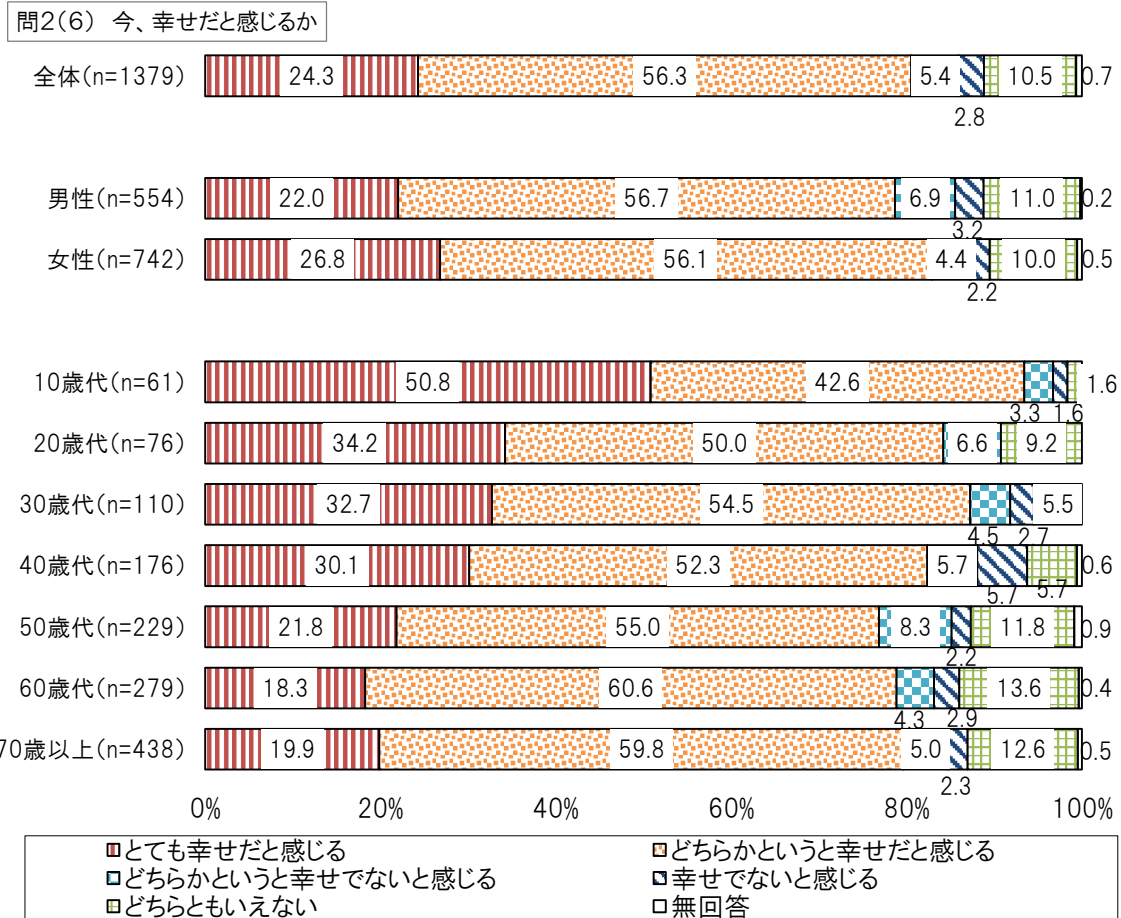


(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

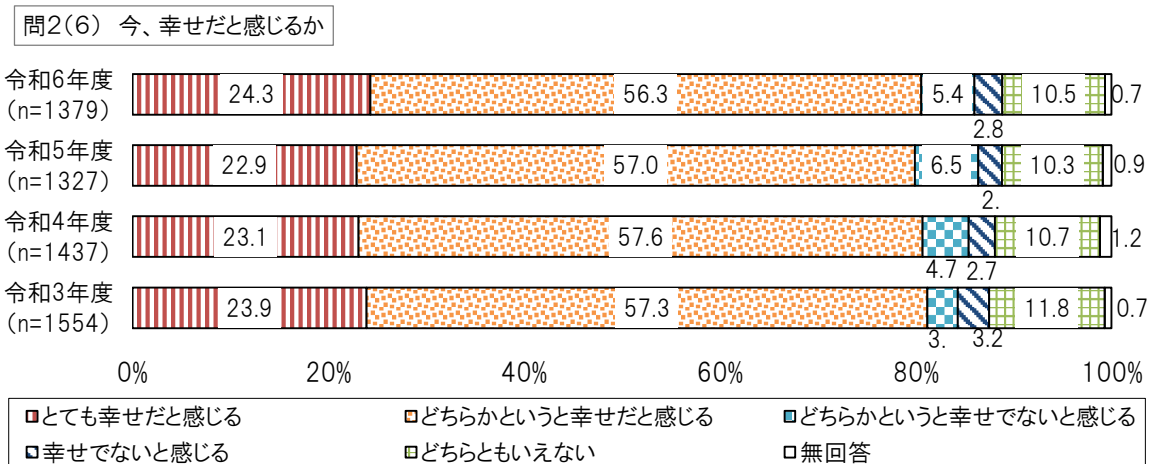
「どちらかという幸せだと感じる」が56.3%と最も高く、次いで「とても幸せだと感じる」が24.3%、「どちらともいえない」が10.5%となっている。

性別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は、男性が78.7%、女性が82.9%で女性の方が男性よりも4.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合は10歳代で最も高く、50歳代で最も低くなっている。



前回と比較すると、「とても幸せだと感じる」「どちらかという幸せだと感じる」の合計の割合をみると、前回は79.9%であったのに対し今回は80.6%と0.7ポイント高くなっている。



(7) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

「健康であること」が 86.3%と最も高く、次いで「生活に経済的な余裕があること」が 44.5%、「家族との関係が良好なこと」が 38.9%となっている。

前回調査と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。

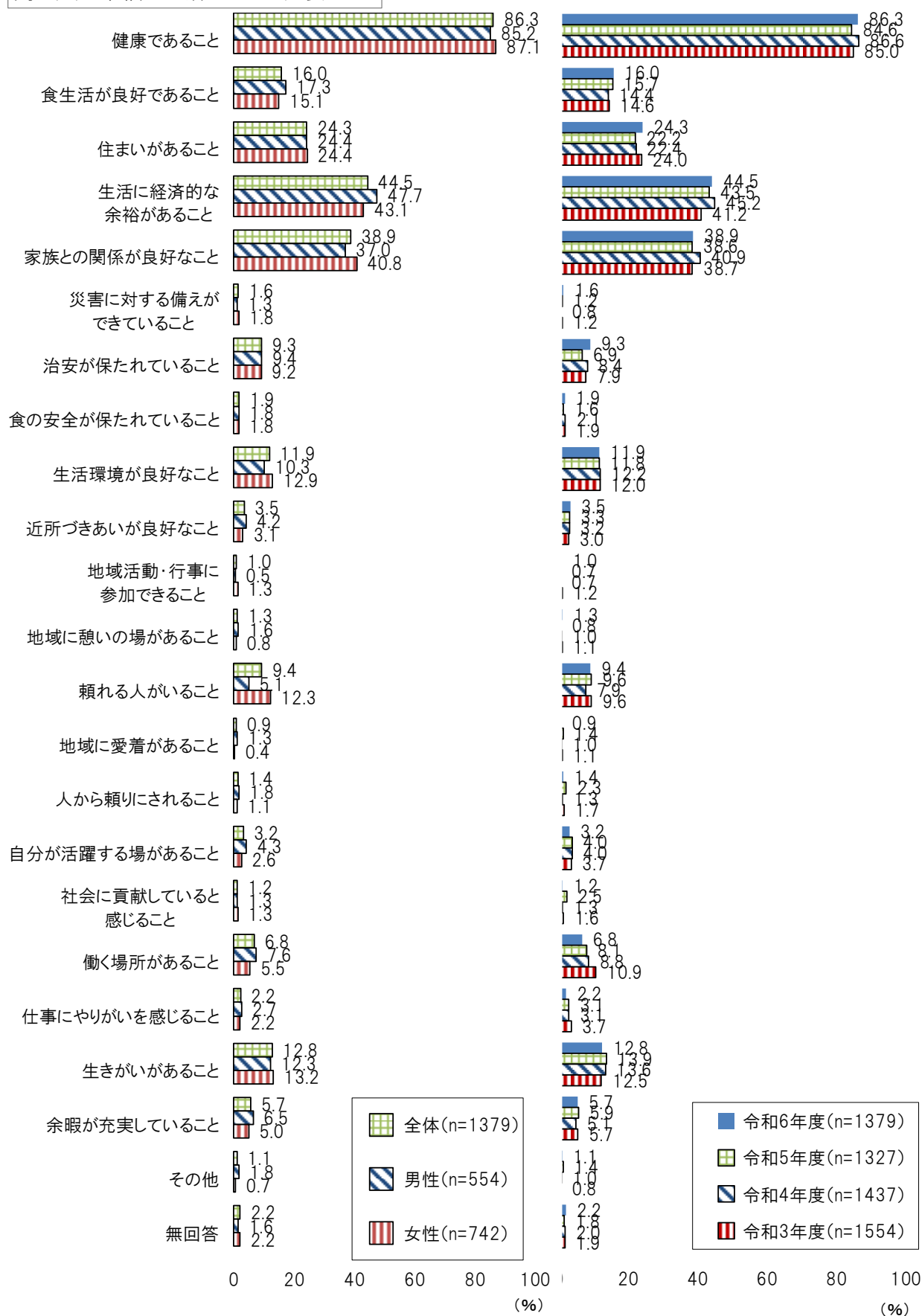
性別にみると、男性・女性ともに「健康であること」が高くなっており、いずれも 80%を超えている。

年代別にみると、いずれの年代でも「健康であること」が最も高い。2番目は 10 歳代・70 歳以上の年代では「家族との関係が良好なこと」、それ以外の年代では「生活に経済的な余裕があること」となっている。

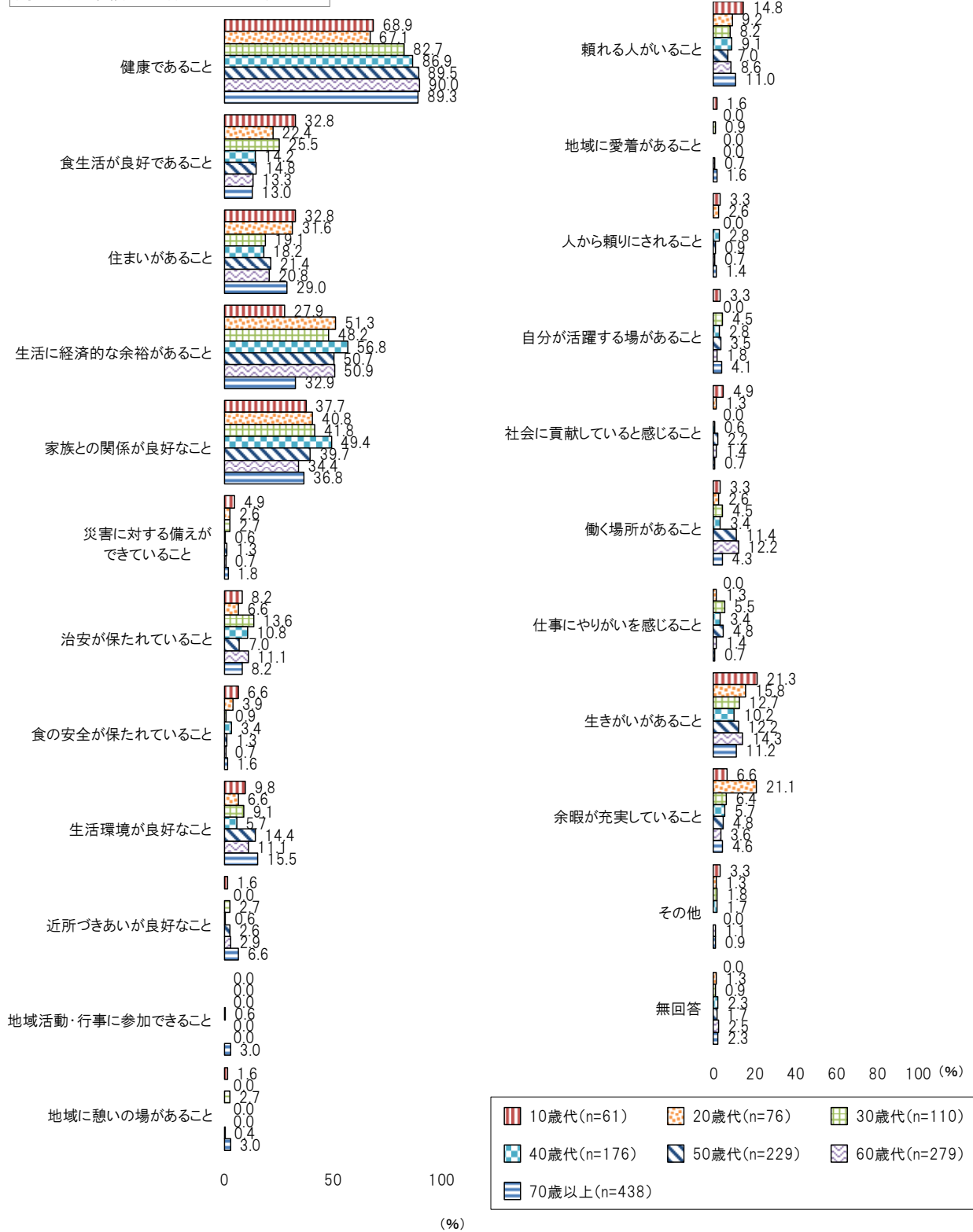
<上位3項目>

		1 番目		2 番目		3 番目	
全体		健康であること	86.3%	生活に経済的な余裕があること	44.5%	家族との関係が良好なこと	38.9%
性別	男性	健康であること	85.2%	生活に経済的な余裕があること	47.7%	家族との関係が良好なこと	37.0%
	女性	健康であること	87.1%	生活に経済的な余裕があること	43.1%	家族との関係が良好なこと	40.8%
年代別	10 歳代	健康であること	68.9%	家族との関係が良好なこと	37.7%	住まいがあること 食生活が良好であること	32.8%
	20 歳代	健康であること	67.1%	生活に経済的な余裕があること	51.3%	家族との関係が良好なこと	40.8%
	30 歳代	健康であること	82.7%	生活に経済的な余裕があること	48.2%	家族との関係が良好なこと	41.8%
	40 歳代	健康であること	86.9%	生活に経済的な余裕があること	56.8%	家族との関係が良好なこと	49.4%
	50 歳代	健康であること	89.5%	生活に経済的な余裕があること	50.7%	家族との関係が良好なこと	39.7%
	60 歳代	健康であること	90.0%	生活に経済的な余裕があること	50.9%	家族との関係が良好なこと	34.4%
	70 歳以上	健康であること	89.3%	家族との関係が良好なこと	36.8%	生活に経済的な余裕があること	32.9%

問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



問2(7) 幸福な生活のために必要なこと



(%)

問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

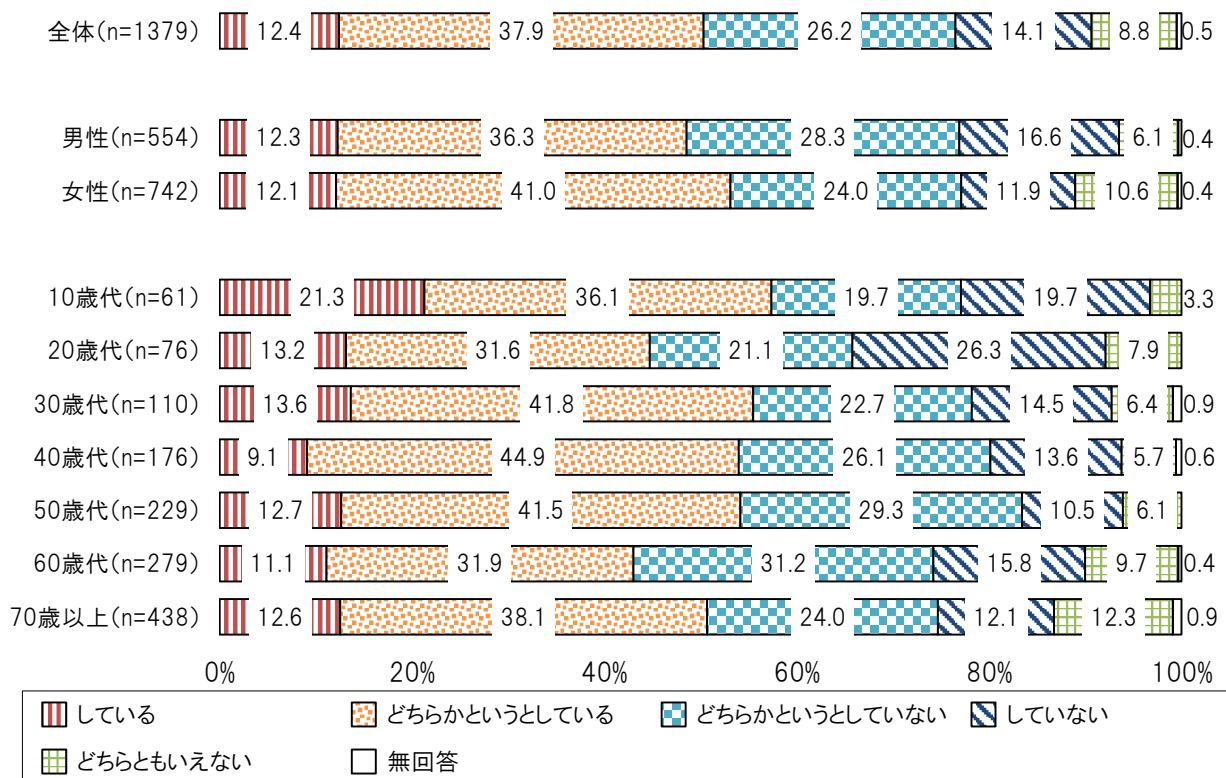
(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというとしている」が37.9%と最も高く、次いで「どちらかというとしていない」が26.2%、「していない」が14.1%となっている。

性別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、男性が48.6%、女性が53.1%で女性の方が男性よりも4.5ポイント高くなっている。

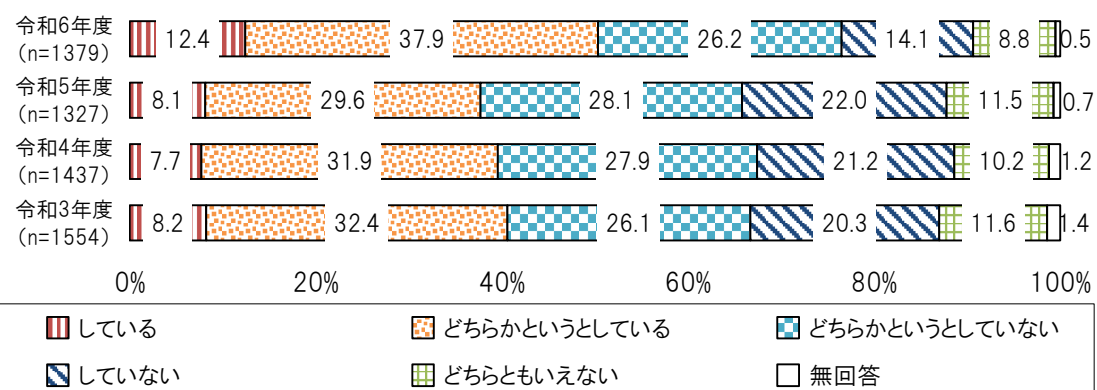
年代別にみると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は10歳代で最も高く57.4%であり、次いで30歳代で55.4%となっている。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



前回と比較すると、「している」「どちらかというとしている」の合計の割合は、前回が37.7%であったのに対し今回は50.3%と12.6ポイント上昇している。

問3(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



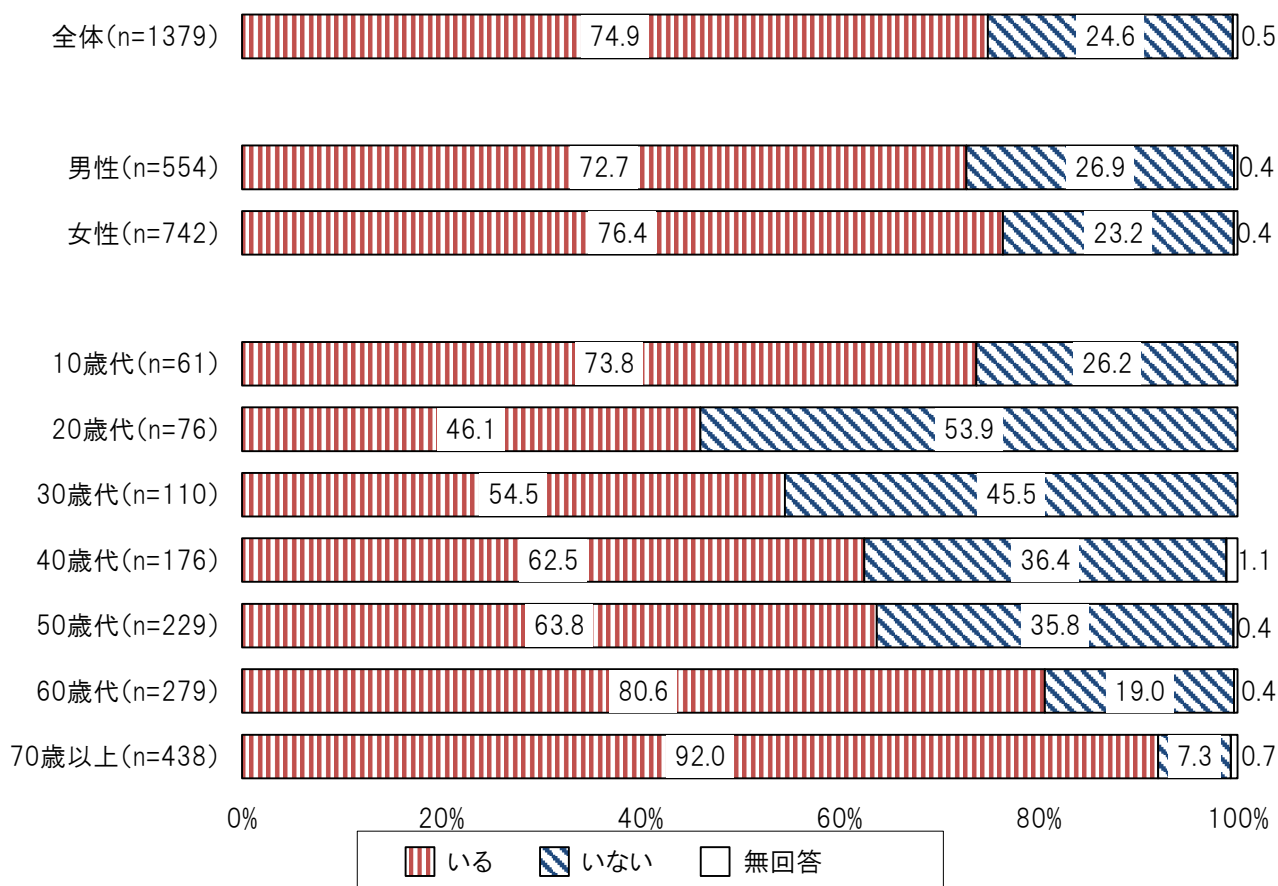
(2) かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

「いる」が74.9%、「いない」が24.6%となっている。

性別にみると、「いる」の割合は男性が72.7%、女性が76.4%で女性の方が男性よりも3.7ポイント高くなっている。

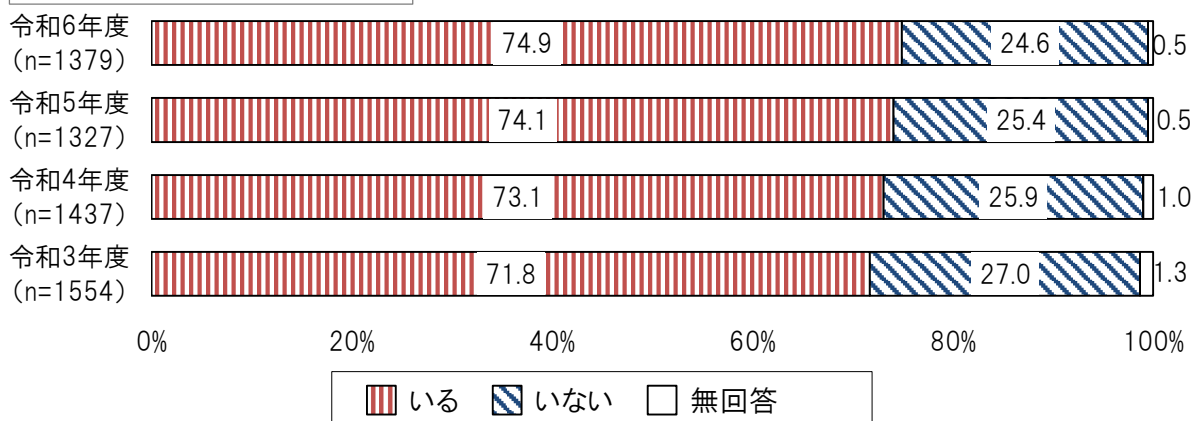
年代別にみると、20歳代以降は年代が上がるほど割合が高くなっている。

問3(2) かかりつけ医の有無



「いる」と答えている人の割合は前回は74.1%であったのに対し、今回は74.9%である。また、「いる」と答えている人の割合は年々増加している。

問3(2) かかりつけ医の有無



(3) (2)で「1. いる」と答えた方におうかがいします。

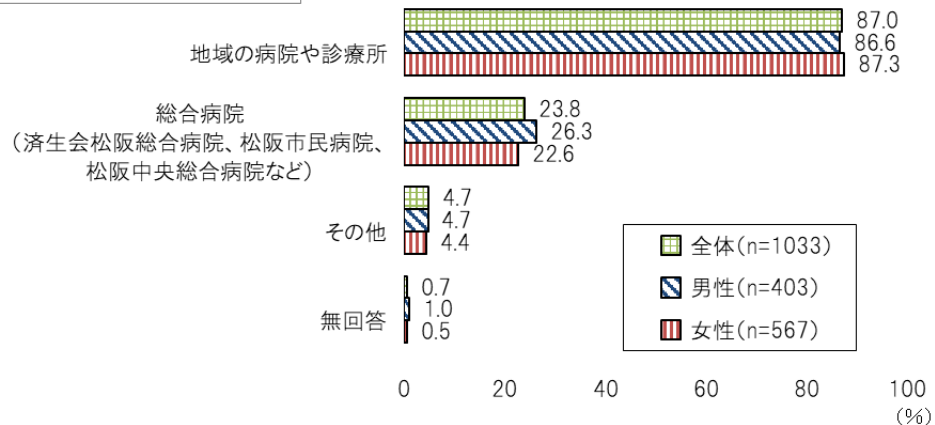
かかりつけの医療機関を教えてください。(〇はあてはまるものすべて)

「地域の病院や診療所」が87.0%と最も高く、次いで「総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など)」が23.8%、「その他」が4.7%となっている。

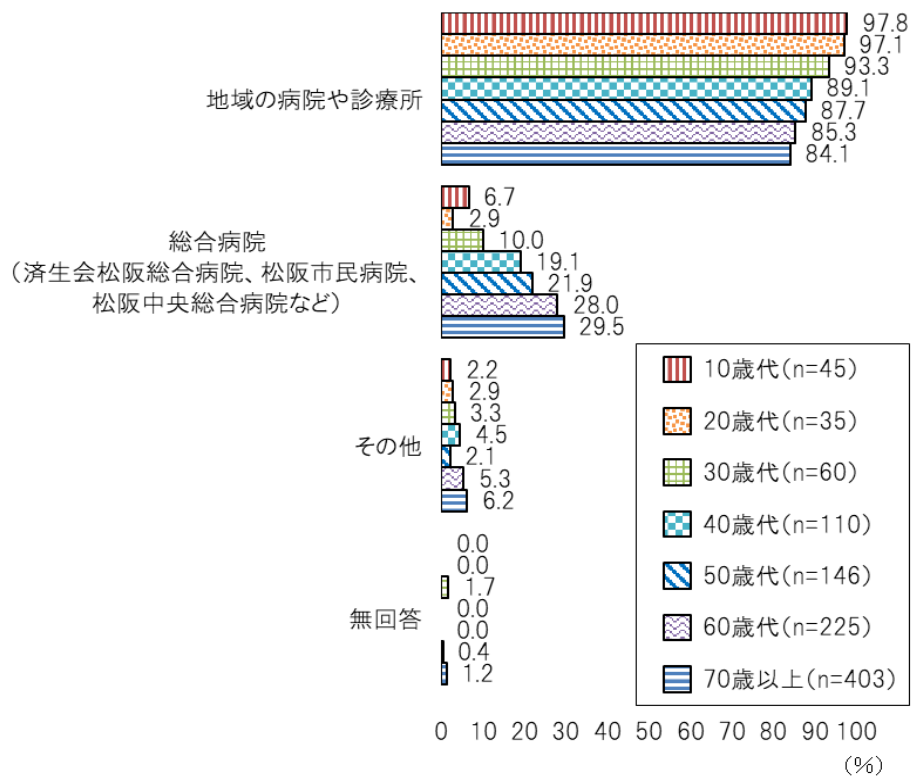
性別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は、男性が86.6%、女性が87.3%でそれほど差は見られず、「総合病院」は男性が26.3%、女性が22.6%で男性の方が高くなっている。

年代別にみると、「地域の病院や診療所」の割合は10歳代、20歳代、30歳代で9割を超えている。一方で50歳代、60歳代、70歳以上では「総合病院」の割合が2割を超えている。

問3(3) かかりつけの医療機関



問3(3) かかりつけの医療機関



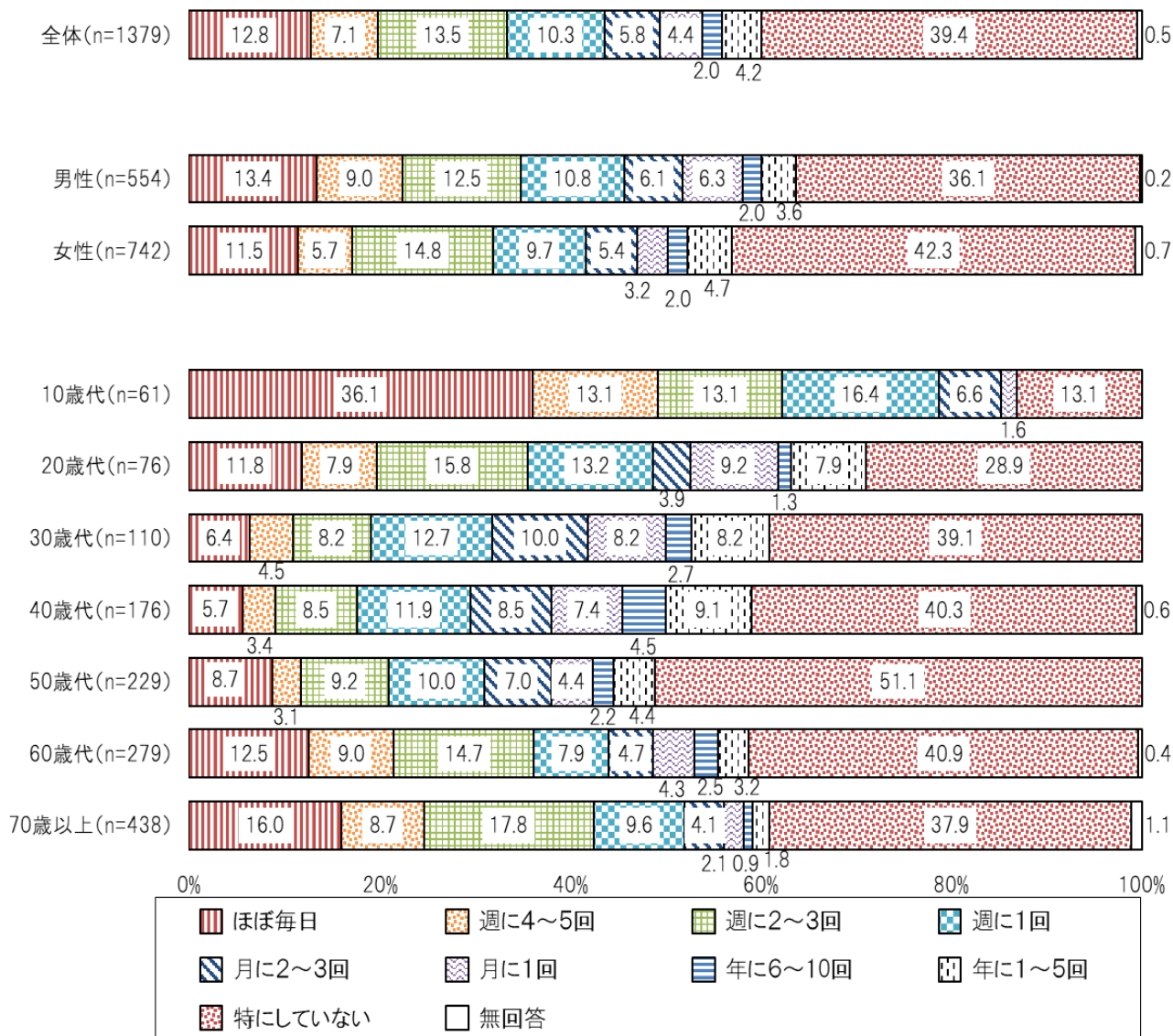
(4) あなたはこの1年間で運動・スポーツをどの程度行っていますか。(○は1つだけ)

「特にしていない」が39.4%と最も高く、次いで「週に2～3回」が13.5%、「ほぼ毎日」が12.8%となっている。

性別にみると、「特にしていない」が女性が42.3%、男性が36.1%で、女性が6.2ポイント高くなっている。

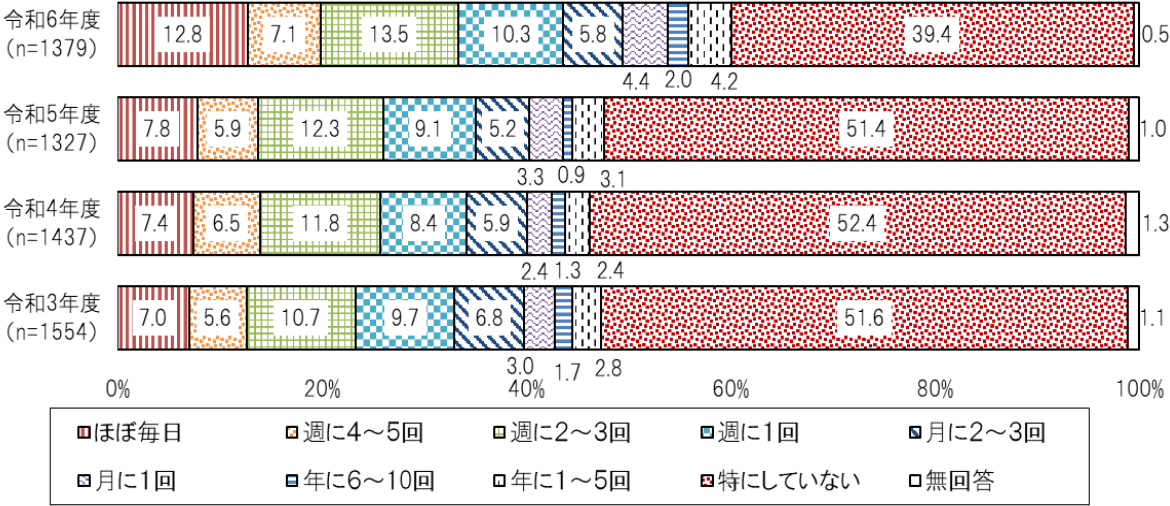
年代別にみると、50歳代では「特にしていない」の割合が半数を超えている。また、10歳代では「ほぼ毎日」が36.1%と他の世代と比べ非常に高くなっている。一方、「ほぼ毎日」「週に4～5回」「週に2～3回」「週に1回」の合計の割合をみると、40歳代が最も低く29.5%であるが、それ以降の年代では年齢が上がるにつれ割合が高くなっていく。

問3(4) 運動・スポーツをどの程度行っているか



前回と比較すると、「特にしていない」は前回が51.4%であったのに対し今回は39.4%と12.0ポイント低くなっている。

問3(4) 運動・スポーツをどの程度行っているか



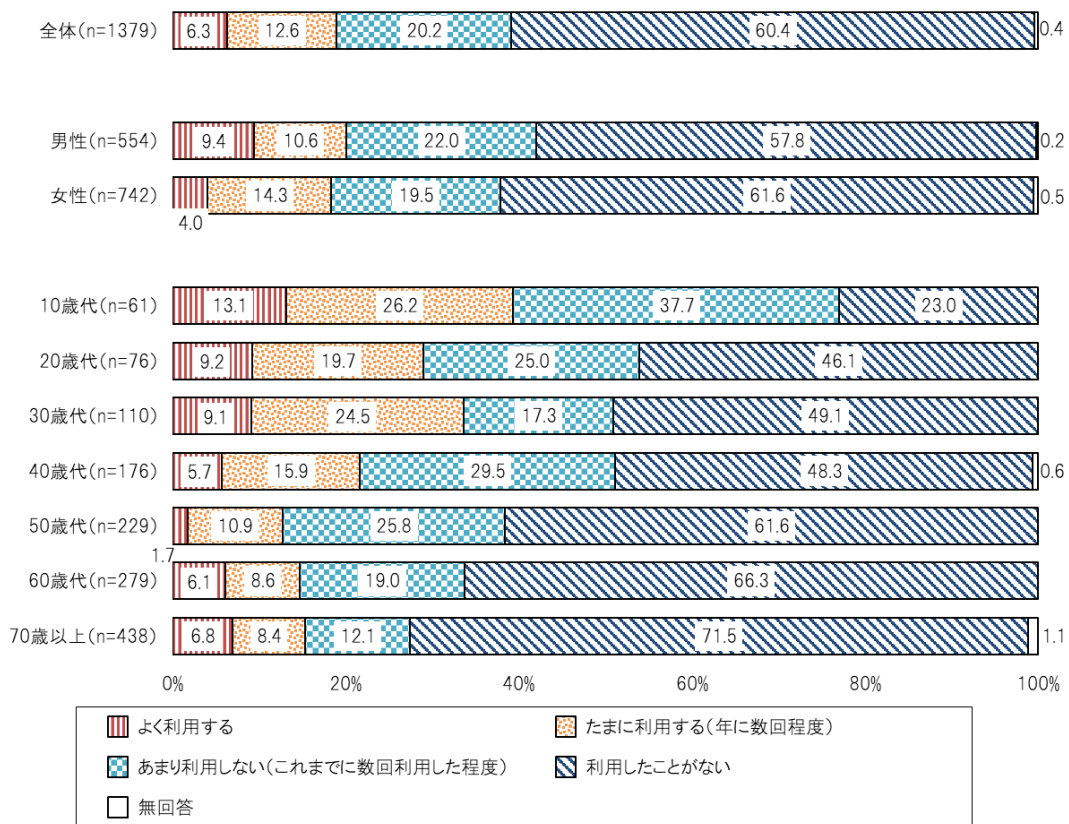
(5) 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（○は1つだけ）

「利用したことがない」が60.4%と最も高く、次いで「あまり利用しない（これまでに数回利用した程度）」が20.2%、「たまに利用する（年に数回程度）」が12.6%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「利用したことがない」が高くなっており、男性が57.8%、女性が61.6%となっている。

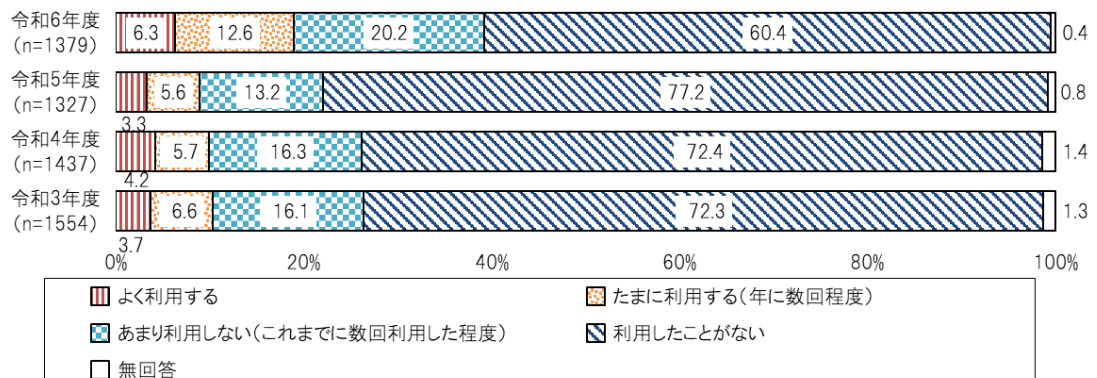
年代別にみると、10歳代で「よく利用する」の割合が13.1%と高くなっている。40歳代以上では年代が上がるほど「利用したことがない」と答えている割合が高くなっている。

問3(5) 公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



前回と比較すると、「よく利用する」「たまに利用する」の合計の割合は、前回は8.9%であったのに対し今回は18.9%と大幅に増加している。

問3(5) 公共スポーツ施設をどの程度利用しているか



問4 あなたのお住まいの地域づくりについておうかがいします。

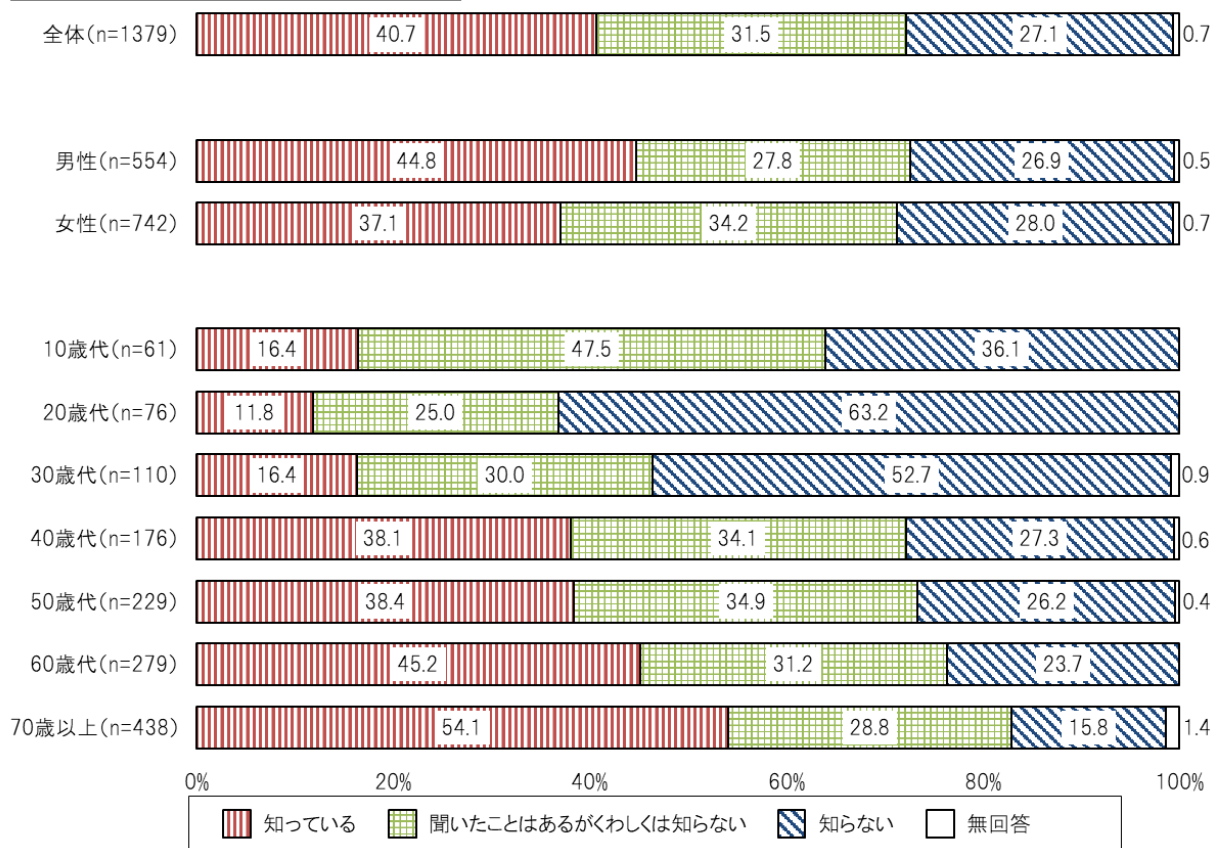
(1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）を知っていますか。（○は1つだけ）

「知っている」が40.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」、が31.5%、「知らない」が27.1%となっている。

性別にみると、「知っている」の割合は男性で44.8%、女性で37.1%と男性の方が女性よりも7.7ポイント高くなっている。

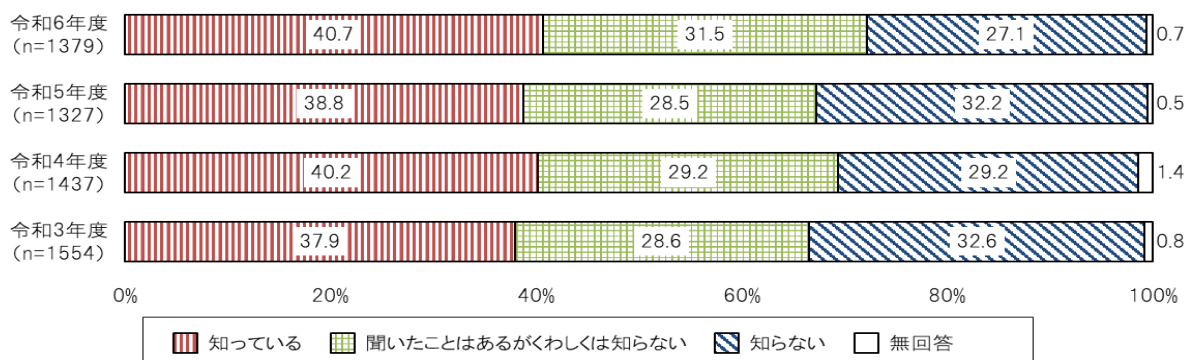
年代別にみると、「知っている」の割合は30歳代までは20%未満と低くなっており、40歳代以降では年齢が上がるにつれ割合が高くなっている。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



前回と比較すると、「知っている」は1.9ポイント高くなっており、一方で「知らない」は5.1ポイント低くなっている。

問4(1) 住民自治協議会を知っているか



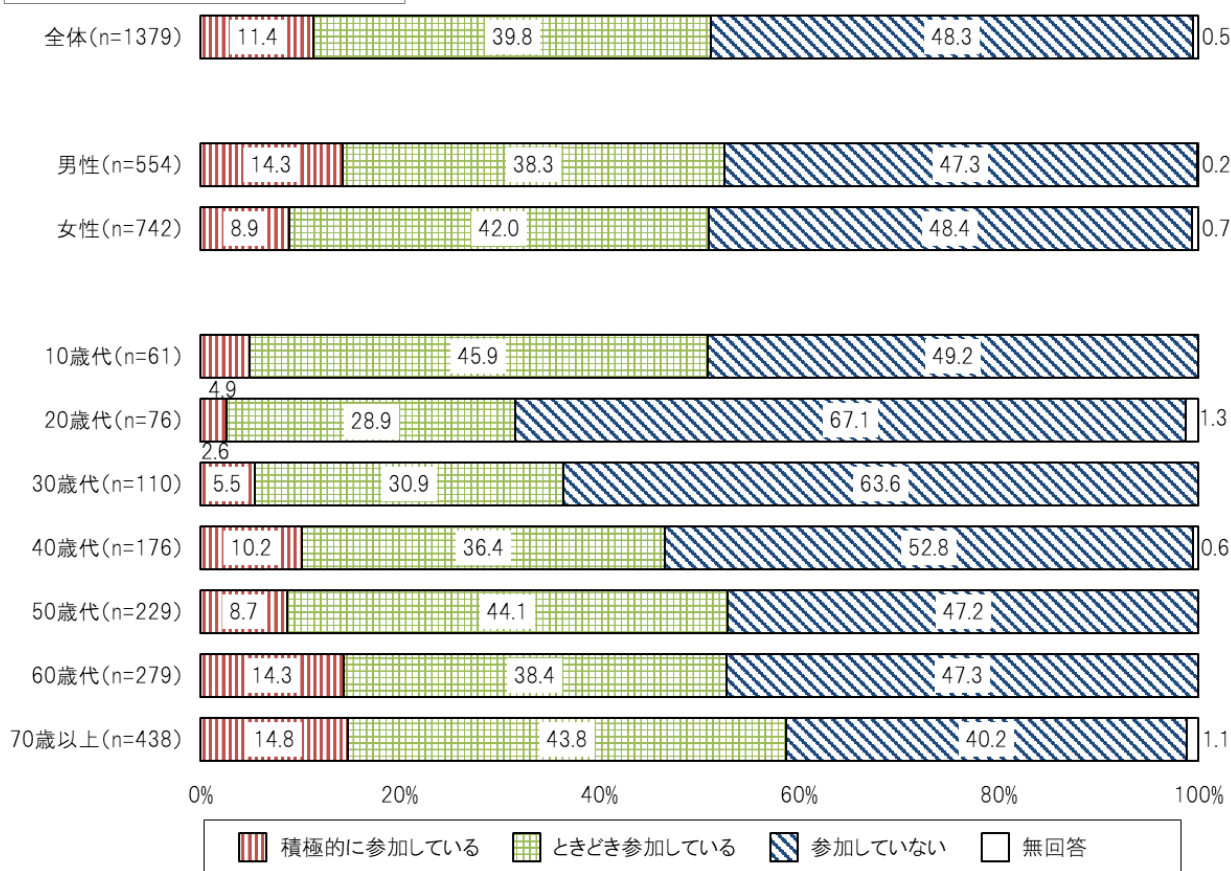
(2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会（まちづくり協議会）のまちづくり活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

「参加していない」が48.3%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が39.8%、「積極的に参加している」が11.4%となっている。

性別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、男性が52.6%、女性が50.9%と男性の方が女性より1.7ポイント高くなっている。

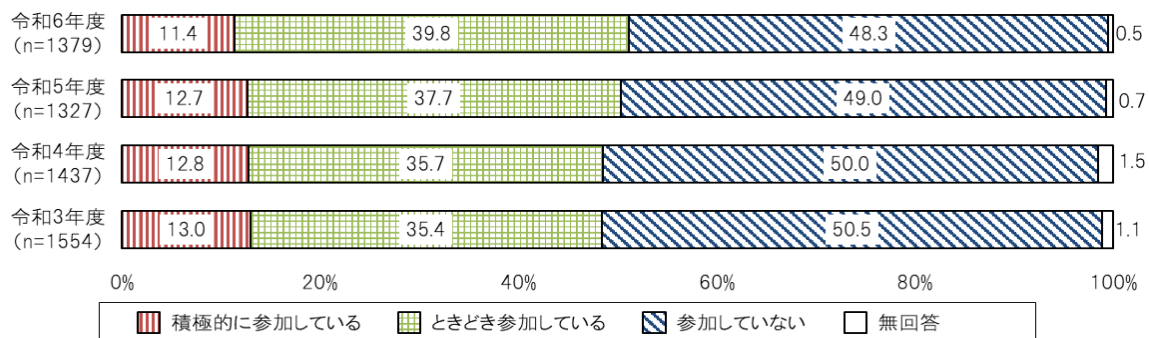
年代別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は20歳代で31.5%と最も低くなり、10歳代を除くと年齢が上がるにつれおおむね参加している割合が高くなっている。

問4(2) 住民自治協議会への参加



前回と比較すると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」の合計の割合は、前回は50.4%であったのに対し今回は51.2%と、0.8ポイント高くなっている。

問4(2) 住民自治協議会への参加



問5 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が34.6%と最も高く、次いで「買い物が便利」が31.1%、「食べ物がおいしい」が26.0%となっている。

前回と比べると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。前回に比べ「買い物が便利」「治安が良い」「公園や憩いの施設が整っている」などで高くなっており、一方で「空気がきれい」「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」「医療施設、救急医療が整っている」「歴史や伝統がある」などで低くなっている。

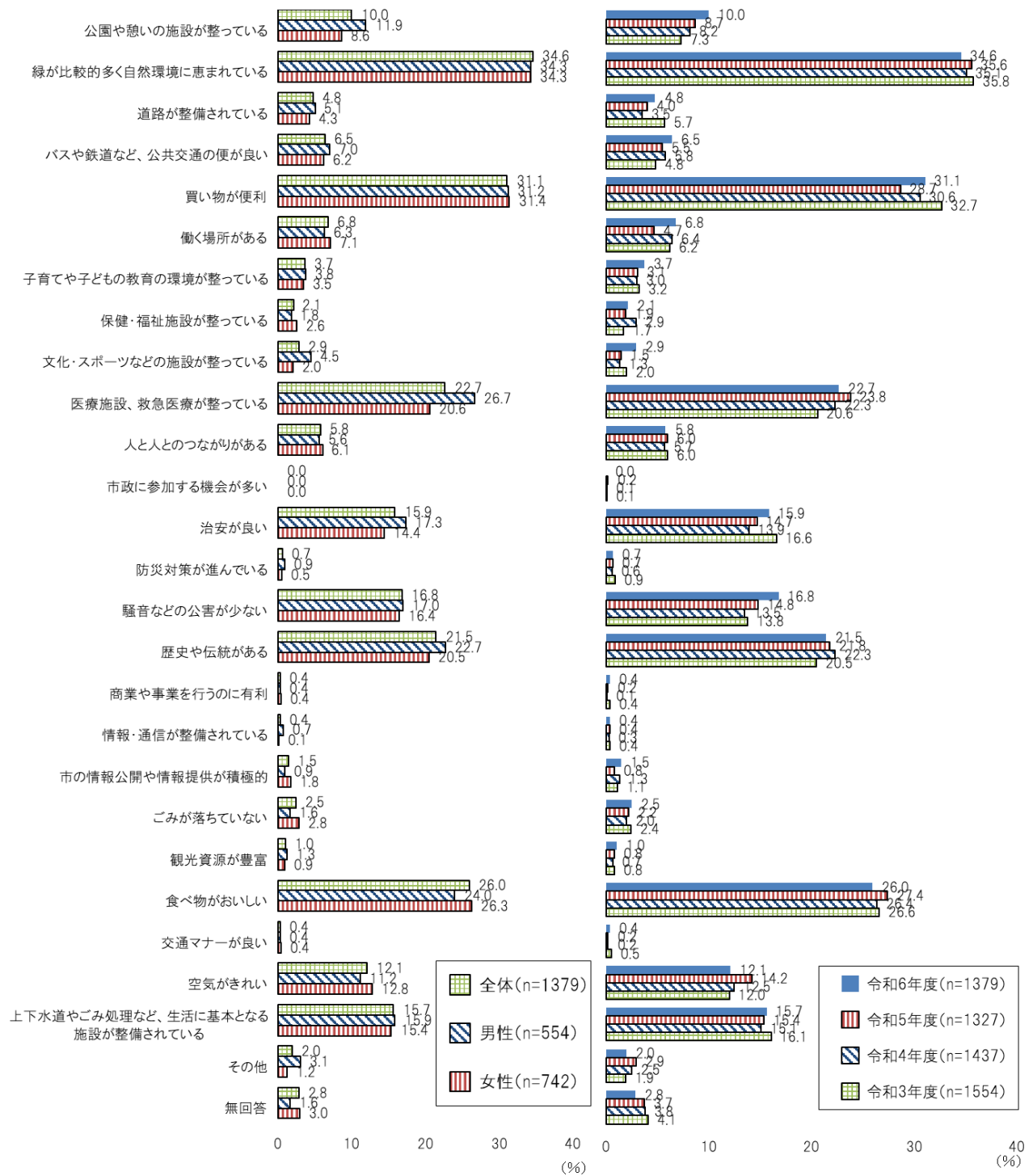
性別にみると、上位2項目については項目、順番いずれも同じであったが、3番目は男性が「医療施設、救急医療が整っている」、女性が「食べ物がおいしい」であった。

年代別にみると、1番目に高い項目は、40歳代、60歳代、70歳以上では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、10歳代、30歳代、50歳代では「食べ物がおいしい」となっている。20歳代は「買い物が便利」が最も高かった。

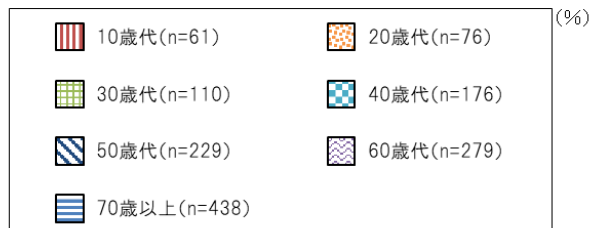
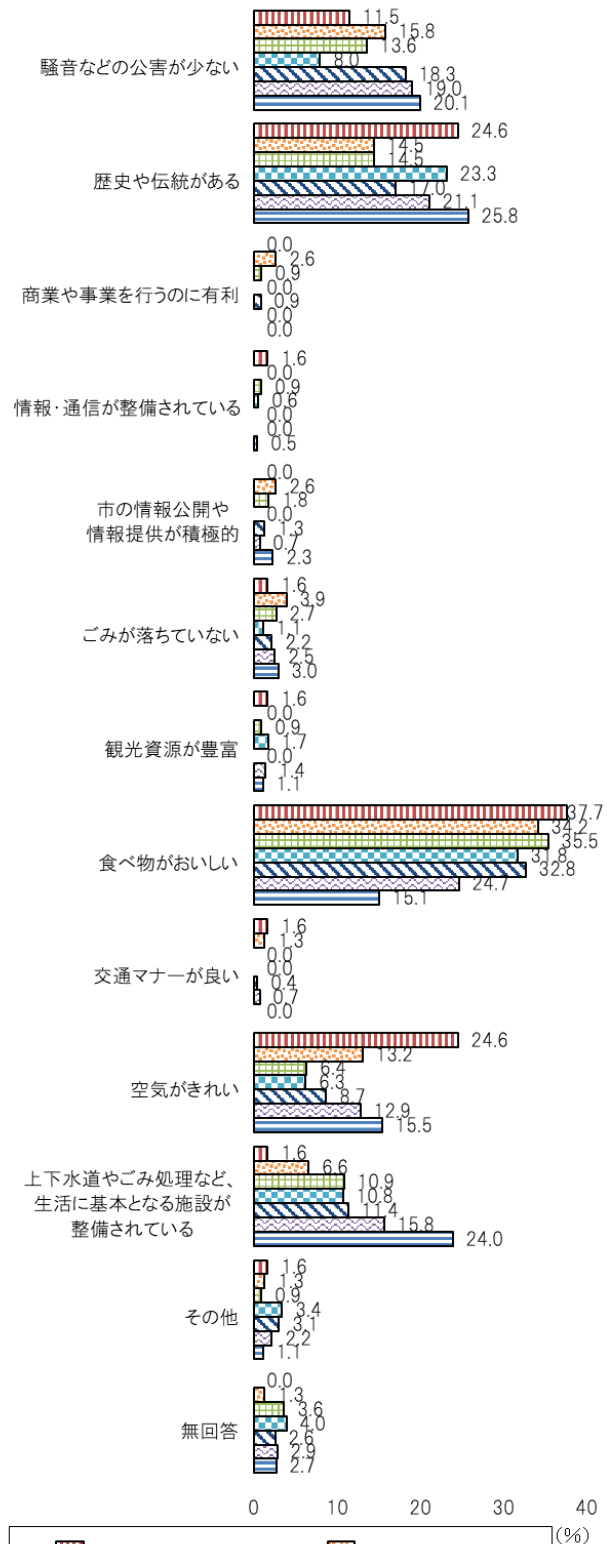
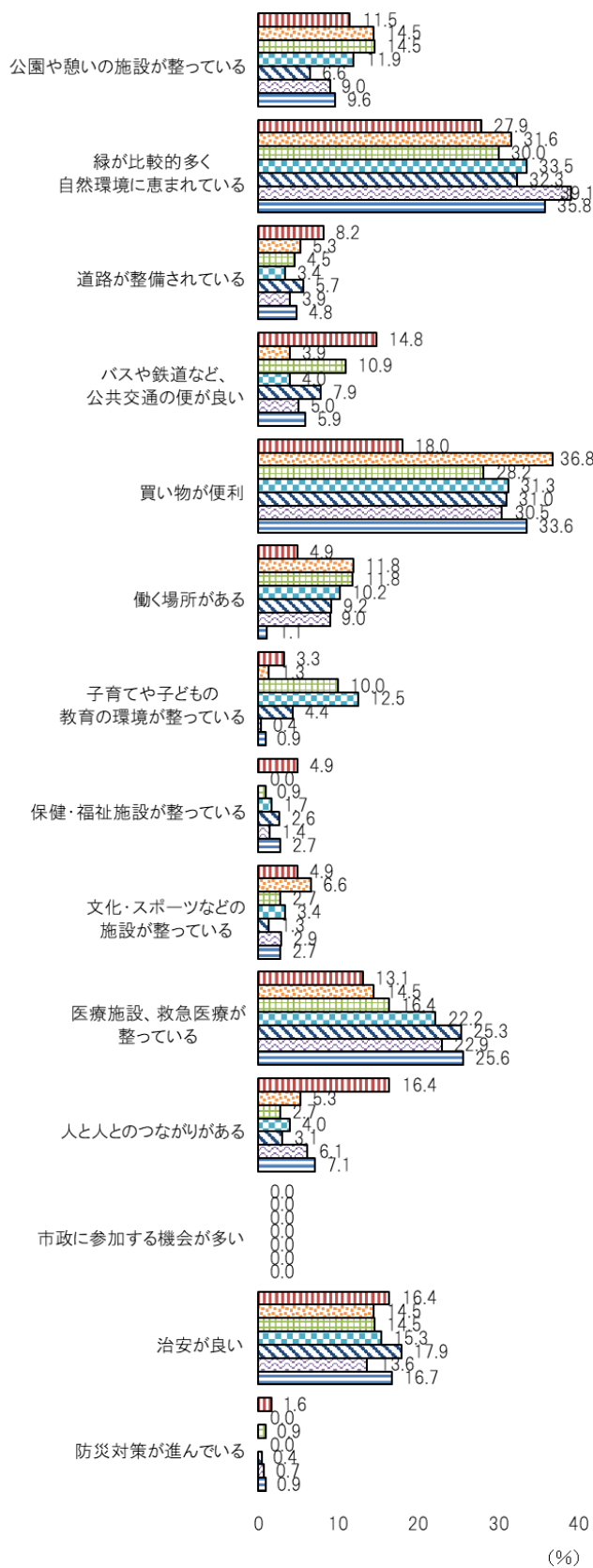
<上位3項目>

		1 番 目		2 番 目		3 番 目	
全体		緑が比較的多く自然環境に恵まれている	34.6%	買い物が便利	31.1%	食べ物がおいしい	26.0%
性別	男性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	34.3%	買い物が便利	31.2%	医療施設、救急医療が整っている	26.7%
	女性	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	34.3%	買い物が便利	31.4%	食べ物がおいしい	26.3%
年代別	10 歳代	食べ物がおいしい	37.7%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	27.9%	歴史や伝統がある 空気がきれい	24.6%
	20 歳代	買い物が便利	36.8%	食べ物がおいしい	34.2%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	31.6%
	30 歳代	食べ物がおいしい	35.5%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	30.0%	買い物が便利	28.2%
	40 歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	33.5%	食べ物がおいしい	31.8%	買い物が便利	31.3%
	50 歳代	食べ物がおいしい	32.8%	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	32.3%	買い物が便利	31.0%
	60 歳代	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	39.1%	買い物が便利	30.5%	食べ物がおいしい	24.7%
	70 歳以上	緑が比較的多く自然環境に恵まれている	35.8%	買い物が便利	33.6%	歴史や伝統がある	25.8%

問5(1) 松阪市の良いところ



問5(1) 松阪市の良いところ



(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が37.3%と最も高く、次いで「交通マナーが悪い」が30.1%、「観光資源が少ない」が15.8%となっている。

前回と比較すると、「防災対策が遅れている」「観光資源が少ない」等が高くなっており、一方で「道路が整備されていない」「公園や憩いの施設が整っていない」等は低くなっている。

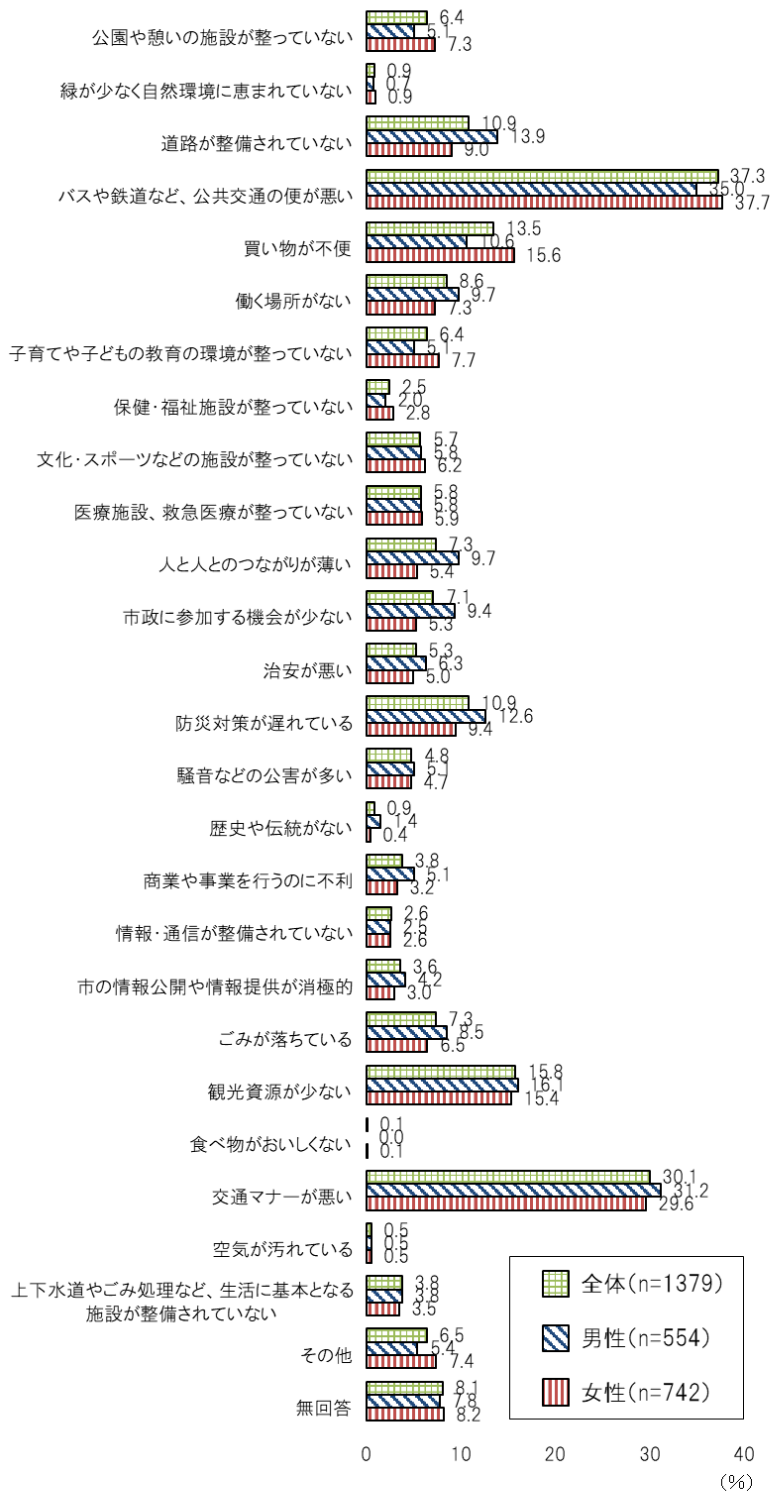
性別にみると、男女ともに1番目に高い項目は「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」、2番目は「交通マナーが悪い」となっている。3番目に高い項目は、男性では「観光資源が少ない」、女性では「買い物不便」となっている。

年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代、40歳代は「交通マナーが悪い」が最も高く、また、50歳代以上の年代では「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が最も高くなった。

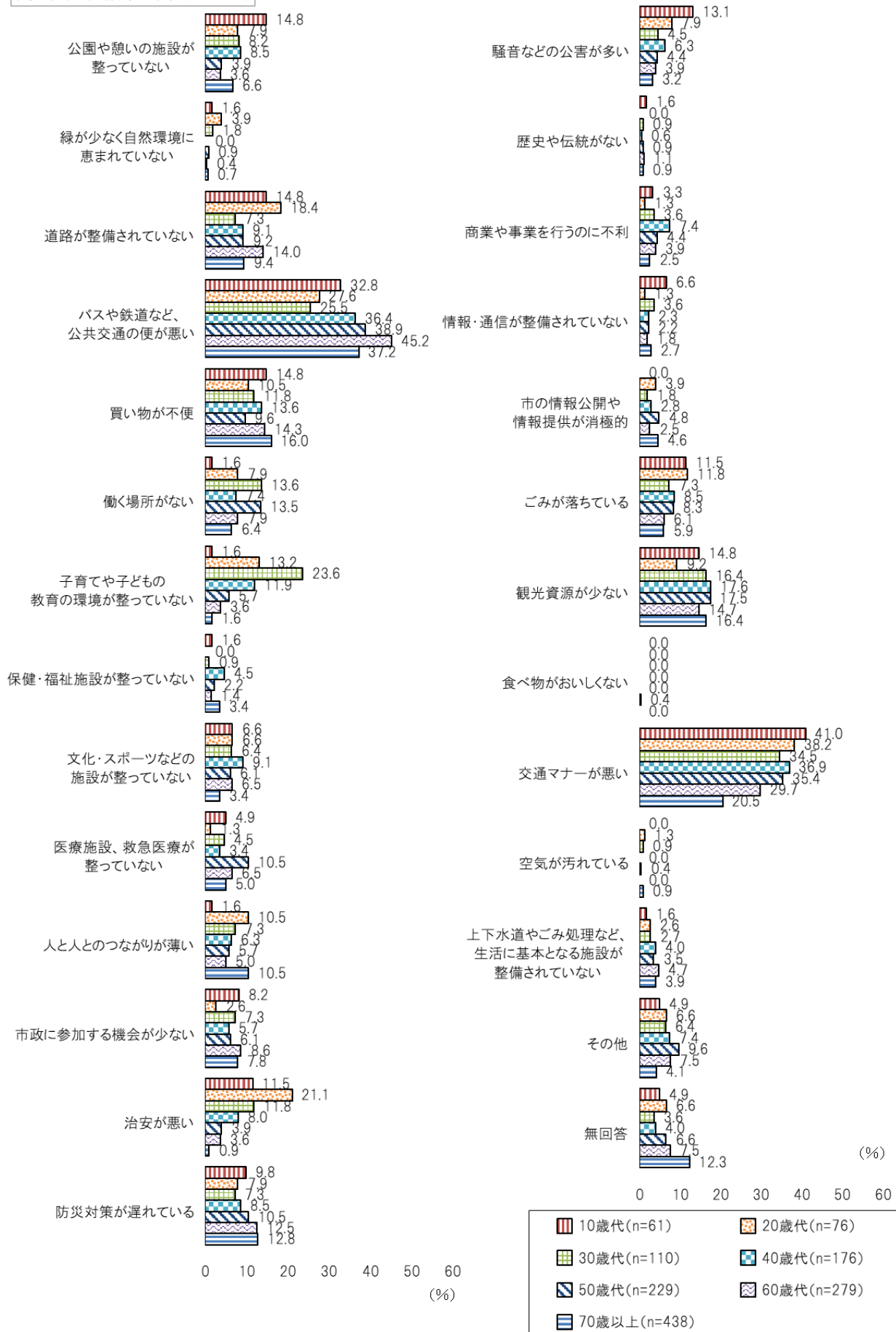
<上位3項目>

		1 番 目		2 番 目		3 番 目	
全体		バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.3%	交通マナーが悪い	30.1%	観光資源が少ない	15.8%
性別	男性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	35.0%	交通マナーが悪い	31.2%	観光資源が少ない	16.1%
	女性	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.7%	交通マナーが悪い	31.2%	買い物が不便	15.6%
年代別	10 歳代	交通マナーが悪い	41.0%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	32.8%	公園や憩いの施設が整っていない 道路が整備されていない 買い物が不便 観光資源が少ない	14.8%
	20 歳代	交通マナーが悪い	38.2%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	27.6%	治安が悪い	21.1%
	30 歳代	交通マナーが悪い	34.5%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	25.5%	子育てや子どもの教育の環境が整っていない	23.6%
	40 歳代	交通マナーが悪い	36.9%	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	36.4%	観光資源が少ない	17.6%
	50 歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	38.9%	交通マナーが悪い	35.4%	観光資源が少ない	17.5%
	60 歳代	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	45.2%	交通マナーが悪い	29.7%	観光資源が少ない	14.7%
	70 歳以上	バスや鉄道など、公共交通の便が悪い	37.2%	交通マナーが悪い	20.5%	観光資源が少ない	16.4%

問5(2) 松阪市の良くないところ



問5(2) 松阪市の良くないところ



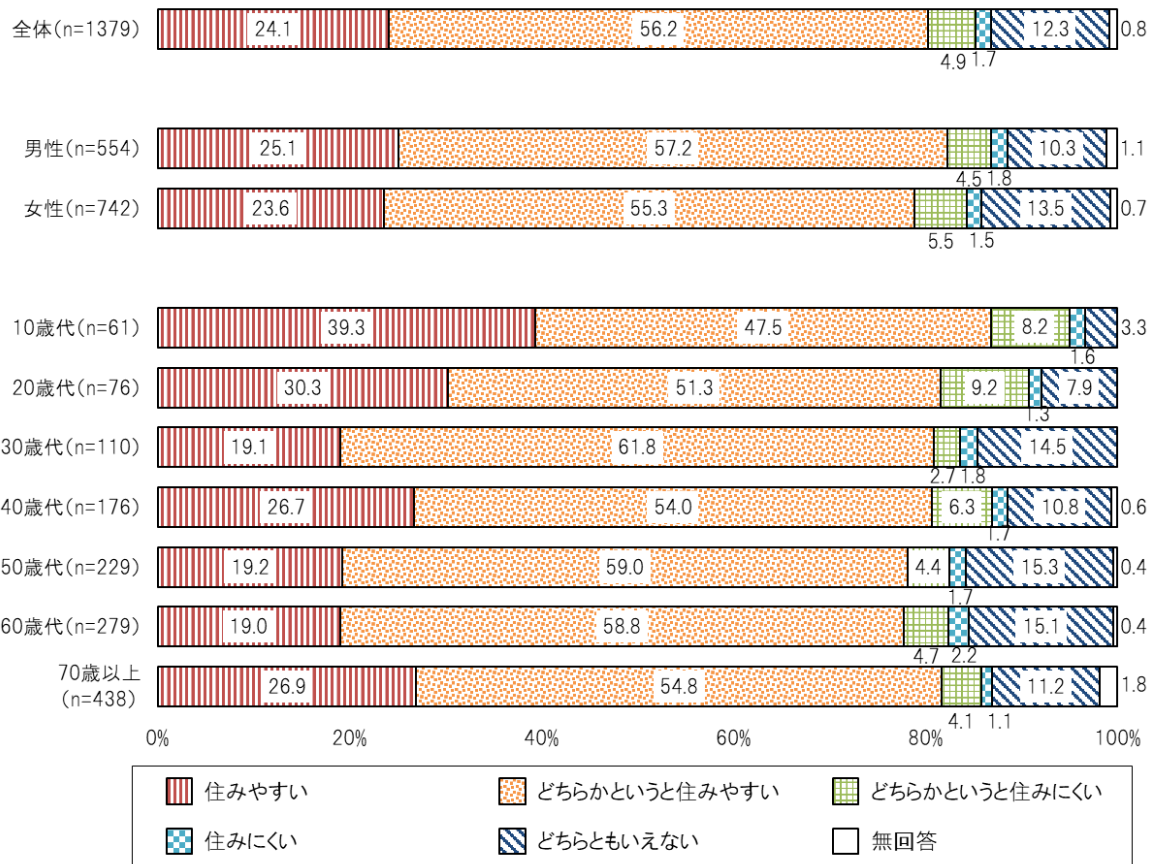
(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというに住みやすい」が56.2%と最も高く、次いで「住みやすい」が24.1%、「どちらともいえない」が12.3%となっている。

性別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、男性で82.3%、女性で78.9%と男性の方が女性より3.4ポイント高くなっている。

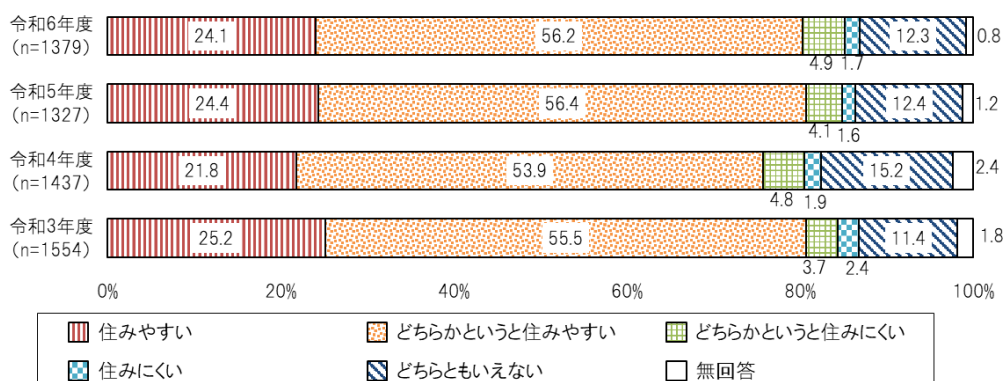
年代別にみると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合はいずれの年代も7割以上となっており、中でも10歳代では86.8%と最も高くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は、前回が80.8%であったのに対し今回は80.3%と0.5ポイント低くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか



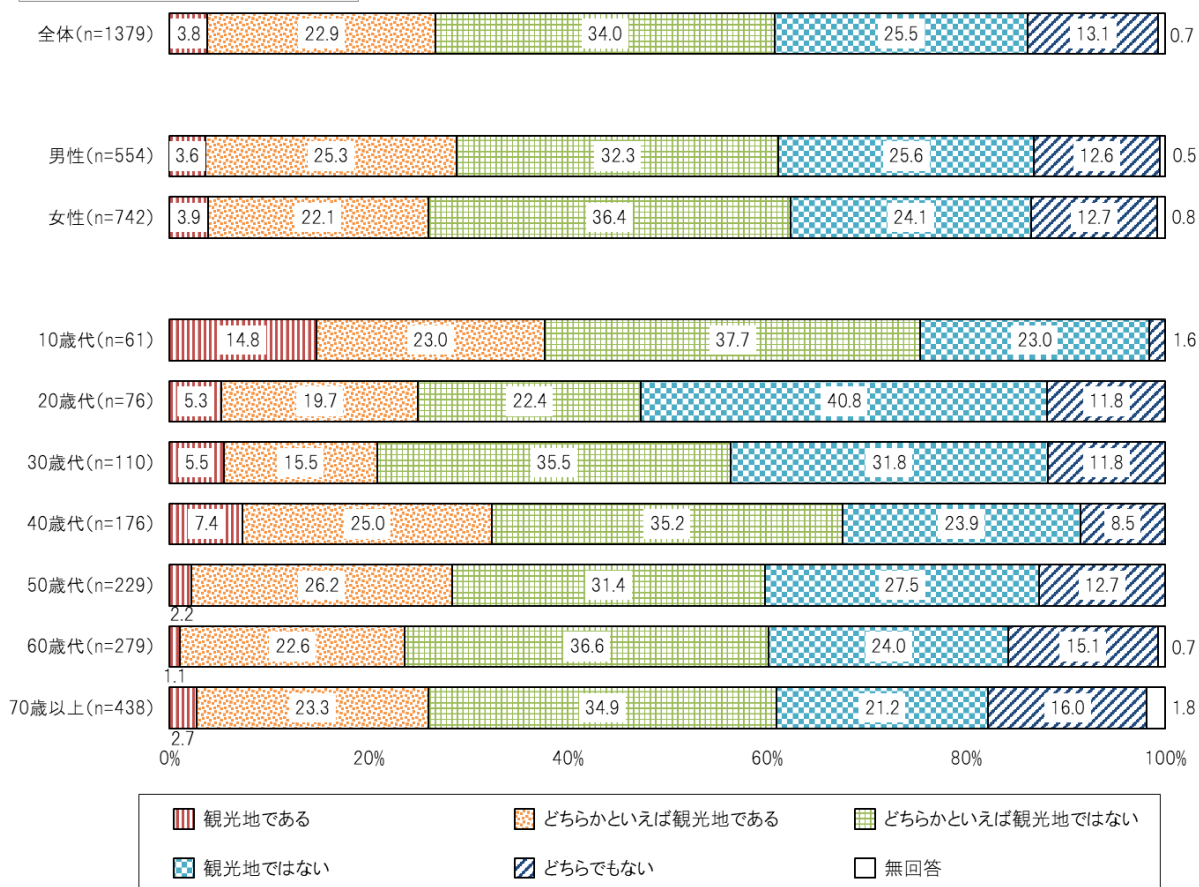
(4) あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(〇は1つだけ)

「どちらかという観光地ではない」が34.0%と最も高く、次いで「観光地ではない」が25.5%、「どちらかという観光地である」が22.9%となっている。

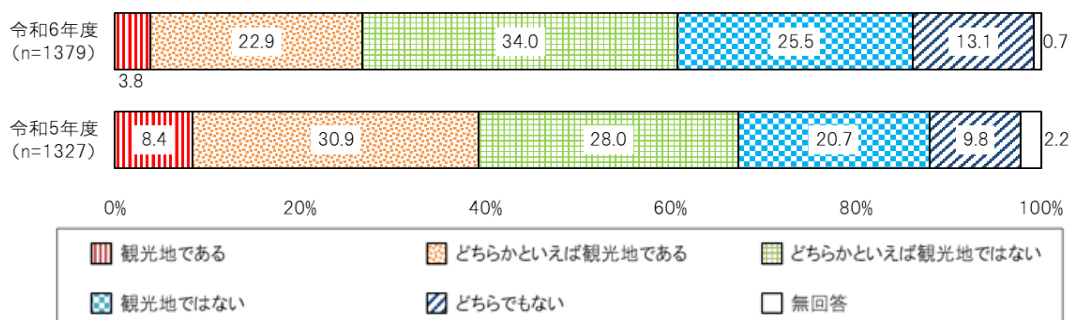
性別にみると、「観光地である」「どちらかという観光地である」の合計の割合は、男性で28.9%、女性で26.0%と男性の方が女性より2.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、「観光地である」「どちらかという観光地である」の合計の割合が最も高いのが10歳代で37.8%となっている。

問5(4) 松阪市を観光地だと思うか



問5(4) 松阪市を観光地だと思うか

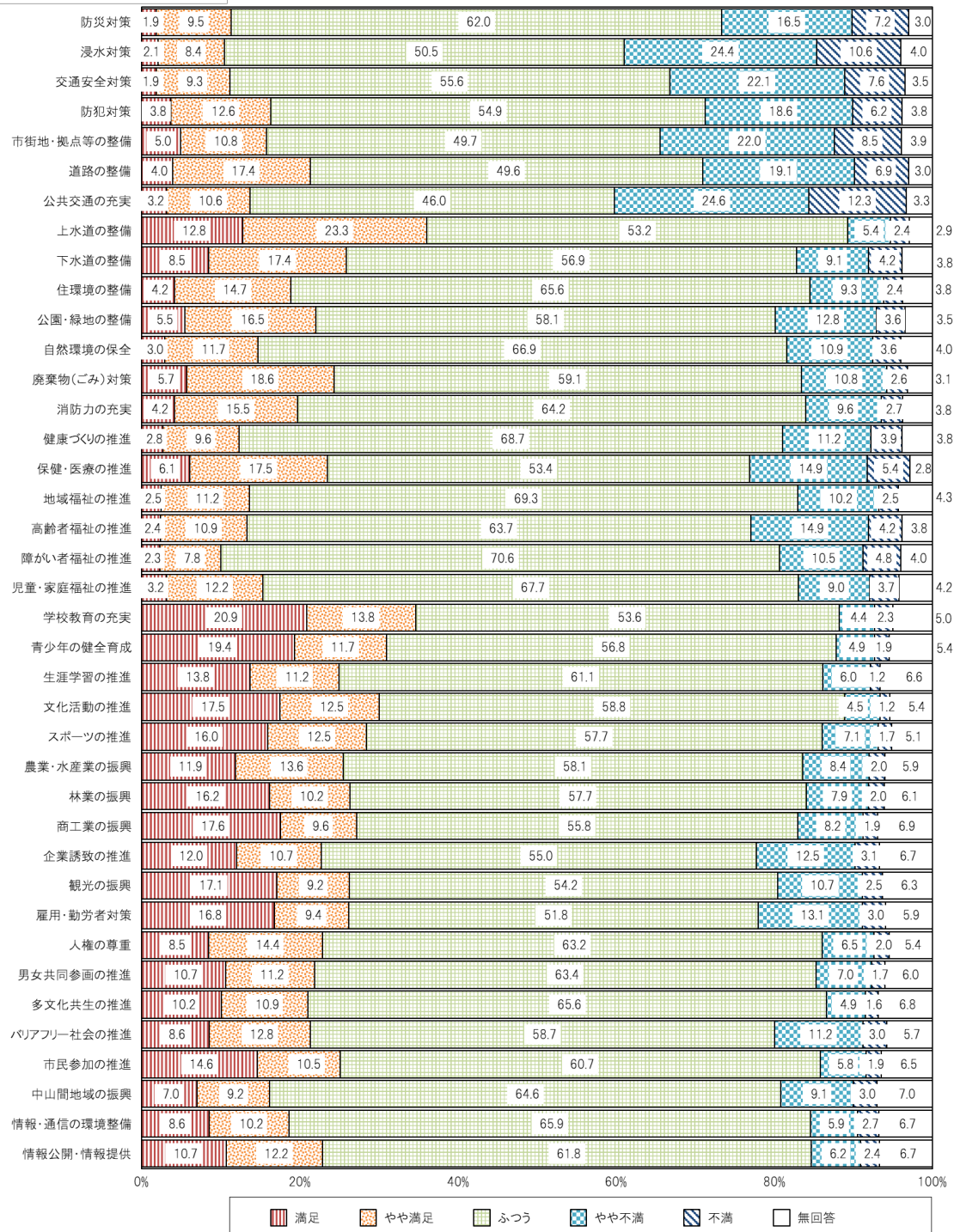


問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを（１）～（３９）の項目について、満足度、重要度でそれぞれ１つずつ選んで、○をつけてください。

（１）満足度

満足度（「満足」「やや満足」の合計）が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く36.1%となっており、次いで「学校教育の充実」が34.7%、「青少年の健全育成」が31.1%となっている。一方で不満度（「やや不満」「不満」）が高いものは、「公共交通の充実」が36.9%で最も高く、次いで「浸水対策」が35.0%、「市街地・拠点等の整備」が30.5%となっている。

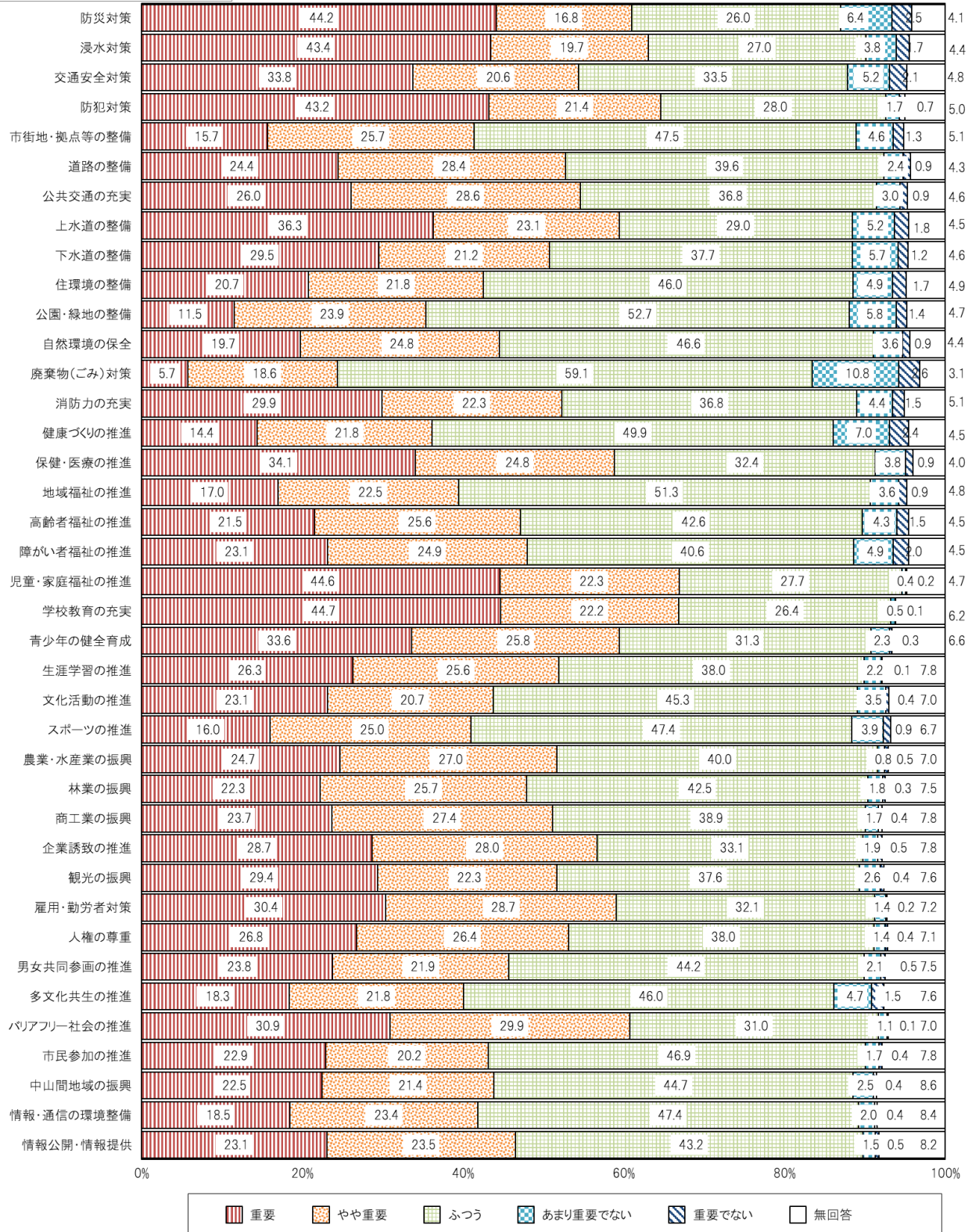
問6 松阪市の政策に対する満足度



(2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「児童・家庭福祉の推進」「学校教育の充実」が66.9%で最も高く、次いで「防犯対策」が64.6%となっている。

問6 松阪市の政策に対する重要度



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

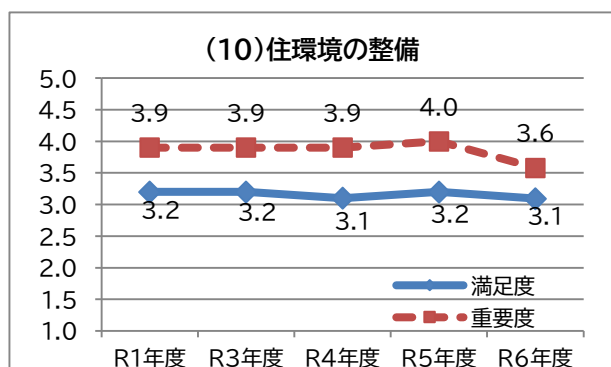
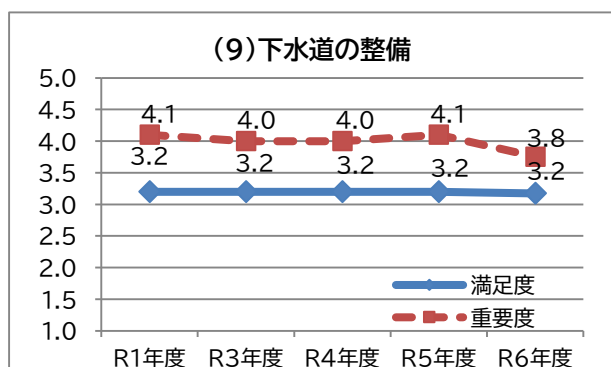
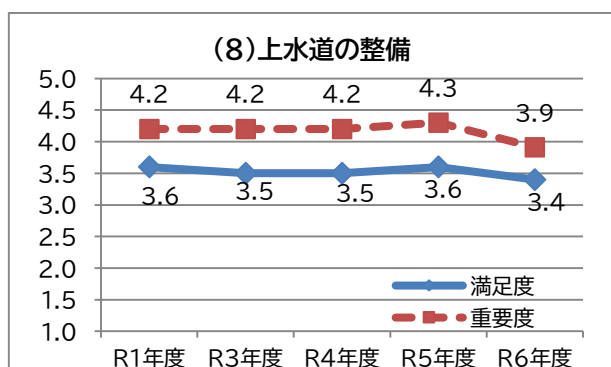
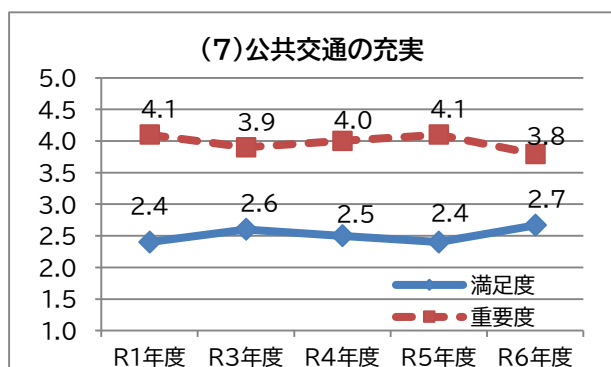
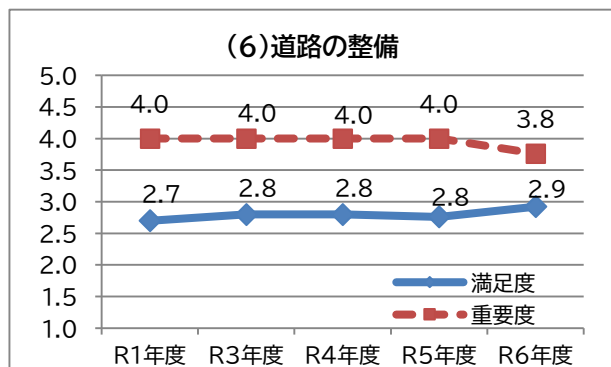
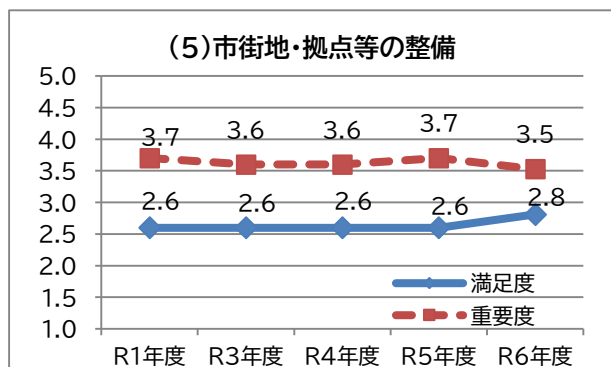
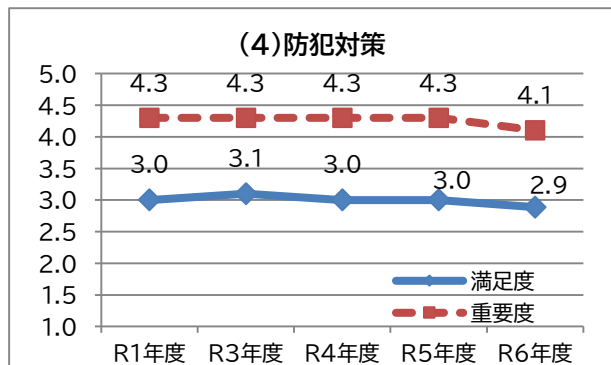
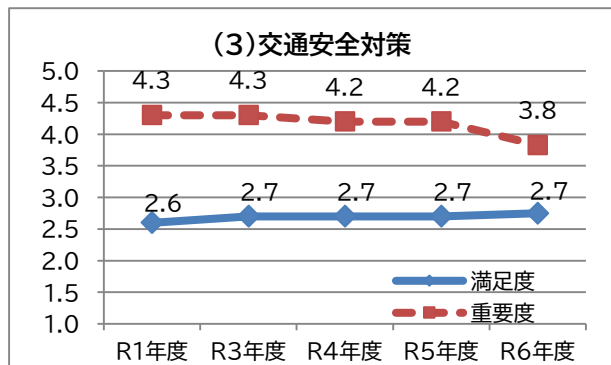
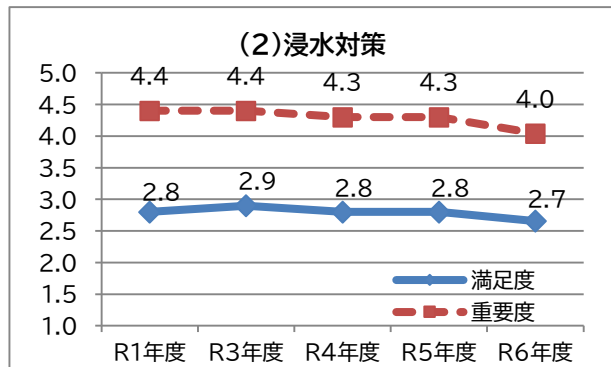
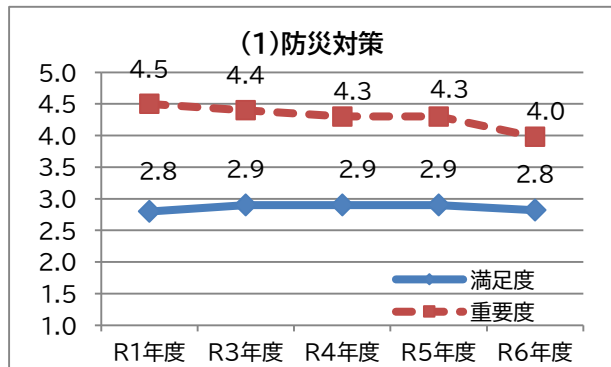
選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

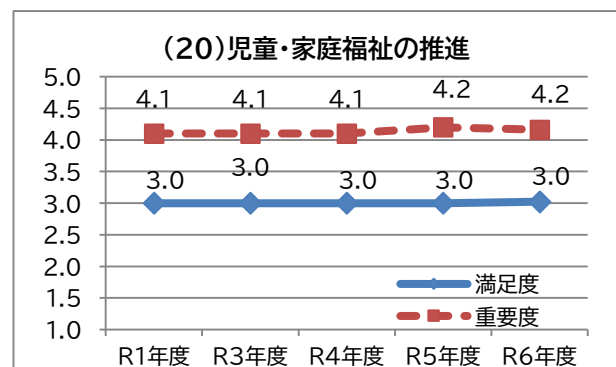
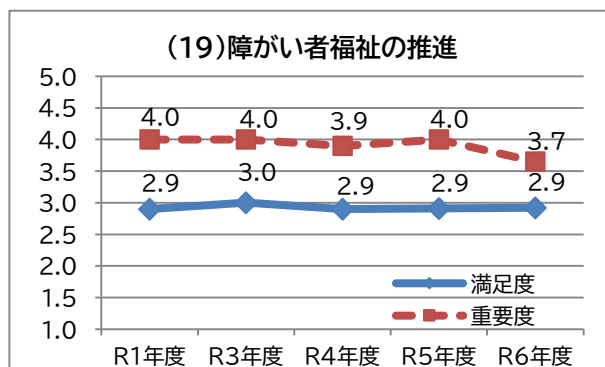
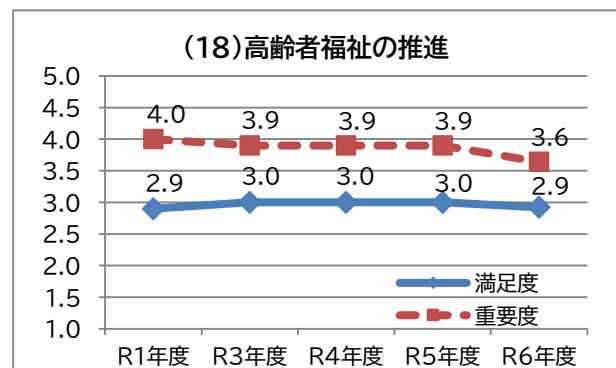
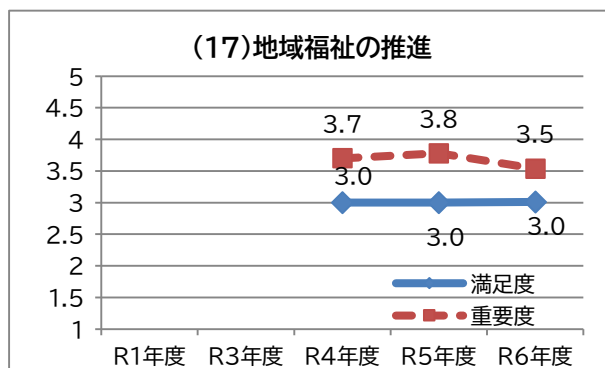
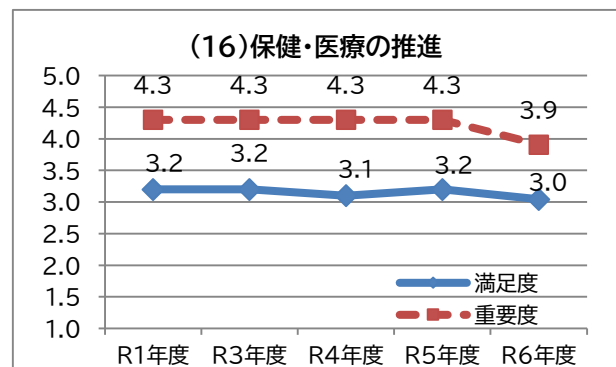
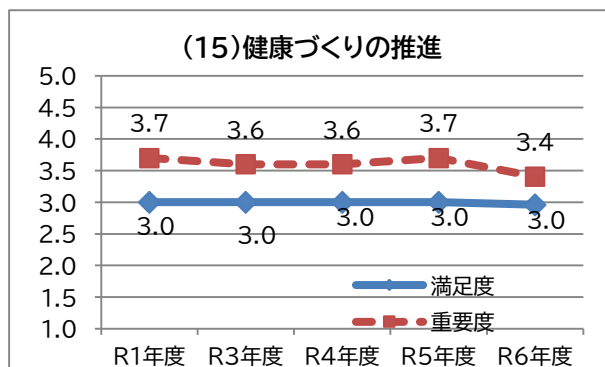
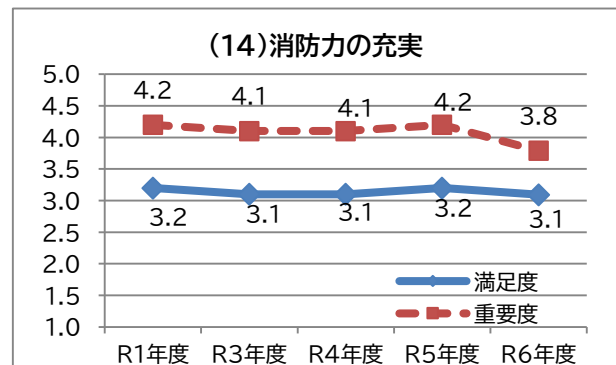
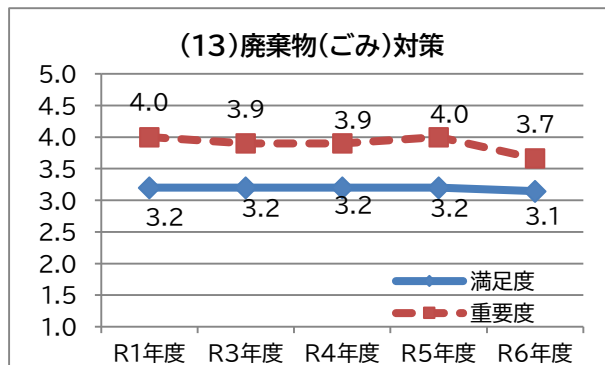
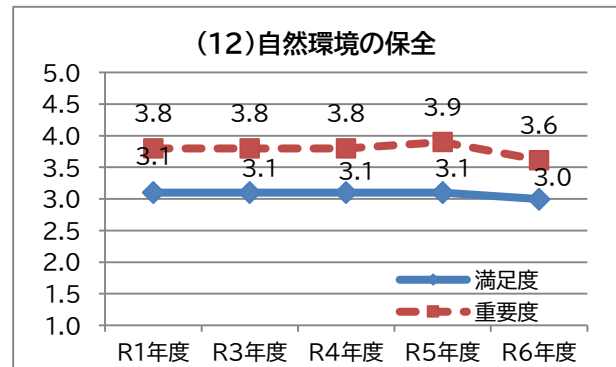
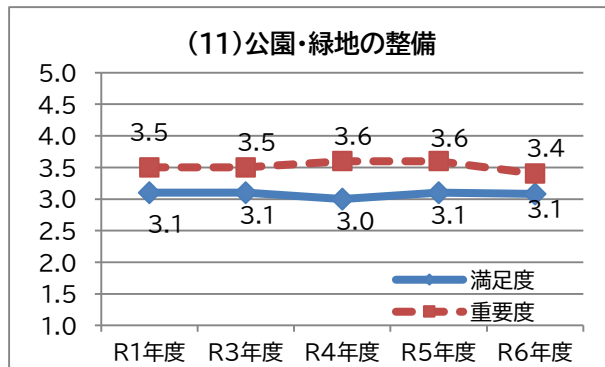
《評価得点の算出式》

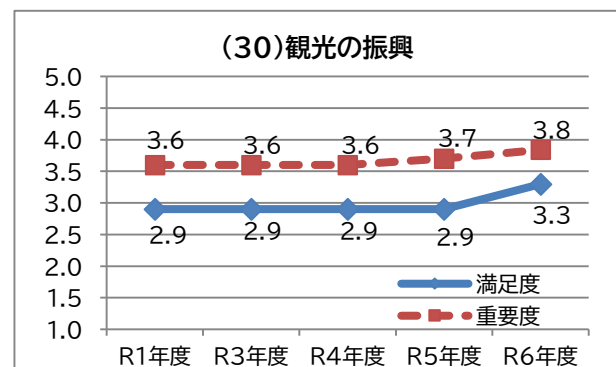
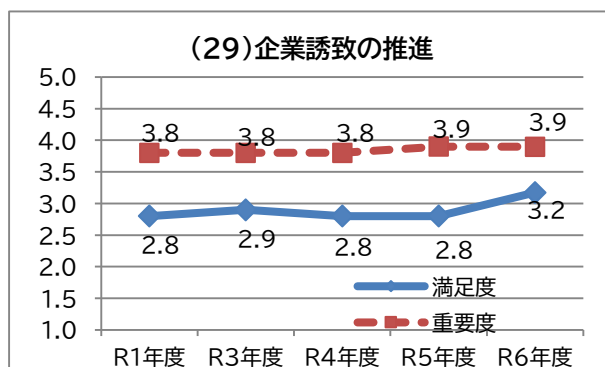
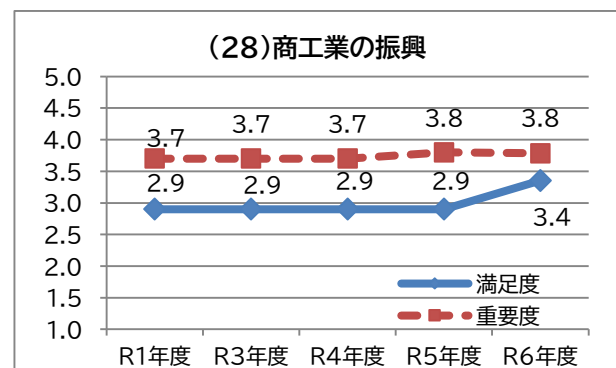
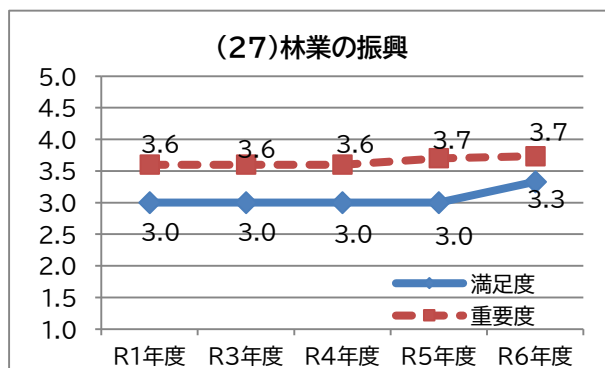
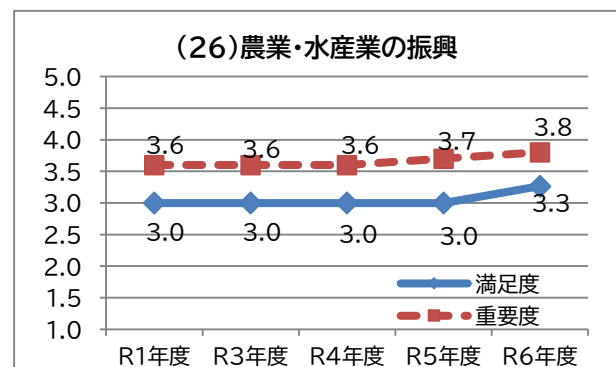
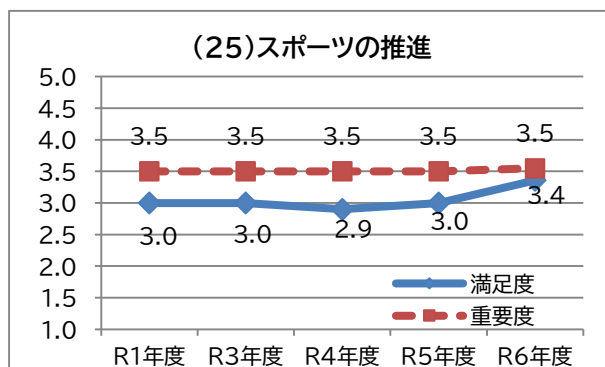
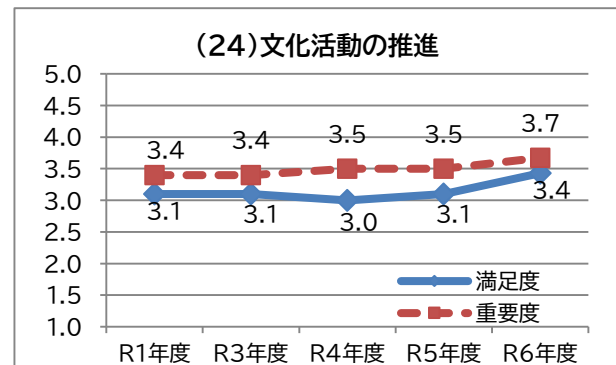
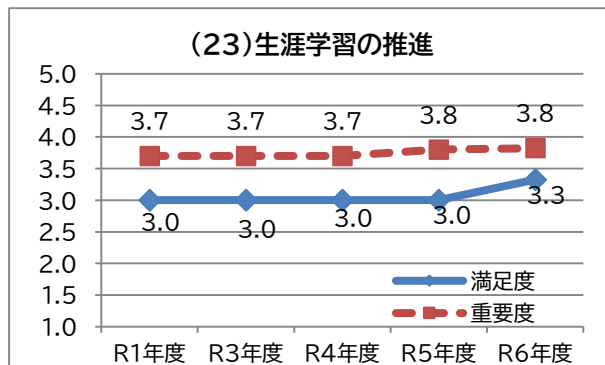
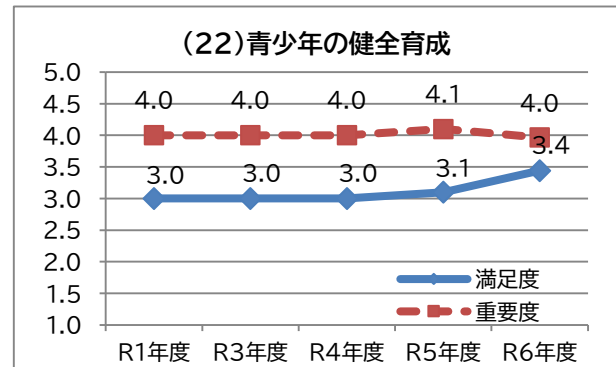
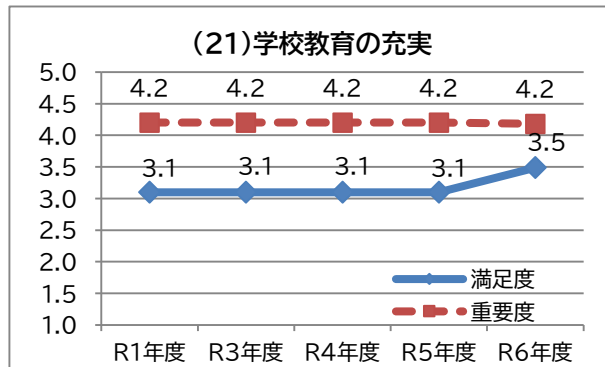
満足度＝	$\frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$
重要度＝	$\frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$

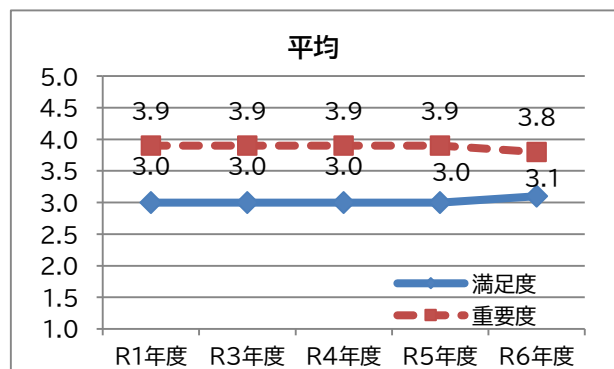
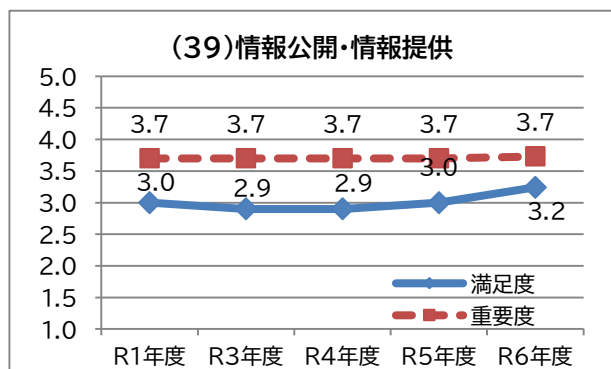
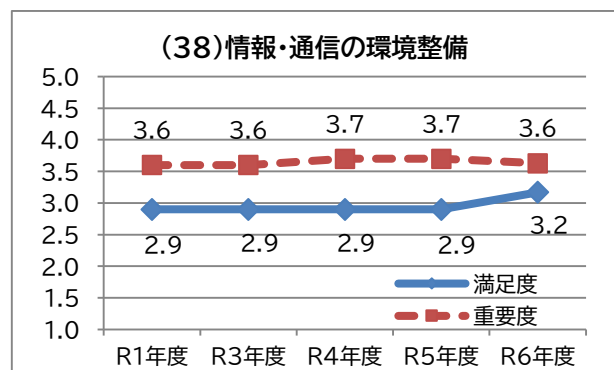
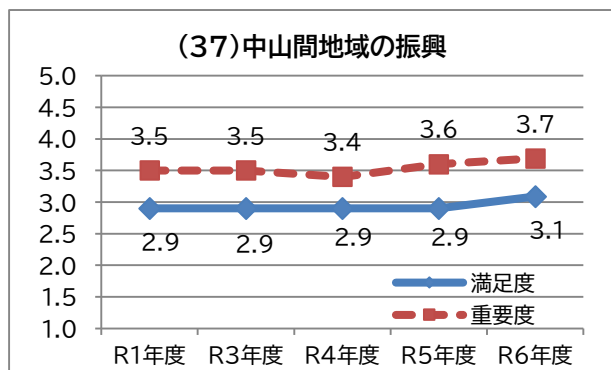
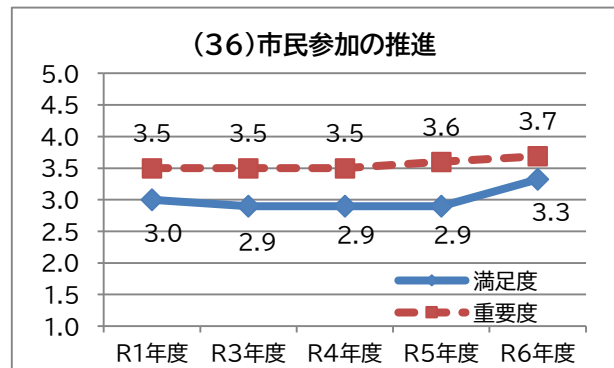
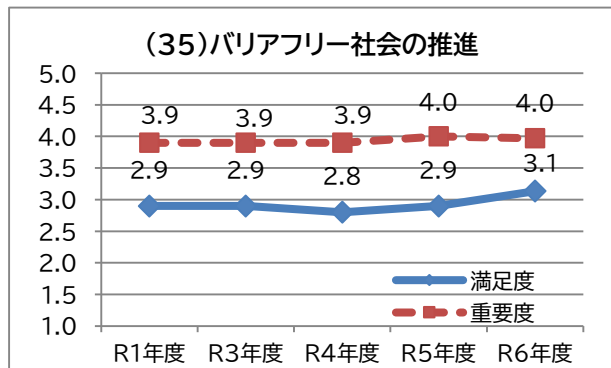
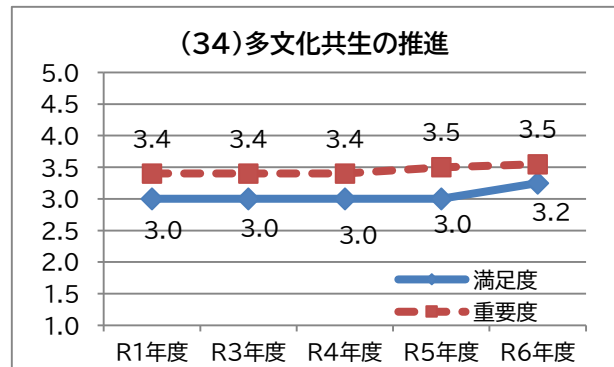
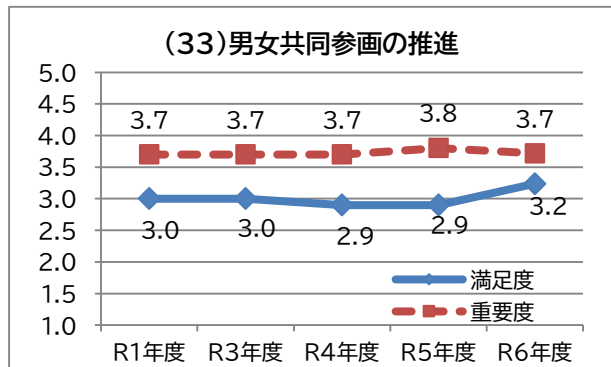
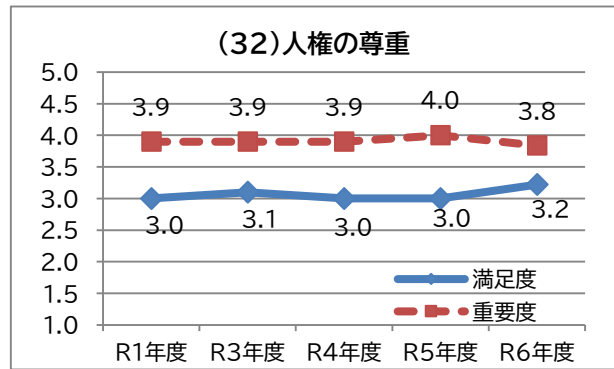
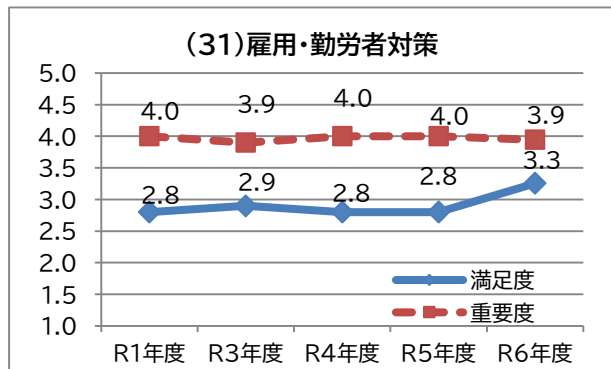
前回と比較すると、満足度では 39 項目中 25 項目が上昇、横ばい項目は無し、14 項目が下降となり、平均では 0.14 の上昇となっている。重要度をみると、39 項目中 12 項目が上昇、2 項目が横ばい、25 項目が下降となり、平均では 0.14 の下降となっている。

問6 松阪市の政策に対する満足度・重要度																			
項目 番号	施策	満足度						重要度											
		R1年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R1年度		R3年度		R4年度		R5年度	
1	防災対策	2.82	↗	2.87	↗	2.88	↗	2.90	↘	2.82	4.46	↘	4.37	↘	4.34	↘	4.30	↘	3.98
2	浸水対策	2.77	↗	2.85	↘	2.82	↗	2.83	↘	2.66	4.40	↘	4.36	↘	4.32	↘	4.29	↘	4.04
3	交通安全対策	2.55	↗	2.67	↘	2.71	↗	2.73	↗	2.75	4.33	↘	4.29	↘	4.23	↗	4.24	↘	3.83
4	防犯対策	2.95	↗	3.05	↘	2.97	↗	3.04	↘	2.89	4.32	↘	4.29	↘	4.28	↘	4.27	↘	4.10
5	市街地・拠点等の整備	2.57	↗	2.62	↘	2.56	↗	2.61	↘	2.81	3.66	↘	3.58	↗	3.61	↗	3.71	↘	3.53
6	道路の整備	2.74	↗	2.81	↘	2.77	↘	2.76	↗	2.92	4.02	↘	3.98	↘	3.97	↗	4.04	↘	3.76
7	公共交通の充実	2.39	↗	2.56	↘	2.47	↘	2.41	↗	2.67	4.07	↘	3.92	↗	3.95	↗	4.06	↘	3.79
8	上水道の整備	3.60	↘	3.53	↘	3.52	↗	3.61	↘	3.40	4.23	↘	4.18	↗	4.20	↗	4.27	↘	3.91
9	下水道の整備	3.22	↘	3.19	↘	3.15	↗	3.24	↘	3.17	4.07	↘	4.04	↗	4.02	↗	4.08	↘	3.76
10	住環境の整備	3.17	→	3.17	↘	3.13	↗	3.21	↘	3.09	3.88	↘	3.87	→	3.87	↗	3.95	↘	3.58
11	公園・緑地の整備	3.10	↗	3.12	↘	3.05	↗	3.10	↘	3.08	3.50	↗	3.54	↗	3.56	↗	3.61	↘	3.40
12	自然環境の保全	3.05	↗	3.06	→	3.06	↗	3.08	↘	3.00	3.75	↗	3.78	↘	3.76	↗	3.85	↘	3.61
13	廃棄物（ごみ）対策	3.17	↗	3.18	↘	3.16	↗	3.19	↘	3.15	3.97	↘	3.88	↗	3.92	↗	3.98	↘	3.66
14	消防力の充実	3.15	↘	3.12	↘	3.13	↗	3.16	↘	3.09	4.18	↘	4.11	↗	4.14	↗	4.15	↘	3.79
15	健康づくりの推進	3.02	↗	3.04	↘	2.99	↗	3.03	↘	2.96	3.67	↘	3.60	↗	3.62	↗	3.72	↘	3.41
16	保健・医療の推進	3.19	↗	3.16	↘	3.14	↗	3.18	↘	3.04	4.30	↘	4.28	↘	4.30	↘	4.28	↘	3.91
17	地域福祉の推進					3.01	↗	3.02	↘	3.01					3.72	↗	3.78	↘	3.54
18	高齢者福祉の推進	2.94	↗	3.03	↘	2.97	↗	2.98	↘	2.92	4.02	↘	3.92	↘	3.90	↗	3.94	↘	3.64
19	障がい者福祉の推進	2.92	↗	2.97	↘	2.90	↗	2.91	↘	2.92	4.00	↘	3.98	↘	3.94	↗	4.01	↘	3.65
20	児童・家庭福祉の推進	3.01	↗	3.03	↘	2.96	↗	2.99	↘	3.02	4.12	→	4.12	↘	4.13	↗	4.16	→	4.16
21	学校教育の充実	3.08	→	3.08	→	3.08	↗	3.12	↘	3.49	4.15	↗	4.19	→	4.19	↘	4.18	→	4.18
22	青少年の健全育成	3.03	↗	3.04	↘	3.00	↗	3.05	↗	3.44	4.04	↘	4.01	↗	4.03	↗	4.09	↘	3.97
23	生涯学習の推進	2.97	↗	2.98	↘	2.95	↗	2.99	↘	3.32	3.67	↘	3.66	↘	3.68	↗	3.75	↘	3.82
24	文化活動の推進	3.10	→	3.10	↘	3.04	↗	3.10	↘	3.43	3.44	↘	3.40	↗	3.45	↗	3.51	↗	3.67
25	スポーツの推進	3.00	↗	2.98	↘	2.94	↗	3.00	↗	3.36	3.49	↘	3.47	↗	3.49	↗	3.52	↗	3.55
26	農業・水産業の振興	3.01	↗	3.02	↘	2.97	↗	3.01	↗	3.27	3.62	↘	3.59	↗	3.63	↗	3.72	↘	3.80
27	林業の振興	2.95	↗	2.96	↘	2.95	↗	2.96	↘	3.33	3.57	→	3.57	↘	3.55	↗	3.65	↗	3.73
28	商工業の振興	2.89	↗	2.93	↘	2.88	→	2.88	↗	3.35	3.68	→	3.68	↗	3.69	↗	3.75	↗	3.78
29	企業誘致の推進	2.82	↗	2.85	↘	2.81	↗	2.79	↗	3.17	3.79	↘	3.78	↗	3.82	↗	3.85	↘	3.90
30	観光の振興	2.93	↗	2.94	↘	2.90	↗	2.92	↘	3.30	3.59	↘	3.56	↗	3.62	↗	3.69	↗	3.84
31	雇用・勤労者対策	2.79	↗	2.85	↘	2.80	↘	2.79	↘	3.26	3.95	↘	3.94	↗	3.95	↗	4.03	↘	3.94
32	人権の尊重	3.00	↗	3.06	↘	3.01	↗	3.04	↘	3.22	3.85	↗	3.89	→	3.89	↗	3.98	↘	3.84
33	男女共同参画の推進	2.95	↗	3.00	↘	2.93	→	2.93	↘	3.24	3.68	↗	3.71	→	3.71	↗	3.81	↘	3.72
34	多文化共生の推進	2.96	↗	3.00	↘	2.97	↗	3.00	↗	3.25	3.35	↗	3.42	↘	3.40	↗	3.48	↗	3.55
35	バリアフリー社会の推	2.86	↗	2.89	↘	2.84	↗	2.85	↗	3.13	3.92	→	3.92	→	3.92	↗	3.98	↘	3.97
36	市民参加の推進	2.95	↗	2.94	↘	2.90	↗	2.93	↘	3.32	3.52	→	3.52	↘	3.51	↗	3.61	↗	3.69
37	中山間地域の振興	2.88	↗	2.92	↘	2.89	↗	2.90	↘	3.09	3.46	↘	3.45	↘	3.44	↗	3.56	↗	3.69
38	情報・通信の環境整備	2.94	↘	2.92	↘	2.87	↗	2.90	↘	3.17	3.62	→	3.62	↗	3.67	↗	3.70	↘	3.63
39	情報公開・情報提供	2.96	↗	2.93	↘	2.92	↗	2.95	↘	3.24	3.70	↘	3.69	↘	3.68	↗	3.72	↘	3.73
平均		2.96	↗	2.98	↘	2.95	↗	2.98	↗	3.12	3.87	↘	3.85	→	3.85	↗	3.91	↘	3.77





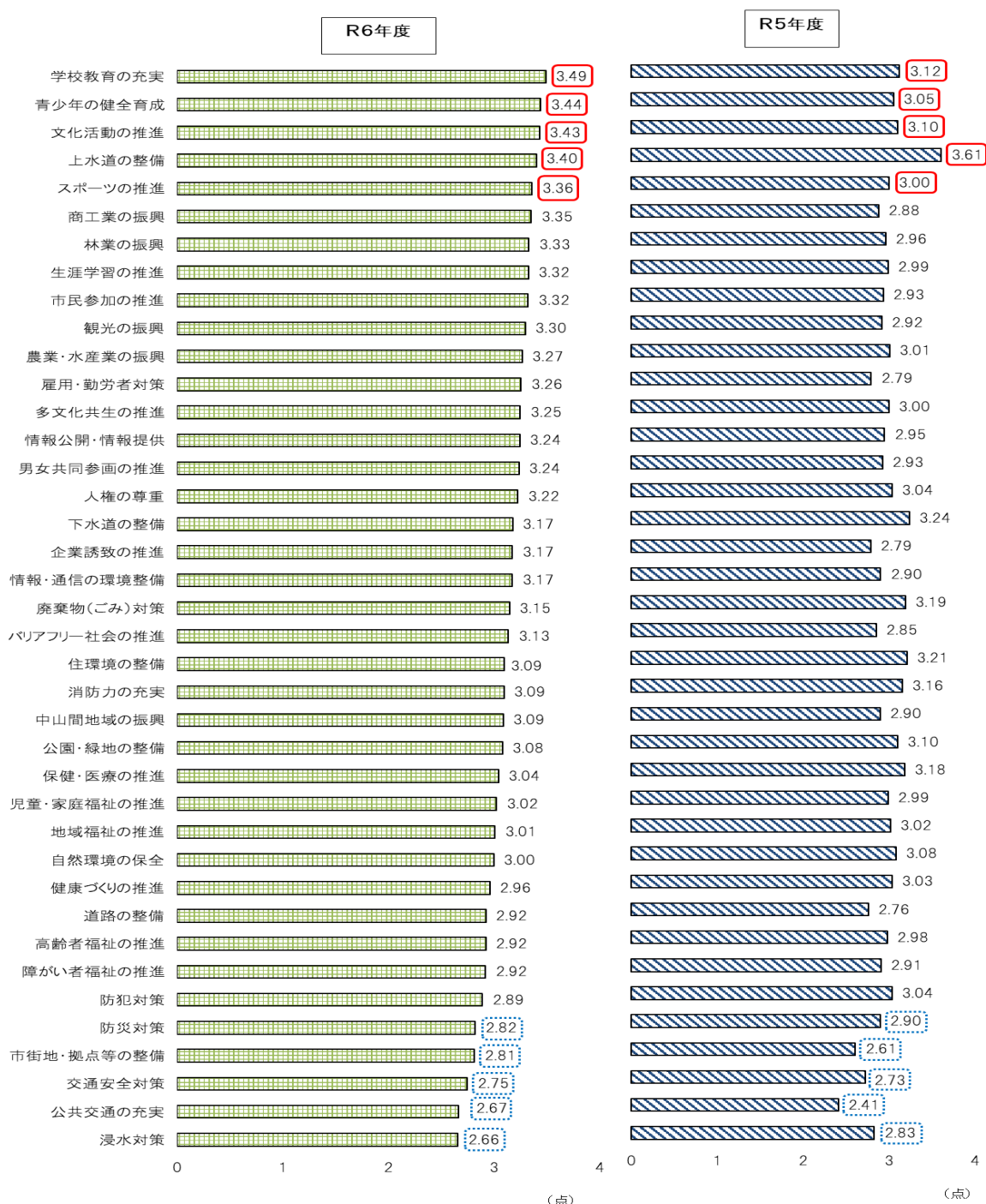




満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回「学校教育の充実」「青少年の健全育成」「文化活動の推進」「上水道の整備」が新たに上位5項目に入っている。「上水道の整備」は前回と比べ低くなっている。下位5項目については新たに3項目が入り、それらのうち「市街地・拠点等の整備」「交通安全対策」「公共交通の充実」は満足度が上昇、「防災対策」「浸水対策」は低くなっている。

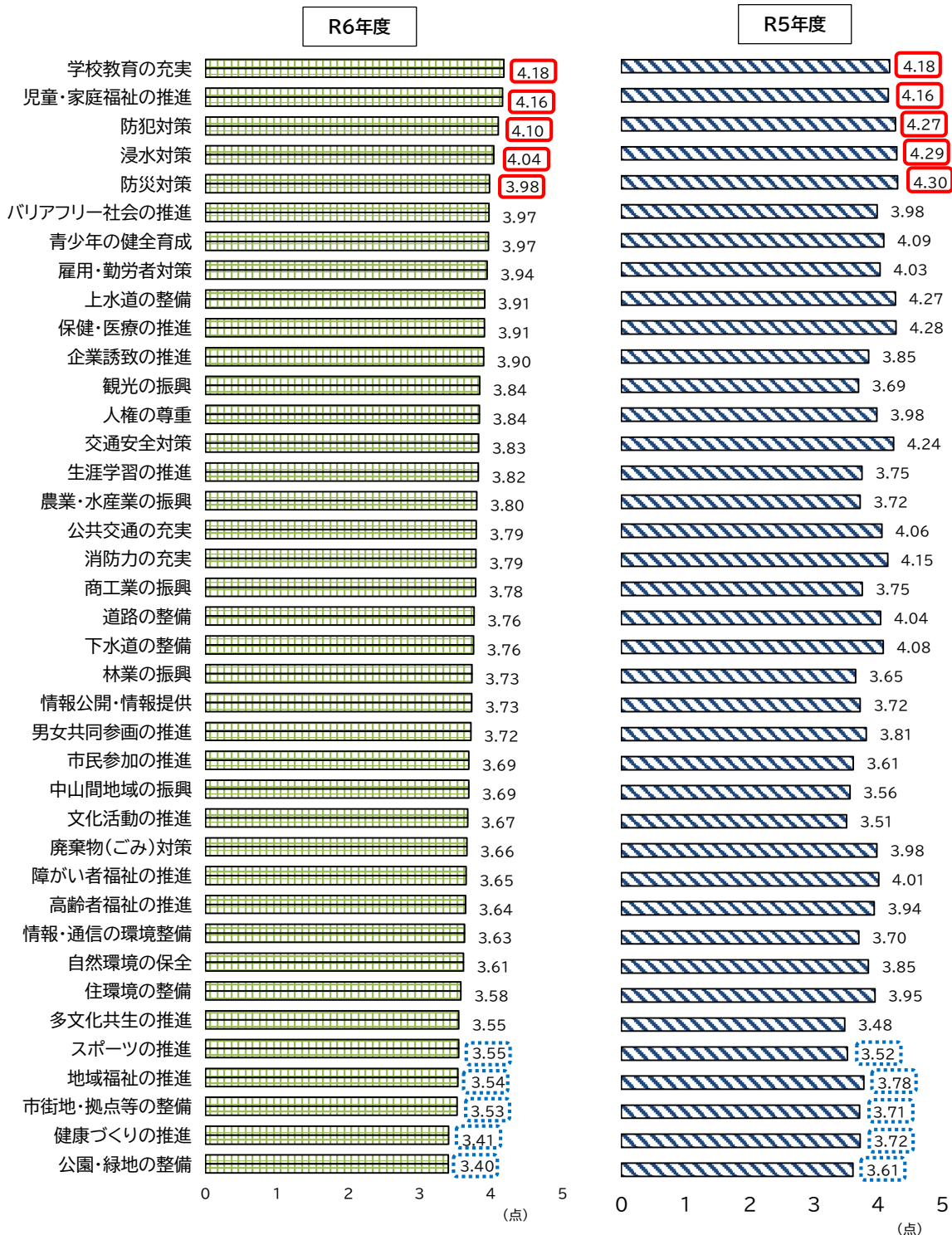
問6 松阪市の政策に対する満足度



重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回「学校教育の充実」「児童・家庭福祉の推進」が新たに上位5項目に入っている。重要度は「防犯対策」「浸水対策」「防災対策」の3項目で低くなっている。下位5項目は「地域福祉の推進」「市街地・拠点等の整備」「健康づくりの推進」「公園・緑地の整備」の4項目が新たに入っている。「スポーツの推進」は重要度が上昇している。

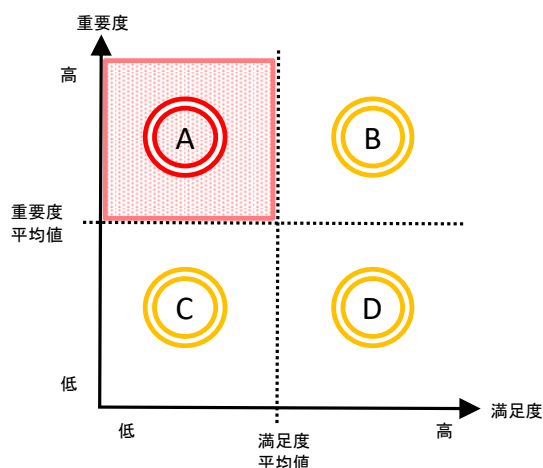
問6 松阪市の政策に対する重要度



39 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。



《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができる。

最重点項目の判定基準

- ・ 満足度⇒平均値を下回る
- ・ 重要度⇒平均値を上回る

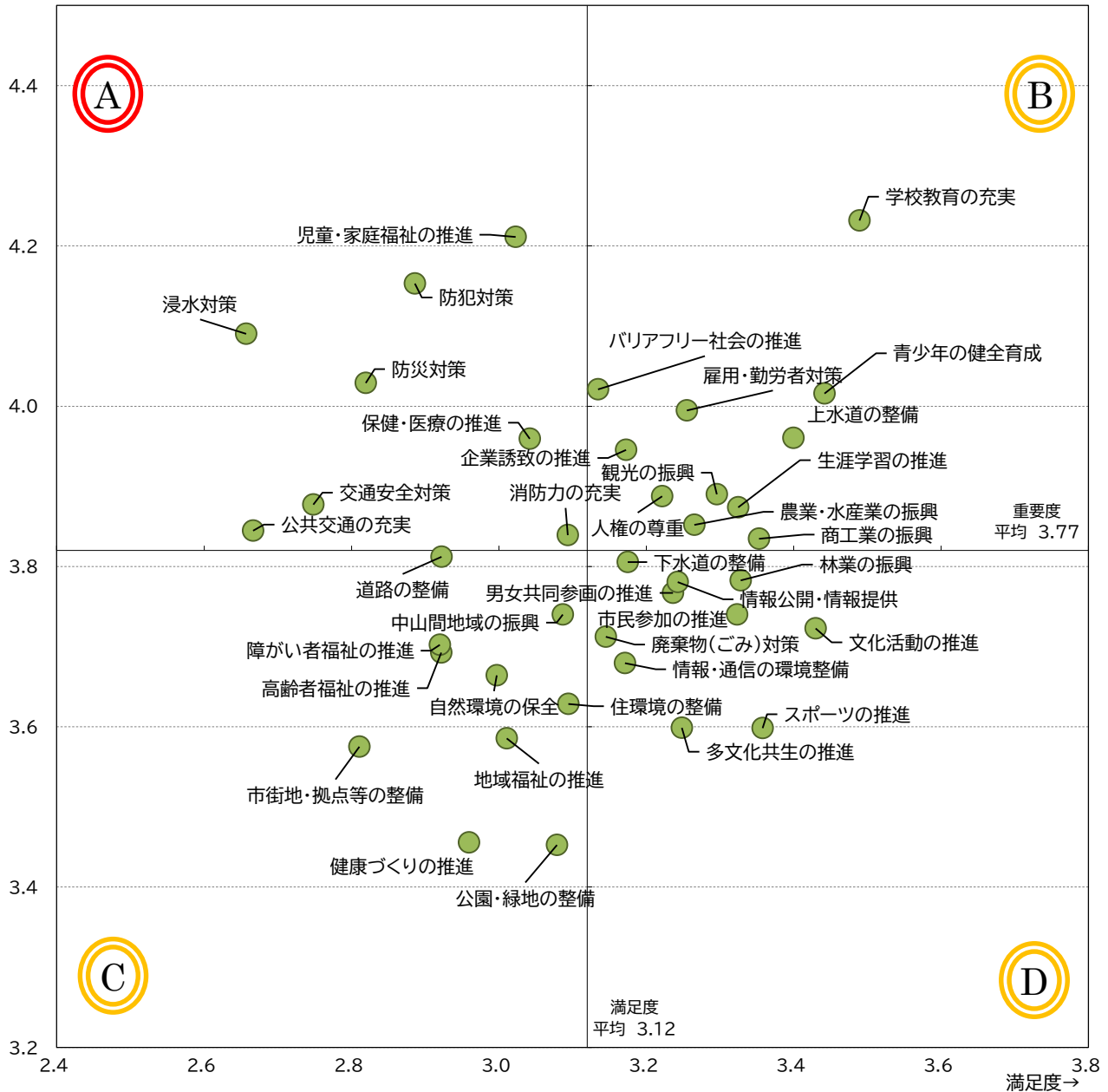
《施策項目に対する考え方》

分類

- | | | |
|-----|-----------------|-----------------------------|
| ① A | 満足度が低く、重要度が高い ⇒ | 最重点項目（優先すべき施策） |
| ② B | 満足度が高く、重要度が高い ⇒ | これまで通り継続して実施すべき施策 |
| ③ C | 満足度が低く、重要度が低い ⇒ | 施策内容等を見直し、検討を要する施策 |
| ④ D | 満足度が高く、重要度が低い ⇒ | これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策 |

満足度と重要度の関係

↑重要度



前頁の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりとなる。

A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)

B

これまで通り継続して実施すべき施策

- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
- 安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)
- 子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)
- 子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)
- 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)
- 魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 地域資源を生かした観光政策(観光の振興)
- 生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)
- 地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)

C

施策内容等を見直し、検討を要する施策

- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)
- お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)
- 中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)
- 気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)
- 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)
- 元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)
- さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)

D

これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策

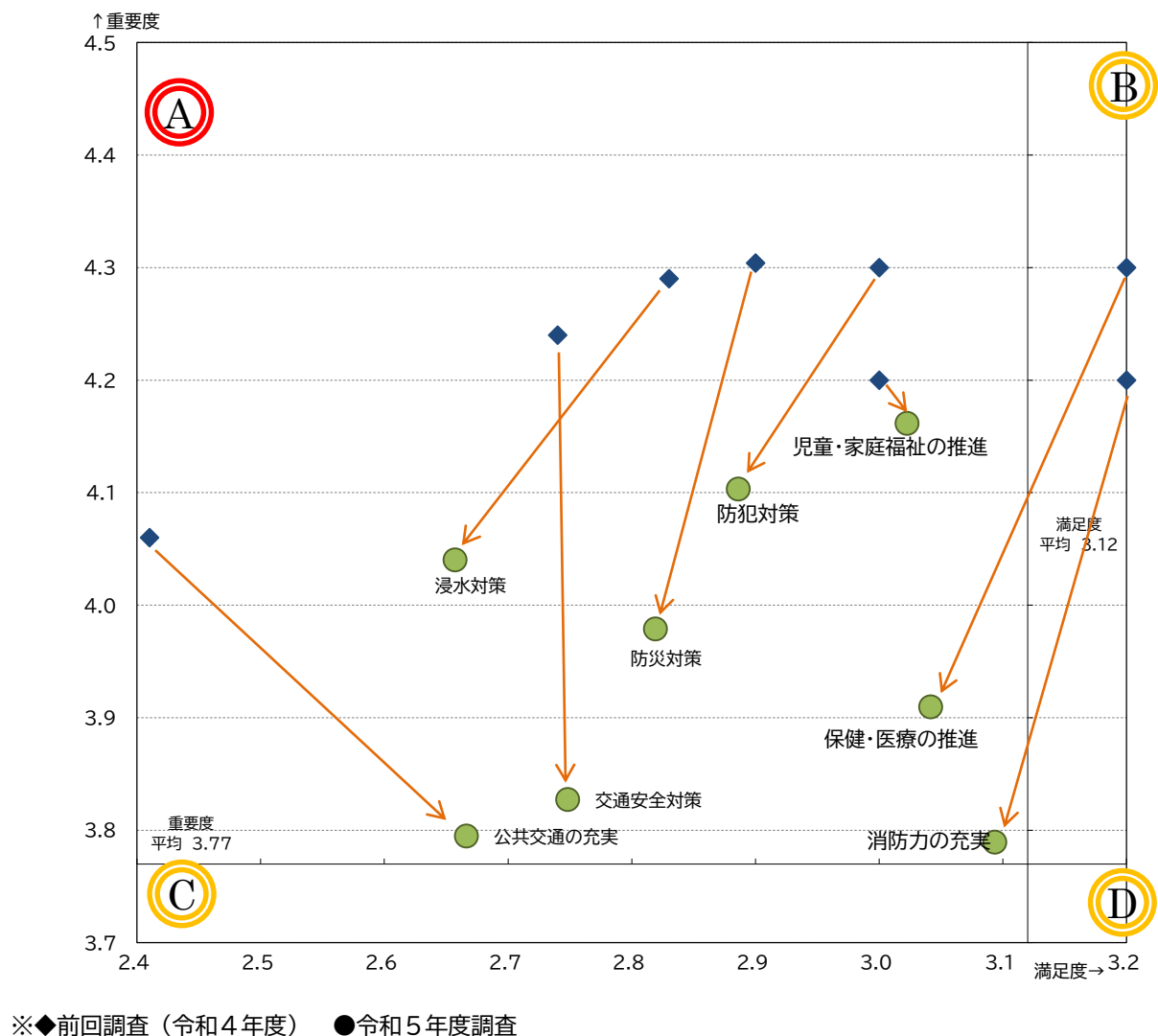
- 生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)
- ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)
- 森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)
- 男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)
- 市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)
- 市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)
- 市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)
- 地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)
- 気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)
- 外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)

最重点項目について前回と比較した結果は以下のとおりとなる。

8つの重点項目をみると、4つのパターンに分かれる。

- ①『満足度が微増および横ばい（0～0.05 以下）』かつ『重要度が微増および横ばい（0～0.05 以下）』
 - 「交通安全対策」があげられる。
- ②『満足度が微増および横ばい（0～0.05 以下）』かつ『重要度が微減および横ばい（0～0.05 以上）』
 - 「防災対策」「浸水対策」があげられる。
- ③『満足度が低い』かつ『重要度が高い』
 - 「公共交通の充実」があげられる。
- ④『満足度が微減および横ばい（0～-0.05 以上）』かつ『重要度が高い』
 - 「道路の整備」「障がい者福祉の推進」「雇用・勤労者対策」「バリアフリー社会の推進」があげられる。

満足度と重要度の関係



ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

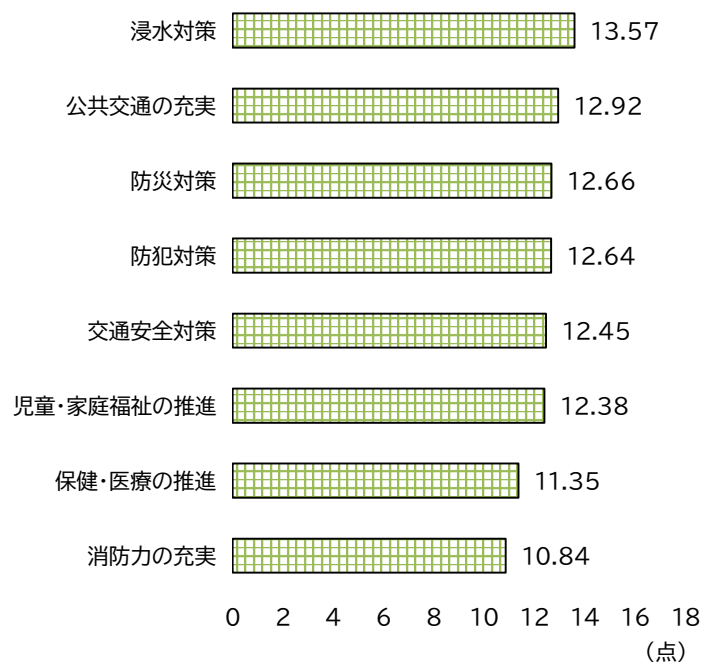
優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数（満足度と重要度の両方が回答された数）}$$

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「浸水対策」「公共交通の充実」「防災対策」「防犯対策」等のニーズ得点が高くなっている。

問6 松阪市の政策に対するニーズ得点



満足度と重要度から、居住地別に「市民が優先して求めている施策」を検討する。

回答者が居住する町によって、住民自治協議会のブロック別（管内別）に分類している。
※複数の住民自治協議会に跨る町については、便宜的にどちらかのブロックに分類を行った。

①中央第一ブロック

松阪中央住民協議会・幸まちづくり協議会・鈴の森住民自治協議会

②中部ブロック

花岡住民自治協議会

③中央第二ブロック

第二地区まちづくり協議会・神戸まちづくり協議会・徳和住民自治協議会・東住民自治協議会

④北部ブロック

港住民自治協議会・松ヶ崎住民自治協議会・第四地区住民協議会

⑤東部ブロック

あさみ住民自治協議会・掃水住民自治協議会・漕代まちづくり協議会・
西黒部まちづくり協議会・東黒部住民自治協議会・機殿住民自治協議会

⑥南部ブロック

大石地区住民自治協議会・茅広江住民自治協議会・射和まちづくり協議会

⑦西部ブロック

伊勢寺地区住民自治協議会・あざか住民自治協議会・宇気郷住民協議会・
松尾住民自治協議会・大河内地区住民自治協議会

⑧嬉野ブロック（嬉野管内）

嬉野宇気郷住民協議会・中郷まちづくり協議会・豊地まちづくり協議会・
嬉野中川まちづくり協議会・豊田住民自治協議会・中原まちづくり協議会

⑨三雲ブロック（三雲管内）

米ノ庄住民自治協議会・天白まちづくり協議会・鵠住民自治協議会・おのえ住民協議会

⑩飯南ブロック（飯南管内）

有間野区住民自治協議会・粥見住民自治協議会・仁柿住民自治協議会・柿野住民自治協議会

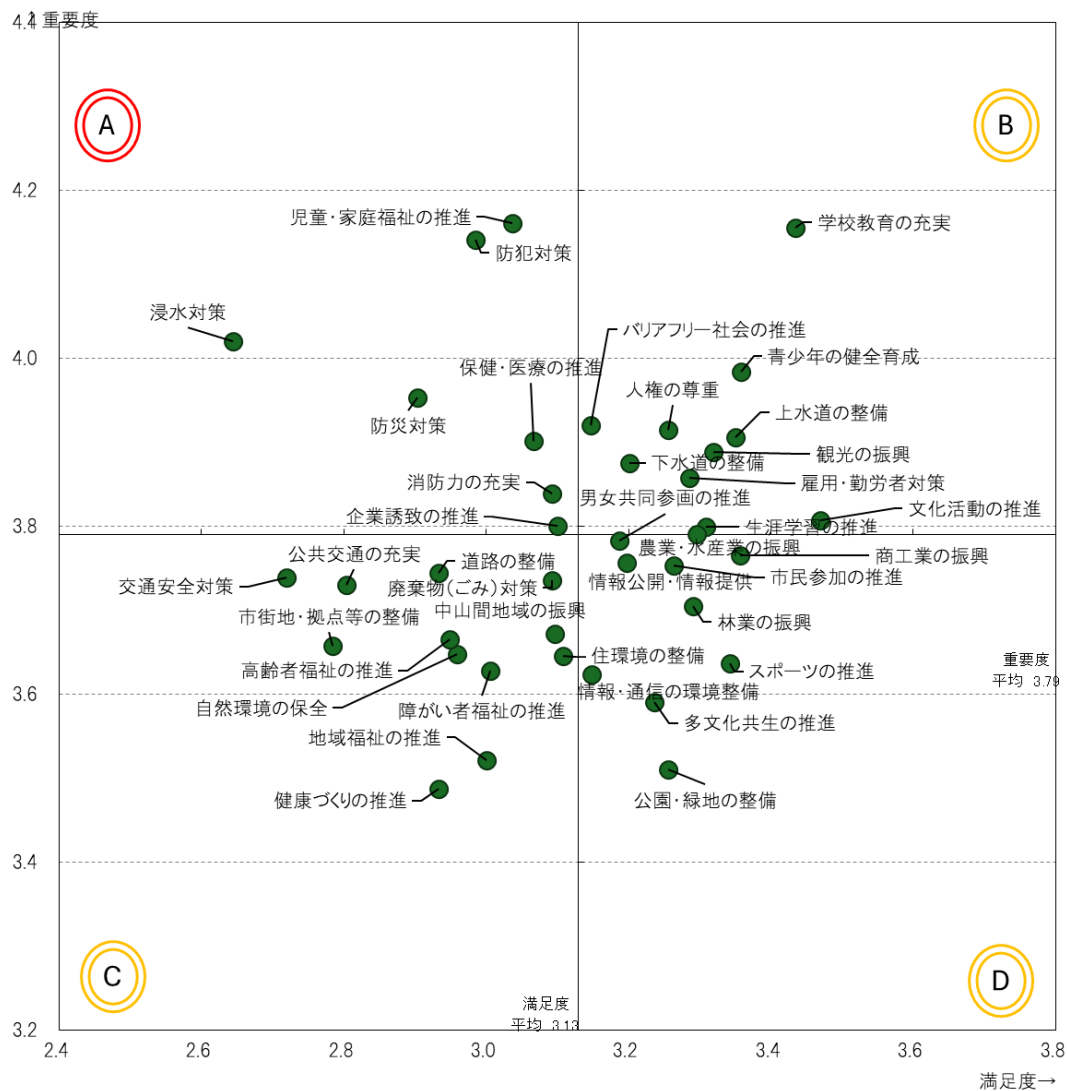
⑪飯高ブロック（飯高管内）

宮前まちづくり協議会・川俣住民自治協議会・森住民自治協議会・波瀬むらづくり協議会

《中央第一》

湊町、白粉町、日野町、新町、新座町、殿町、魚町、中町、中町六丁目、本町、西町、川井町、黒田町、京町、京町一区、桜町、末広町一丁目、泉町、五月町、内五曲町、大黒田町、船江町、塚本町、曲町、田牧町、井村町、外五曲町、西之庄町

満足度と重要度の関係



最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)

駅部田町、小黒田町、山室町、田村町、宝塚町、御殿山町、光町、五反田町一丁目、五反田町二丁目、
 五反田町三丁目、五反田町四丁目、五反田町五丁目、広陽町、木の郷町

重要度・満足度マトリックス

重要度 (Y-axis): 3.2 to 4.4

満足度 (X-axis): 2.4 to 4.0

重要度平均: 3.77

満足度平均: 3.19

四象限: A (top-left), B (top-right), C (bottom-left), D (bottom-right)

政策項目 (Policy Items):

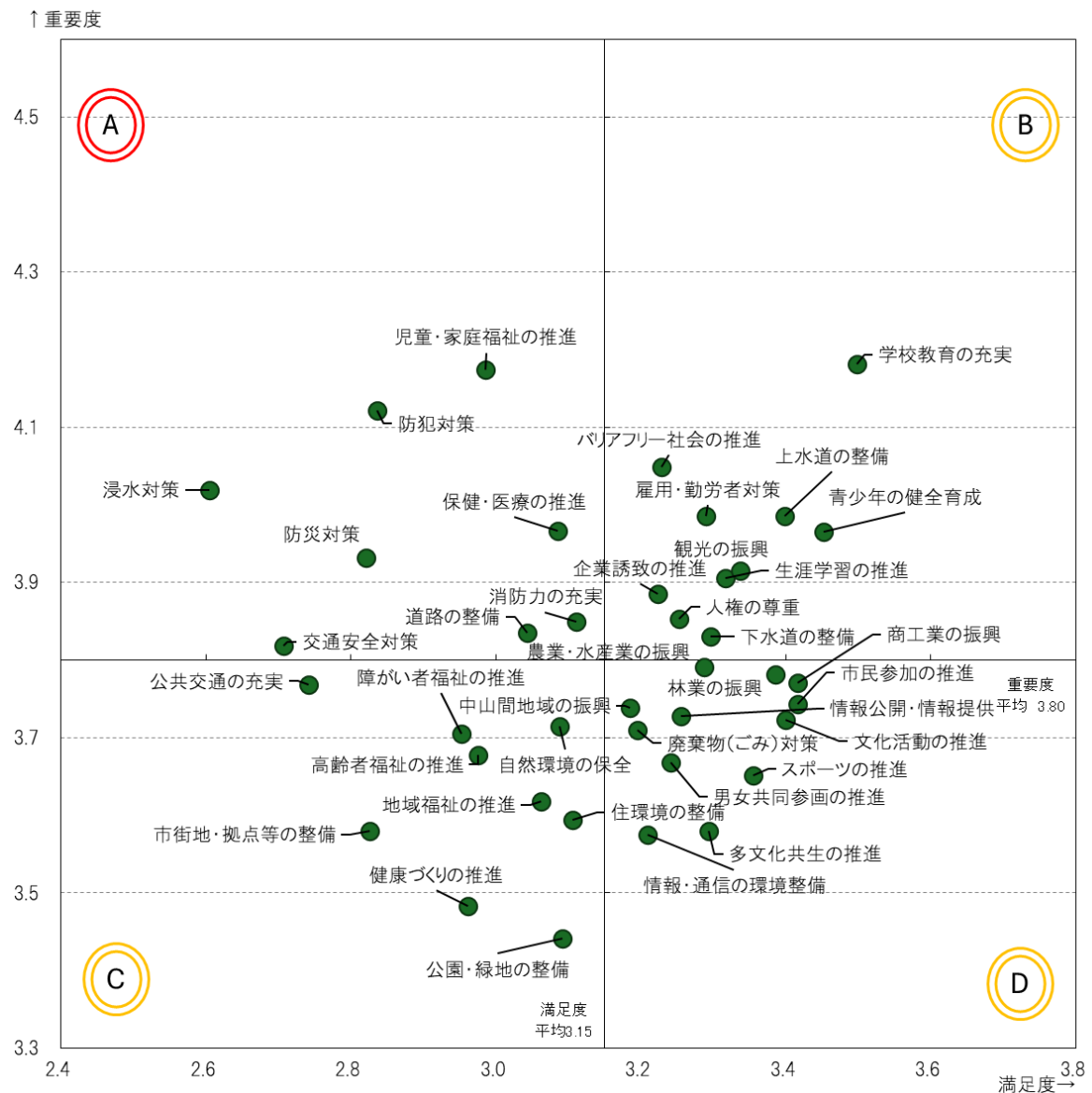
- 児童・家庭福祉の推進
- 防犯対策
- 学校教育の充実
- 青少年の健全育成
- 観光の振興
- 企業誘致の推進
- 生涯学習の推進
- 農業・水産業の振興
- 市民参加の推進
- 商工業の振興
- 林業の振興
- 文化活動の推進
- 情報公開・情報提供
- 情報・通信の環境整備
- スポーツの推進
- 男女共同参画の推進
- 公園・緑地の整備
- 多文化共生の推進
- 健康づくりの推進
- 地域福祉の推進
- 自然環境の保全
- 高齢者福祉の推進
- 市街地・拠点等の整備
- 障がい者福祉の推進
- 下水道の整備
- 住環境の整備
- 住環境の整備
- 廃棄物(ごみ)対策
- 環境の整備
- 公共交通の充実
- 消防力の充実
- 中山間地域の振興
- 防災対策
- 保健・医療の推進
- 道路の整備
- 浸水対策
- 交通安全対策
- 雇用・勤労者対策
- バリアフリー社会の推進

- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- 生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

<<中央第二>>

愛宕町一丁目、愛宕町二丁目、愛宕町三丁目、愛宕町四丁目、愛宕町、挽木町、平生町、五十鈴町、春日町一丁目、春日町二丁目、春日町三丁目、南町、長月町、茶与町、東町、宮町、清生町、幸生町、垣鼻町、大津町、田原町、久保町、下村町、上川町、虹が丘町、南虹が丘町

満足度と重要度の関係



A

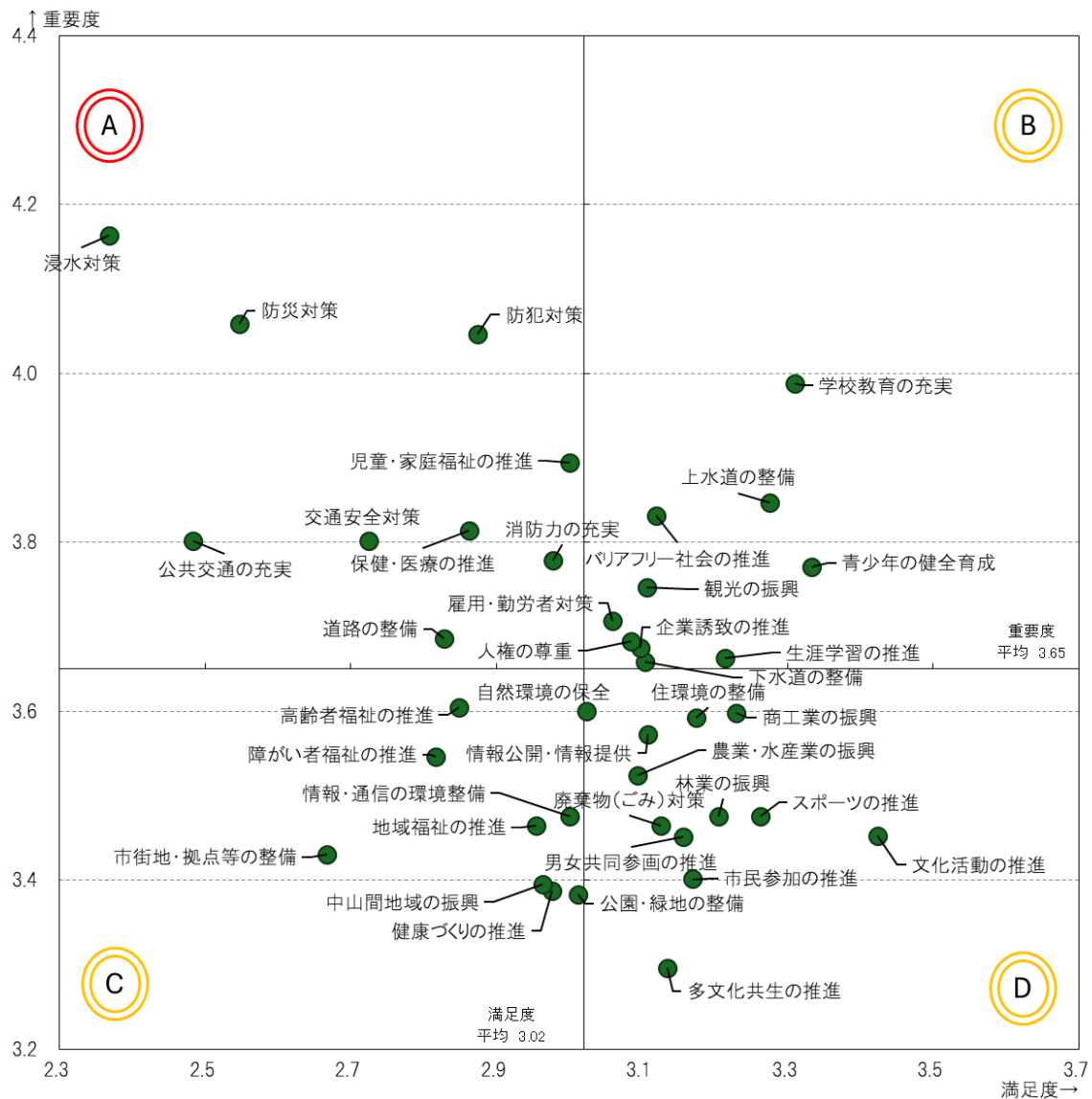
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)

<<北部>>

鎌田町、朝日町、朝日町一区、石津町、荒木町、郷津町、高町、若葉町、大口町、中央町、末広町二丁目、久保田町、大塚町、大平尾町、新松ヶ島町、町平尾町、獺師町、松崎浦町、松ヶ島町、六軒町

満足度と重要度の関係



A

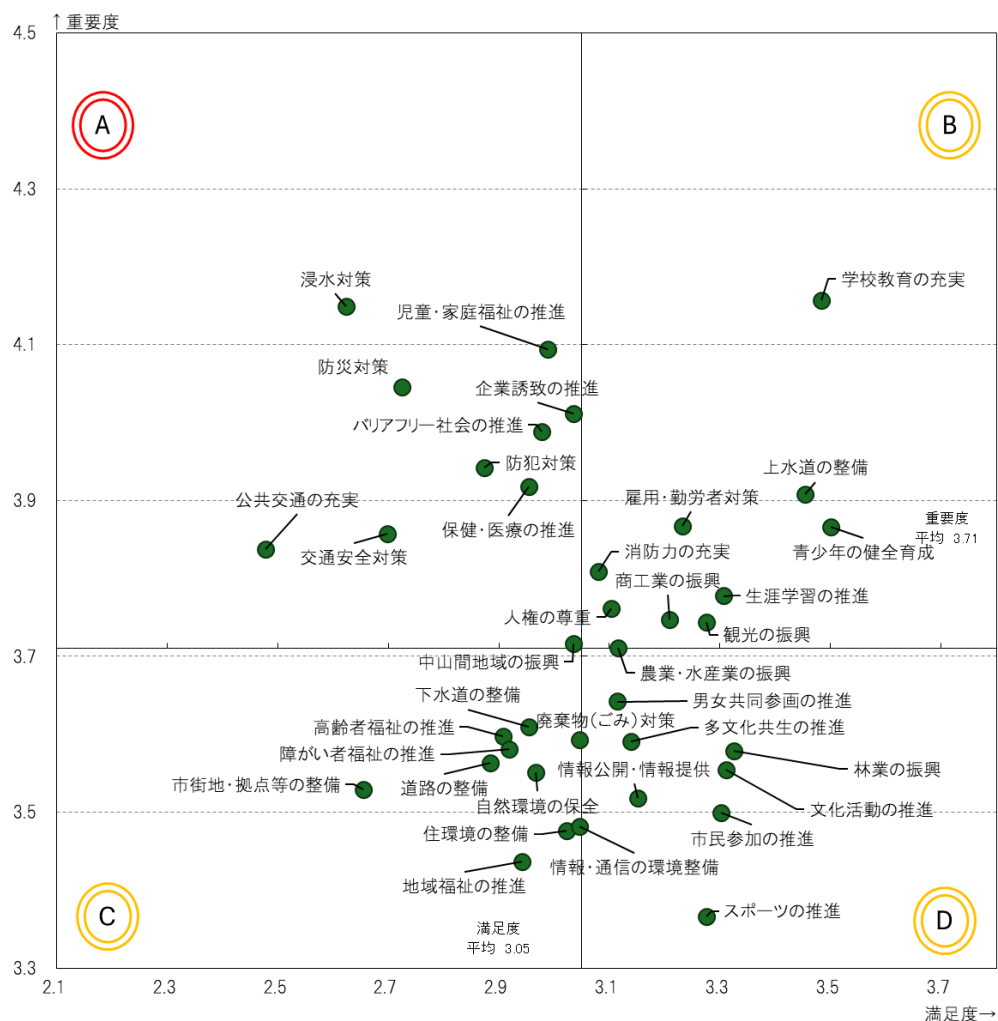
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)

<<東部>>

朝田町、立田町、和屋町、上七見町、下七見町、新屋敷町、古井町、西野々町、佐久米町、大宮田町、井口中町、腹太町、六根町、保津町、魚見町、新開町、川島町、東久保町、西黒部町、松名瀬町、高須町、東黒部町、柿木原町、土古路町、出間町、大垣内町、蓮花寺町、神守町、牛草町、垣内田町、乙部町、早馬瀬町、目田町、横地町、法田町、伊勢場町、稲木町、高木町、山添町、安楽町、山下町、豊原町、櫛田町、清水町、菅生町

満足度と重要度の関係



- A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

 - 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
 - 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
 - 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
 - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
 - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
 - 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
 - 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
 - すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)
 - 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

<<南部>>

六呂木町、小片野町、大石町、茅原町、広瀬町、御麻生園町、庄町、阿波曾町、射和町、中万町、八太町、上蛸路町、下蛸路町

満足度と重要度の関係



A

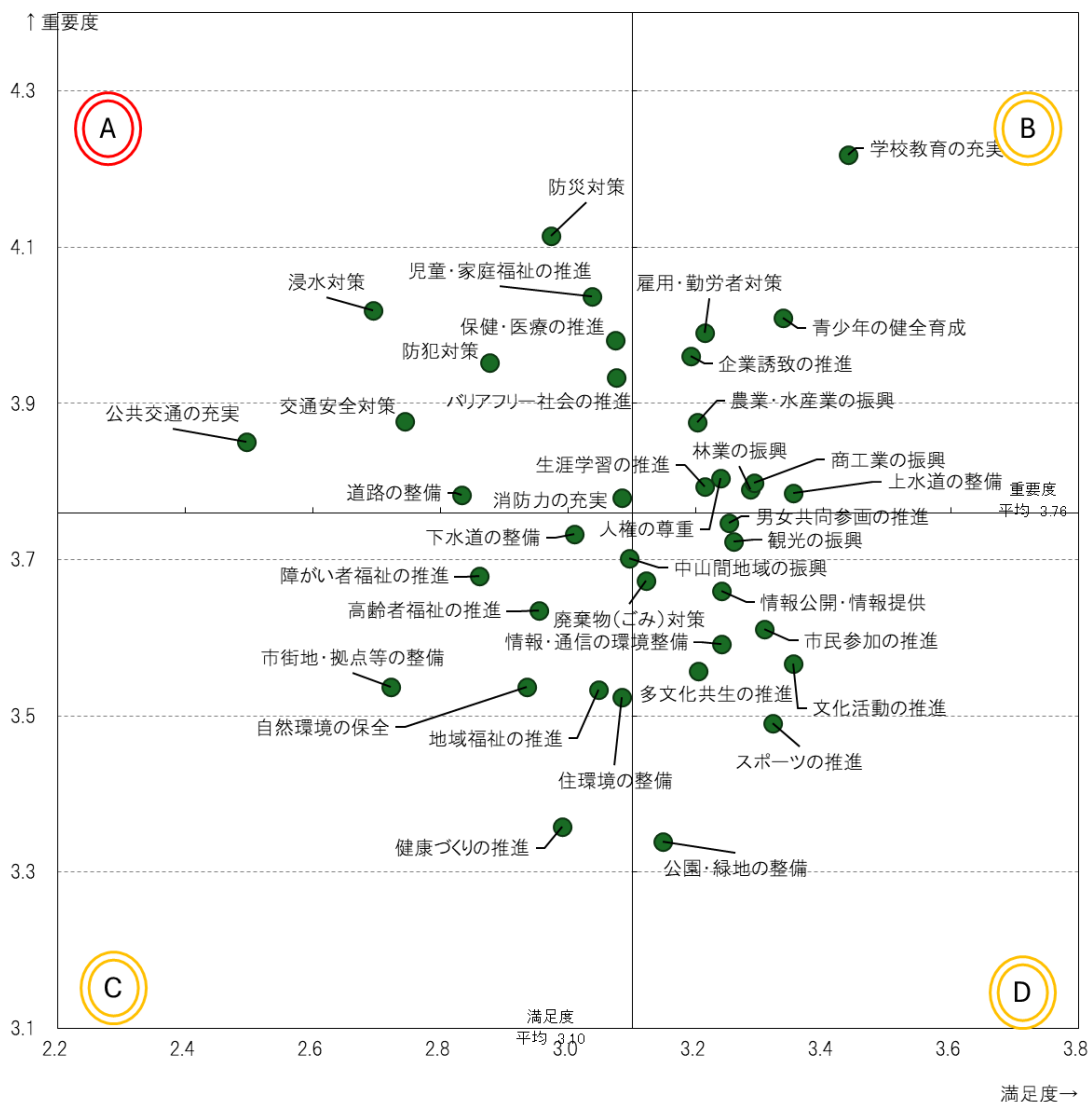
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)

<<西部>>

伊勢寺町、八重田町、深長町、岩内町、野村町、殿村町、日丘町、大足町、阿形町、藤之木町、岡本町、立野町、丹生寺町、西野町、岡山町、平成町、小野町、大阿坂町、小阿坂町、美濃田町、柚原町、後山町、飯福田町、与原町、桂瀬町、笹川町、大河内町、矢津町、勢津町、辻原町、阪内町

満足度と重要度の関係

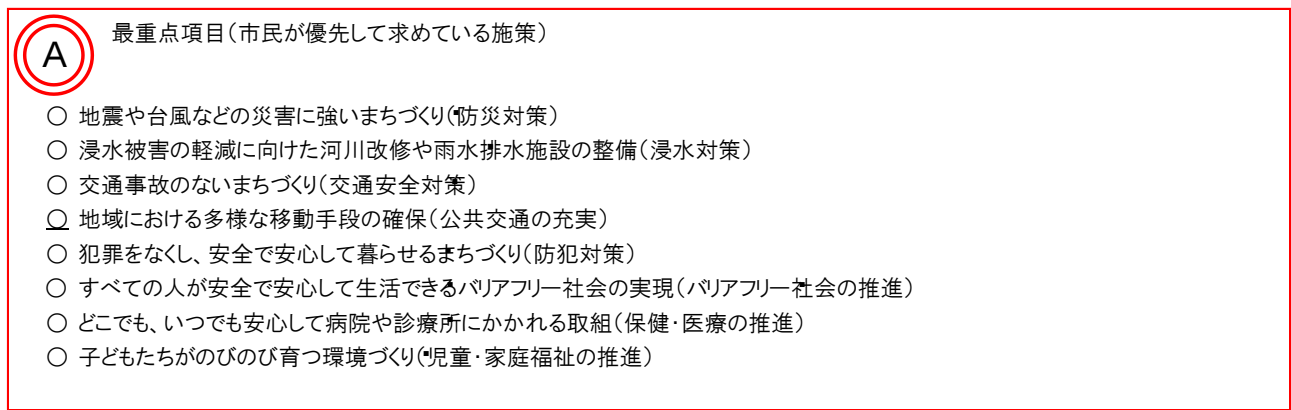


- A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

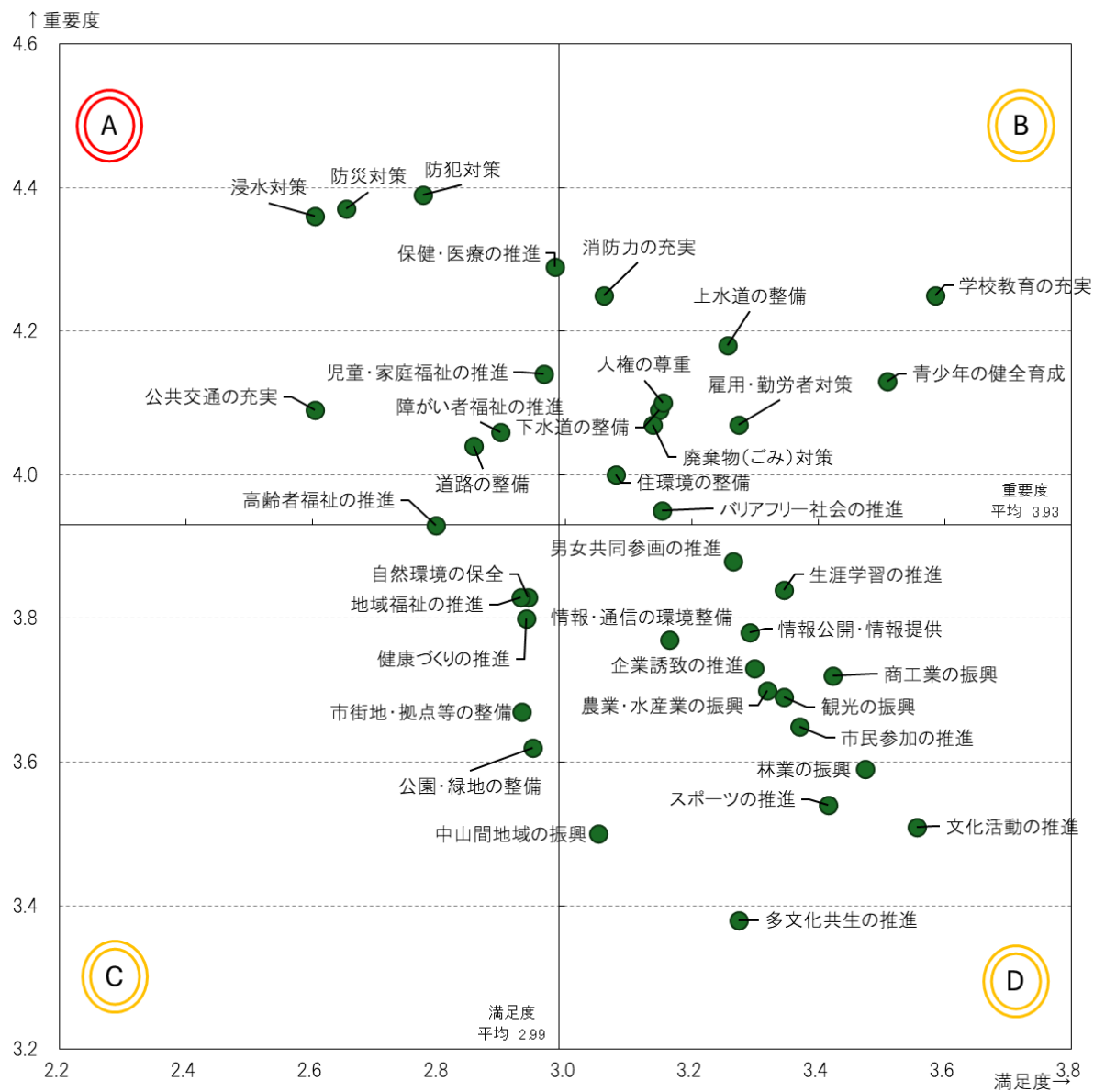
 - 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
 - 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
 - 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
 - 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
 - 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
 - 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
 - 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
 - さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)
 - どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
 - すべての人が安全で安心して生活できるパリアフリー社会の実現(パリアフリー社会の推進)

満足度と重要度の関係



<<三雲管内>>

満足度と重要度の関係



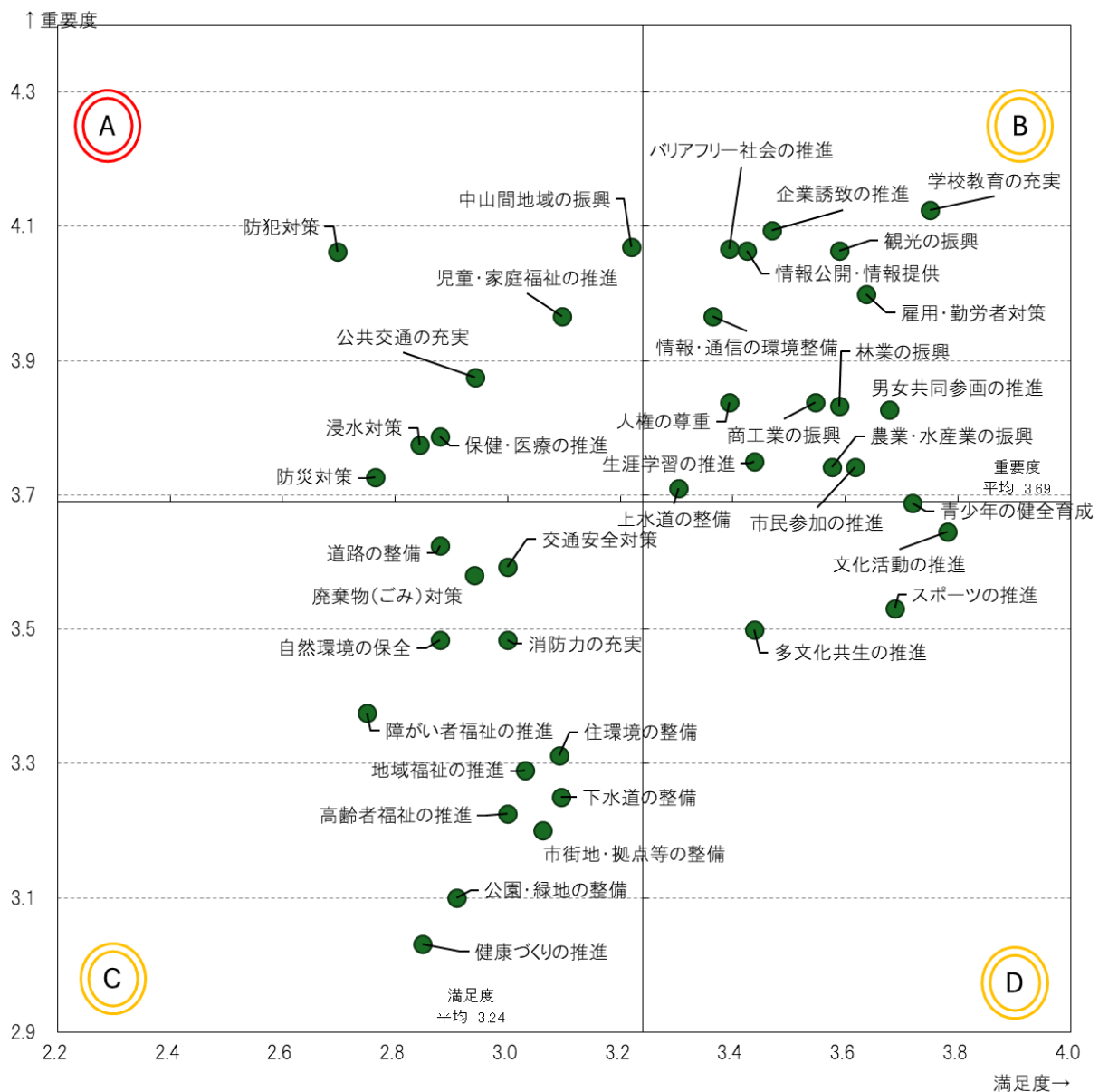
A

最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)

<<飯南管内>>

満足度と重要度の関係

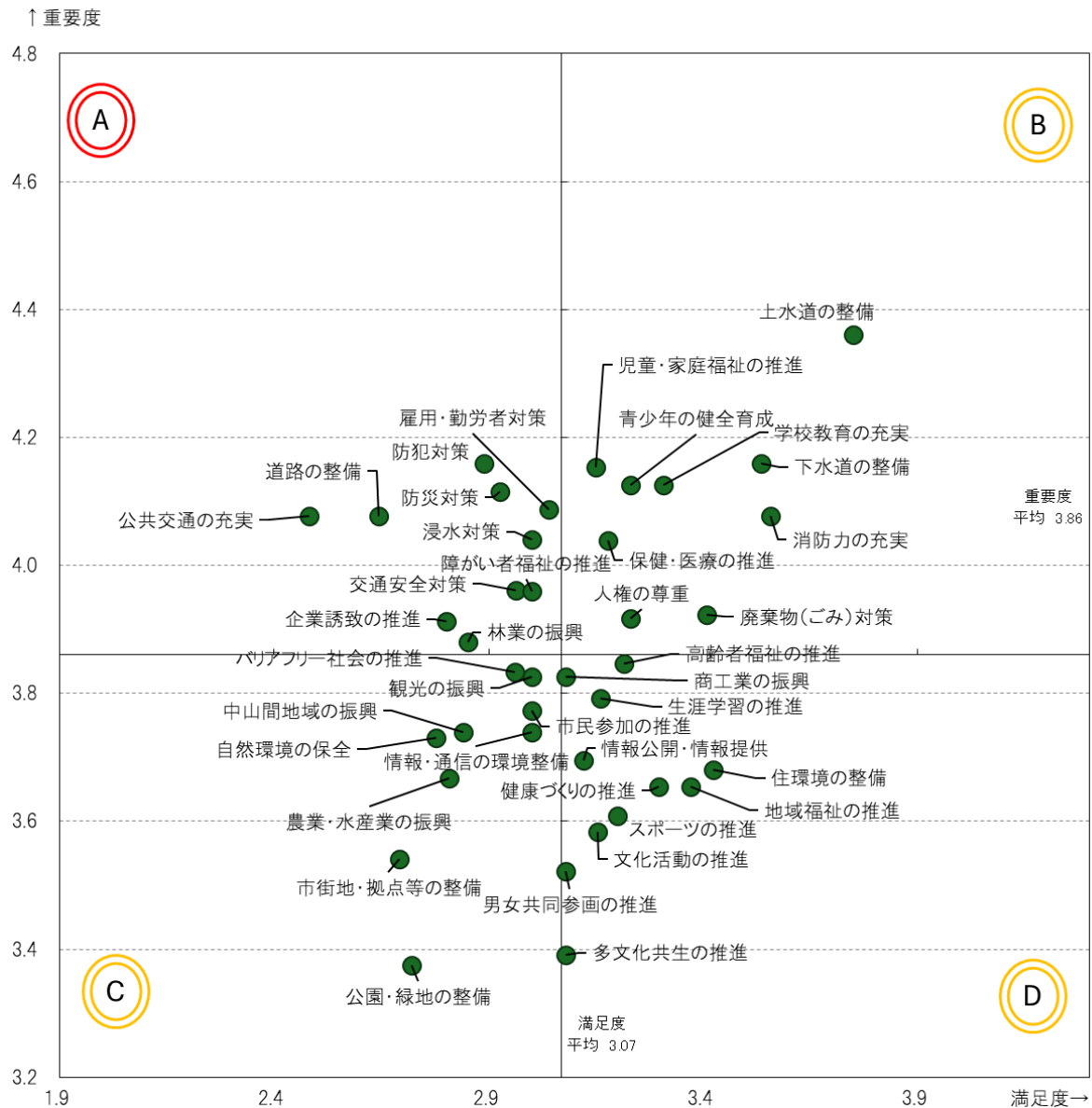


最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)
- どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)
- 中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)

<<飯高管内>>

満足度と重要度の関係



A

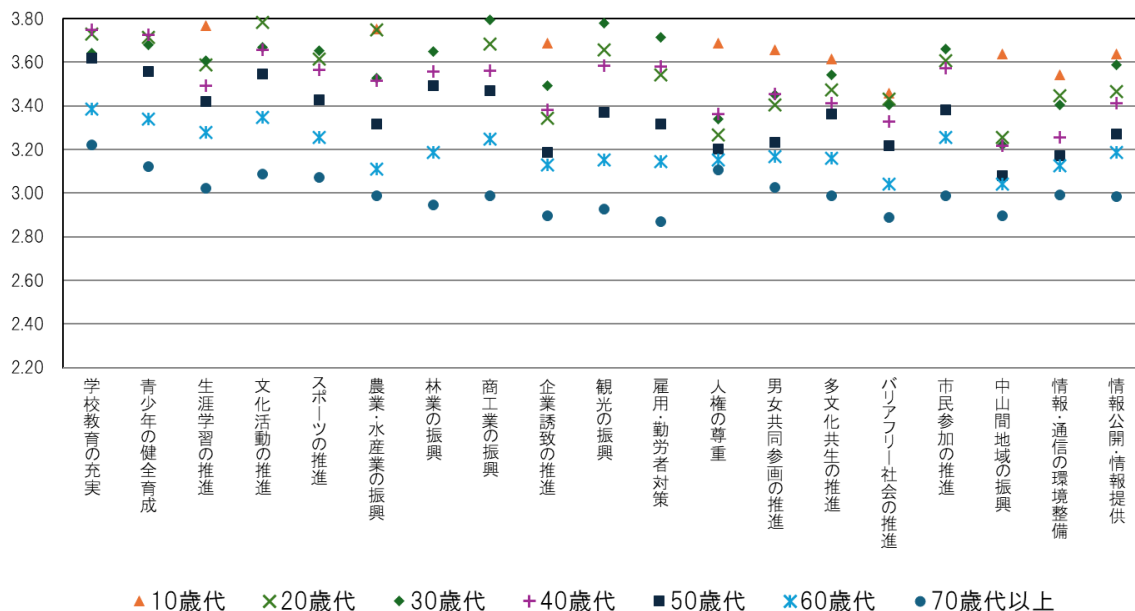
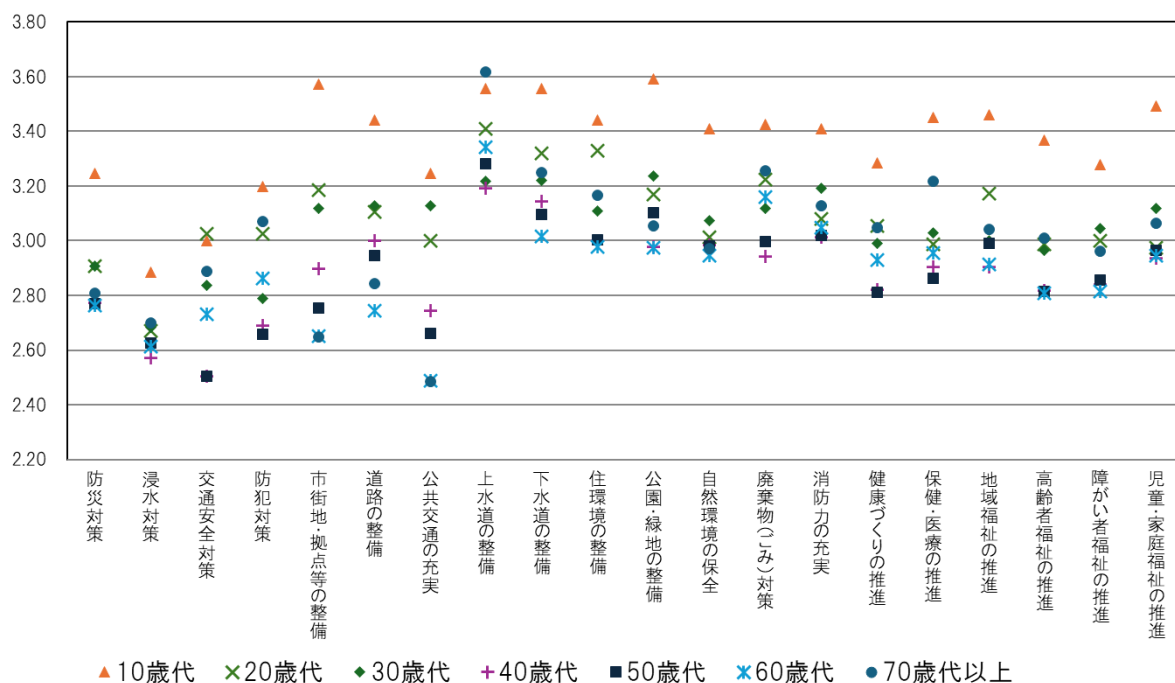
最重点項目(市民が優先して求めている施策)

- 地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)
- 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)
- 地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)
- 交通事故のないまちづくり(交通安全対策)
- 安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)
- 浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)
- 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)
- 企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)
- 森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)
- 障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)

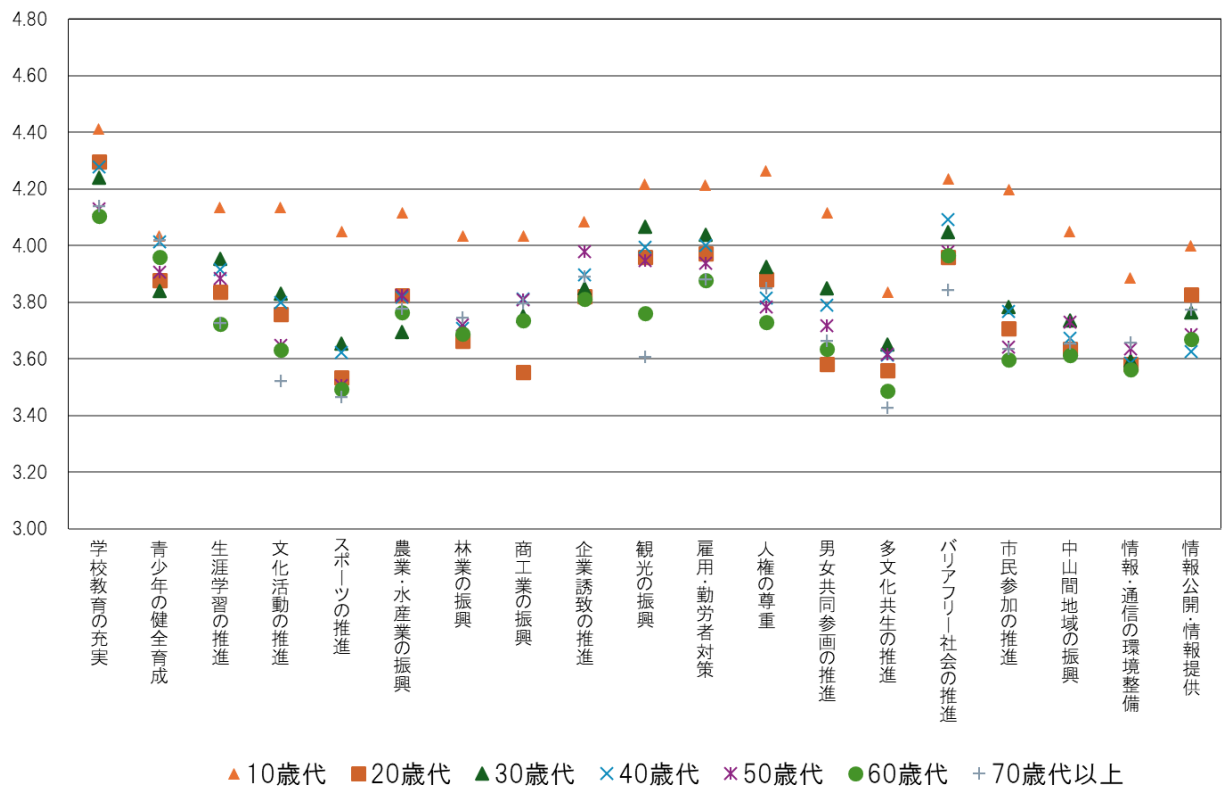
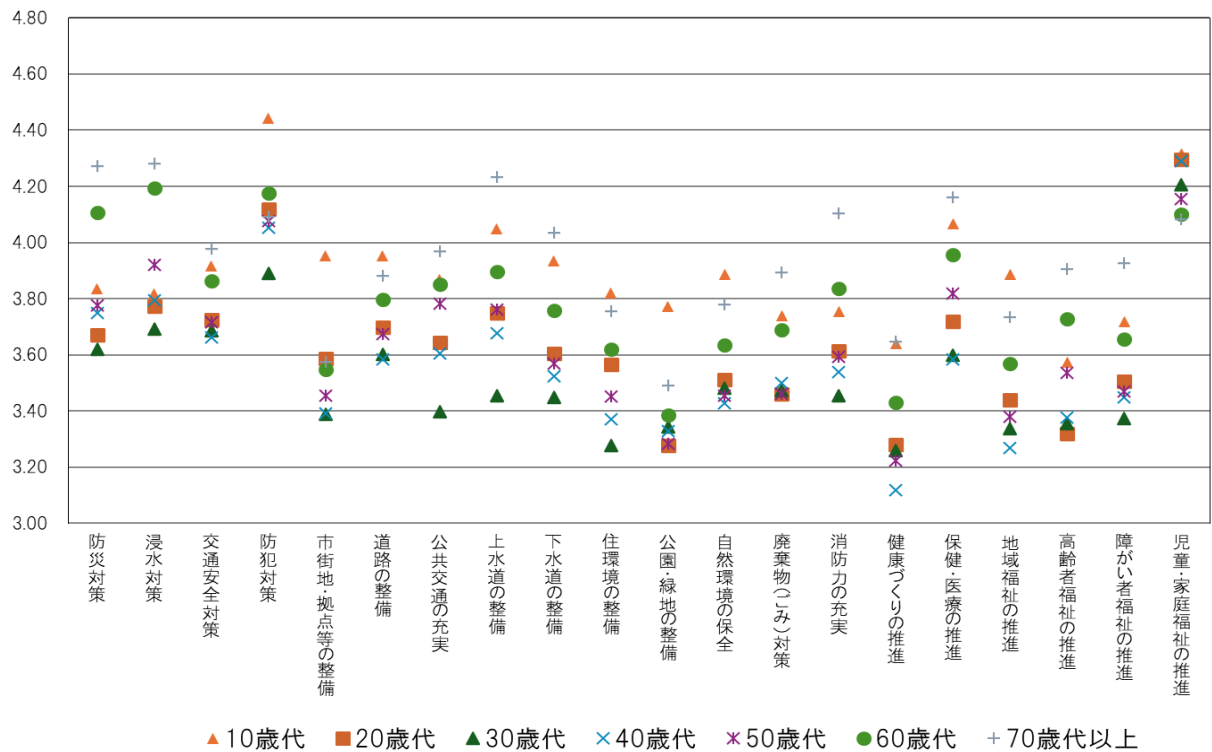
年代別にみた 39 項目の満足度と重要度は以下のとおりである。

《年代別 満足度》

問 6 年代別 満足度



<<年代別 重要度>>
 問 6 年代別 重要度



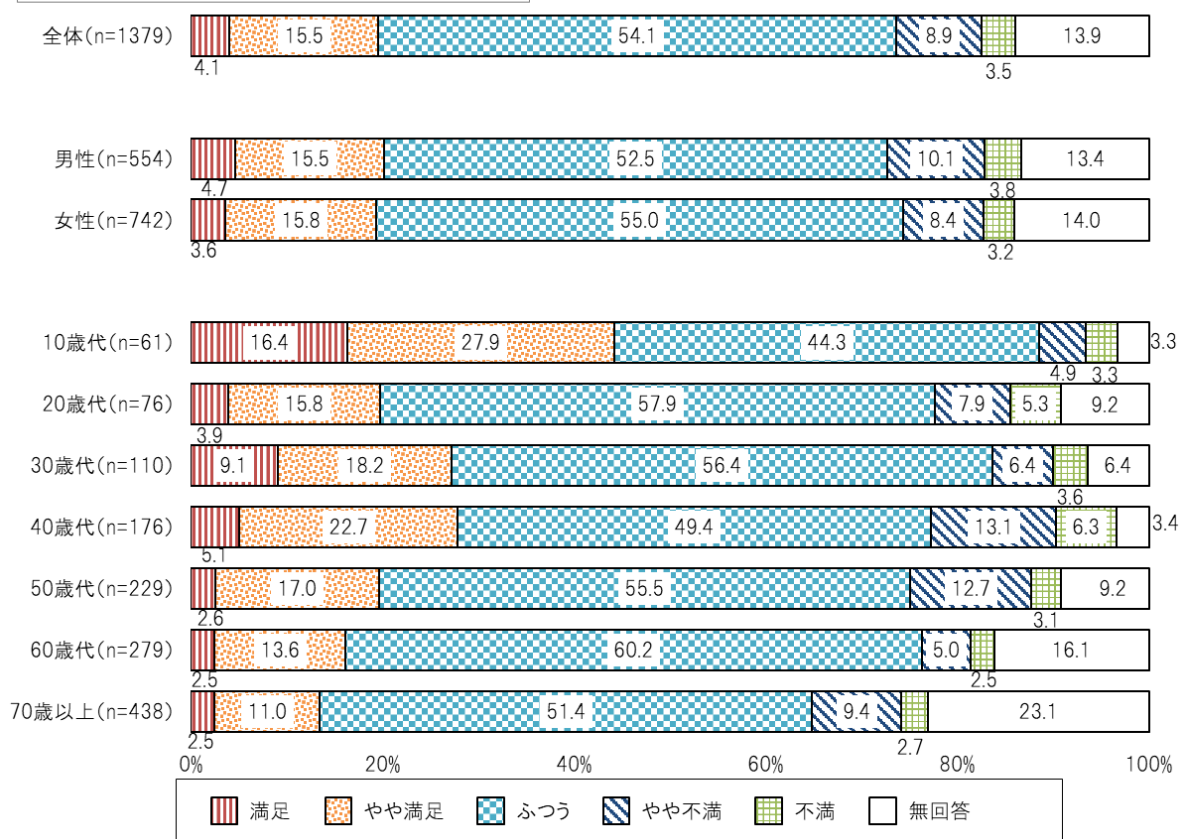
問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。（〇は1つだけ）

「ふつう」が54.1%と最も高く、次いで「やや満足」が15.5%、「やや不満」が8.9%となっている。

性別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は、男性が20.2%、女性が19.4%で男性の方が女性よりも0.8ポイント高くなっている。

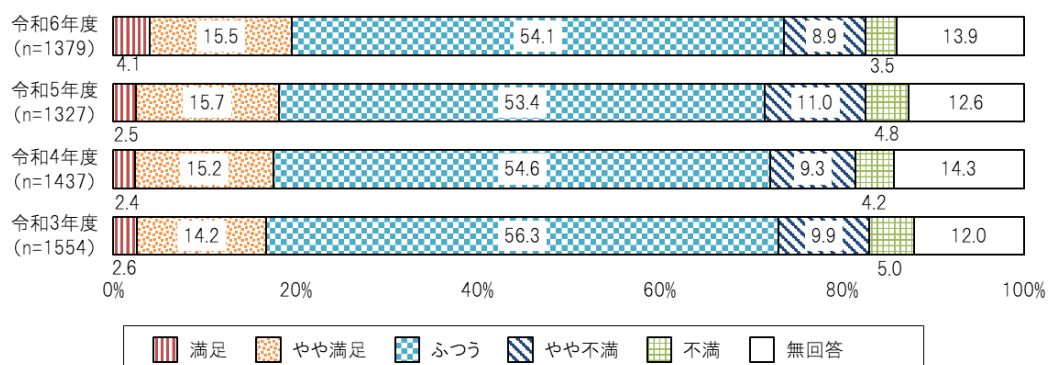
年代別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は10歳代で最も高く44.3%となっており、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では、20%を下回っている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



前回と比較すると、「満足」「やや満足」の合計の割合は前回は18.2%であったのに対し今回は19.6%と1.4ポイント高くなっている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



松阪市の個々の課題について

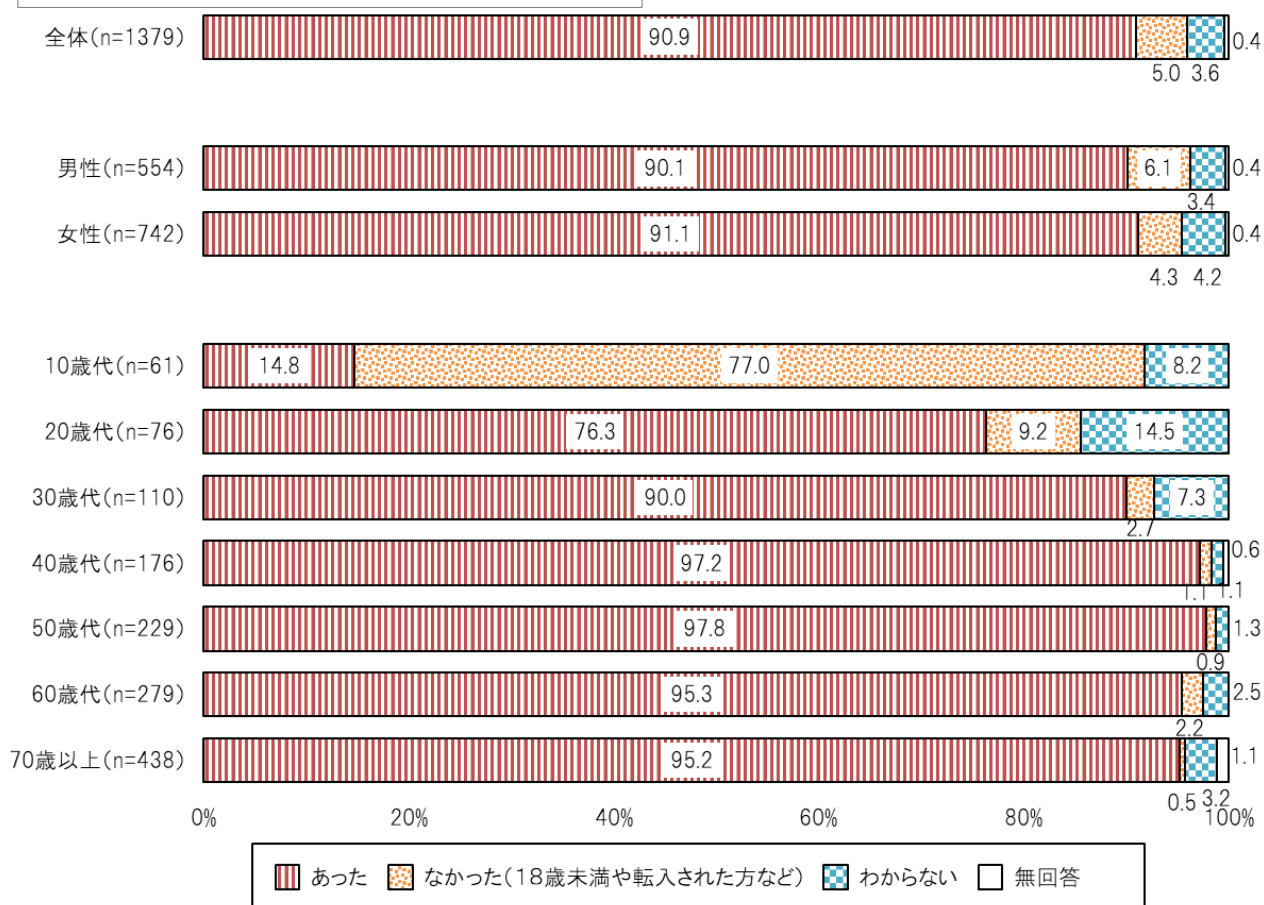
選挙啓発について

問8 昨年9月3日に松阪市長選挙が実施されましたが、その選挙で選挙権はありましたか。（○は1つだけ）

選挙権が「あった」と答えた人の割合は、全体で 90.9%である。性別にみると、「あった」と答えた人は男性が 90.1%、女性が 91.1%で、女性が 1.0 ポイント高くなっている。

年代別にみると、10 歳代では「なかった」と答えている人が 77.0%である。30 歳代以上では「あった」と答えている人の割合が全て9割を超えている。

問8 昨年9月3日に実施されたが、選挙権はありましたか



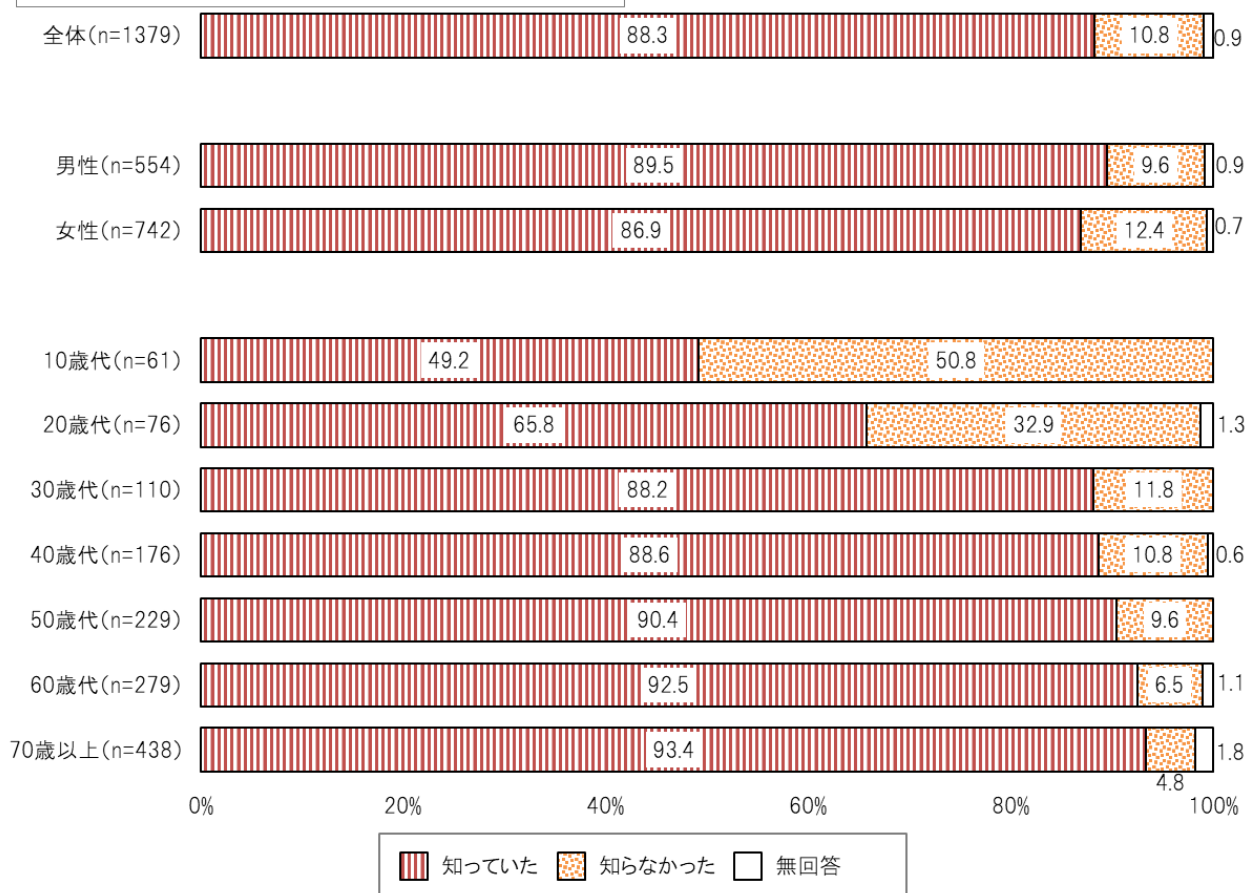
問9 松阪市長選挙が実施されたことを知っていましたか。（○は1つだけ）

松阪市長選挙が実施されたことを「知っていた」人は全体の88.3%で、「知らなかった」は10.8%であった。

性別にみると、「知っていた」割合は、男性が89.5%、女性が86.9%で男性の方が女性よりも2.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知っていた」人の割合は年代が上がるほど高くなっている。

問9 松阪市長選挙が実施されたことを知っていましたか



問10 問9で「1. 知っていた」と答えた方におききします。

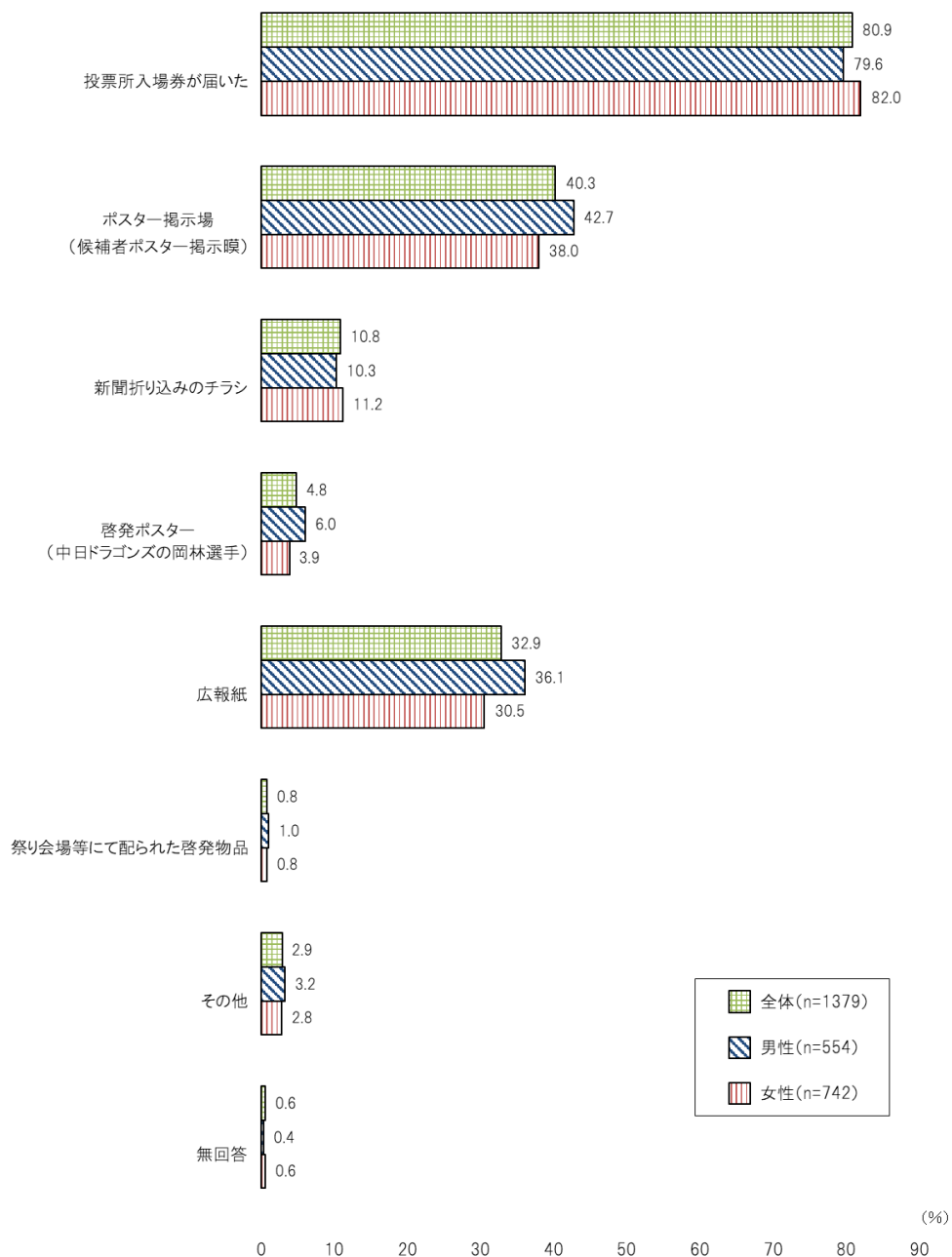
松阪市長選挙が実施されることを何で知りましたか。（〇はいくつでも）

「投票入場券が届いた」が80.9%と最も高く、次いで「ポスター掲示場（候補者ポスター掲示用）」が40.3%、「広報紙」が32.9%となっている。

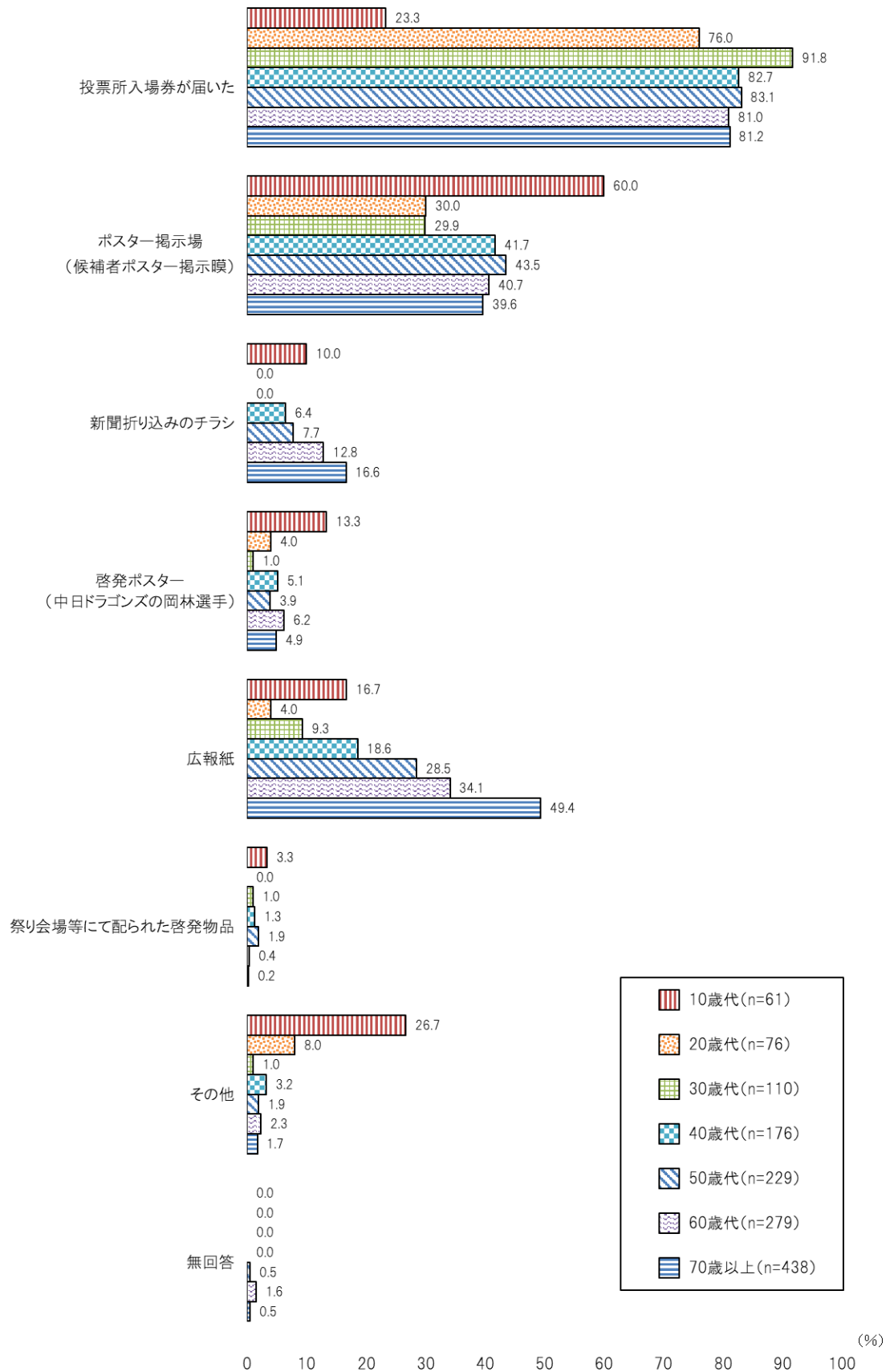
性別にみると、「投票入場券が届いた」の割合は、男性が79.6%、女性が82.0%で女性の方が男性よりも2.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「投票入場券が届いた」の割合は30歳代で最も高く91.8%となっており、10歳代が最も低く23.3%となっていた。

問10 松阪市長選挙が実施されることを何で知りましたか



問10 松阪市長選挙が実施されることを何で知りましたか



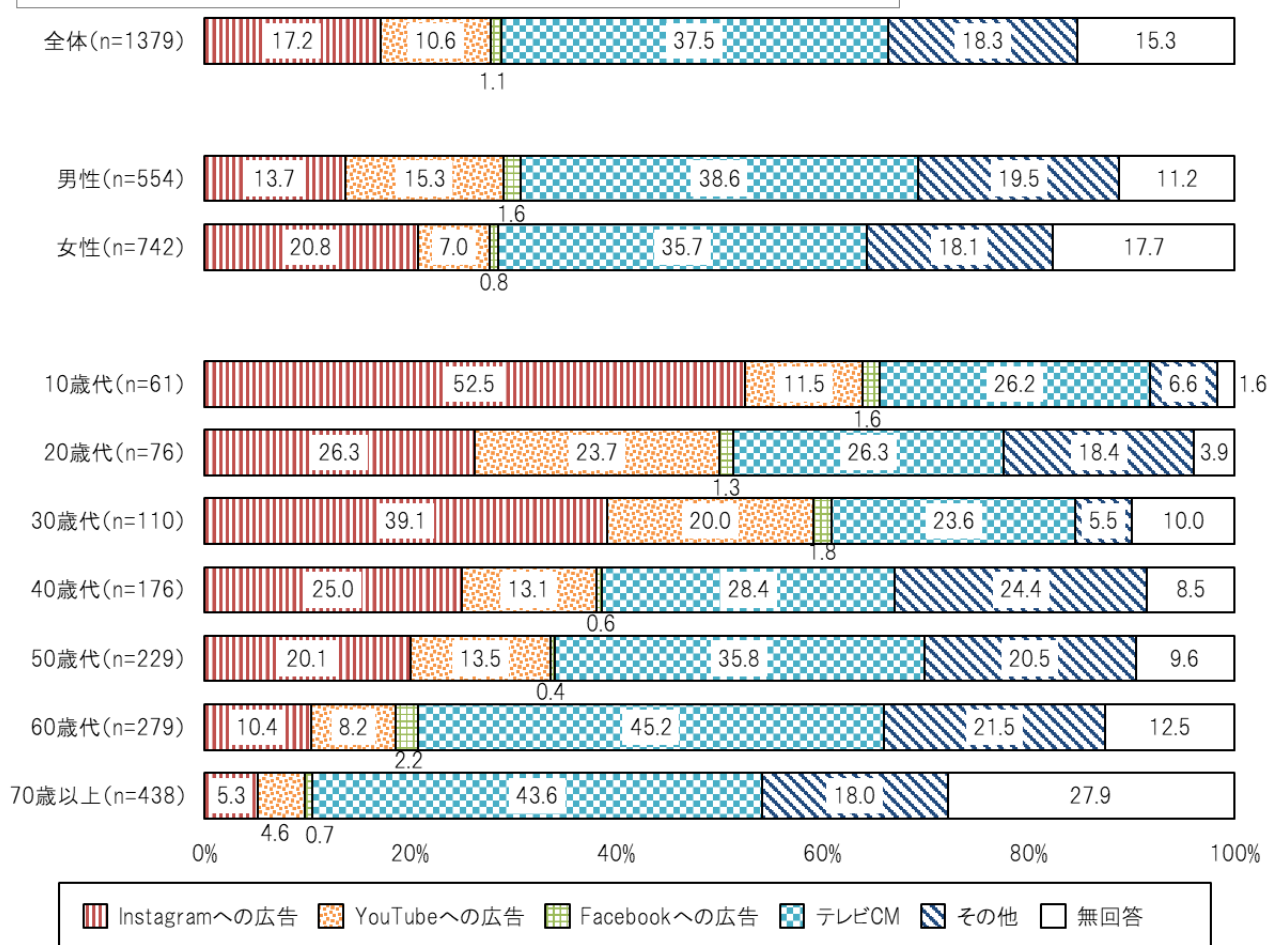
問 11 選挙の実施を知るための情報ツールとして、どのようなものを望めますか。
(○は1つだけ)

「テレビCM」が37.5%と最も高く、次いで「その他」が18.3%、「Instagramへの広告」が17.2%となっている。

性別にみると、「Youtubeへの広告」が男性では15.3%、女性では7.0%であるのに対し、「Instagramへの広告」は女性で20.8%、男性で13.7%となっている。

年代別にみると、30歳代以下では「Instagramへの広告」「Youtubeへの広告」などの割合が高く、50歳代以上では「テレビCM」と答えている割合が高い。

問11 選挙の実施を知るための情報ツールとして、どのようなものを望めますか



シビックプライドについて

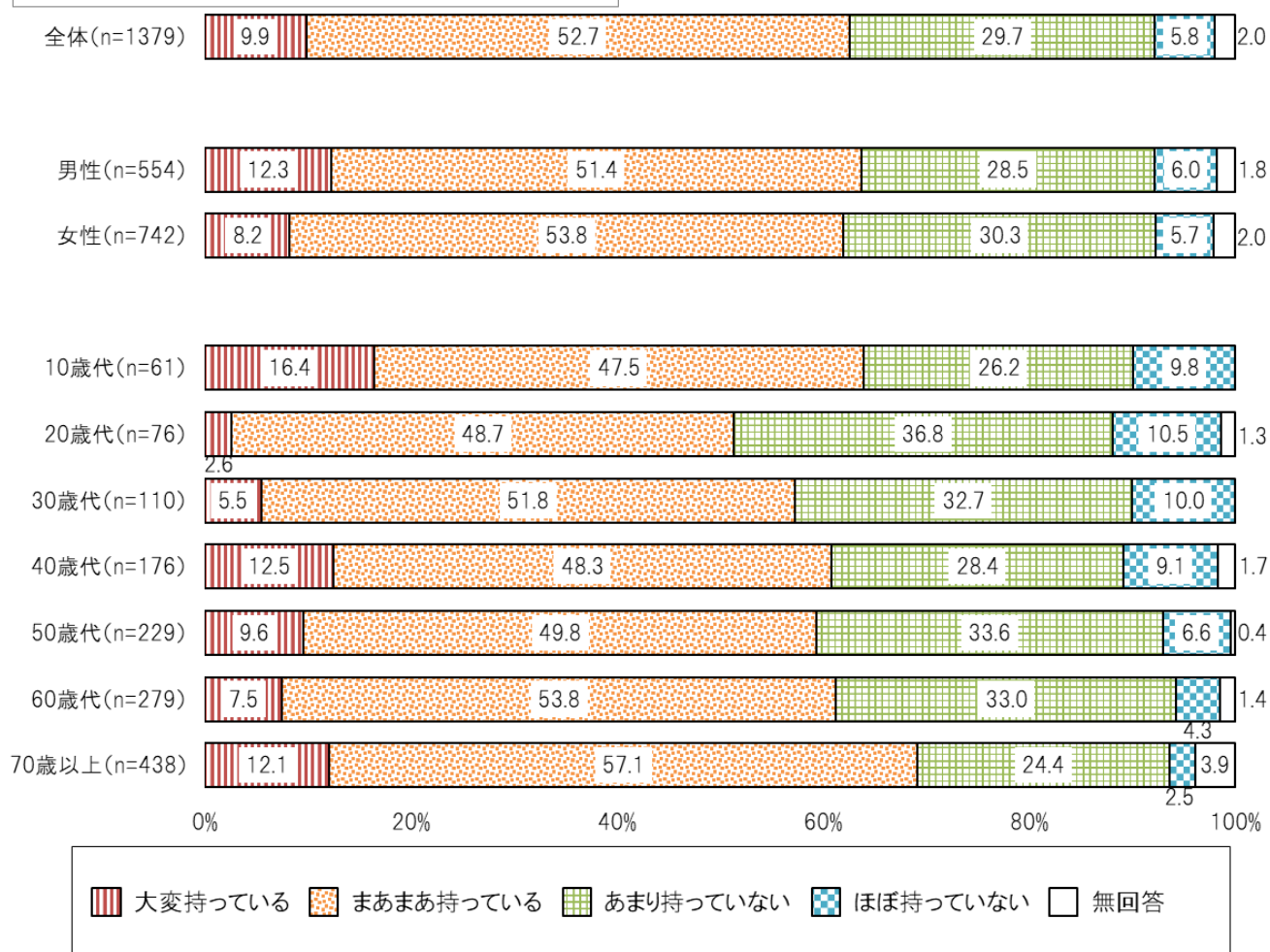
問 12 松阪市では、文化や歴史などの郷土教育を通じて、こどもたちの松阪市に対する愛着・誇りを育む教育を進めていますが、あなたは松阪市というまちに対して愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか。（○は1つだけ）

「まあまあ持っている」が52.7%と最も高く、次いで「あまり持っていない」が29.7%、「大変持っている」が9.9%となっている。

性別にみると、「大変持っている」「まあまあ持っている」の合計の割合は、男性が63.7%、女性が62.0%で男性の方が女性よりも1.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「大変持っている」「まあまあ持っている」の合計の割合は70歳代以上で最も高く69.2%となっており、20歳代で51.3%と最も低くなっている。

問12 松阪というまちにシビックプライドを持っているか



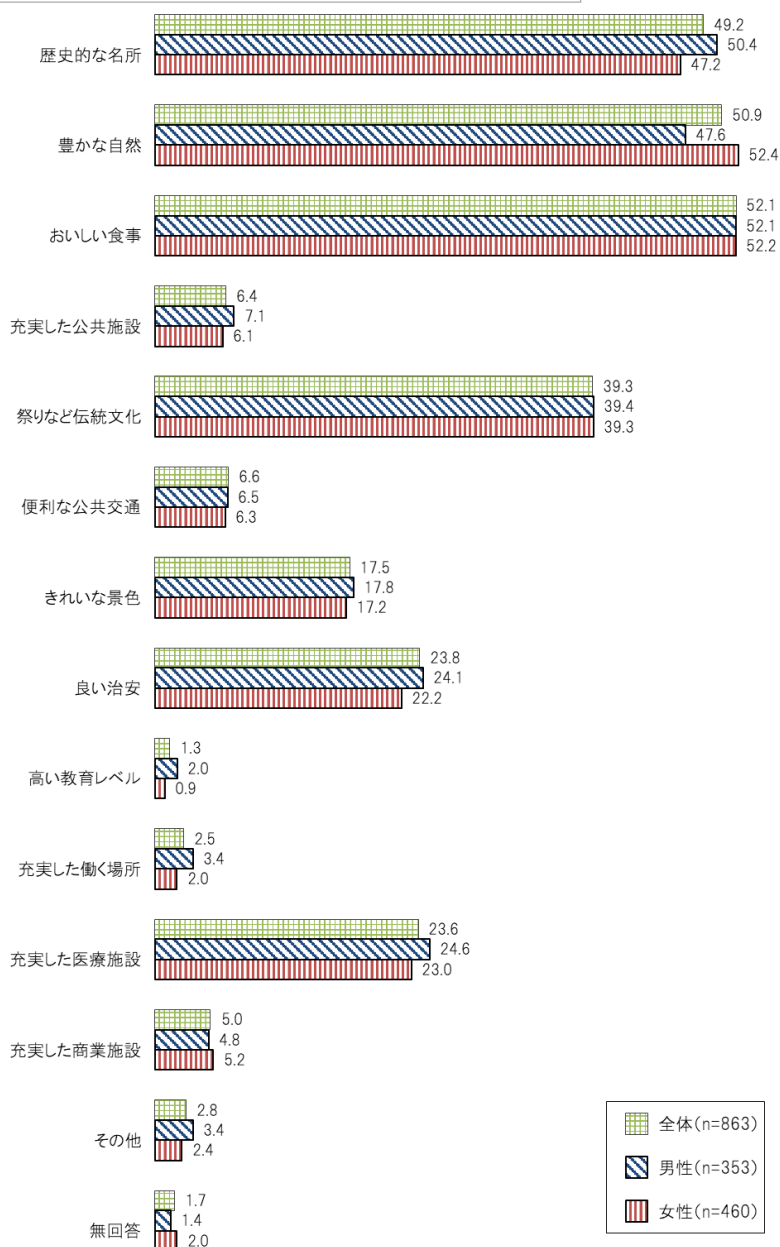
問13 問12で「1. 大変持っている」「2. まあまあ持っている」と答えた方におききします。松阪市のどのようなところに愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか。（〇はいくつでも）

「おいしい食事」が52.1%と最も高く、次いで「豊かな自然」が50.9%、「歴史的な名所」が49.2%となっている。

性別にみると、「おいしい食事」の割合は、男性が52.1%、女性が52.2%で女性の方が男性よりも0.1ポイント高くなっている。

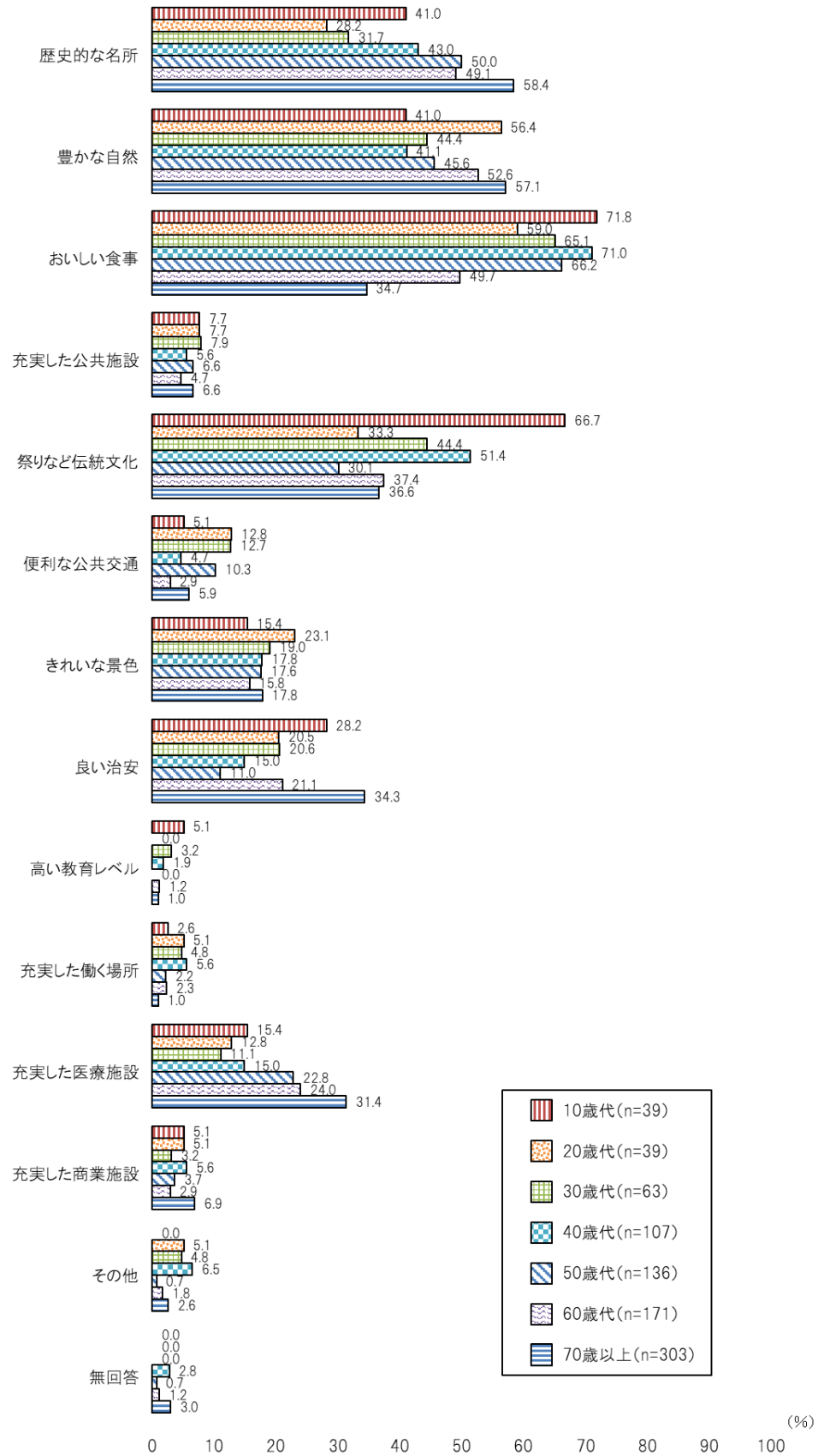
年代別にみると、「おいしい食事」の割合は10歳代で最も高く71.8%となっており、70歳以上で34.7%と最も低くなっている。

問13 松阪市のどのようなところに愛着・誇り（シビックプライド）を持っていますか
（問12で「大変持っている」「まあまあ持っている」と答えた方）



(%)

問13 松阪市のどのようなところに愛着・誇り(シビックプライド)を持っていますか
(問 12 で「大変持っている」「まあまあ持っている」と答えた方)



総合計画の横断的取組について

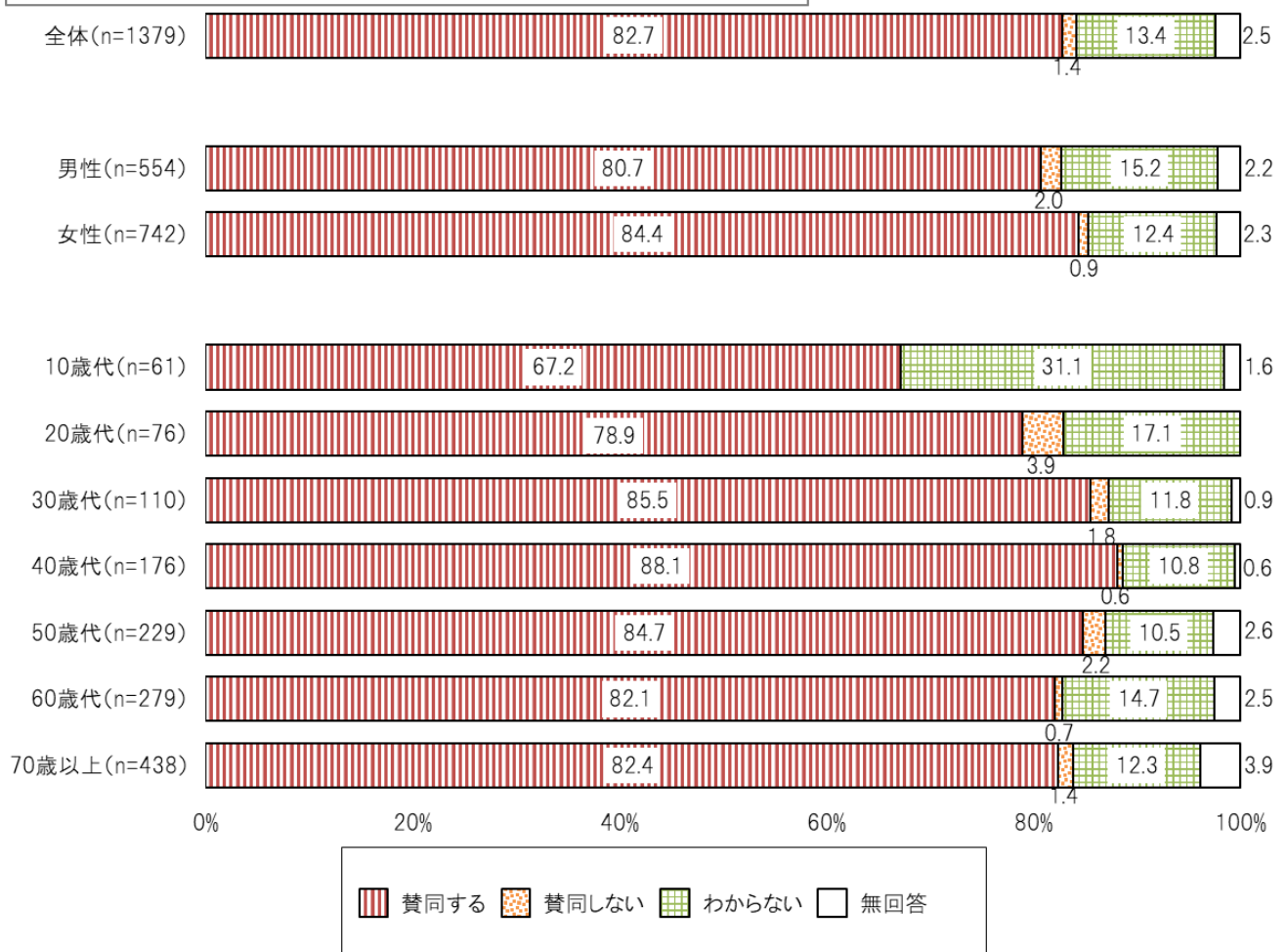
問 14 少子高齢化や若者の流出など、さまざまな課題解決をめざし、「若者定住」「高齢者福祉」「公民連携」について、重点的に取り組んでいこうと考えています。この考えに賛同しますか。（○は1つだけ）

「賛同する」が 82.7%と最も高く、次いで「わからない」が 13.4%となっている。

性別にみると、「賛同する」の割合は、男性が 80.7%、女性が 84.4%で女性の方が男性よりも 3.7 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」の割合は 40 歳代で最も高く 88.1%となっており、10 歳代で 67.2%と最も低くなっている。

問14「若者定住」「高齢者福祉」「公民連携」の取り組みに賛同しますか



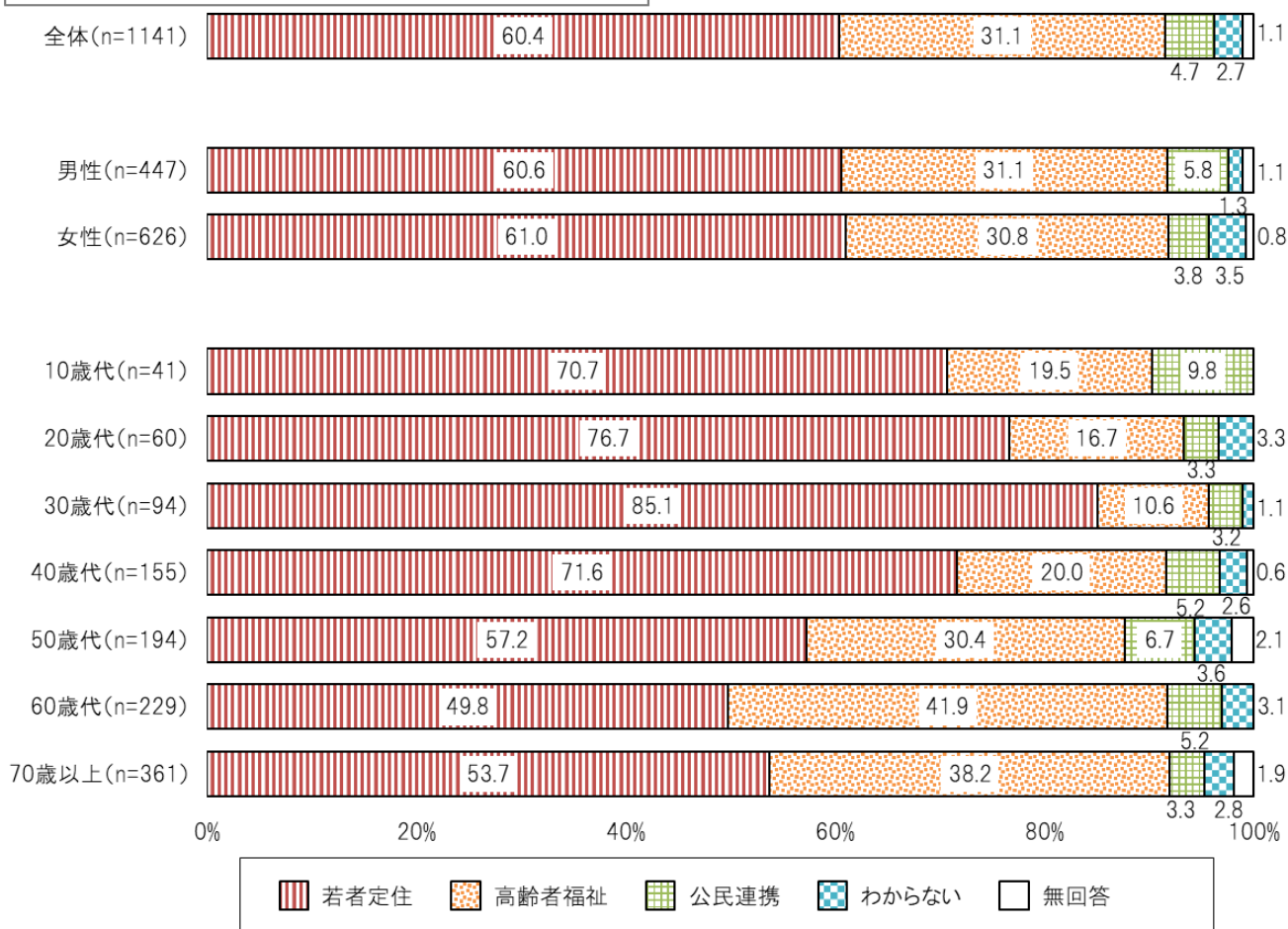
問15 問14で「1. 賛同する」と答えた方におきします。「若者定住」「高齢者福祉」「公民連携」の中で、特に重点を置く必要があると思う取組はどれですか。（○は1つだけ）

「若者定住」が60.4%と最も高く、次いで「高齢者福祉」が31.1%、「公民連携」が4.7%となっている。

性別にみると、「若者定住」の割合は、男性が60.6%、女性が61.0%で女性の方が男性よりも0.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「若者定住」の割合は30歳代で最も高く85.1%となっており、60歳代で49.8%と最も低くなっている。

問15 特に重点を置く必要があると思う取組はどれですか



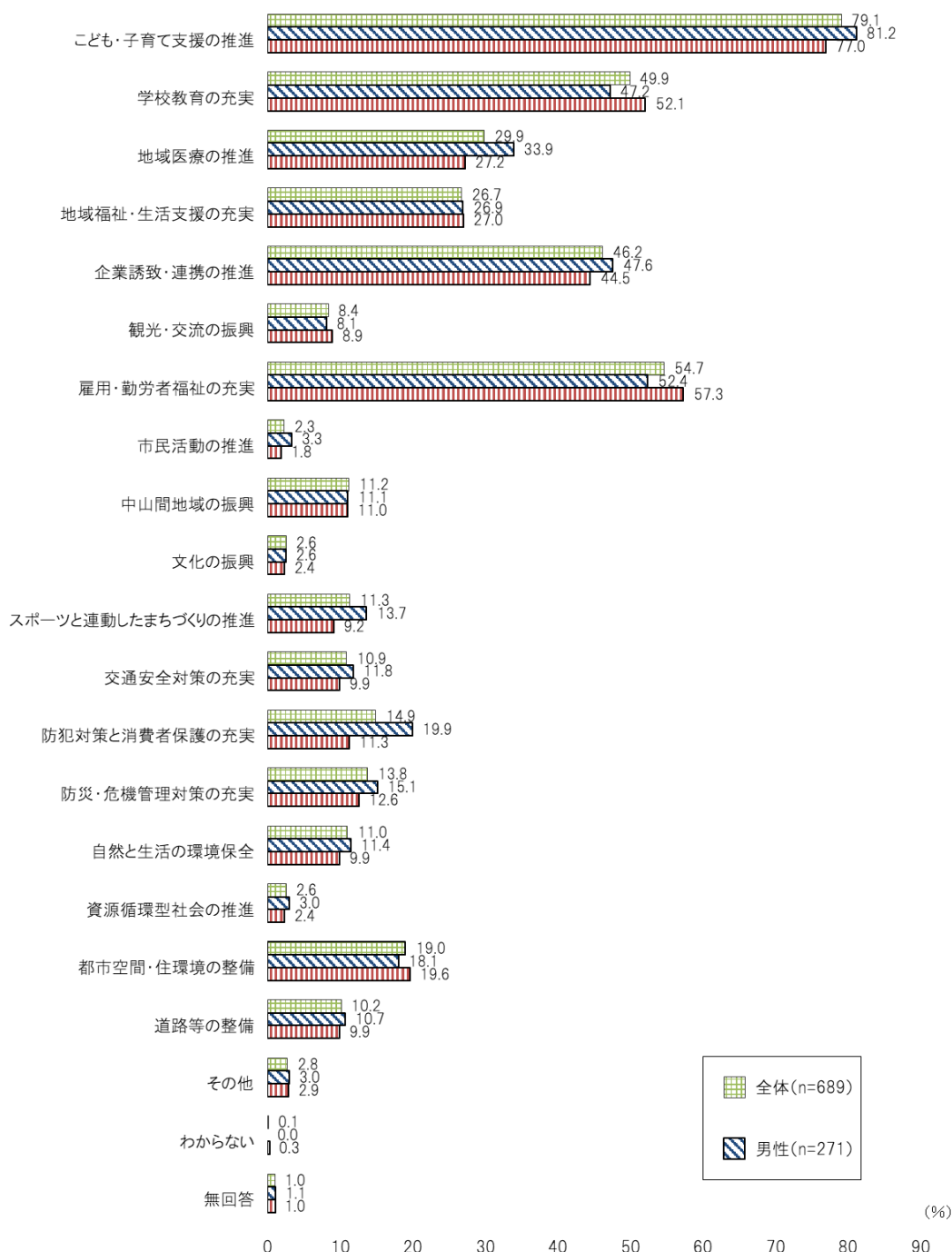
問 16 問 15 で「1.若者定住」と答えた方におききします。「若者定住」の取組を進めていくには、どのような対策が必要だと思いますか。（〇は5つまで）

「こども・子育て支援の推進」が79.1%と最も高く、次いで「雇用・勤労者福祉の充実」54.7%、「学校教育の充実」が49.9%となっている。

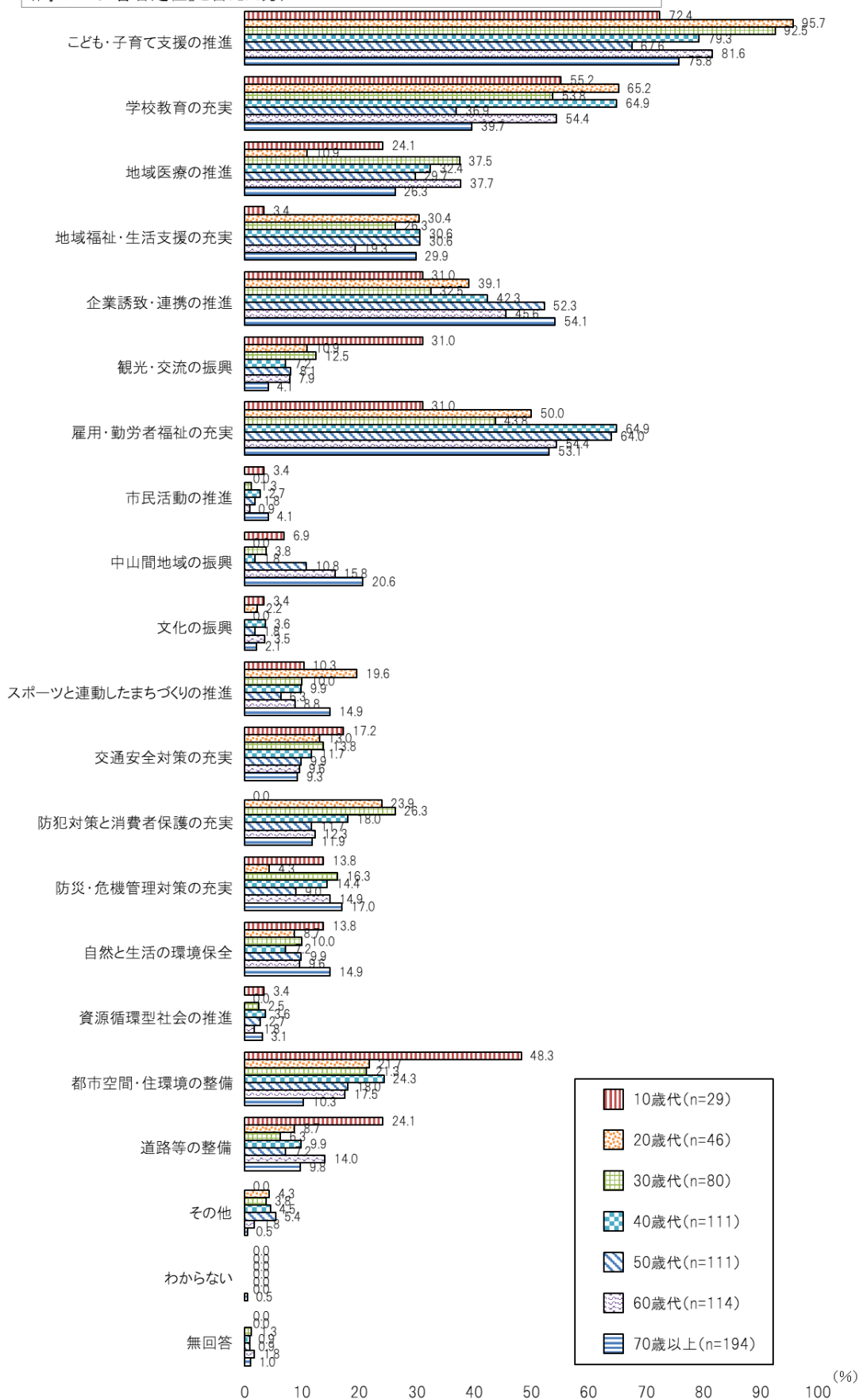
性別にみると、「こども・子育て支援の推進」の割合は、男性が81.2%、女性が77.0%で男性の方が女性よりも4.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「こども・子育て支援の推進」の割合は20歳代で最も高く95.7%となっており、50歳代で67.6%と最も低くなっている。

問16 「若者定住」の取組を進めていくには、どのような対策が必要だと思いますか。
(問15で「若者定住」と答えた方)



問16 「若者定住」の取組を進めていくには、どのような対策が必要だと思いますか。
(問 15 で「若者定住」と答えた方)



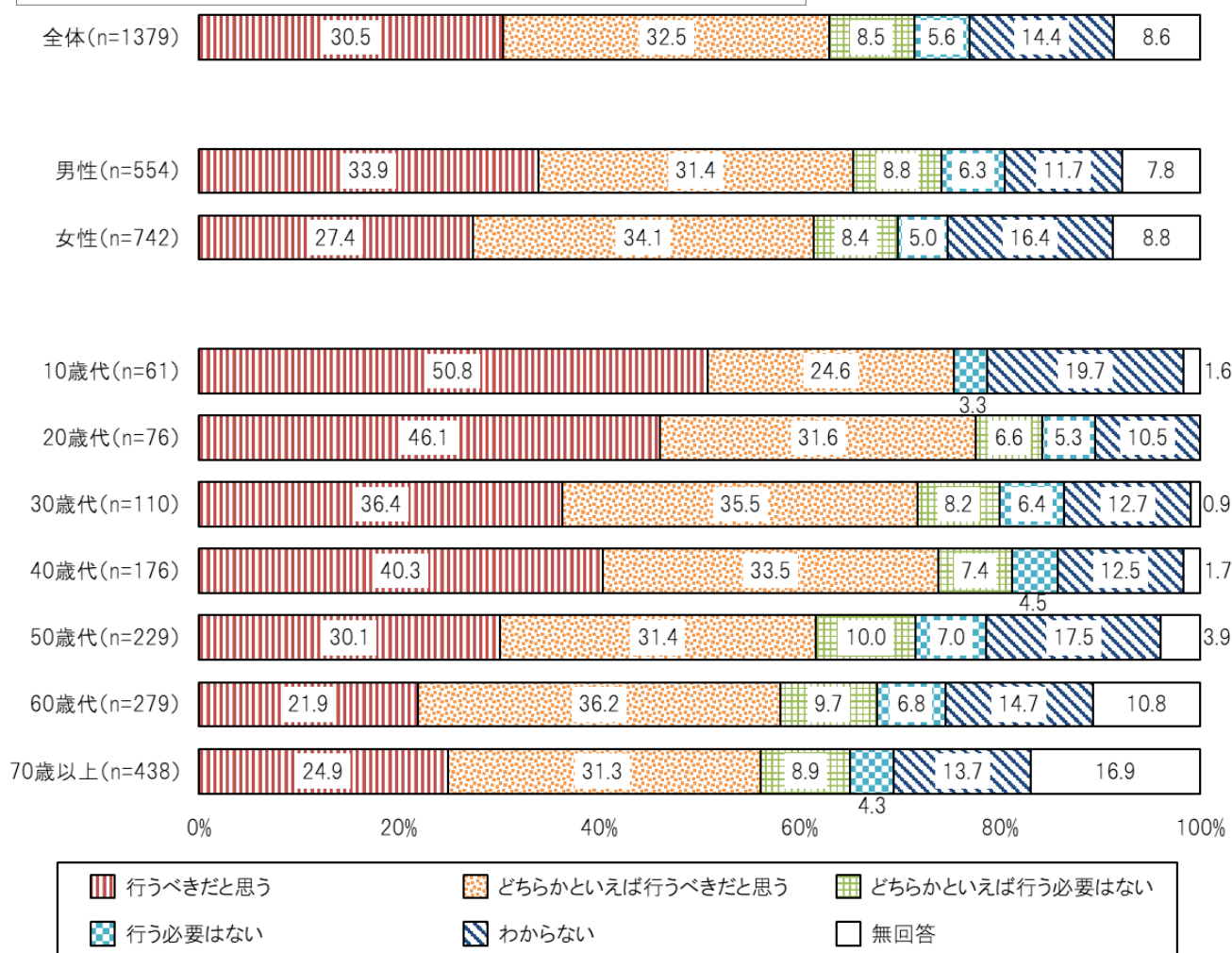
問 17 若者定住の促進の1つとして、UIターンなどで就職した方を対象に、経済的負担を軽減し、奨学金返済の一部補助を行っている自治体が増えています。一方で、高等教育機関に進学すること自体が個人の選択であるため、自分で責任を負うべきとの意見もあります。松阪市で、このような支援を行っていくべきだと思いますか。
(○は1つだけ)

「どちらかといえば行うべきだと思う」が32.5%と最も高く、次いで「行うべきだと思う」30.5%、「わからない」が14.4%となっている。

性別にみると、「行うべきだと思う」「どちらかといえば行うべきだと思う」の合計の割合は、男性が65.3%、女性が61.5%で男性の方が女性よりも3.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「行うべきだと思う」「どちらかといえば行うべきだと思う」の合計の割合は20歳代で最も高く77.7%となっており、70歳以上で56.2%と最も低くなっている。

問17 若者定住の促進の1つとして、支援を行っていくべきだと思いますか



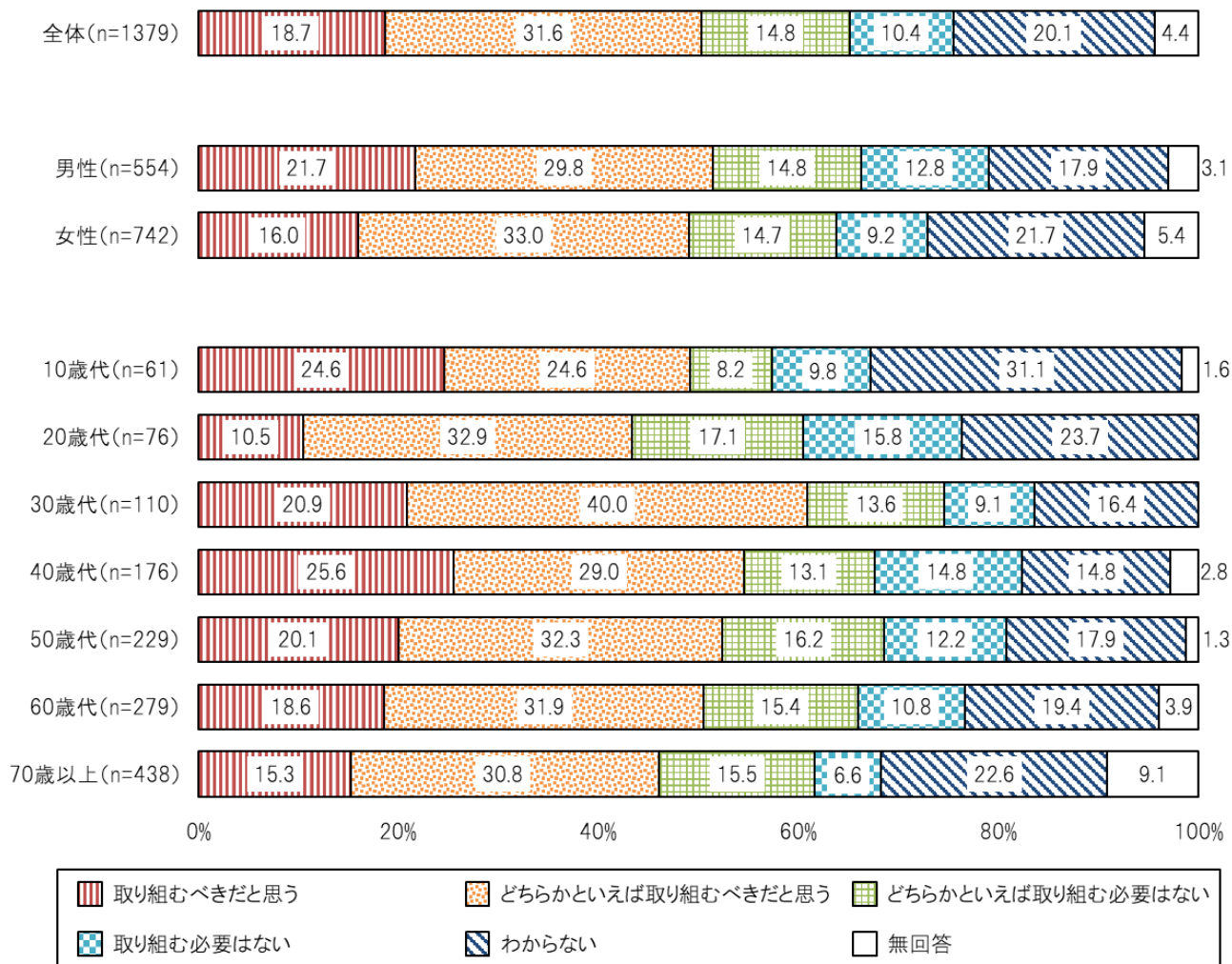
問 18 多くの自治体で出会いの場を提供する婚活支援事業が行われていますが、一方では行政が個人の生き方に介入すべきでないという意見もあります。あなたは、どのように考えますか。（○は1つだけ）

「どちらかといえば取り組むべきだと思う」が31.6%と最も高く、次いで「わからない」が20.1%、「取り組むべきだと思う」18.7%となっている。

性別にみると、「取り組むべきだと思う」「どちらかといえば取り組むべきだと思う」の合計の割合は、男性が51.5%、女性が49.0%で男性の方が女性よりも2.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「取り組むべきだと思う」「どちらかといえば取り組むべきだと思う」の合計の割合は30歳代で最も高く60.9%となっており、20歳代で43.4%と最も低くなっている。

問18 多くの自治体で出会いの場を提供する婚活支援事業が行われていますが、どのように考えますか



各種手続きのオンライン化について

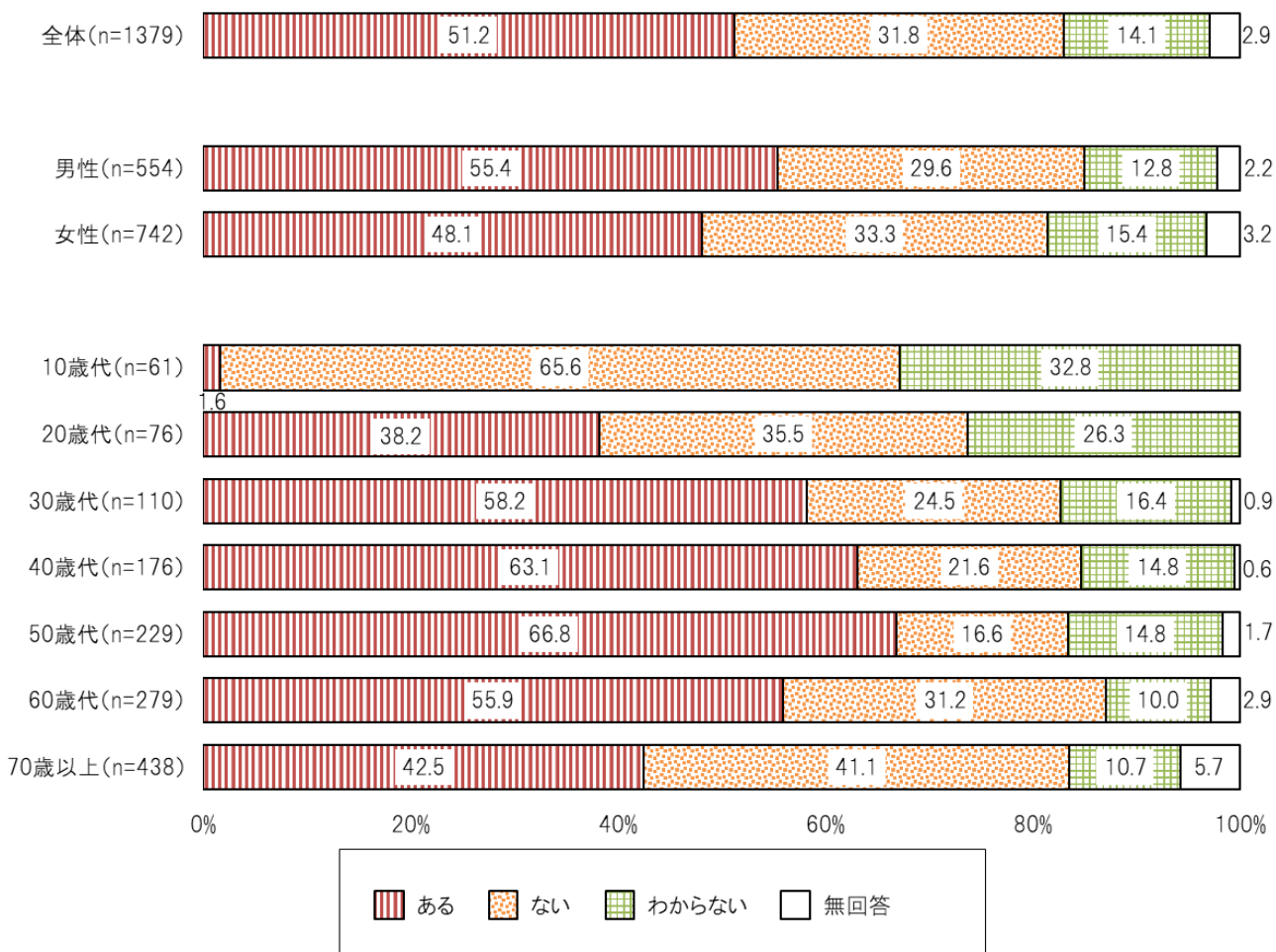
問19 あなたは、これまでにご自身で「行政への手続き」をしたことがありますか。（○は1つだけ）

「ある」が51.2%と最も高く、次いで「ない」31.8%、「わからない」が14.1%となっている。

性別にみると、「ある」の割合は、男性が55.4%、女性が48.1%で男性の方が女性よりも7.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合は50歳代で最も高く66.8%となっており、10歳代で1.6%と最も低くなっている。

問19 あなたは、これまでにご自身で「行政への手続き」をしたことがありますか



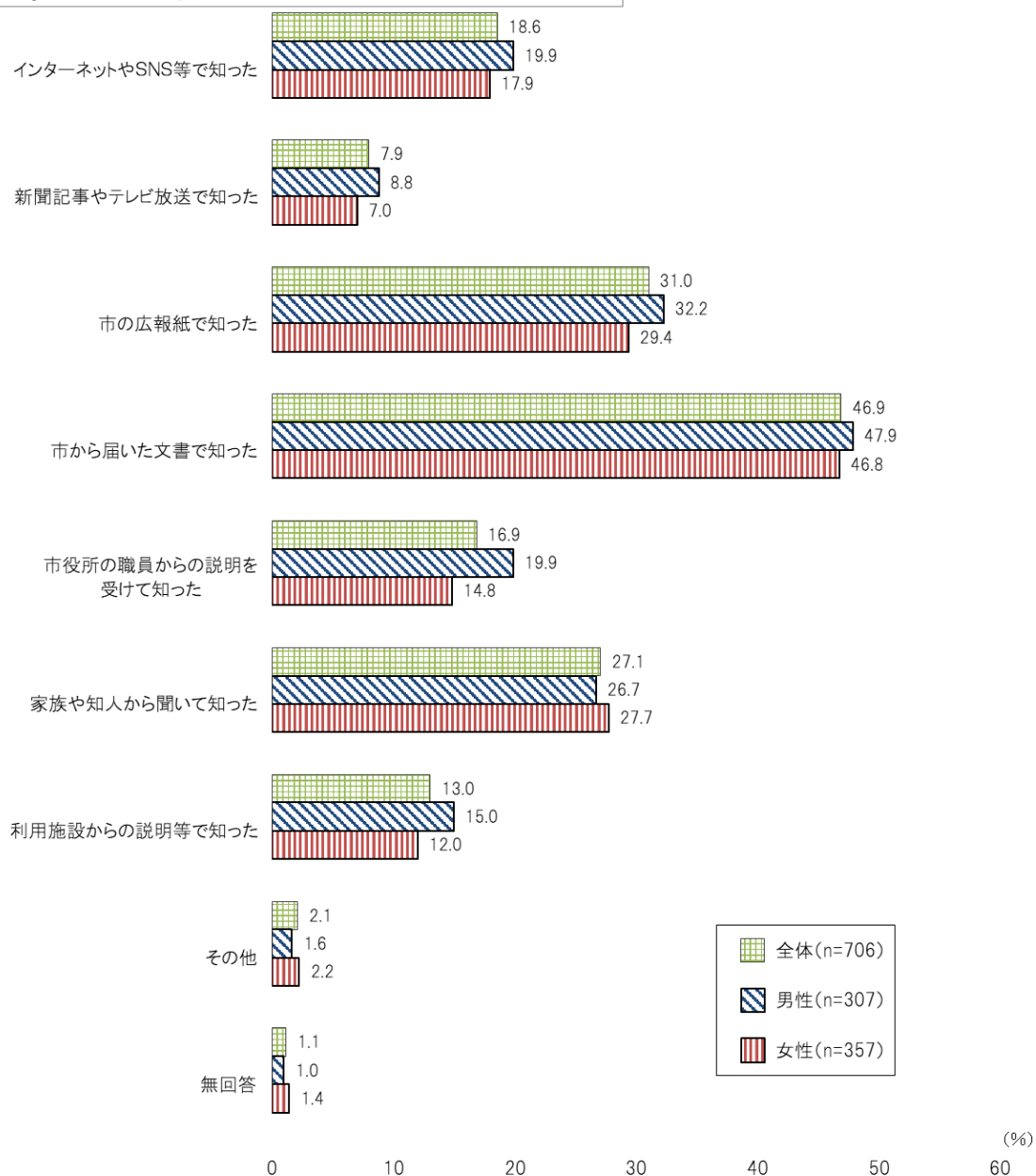
問 20 問 19 で「1. ある」と答えた方におききます。その「行政への手続き」が必要であることをどのように知りましたか。（〇はいくつでも）

「市から届いた文書で知った」が46.9%と最も高く、次いで「市の広報紙で知った」31.0%、「家族や知人から聞いて知った」が27.1%となっている。

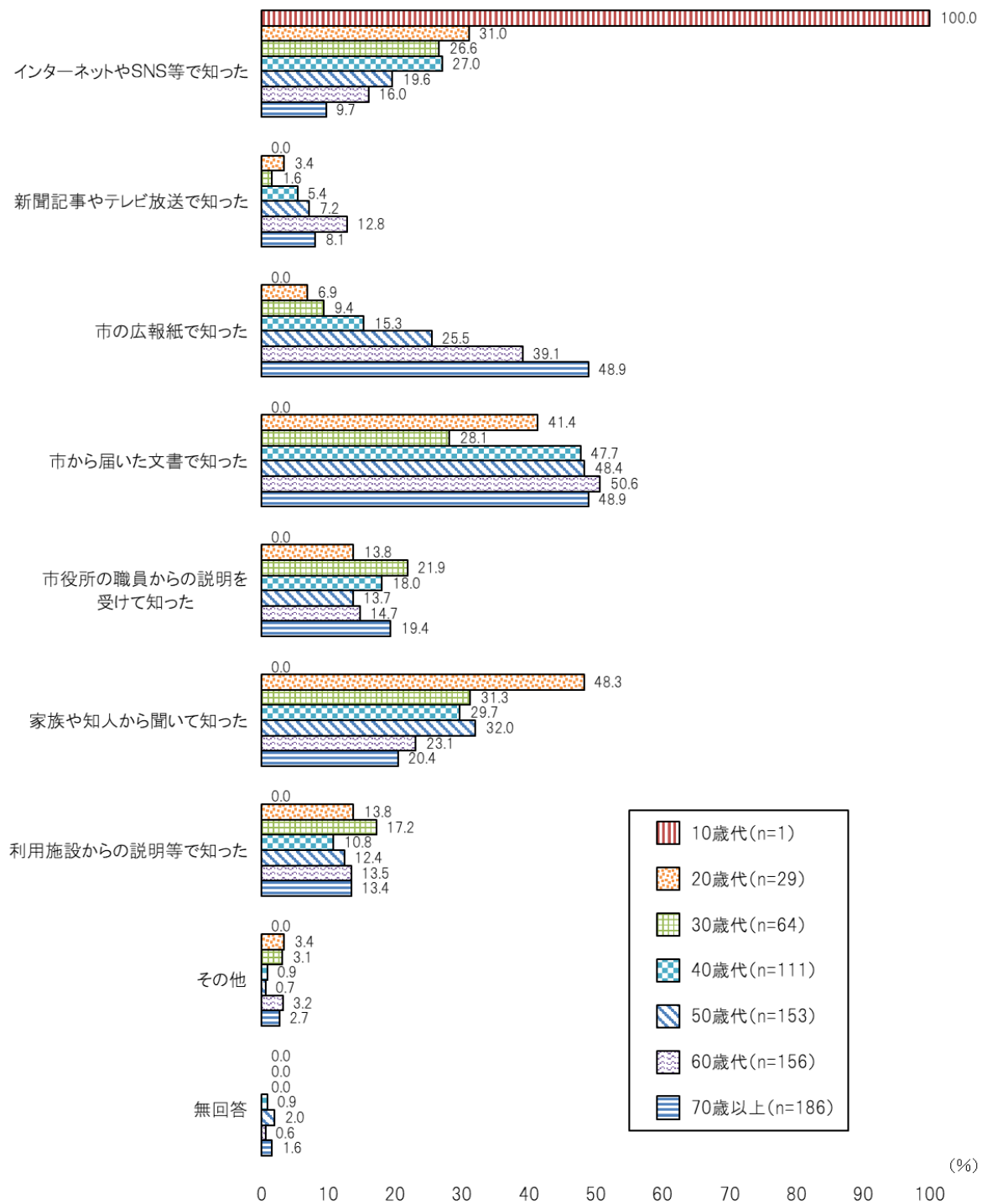
性別にみると、「市から届いた文書で知った」の割合は、男性が47.9%、女性が46.8%で男性の方が女性よりも1.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「市から届いた文書で知った」の割合は60歳代で最も高く50.6%となっており、30歳代で28.1%と最も低くなっている。

問20 「行政への手続き」が必要であることをどのように知りましたか
(問 19 で「ある」と答えた方)



問20 「行政への手続き」が必要であることをどのように知りましたか
(問 19 で「ある」と答えた方)



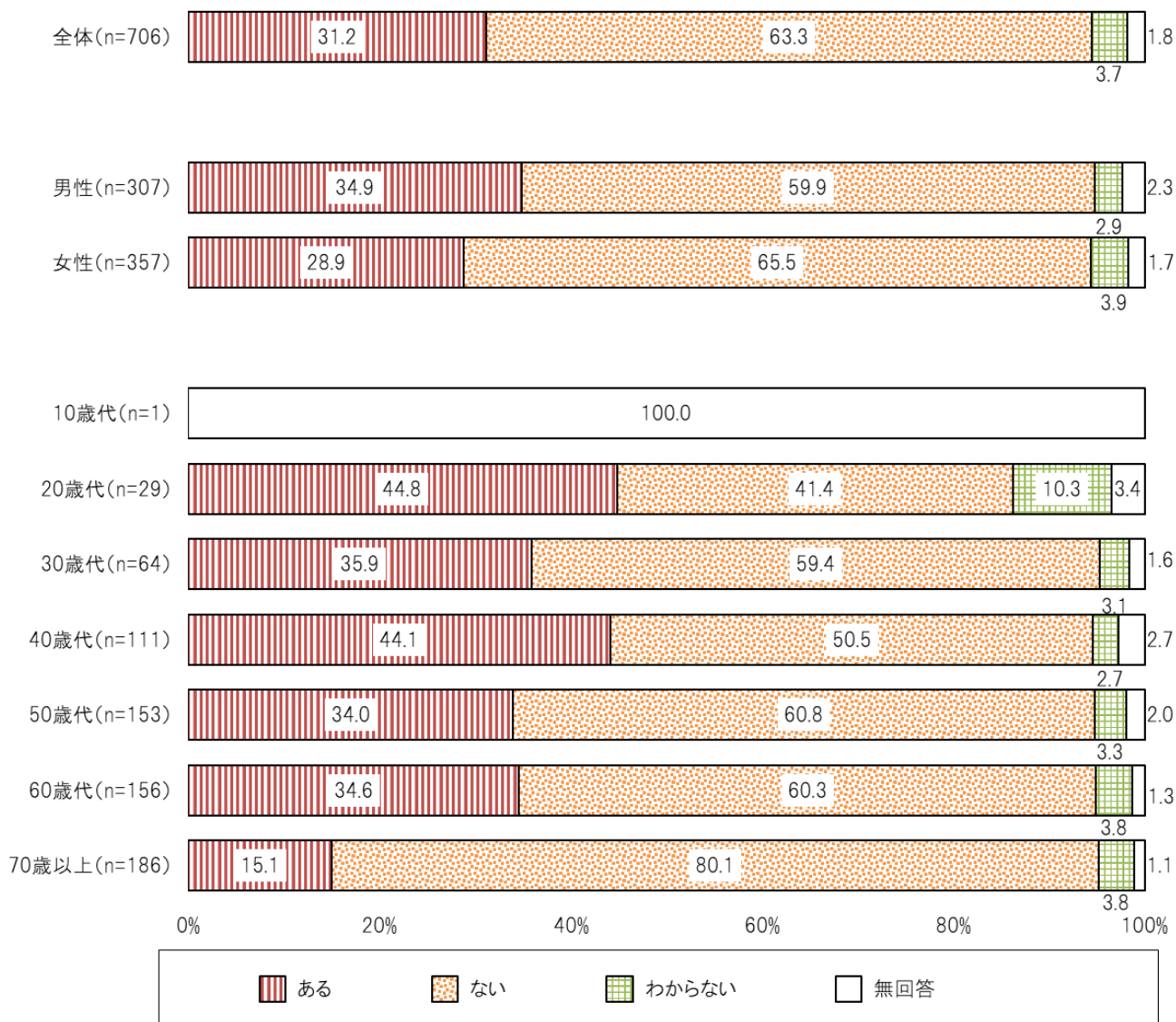
問 21 問 19 で「1. ある」と答えた方におききします。松阪市では「行政への手続き」をパソコンやスマートフォン等から行うことができる「オンライン化（オンライン申請）」を進めていますが、あなたは、これまでに松阪市役所の「行政への手続き」で、オンライン申請を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

「ない」が 63.3%と最も高く、次いで「ある」31.2%となっている。

性別にみると、「ない」の割合は、男性が 59.9%、女性が 65.5%で女性の方が男性よりも 5.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ない」の割合は 70 歳以上で最も高く 80.1%となっており、20 歳代で 41.4%と最も低くなっている。

問21 各種手続きを電子申請でしたことがあるか（問 19 で「ある」と答えた方）



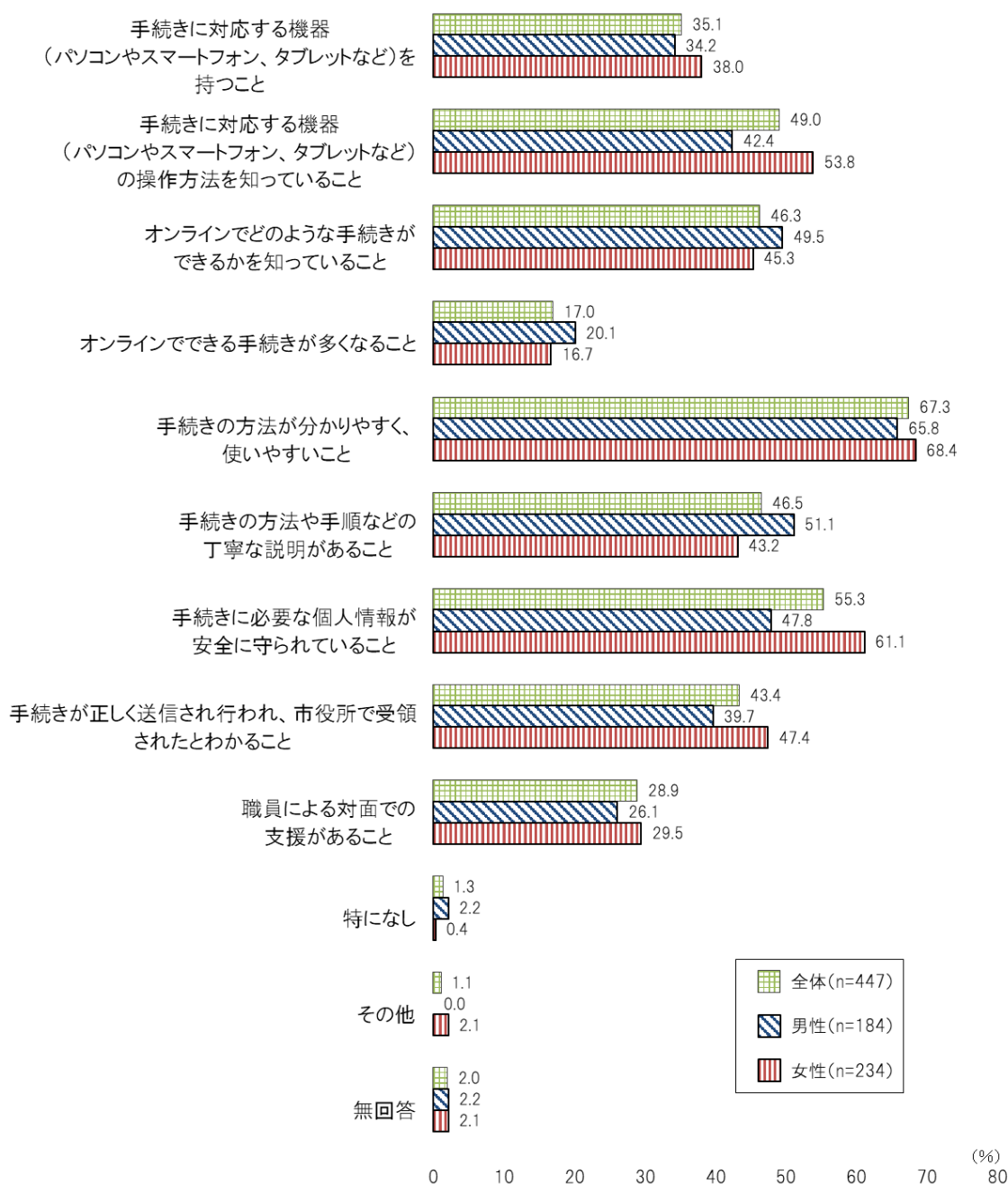
問 22 問 21 で「2. ない」と答えた方におききます。あなたが、オンラインで「行政への手続き」をするためには何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「手続きの方法が分かりやすく、使いやすいこと」が 67.3%と最も高く、次いで「手続きに必要な個人情報安全に守られていること」55.3%、「手続きに対応する機器（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）の操作方法を知っていること」49.0%となっている。

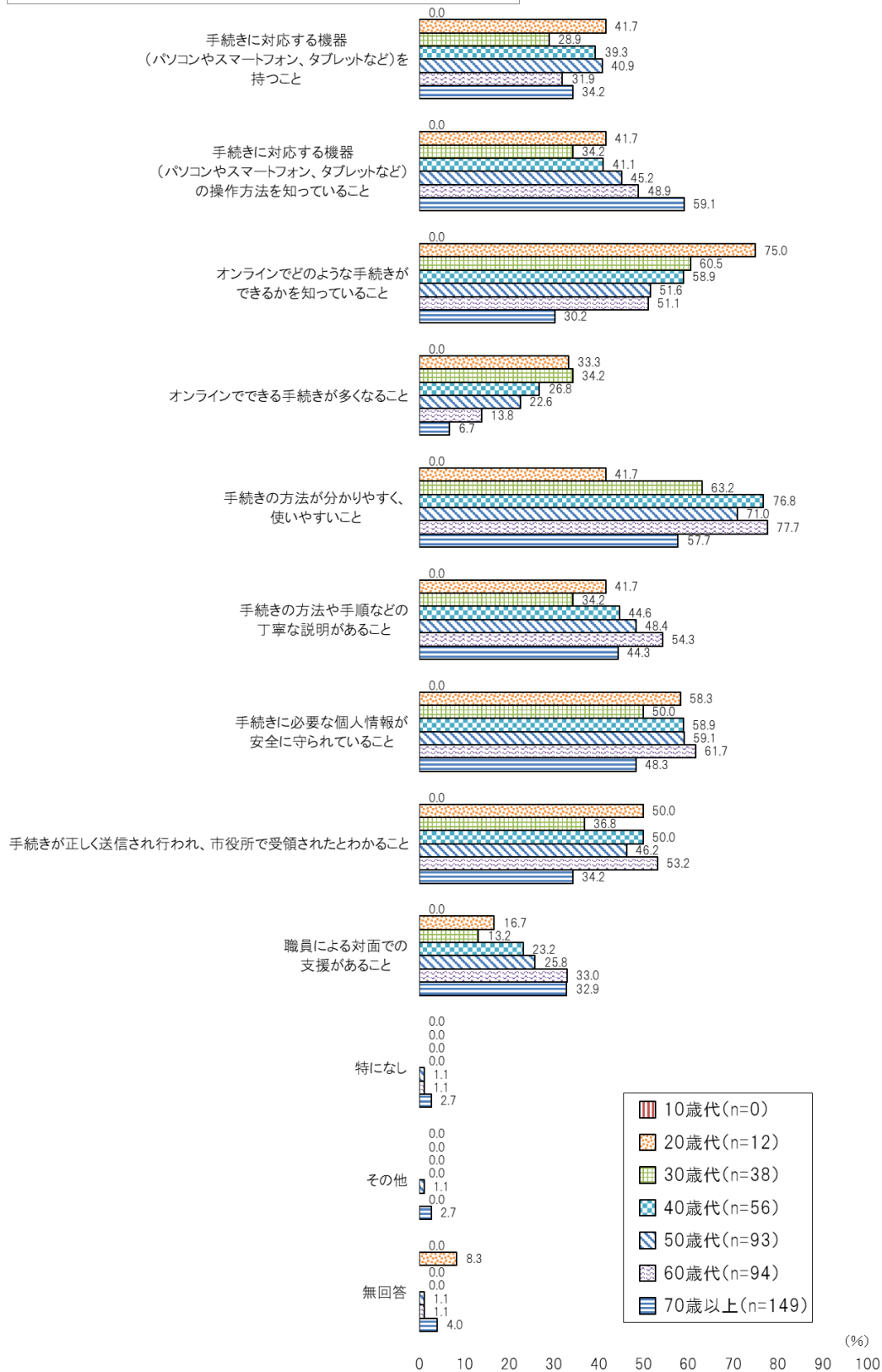
性別にみると、「手続きの方法が分かりやすく、使いやすいこと」の割合は、男性が 65.8%、女性が 68.4%で女性の方が男性よりも 2.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「手続きの方法が分かりやすく、使いやすいこと」の割合は 60 歳代で最も高く 77.7%となっており、20 歳代で 41.7%と最も低くなっている。

問22 オンライン（インターネット）で手続きをするためには何が必要か
（問 21 で「ない」と答えた方）



問22 オンライン(インターネット)で手続きをするためには何が必要か
(問 21 で「ない」と答えた方)



ゼロカーボンシティの実現に向けて

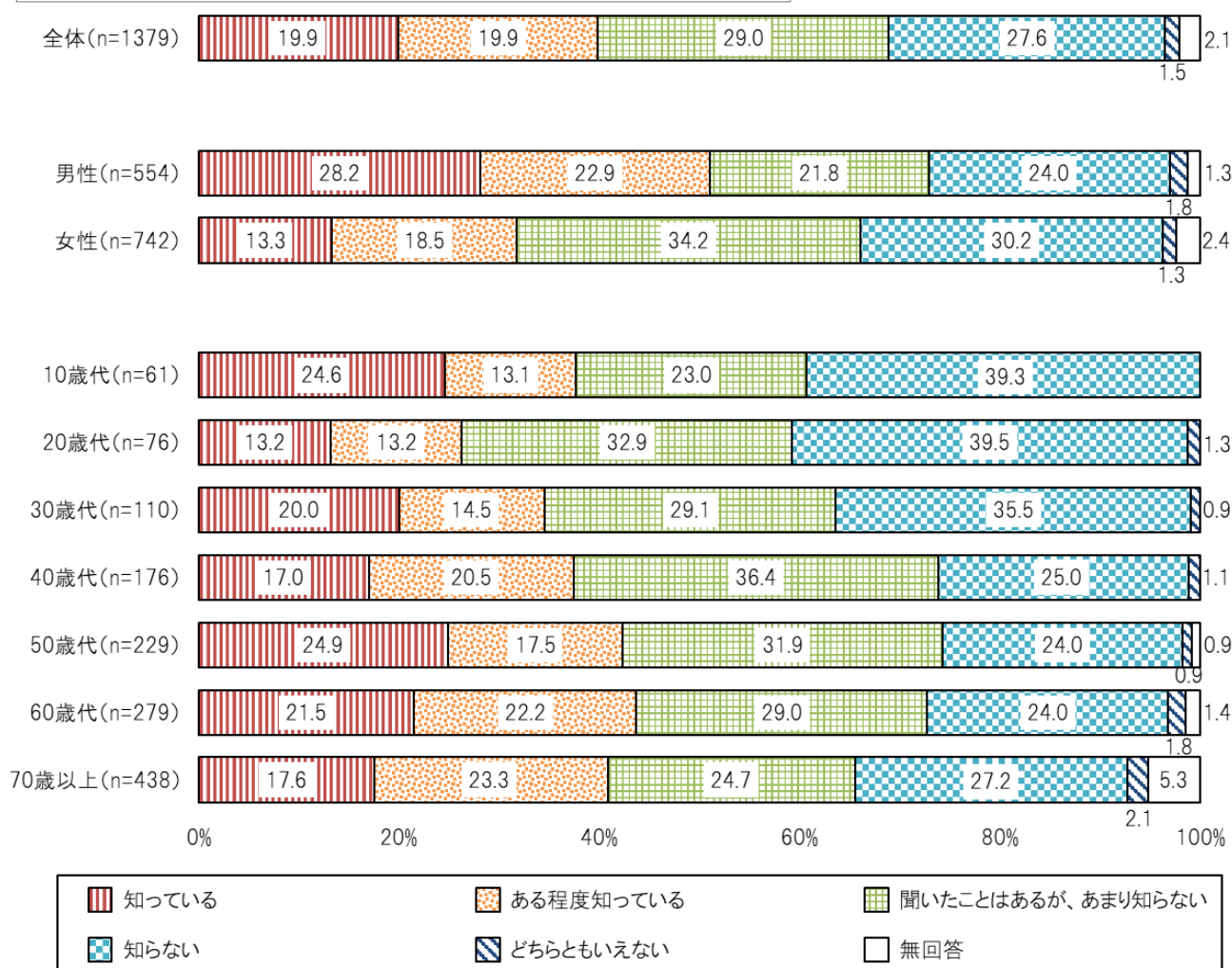
問 23 「松阪市ゼロカーボンビジョン」では、脱炭素社会の実現のために、主に行政が取り組むべき事柄をまとめていますが、「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などと呼ばれる脱炭素社会の実現をめざした地球温暖化対策について知っていますか。（○は1つだけ）

「聞いたことはあるが、あまり知らない」が29.0%と最も高く、次いで「知らない」27.6%となっている。

性別にみると、「聞いたことはあるが、あまり知らない」の割合は、男性が21.8%、女性が34.2%で女性の方が男性よりも12.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「聞いたことはあるが、あまり知らない」の割合は40歳代で最も高く36.4%となっており、10歳代で23.0%と最も低くなっている。

問23「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などの地球温暖化対策について知っていますか



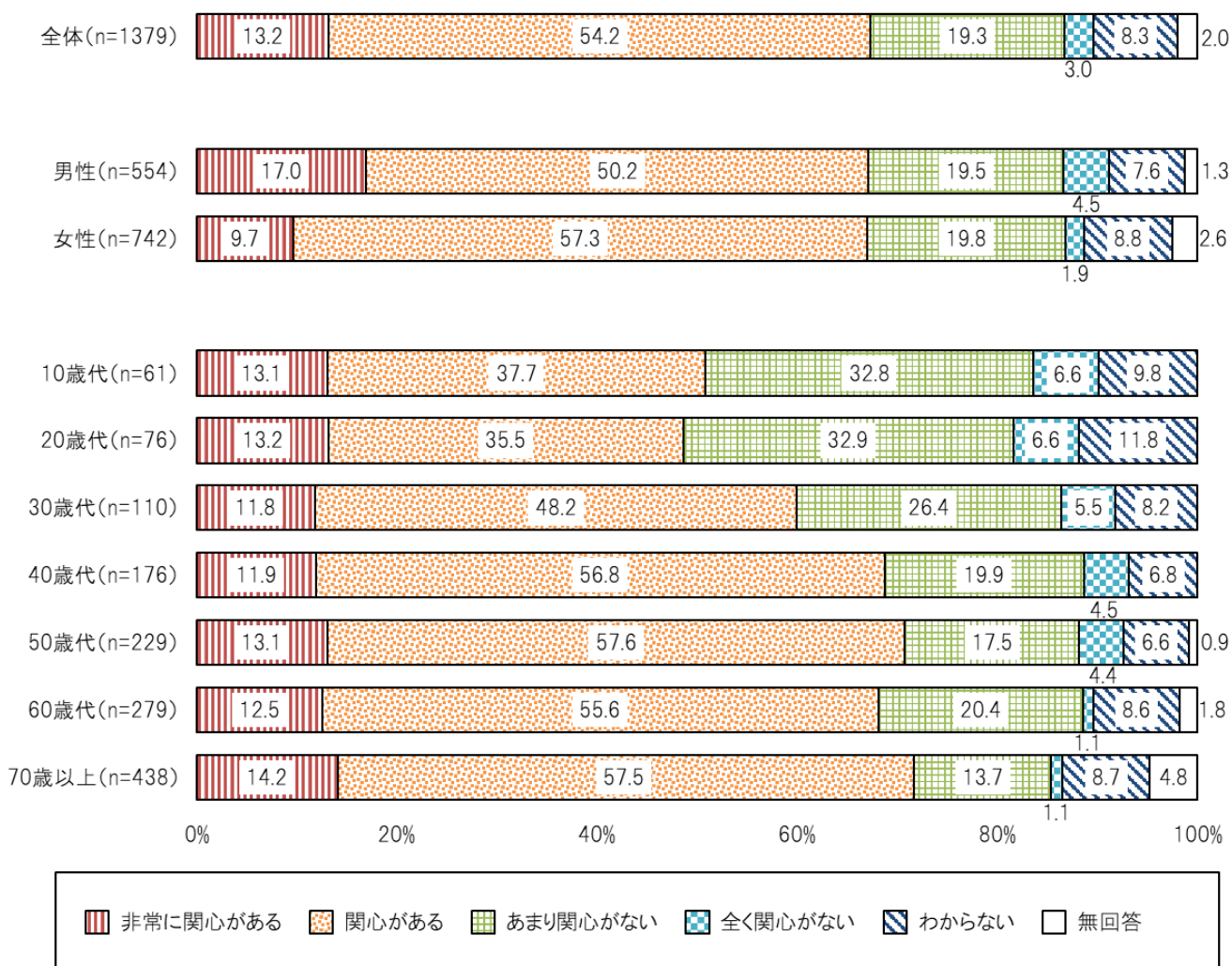
問 24 あなたは、地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心はありますか。（○は1つだけ）

「関心がある」が 54.2%と最も高く、次いで「あまり関心がない」19.3%、「非常に関心がある」13.2%となっている。

性別にみると、「非常に関心がある」「関心がある」の合計の割合は、男性が 67.2%、女性が 67.0%で男性の方が女性よりも 0.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「非常に関心がある」「関心がある」の合計の割合は 70 歳以上で最も高く 71.7%となっており、20 歳代で 48.7%と最も低くなっている。

問24 地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心はありますか



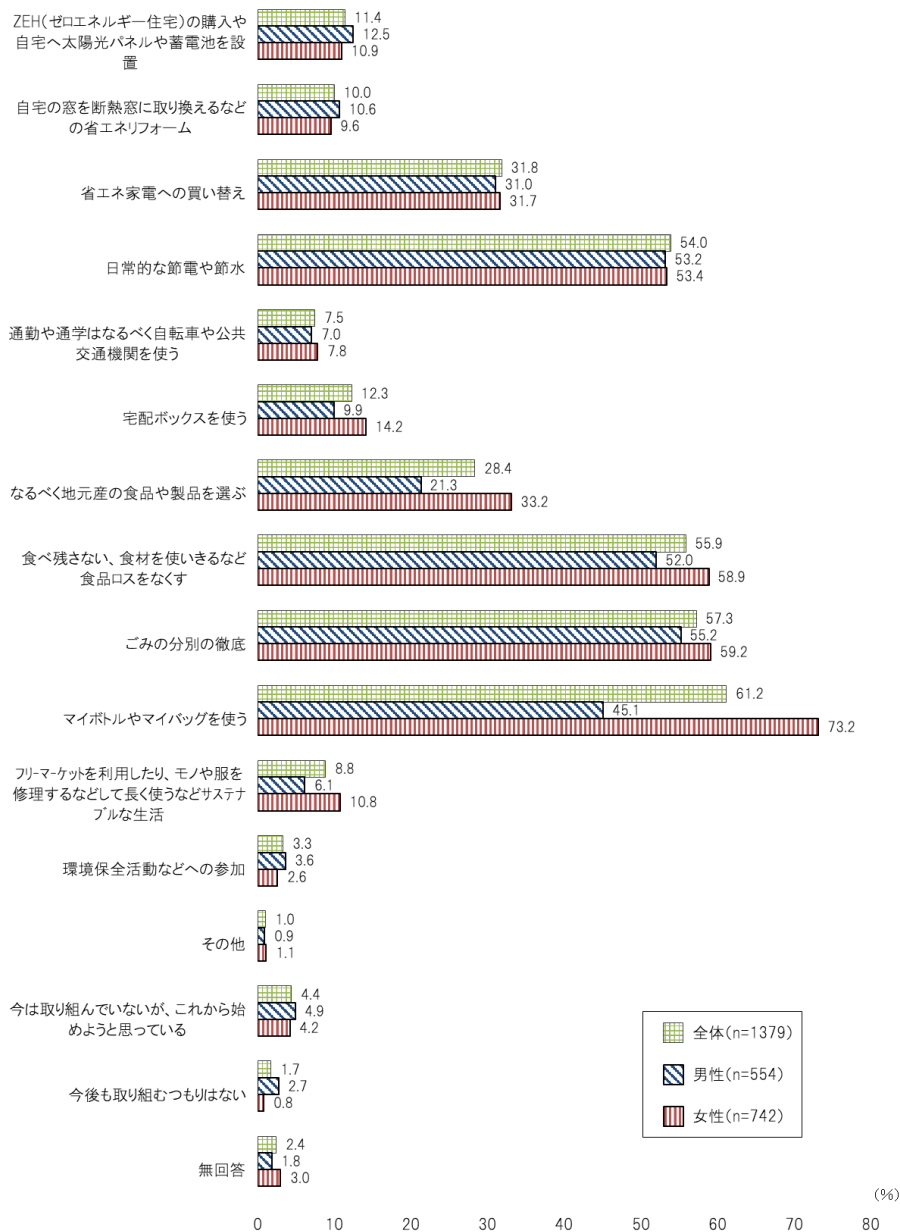
問 25 松阪市は、市民一人ひとりが脱炭素社会の実現のための様々な取組を「自分のこと」として意識していただくことで、その意識や行動の変化が地域やまち全体に波及し、脱炭素社会の実現につながっていくと考えています。あなたがすでに取り組んでいるものはありますか。（〇はいくつでも）

「マイボトルやマイバッグを使う」が 61.2%と最も高く、次いで「ごみの分別の徹底」57.3%、「食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす」55.9%となっている。

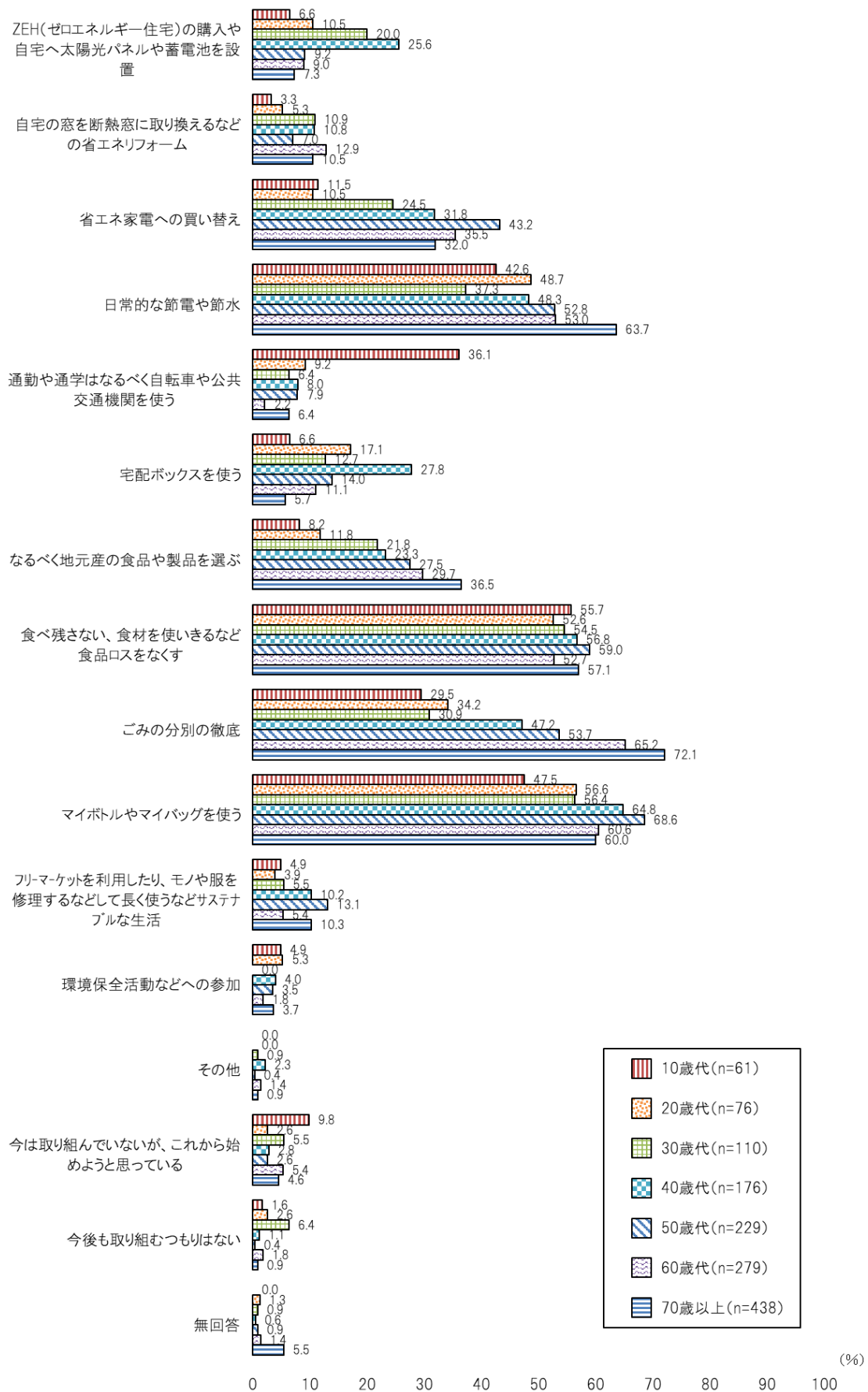
性別にみると、「マイボトルやマイバッグを使う」の割合は、男性が 45.1%、女性が 73.2%で女性の方が男性よりも 28.1 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「マイボトルやマイバッグを使う」の割合は 50 歳代で最も高く 68.6%となっており、10 歳代で 47.5%と最も低くなっている。

問25 脱炭素社会の実現のために取り組んでいるものはありますか



問25 脱炭素社会の実現のために取り組んでいるものはありますか



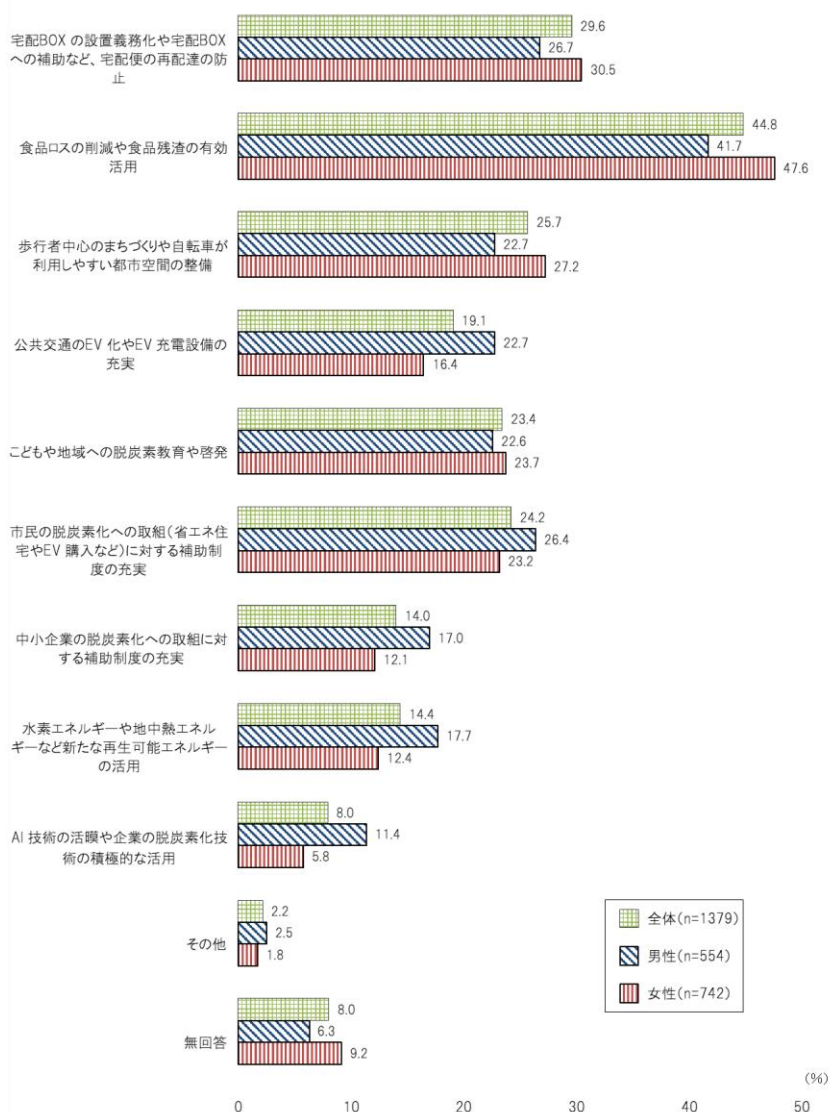
問 26 松阪市は、脱炭素社会の実現に向けて、公共施設への太陽光発電の導入や LED 照明への切替、公用車の EV（電気自動車）化などを積極的に進めています。また、ZEH や蓄電池など導入、断熱窓への改修に対する補助金制度、市民の行政手続きの電子化などに取り組んでいます。今後、さらに脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものとして、あなたの考えに近いものに○をつけてください。
（○は3つまで）

「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」が 44.8%と最も高く、次いで「宅配 BOX の設置義務化や宅配 BOX への補助など、宅配便の再配達の防止」29.6%、「歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備」25.7%となっている。

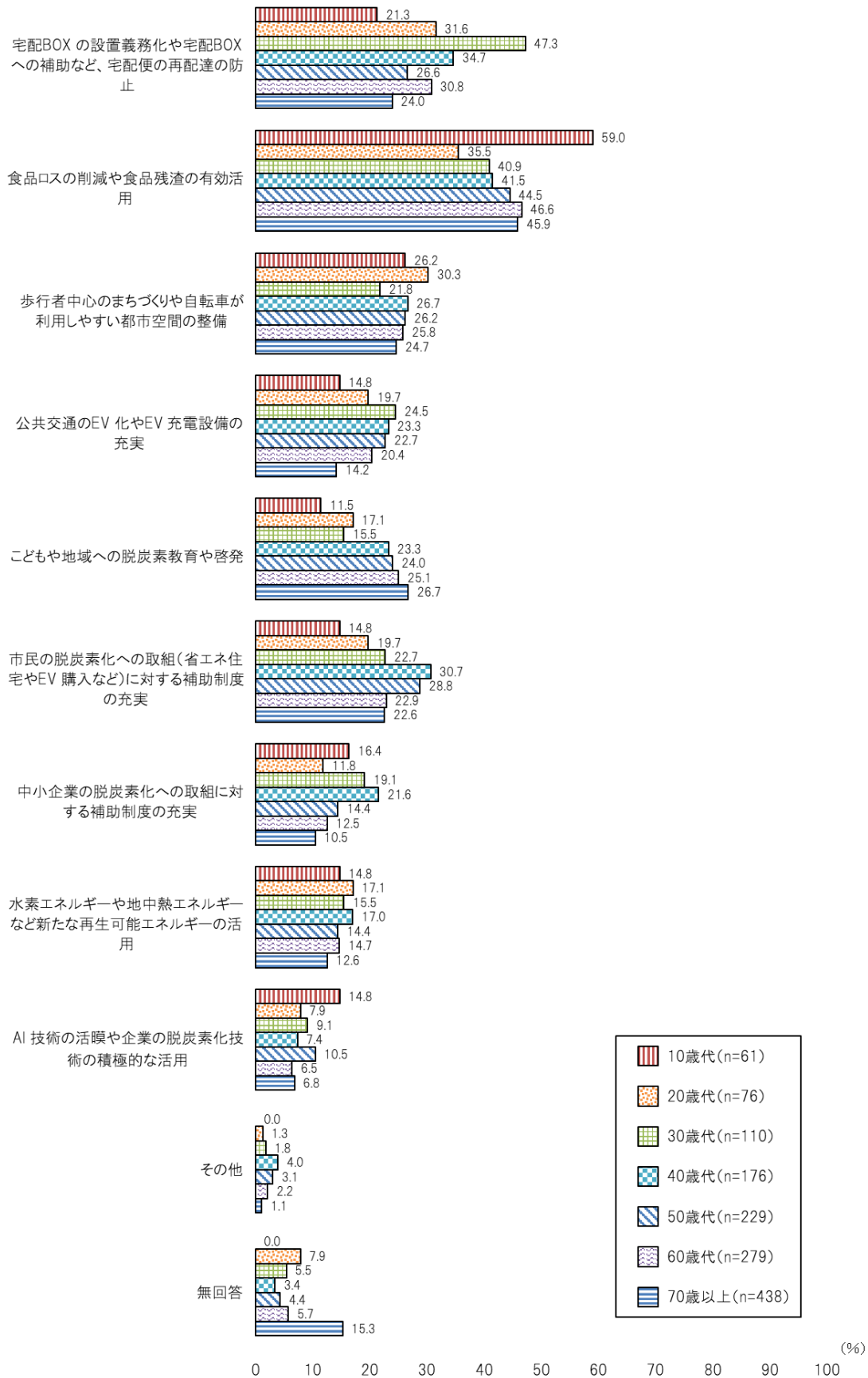
性別にみると、「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」の割合は、男性が 41.7%、女性が 47.6%で女性の方が男性よりも 5.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「食品ロスの削減や食品残渣の有効活用」の割合は 10 歳代で最も高く 59.0%となっており、20 歳代で 35.5%と最も低くなっている。

問26 今後、脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものはどれですか



問26 今後、脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものはどれですか



選定療養費、救急車の適正利用、適切な医療機関受診について

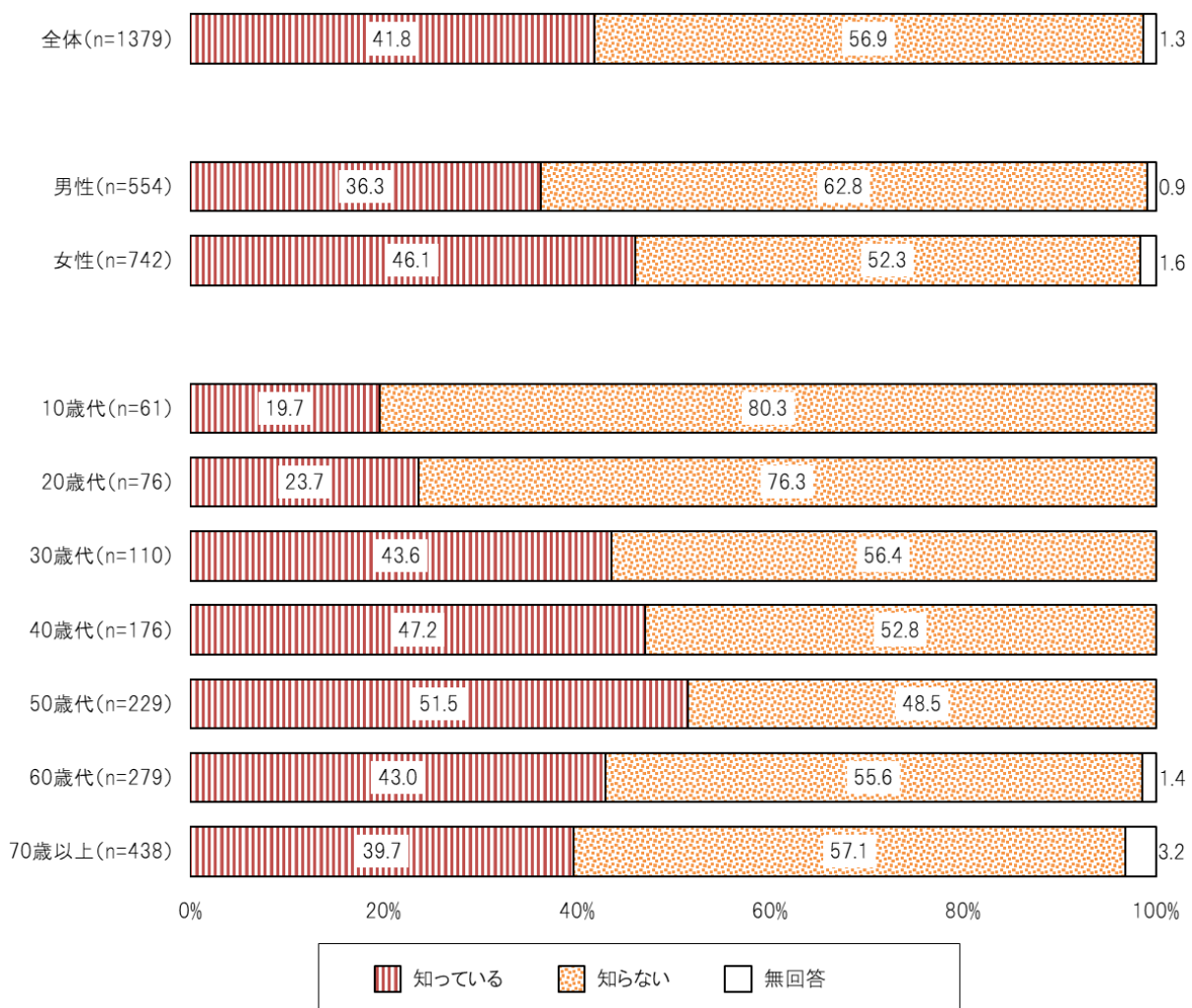
問 27 急な病気やケガ等で「病院を受診した方が良いか、不安なので相談したい」時の問合せ先（松阪地区救急相談ダイヤル 24：TEL 0120－4199－17（24 時間））を知っていますか。（○は 1 つだけ）

「知らない」が 56.9%と最も高く、次いで「知っている」41.8%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は、男性が 62.8%、女性が 52.3%で男性の方が女性よりも 10.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知らない」の割合は 10 歳代で最も高く 80.3%となっており、50 歳代で 48.5%と最も低くなっている。

問27 急な病気やケガ等で「病院を受診した方が良いか、不安なので相談したい」時の問合せ先を知っていますか



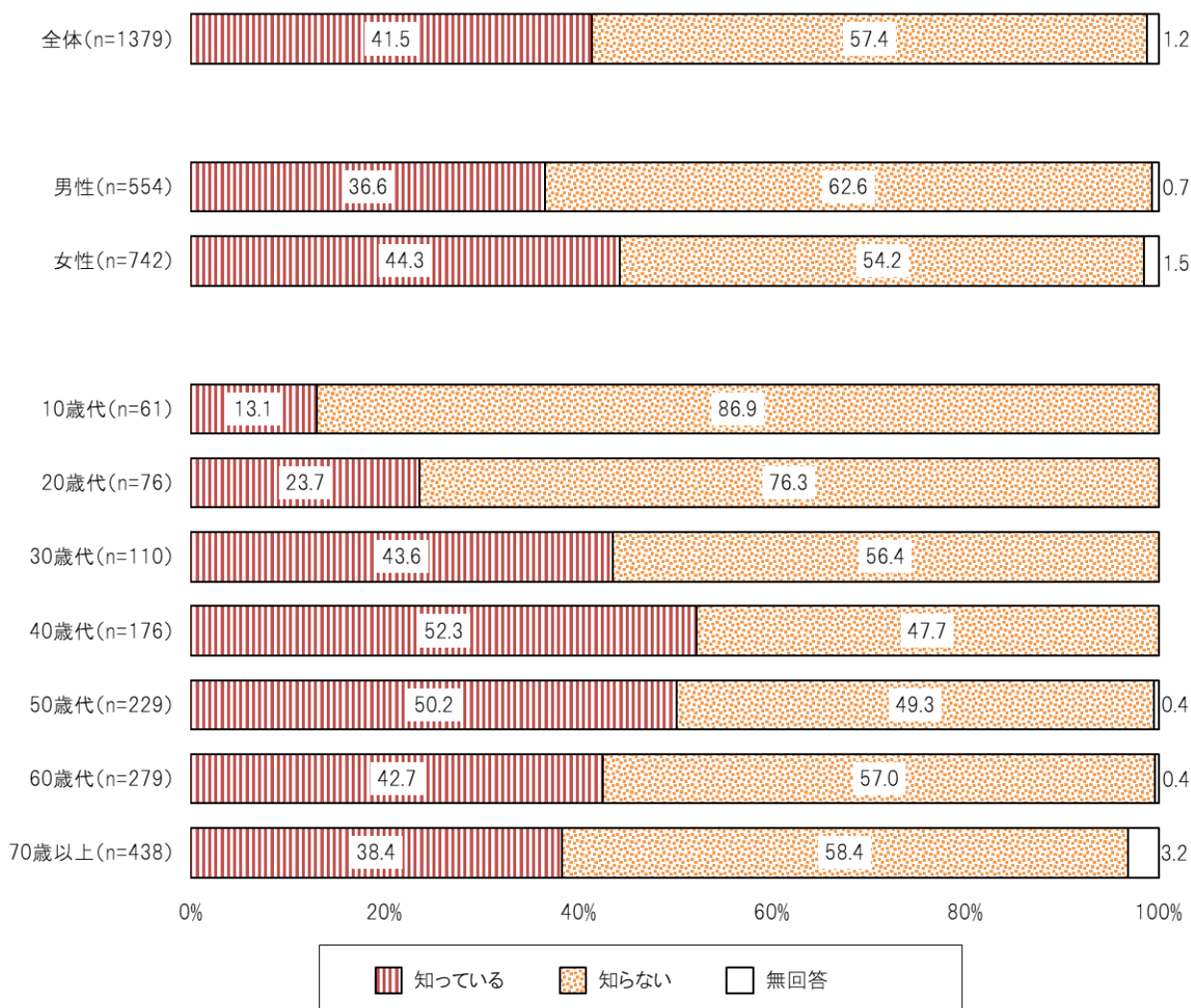
問 28 救急車を呼ぶほどではない急な病気やケガ等の時、「今診てもらえる医療機関を案内する」問合せ先（三重県救急医療情報センター：TEL 059-229-1199（24 時間））を知っていますか。（○は 1 つだけ）

「知らない」が 57.4%と最も高く、次いで「知っている」41.5%となっている。

性別にみると、「知らない」の割合は、男性が 62.6%、女性が 54.2%で男性の方が女性よりも 8.4 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知らない」の割合は 10 歳代で最も高く 86.9%となっており、40 歳代で 47.7%と最も低くなっている。

問28 救急車を呼ぶほどではない急な病気やケガ等の時、「今診てもらえる医療機関を案内する」問合せ先を知っていますか



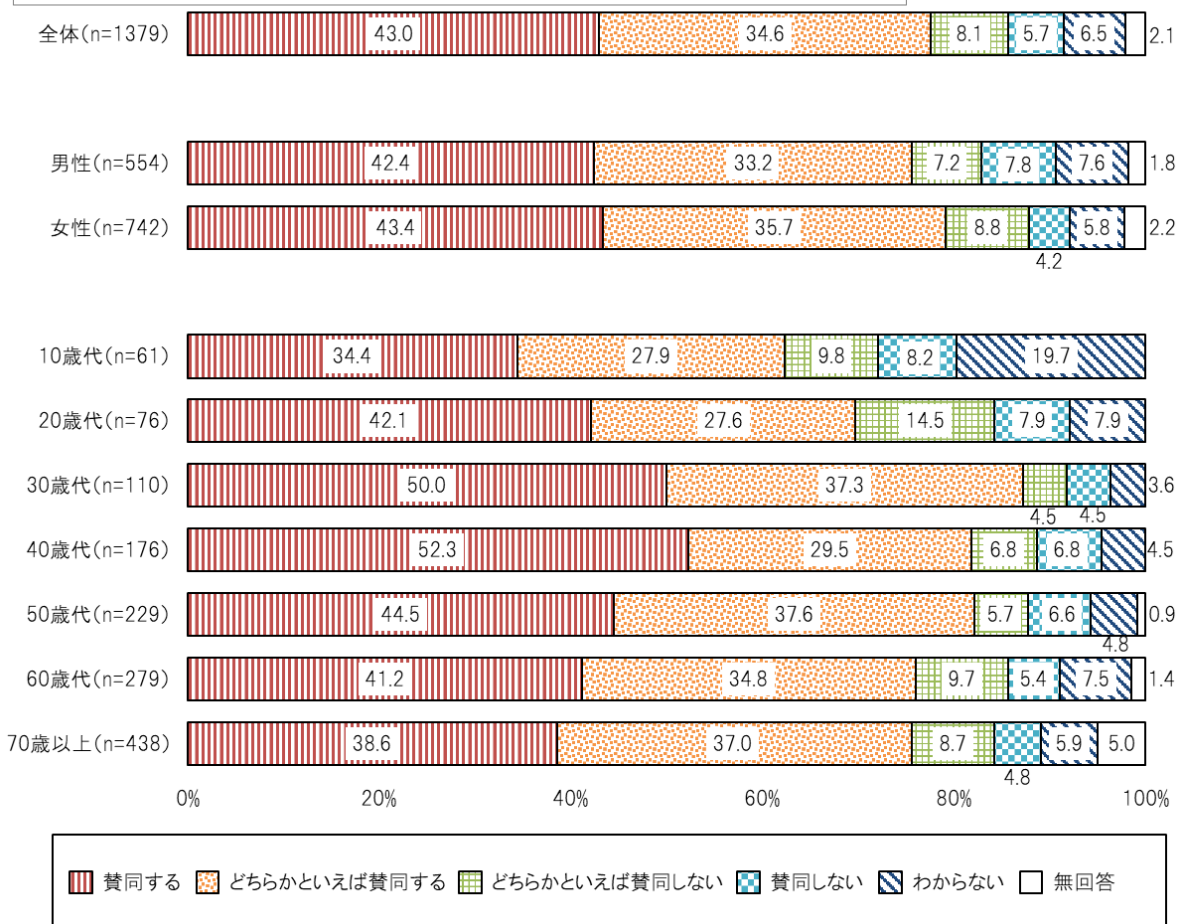
問 29 現在、松阪地区では、救急車の出動要請が重なり、最寄りの救急車が出払ってしまい、遠方の消防署から救急車が出動する事態が発生しています。この状態では、早期治療を必要とする方に、速やかに救急医療が届かない可能性があります。このようなことから、三基幹病院、医師会、消防等の関係機関と2年間にわたり、協議・調査等を行い、一次二次救急医療の適切な機能分担等を実現するため、救急車利用の場合であっても基本的に入院に至らない軽症の方を選定療養費の対象※とすることとしました。この取組 に対して、「救急車利用の場合に負担額が発生する可能性があること」を反対する声もありますが、この取組は、皆さまの命や松阪地区の救急医療体制を守るために実施するものです。もちろん、緊急時には、ためらわず、迷わず、救急車を呼んでいただきたいことには変わりはありません。このようなことを踏まえ、この取組についてどう思いますか。（○は1つだけ）

「賛同する」が43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば賛同する」34.6%、「どちらかといえば賛同しない」8.1%となっている。

性別にみると、「賛同する」「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は、男性が75.6%、女性が79.1%で女性の方が男性よりも3.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」「どちらかといえば賛同する」の合計の割合は30歳代で最も高く87.3%となっており、10歳代で62.3%と最も低くなっている。

問29 救急車利用の場合であっても基本的に入院に至らない軽症の方を選定療養費の対象とすることとしました。この取組についてどう思いますか



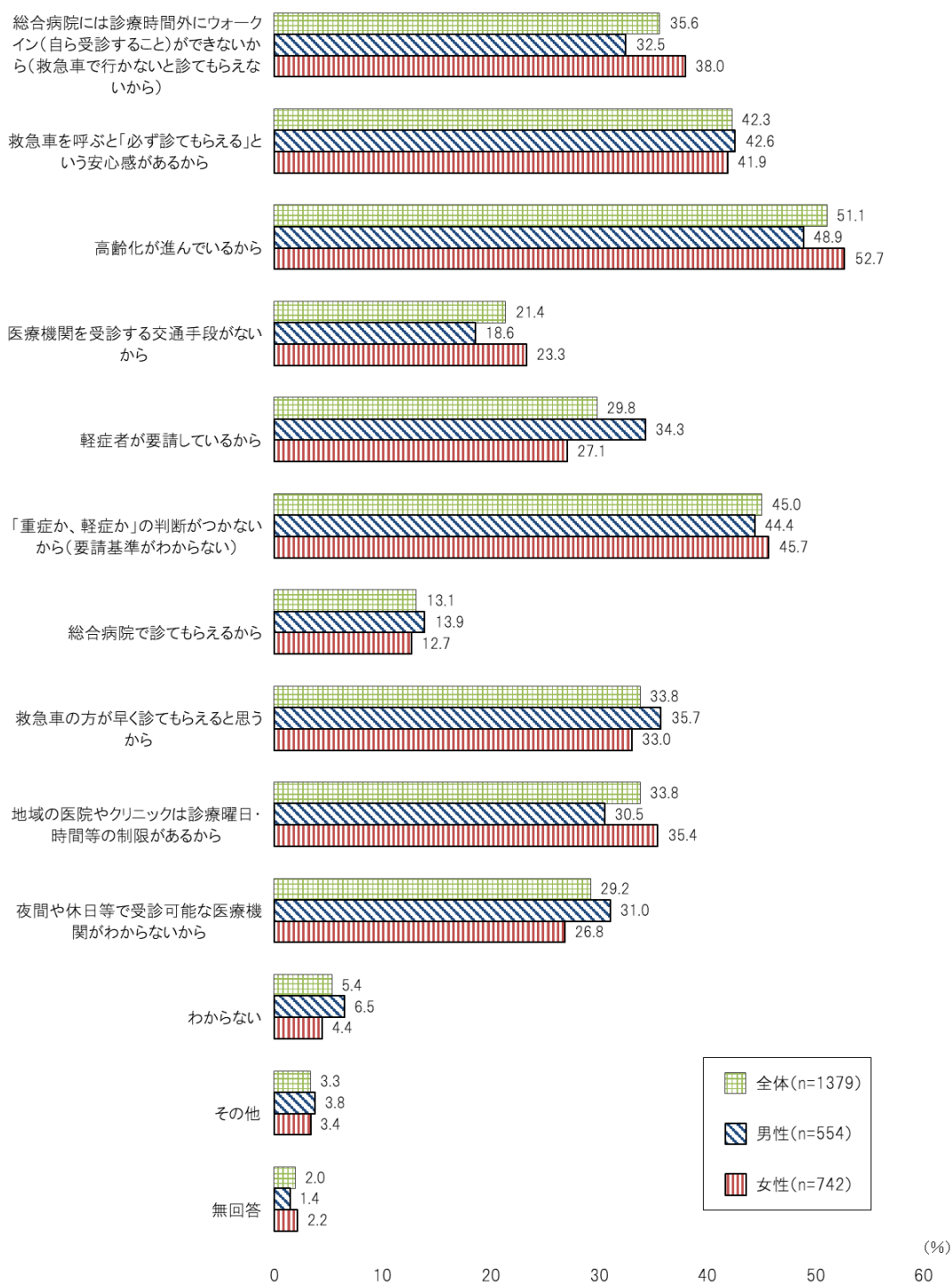
問 30 なぜ、松阪地区は救急車の出動件数が多いと思いますか。（〇はいくつでも）

「高齢化が進んでいるから」が51.1%と最も高く、次いで「重症か、軽症か」の判断がつかないから（要請基準がわからない）45.0%となっている。

性別にみると、「高齢化が進んでいるから」の割合は、男性が48.9%、女性が52.7%で女性の方が男性よりも3.8ポイント高くなっている。

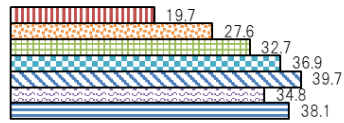
年代別にみると、「高齢化が進んでいるから」の割合は20歳代で最も高く64.5%となっており、70歳以上で46.3%と最も低くなっている。

問30 なぜ、松阪地区は救急車の出動件数が多いと思いますか

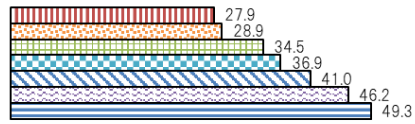


問30 なぜ、松阪地区は救急車の出動件数が多いと思いますか

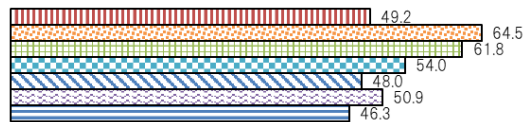
総合病院には診療時間外にウォークイン（自ら受診すること）ができないから（救急車で行かないと診てもらえないから）



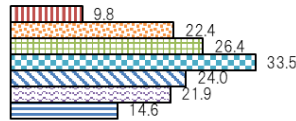
救急車を呼ぶと「必ず診てもらえる」という安心感があるから



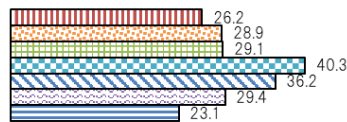
高齢化が進んでいるから



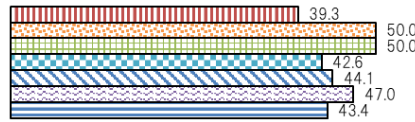
医療機関を受診する交通手段がないから



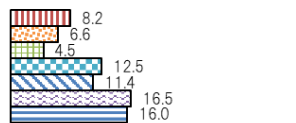
軽症者が要請しているから



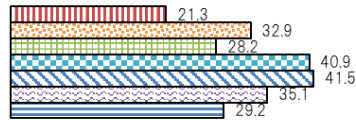
「重症か、軽症か」の判断がつかないから（要請基準がわからない）



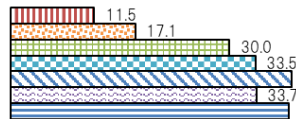
総合病院で診てもらえるから



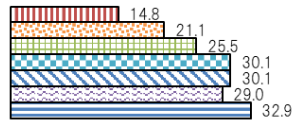
救急車の方が早く診てもらえると思うから



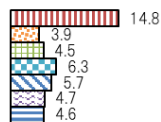
地域の医院やクリニックは診療曜日・時間等の制限があるから



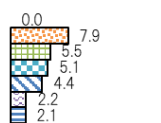
夜間や休日等で受診可能な医療機関がわからないから



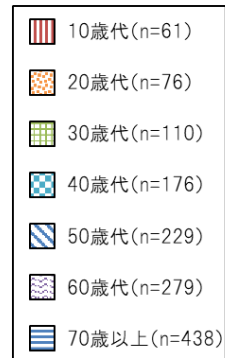
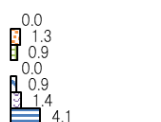
わからない



その他



無回答



(%)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

鈴の音バスとコミュニティ交通にかかる地域負担や税負担の増加を踏まえた今後のあり方について

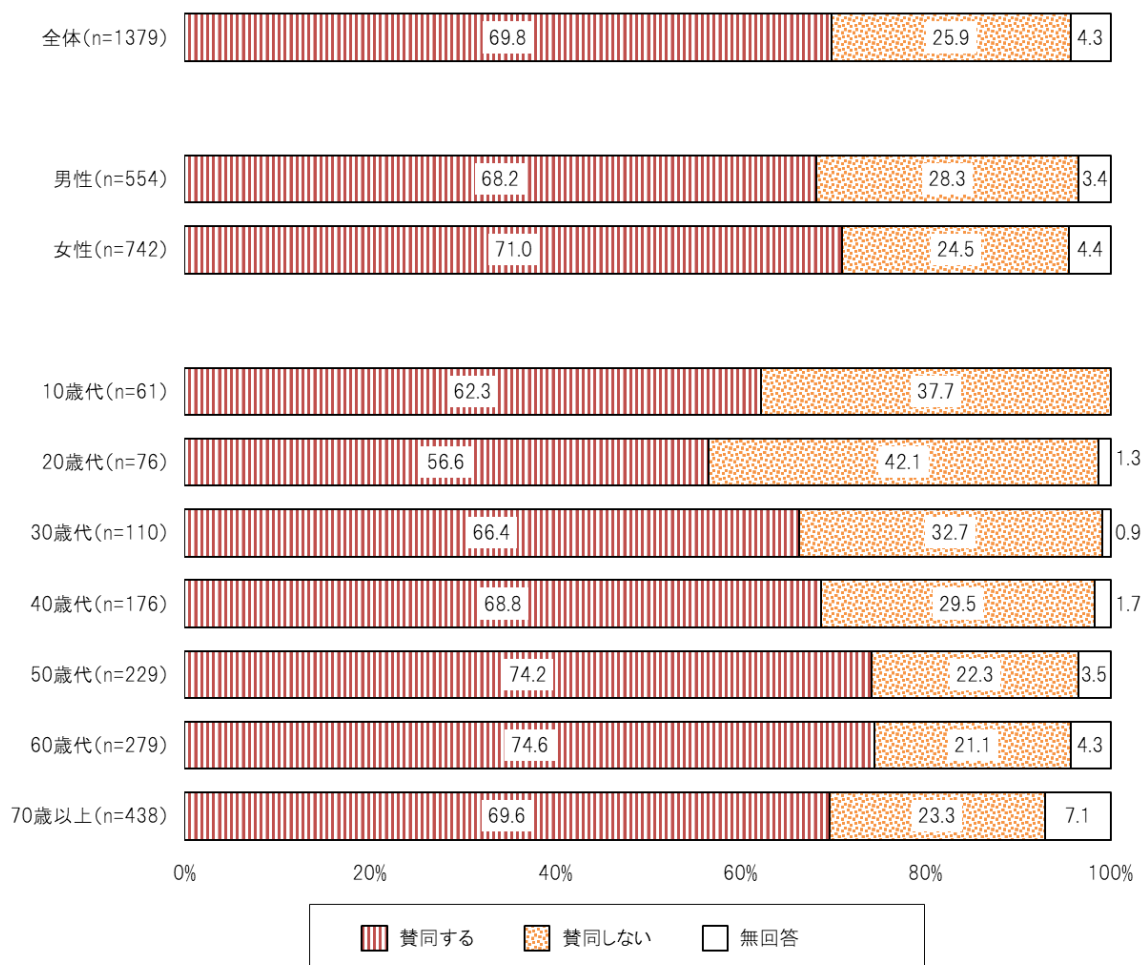
問 31 松阪市のコミュニティ交通は、地域が支えるという考え方から、地域・乗る人・税金の3つで支える仕組みになっています。路線の周辺地域の皆さまが払う地域協賛金（負担金）について、コミュニティ交通を利用する・しないに関わらず、路線の周辺地域の皆さまが負担することに賛同しますか。（○は1つだけ）

「賛同する」が69.8%と最も高く、次いで「賛同しない」25.9%となっている。

性別にみると、「賛同する」の割合は、男性が68.2%、女性が71.0%で女性の方が男性よりも2.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「賛同する」の割合は60歳代で最も高く74.6%となっており、20歳代で56.6%と最も低くなっている。

問31 地域協賛金について、路線の周辺地域の皆さまが負担することに賛同しますか



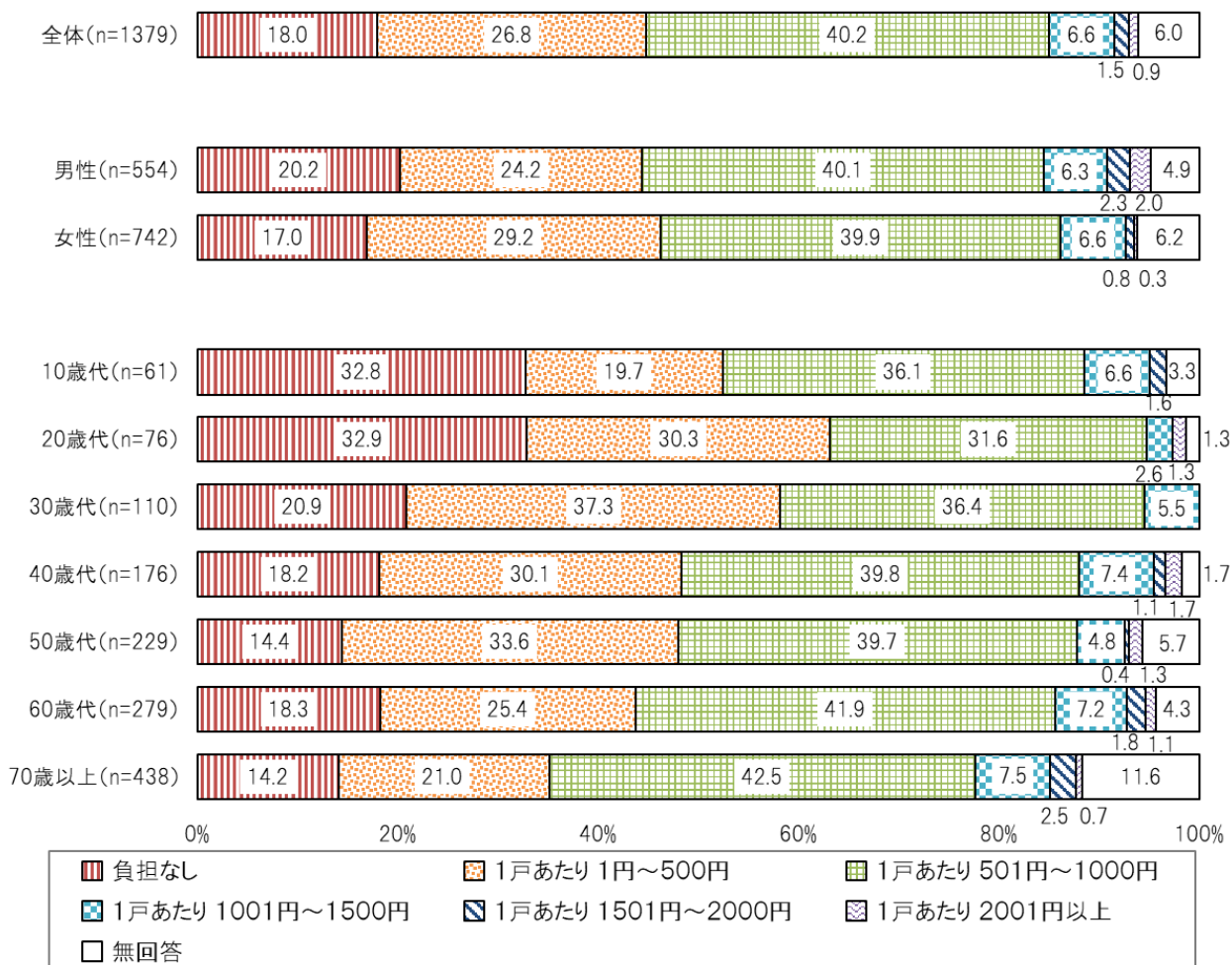
問 32 地域協賛金は現在、沿線地域より1戸につき800円程度ご負担いただいておりますが、1戸あたりで毎年どれくらいの負担が適切だと思いますか。（○は1つだけ）

「1戸あたり 501円～1000円」が40.2%と最も高く、次いで「1戸あたり 1円～500円」26.8%、「負担なし」18.0%となっている。

性別にみると、「1戸あたり 501円～1000円」の割合は、男性が40.1%、女性が39.9%で男性の方が女性よりも0.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「1戸あたり 501円～1000円」の割合は70歳以上で最も高く42.5%となっており、20歳代で31.6%と最も低くなっている。

問32 地域協賛金は、1戸あたりで毎年どれくらいの負担が適切だと思いますか



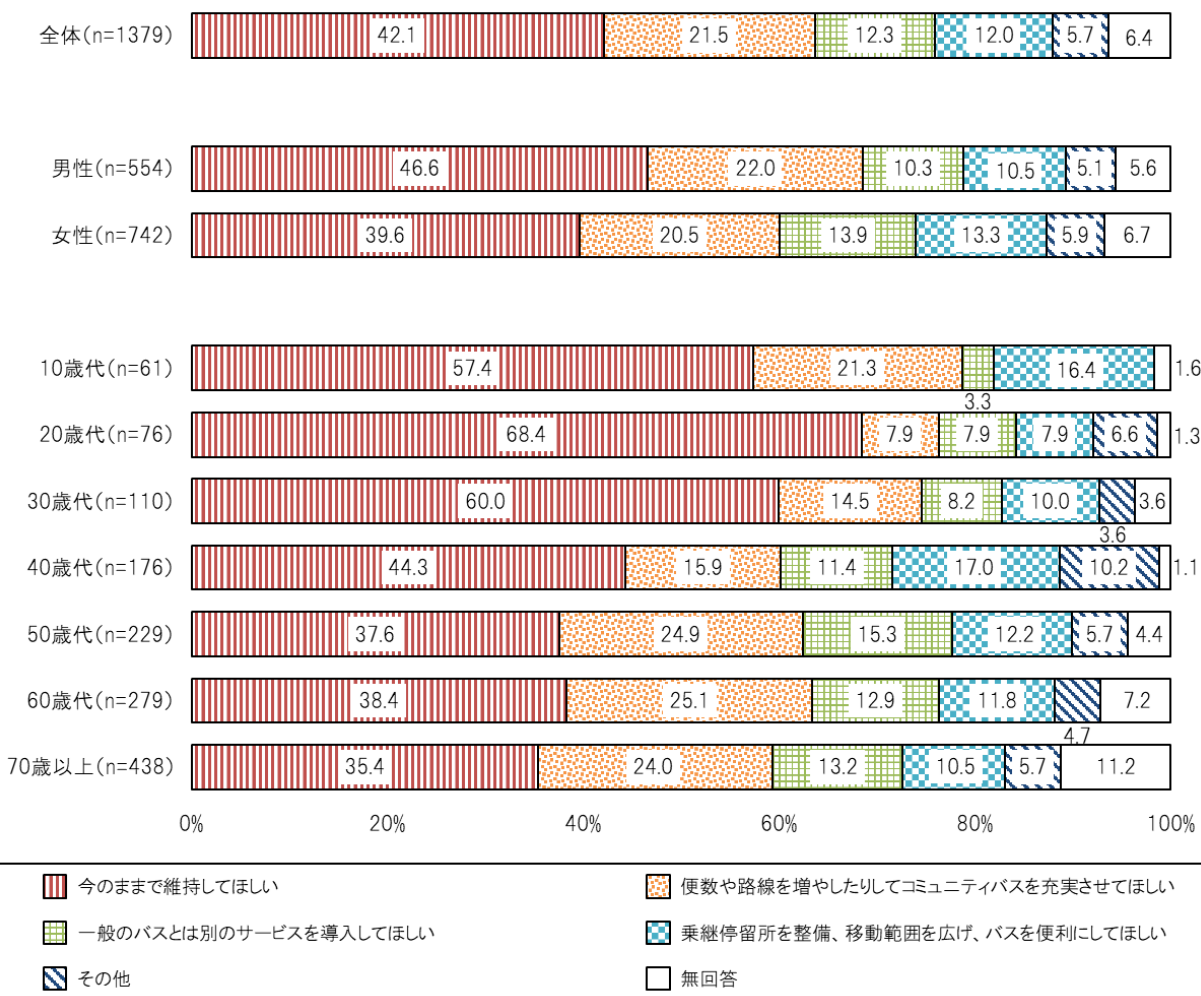
問 33 コミュニティ交通は、限られたバス・運転手数の中で最大限の運行ができるよう運営していますが、現在バスが通る地域は限られており、また便数も多いとは言えません。今後需要が増えていくコミュニティ交通に、市民として何を望みますか。
(○は1つだけ)

「今のままで維持してほしい」が42.1%と最も高く、次いで「便数や路線を増やしたりしてコミュニティバスを充実させてほしい」21.5%、「一般のバスとは別のサービスを導入してほしい」12.3%となっている。

性別にみると、「今のままで維持してほしい」の割合は、男性が46.6%、女性が39.6%で男性の方が女性よりも7.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「今のままで維持してほしい」の割合は20歳代で最も高く68.4%となっており、70歳以上で35.4%と最も低くなっている。

問33 今後需要が増えていくコミュニティ交通に、市民として何を望みますか。



COPD（慢性閉塞性肺疾患）に係る認知度について

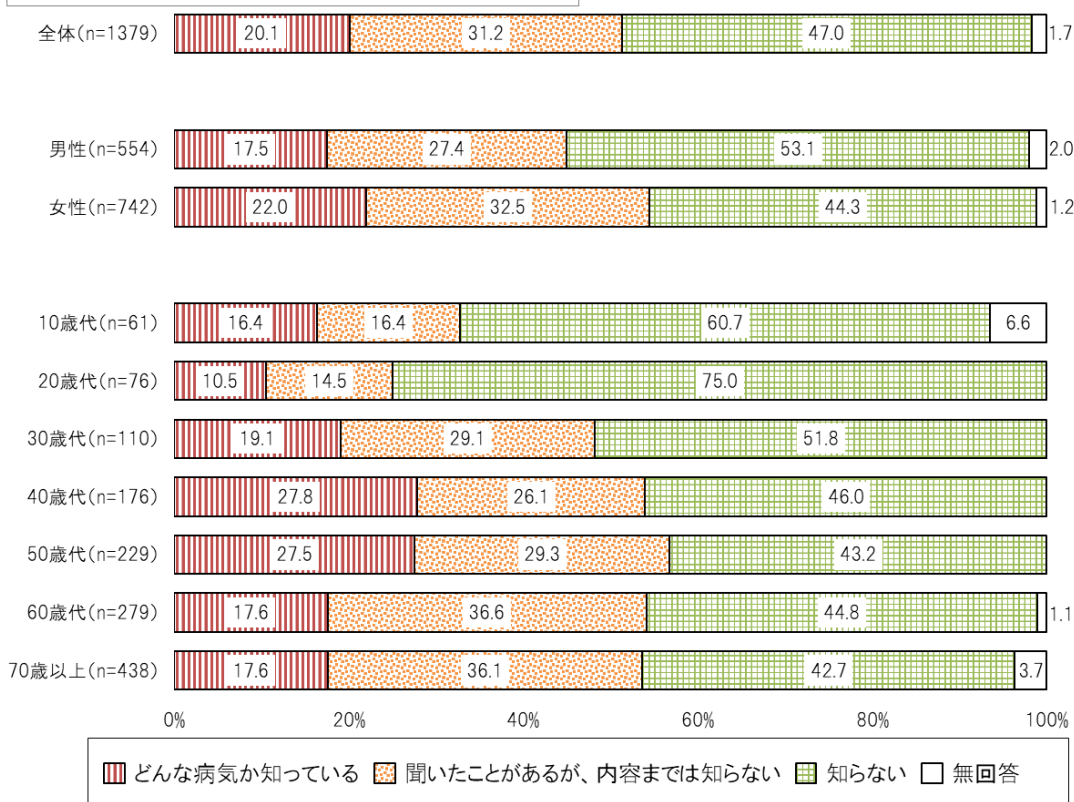
問 34 あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。（○は1つだけ）

「知らない」が 47.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」31.2%、「どんな病気か知っている」20.1%となっている。

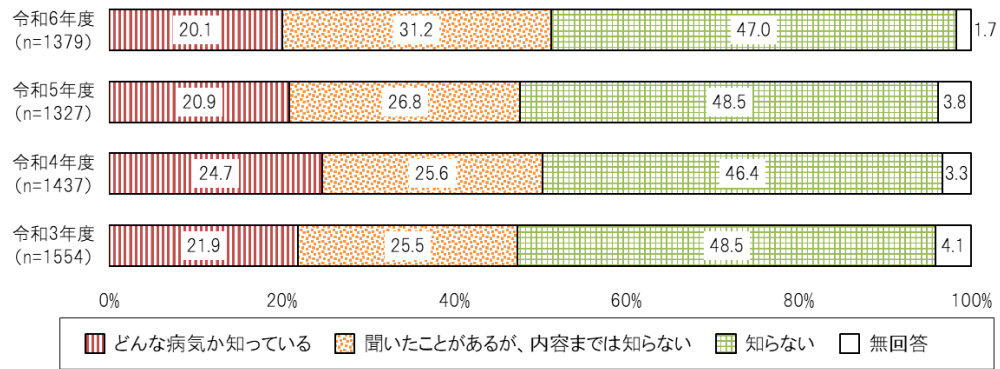
性別にみると、「知らない」の割合は、男性が 53.1%、女性が 44.3%で男性の方が女性よりも 8.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「知らない」の割合は 20 歳代で最も高く 75.0%となっており、70 歳以上で 42.7%と最も低くなっている。

問34 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



問34 COPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っているか



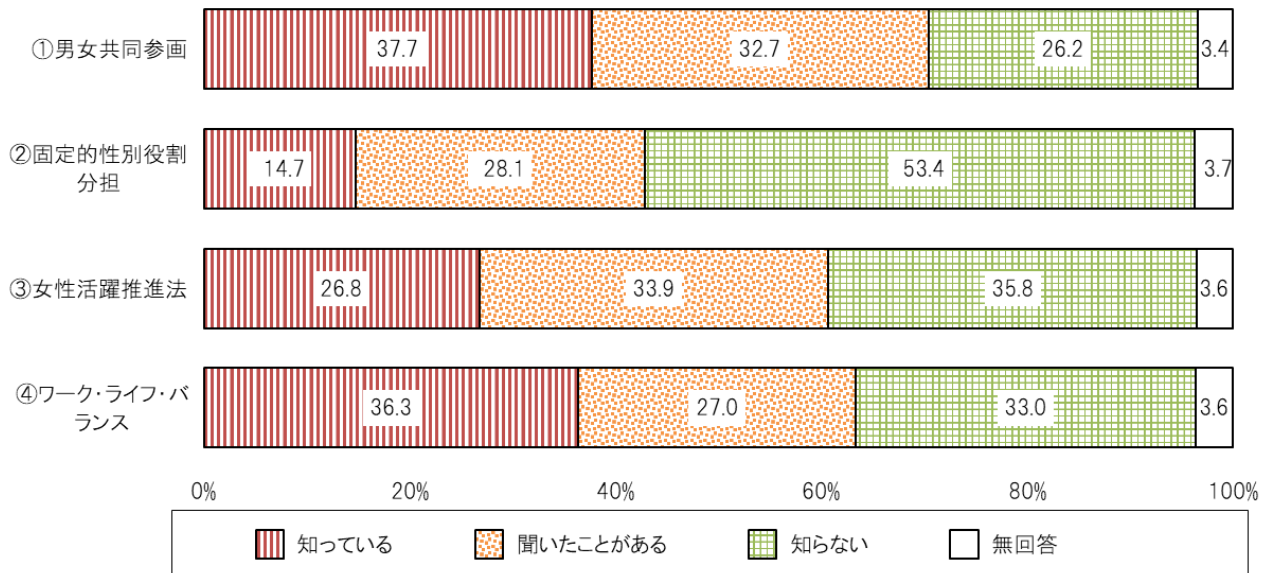
松阪市男女共同参画プラン 策定にかかる意識調査

男女共同参画の意識について

問 35 次のことばについておききします。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ①男女共同参画は「知っている」が37.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」32.7%となっている。
- ②固定的性別役割分担は「知らない」が53.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」28.1%となっている。
- ③女性活躍推進法は「知らない」が35.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」33.9%となっている。
- ④ワーク・ライフ・バランスは「知っている」が36.3%と最も高く、次いで「知らない」33.0%となっている。

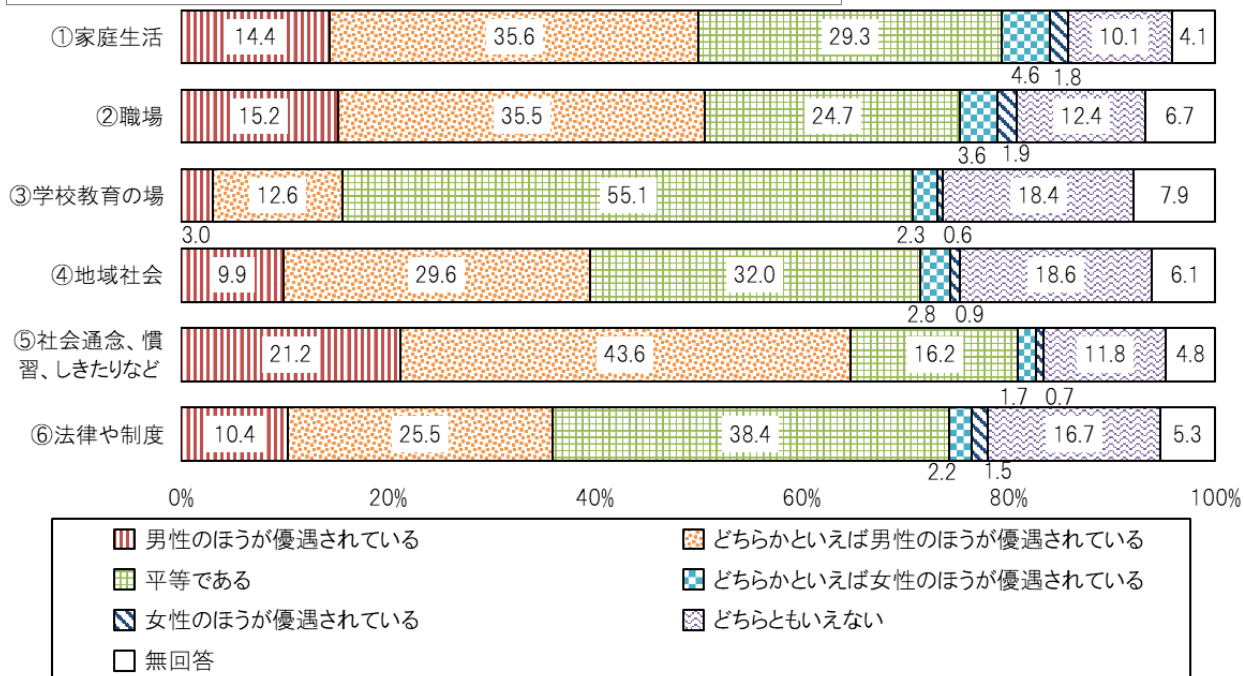
問35 次のことばを知っていますか



問 36 あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。
①～⑥の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 家庭生活は「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 35.6%と最も高く、次いで「平等である」29.3%となっている。
- ② 職場は「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 35.5%と最も高く、次いで「平等である」24.7%となっている。
- ③ 学校教育の場は「平等である」が 55.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」18.4%となっている。
- ④ 地域社会は「平等である」が 32.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」29.6%となっている。
- ⑤ 社会通念、慣習、しきたりなどは「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 43.6%と最も高く、次いで「男性のほうが優遇されている」21.2%となっている。
- ⑥ 法律や制度は「平等である」が 38.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」25.5%となっている。

問36 次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか



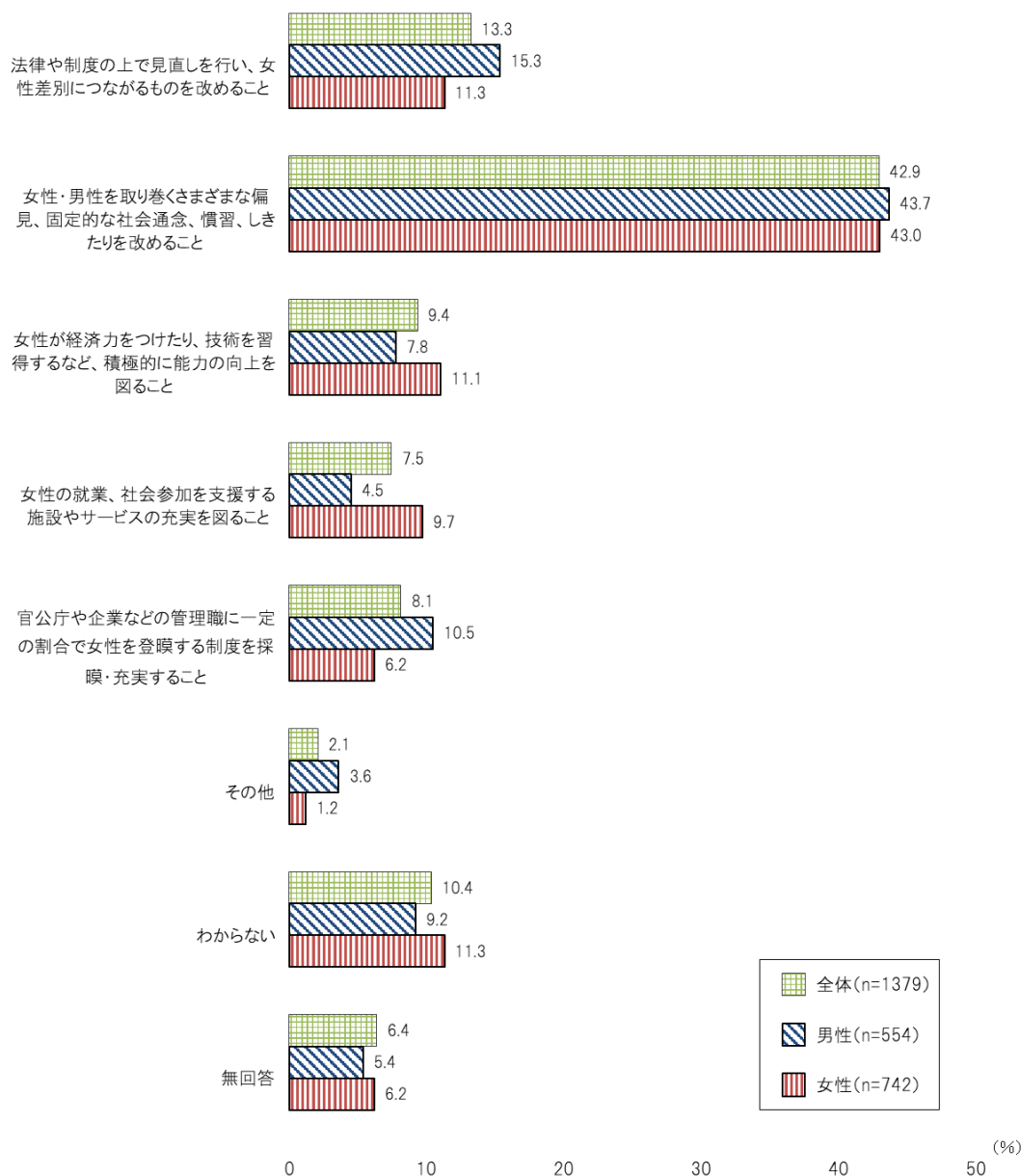
問 37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。（〇は1つだけ）

「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」が42.9%と最も高く、次いで「法律や制度の上で見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」13.3%となっている。

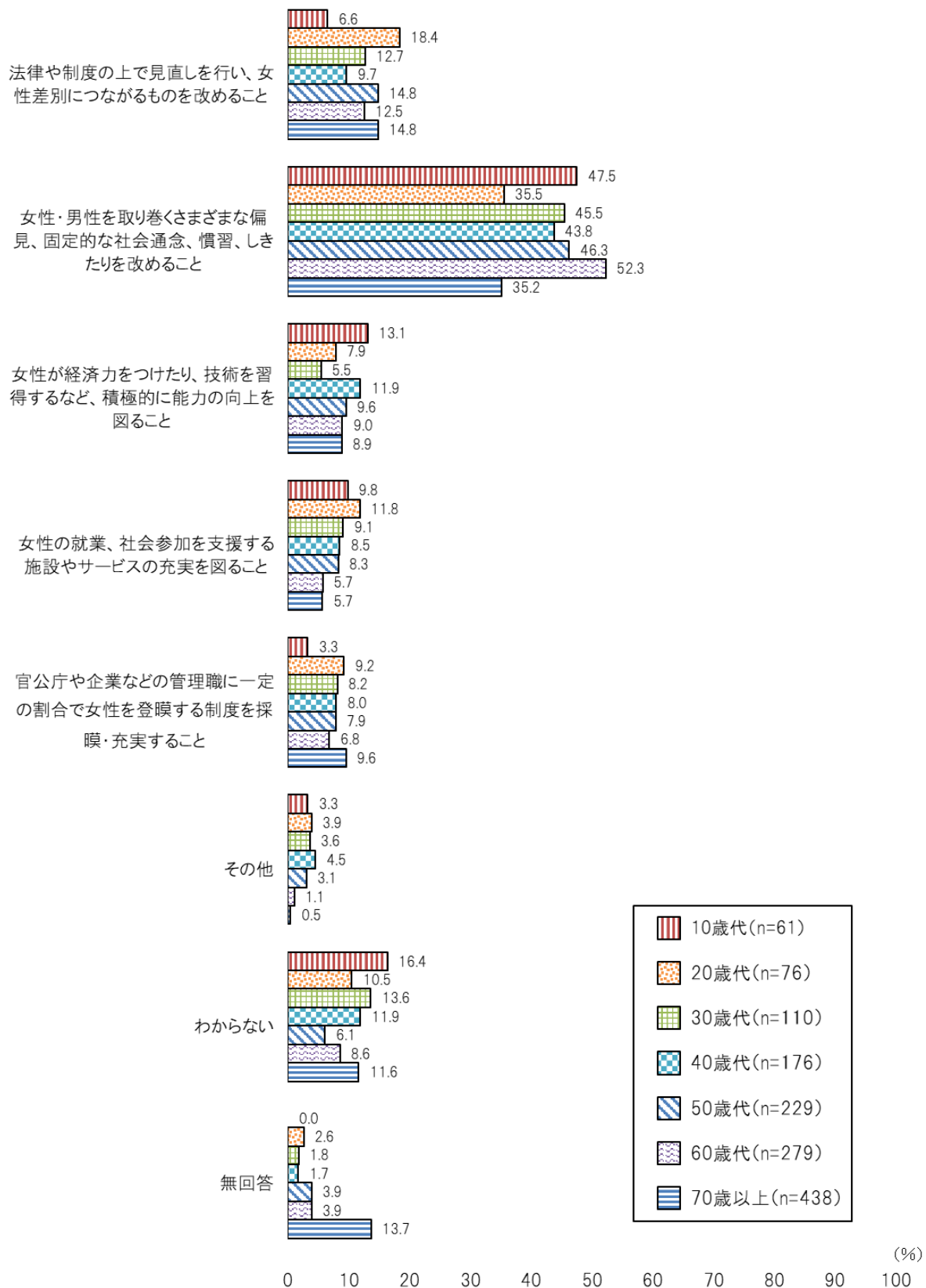
性別にみると、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合は、男性が43.7%、女性が43.0%で男性の方が女性よりも0.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合は60歳代で最も高く52.3%となっており、70歳以上で35.2%と最も低くなっている。

問37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか



問37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。



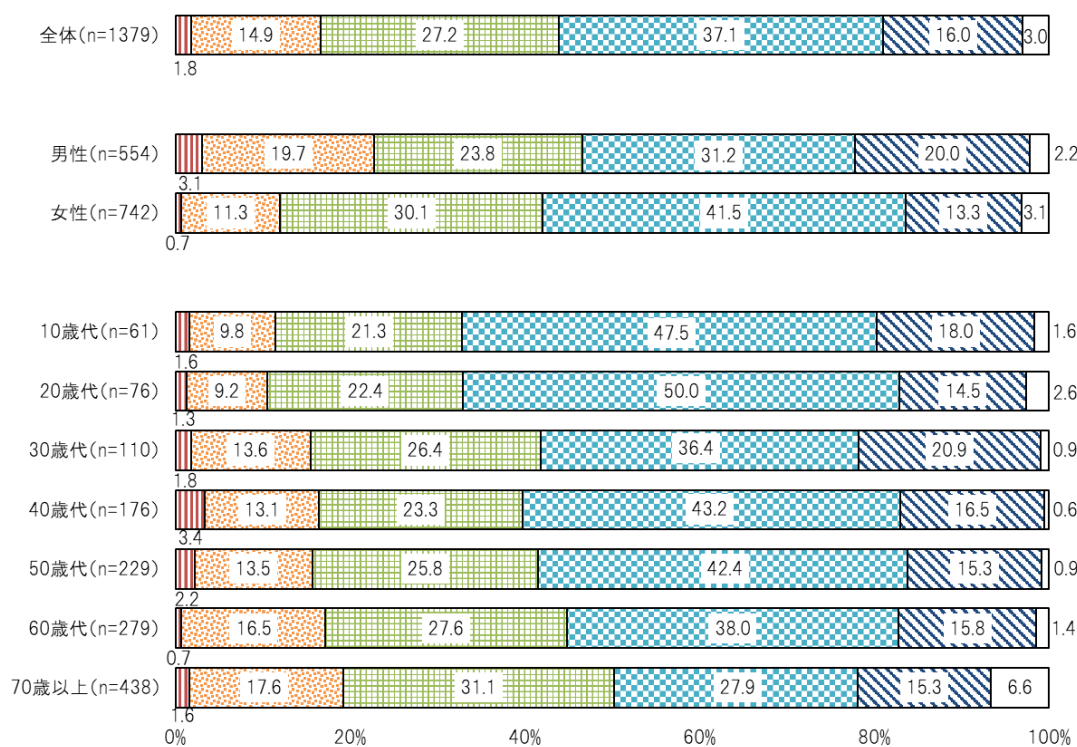
問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。（○は1つだけ）

「反対」が 37.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」27.2%、「どちらかといえば賛成」14.9%となっている。

性別にみると、「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は、男性が 55.0%、女性が 71.6%で女性の方が男性よりも 16.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は 20 歳代で最も高く 72.4%となっており、70 歳以上で 59.0%と最も低くなっている。

問38「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか

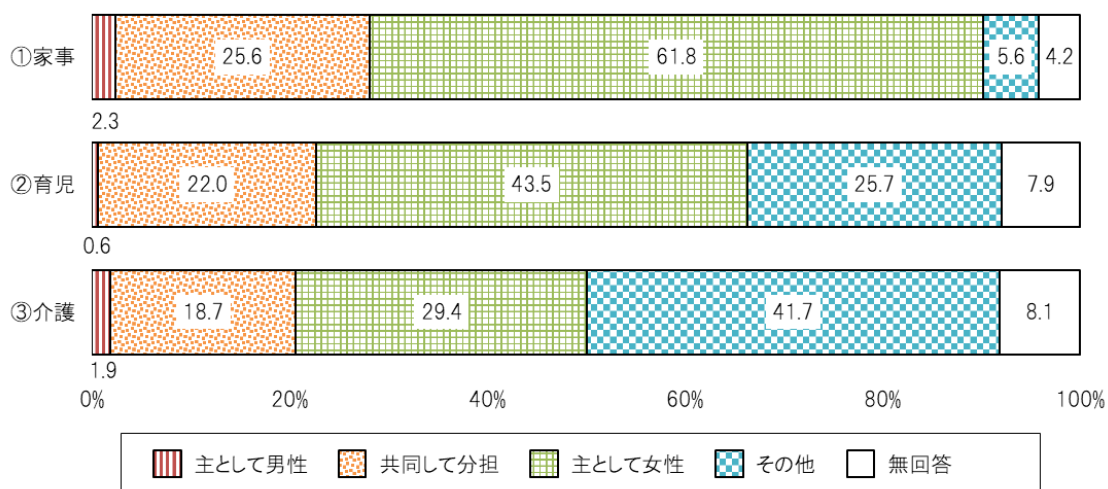


賛成
 どちらかといえば賛成
 どちらかといえば反対
 反対
 わからない
 無回答

問 39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。①～③の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 家事は「主として女性」が61.8%と最も高く、次いで「共同して分担」25.6%となっている。
- ② 育児は「主として女性」が43.5%と最も高く、次いで「その他」25.7%となっている。
- ③ 介護は「その他」が41.7%と最も高く、次いで「主として女性」29.4%となっている。

問39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか



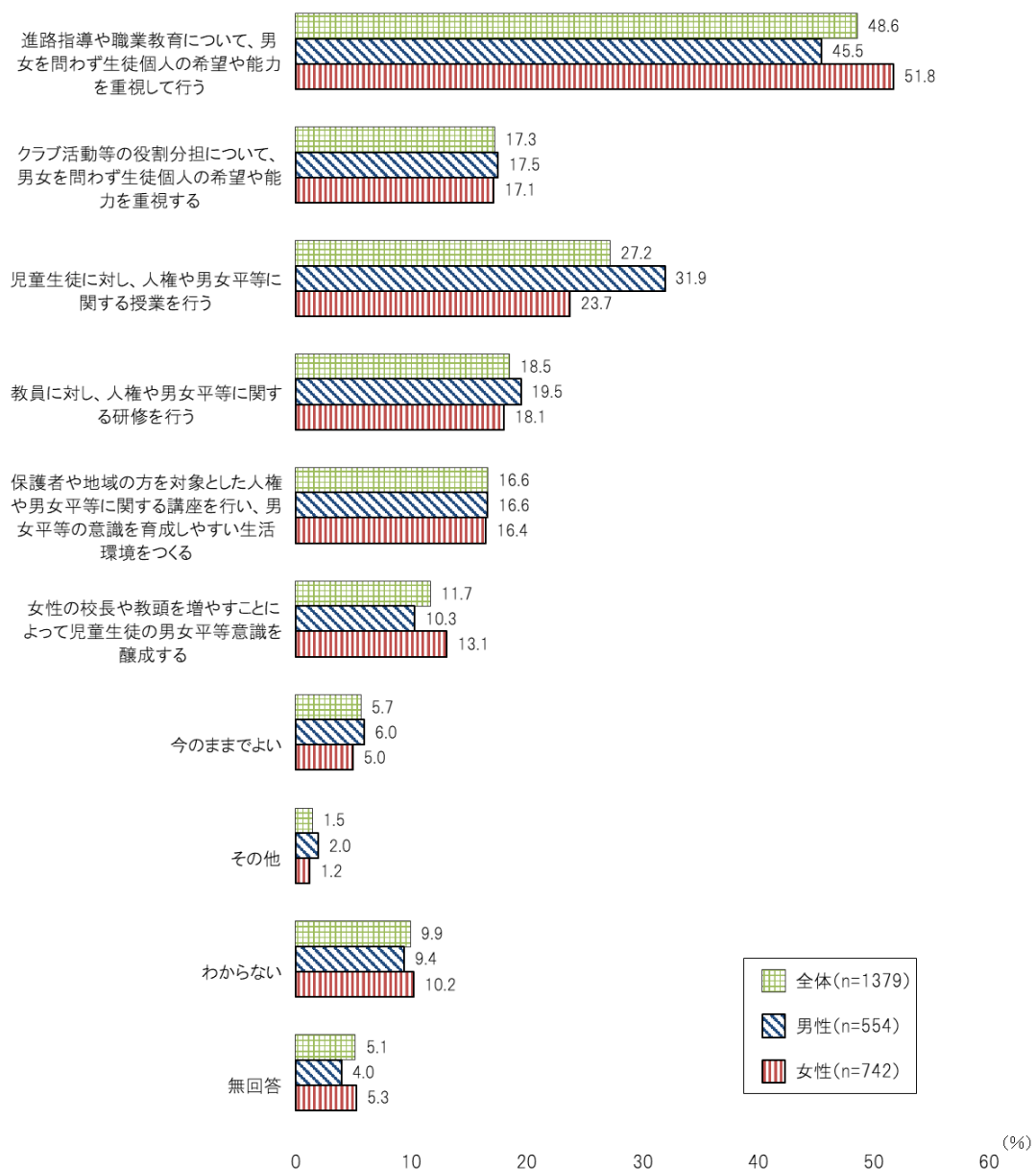
問 40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか。（〇は2つまで）

「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」が48.6%と最も高く、次いで「児童生徒に対し、人権や男女平等に関する授業を行う」27.2%、「教員に対し、人権や男女平等に関する研修を行う」18.5%となっている。

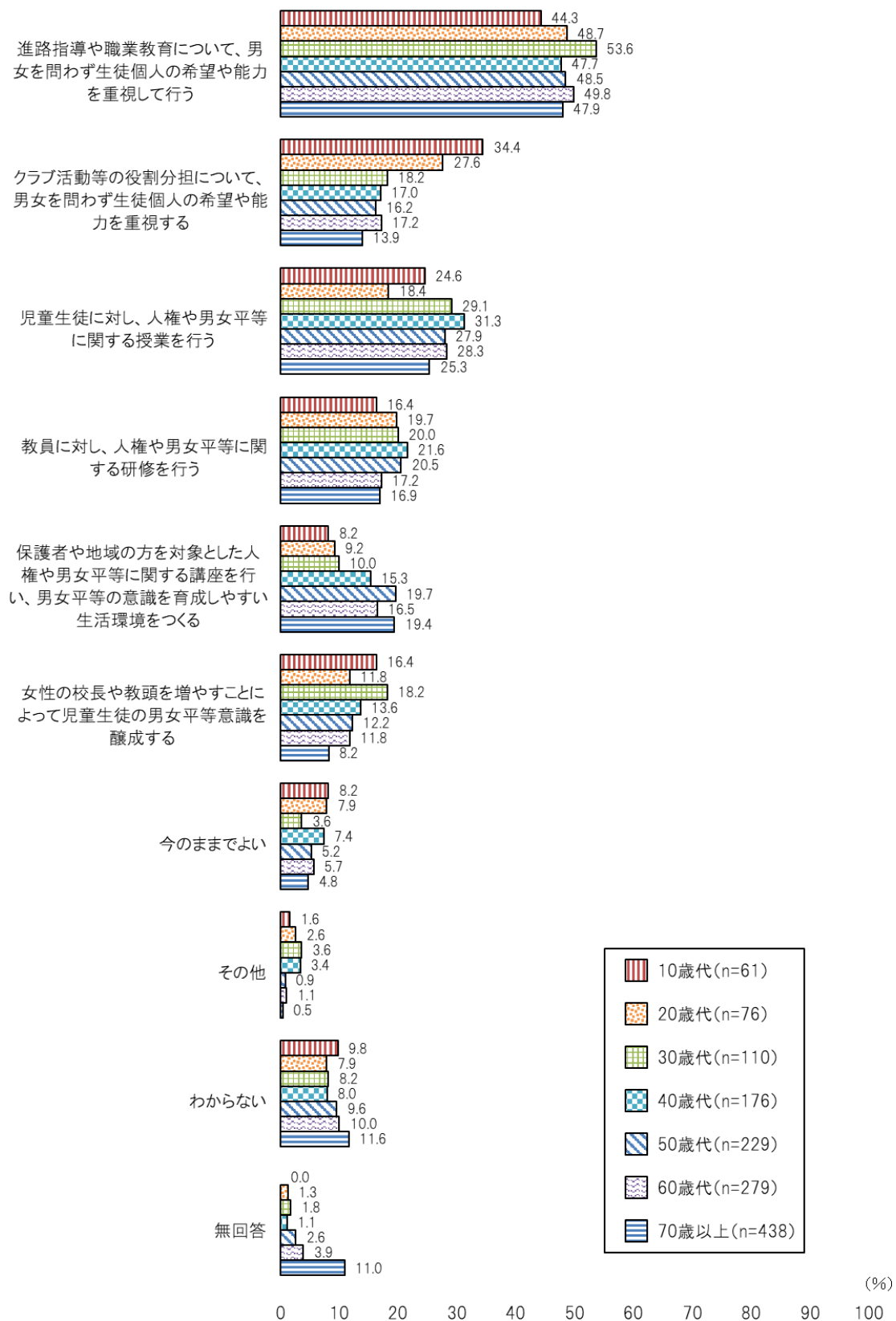
性別にみると、「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」の割合は、男性が45.5%、女性が51.8%で女性の方が男性よりも6.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」の割合は30歳代で最も高く53.6%となっており、10歳代で44.3%と最も低くなっている。

問40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか



問40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか



就労やワーク・ライフ・バランスについて

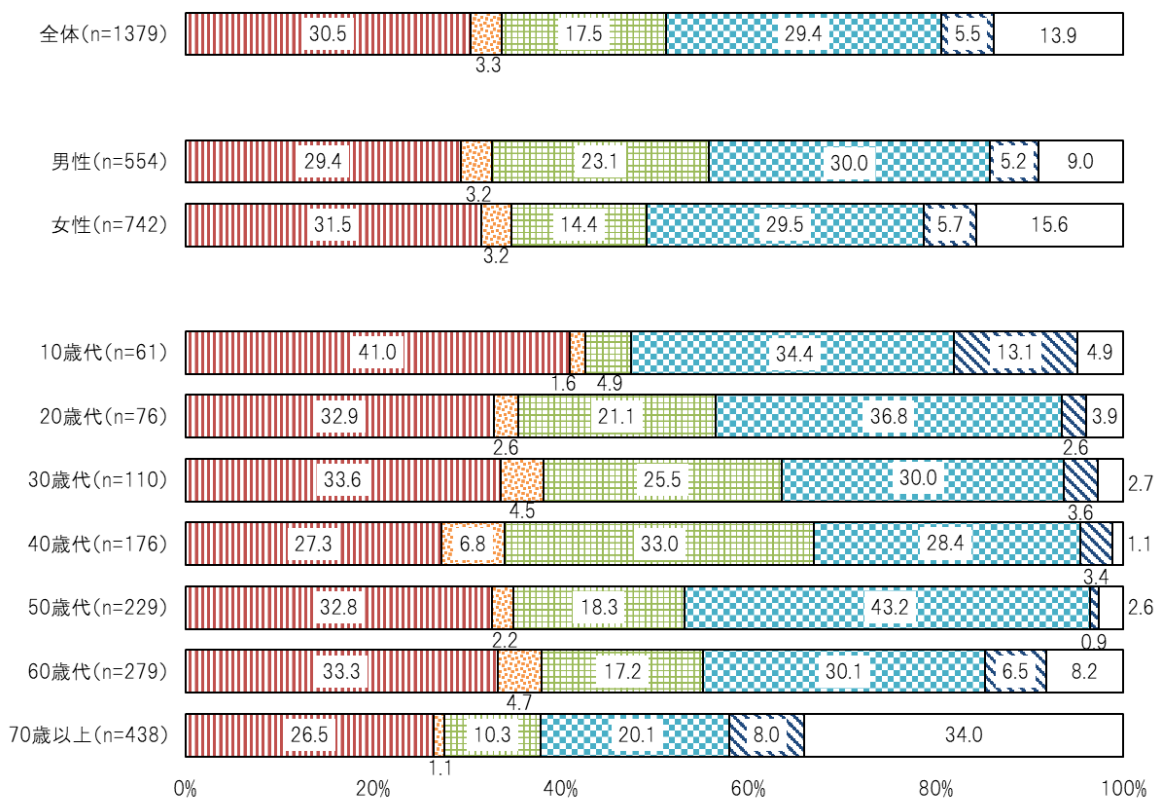
問 41 あなたの思うような仕事と生活のワーク・ライフ・バランスは実現できていますか。（○は1つだけ）

「実現できている」が30.5%と最も高く、次いで「もっと個人の生活を優先したい」29.4%、「もっと家庭生活を優先したい」17.5%となっている。

性別にみると、「実現できている」の割合は、男性が29.4%、女性が31.5%で女性の方が男性よりも2.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「実現できている」の割合は10歳代で最も高く41.0%となっており、70歳以上で26.5%と最も低くなっている。

問41 あなたの思うような仕事と生活のワーク・ライフ・バランスは実現できていますか



実現できている
 もっと仕事を優先したい
 もっと家庭生活を優先したい
 もっと個人の生活を優先したい
 その他
 無回答

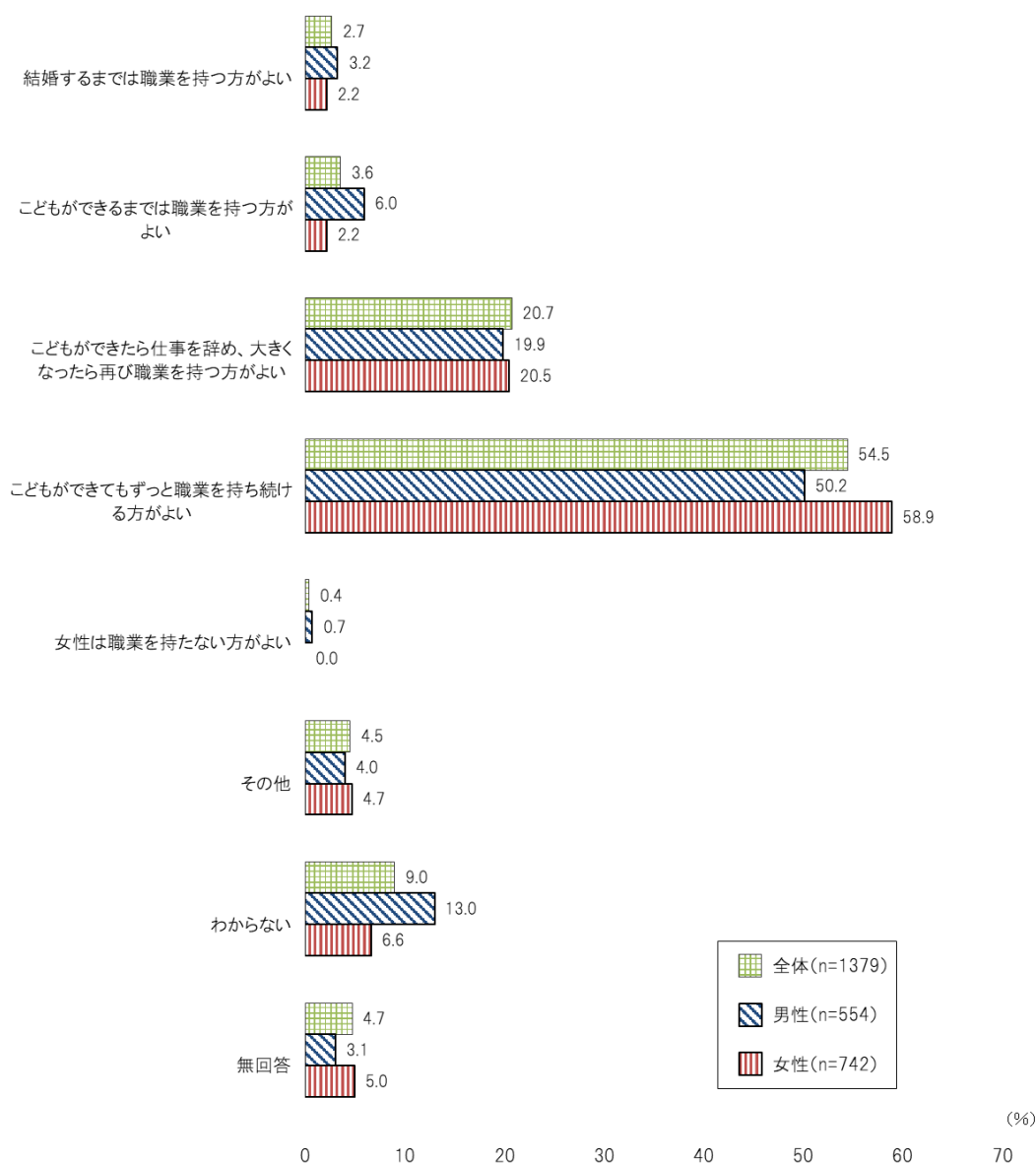
問 42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか。（○は1つだけ）

「こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい」が54.5%と最も高く、次いで「こどもができたなら仕事を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」20.7%となっている。

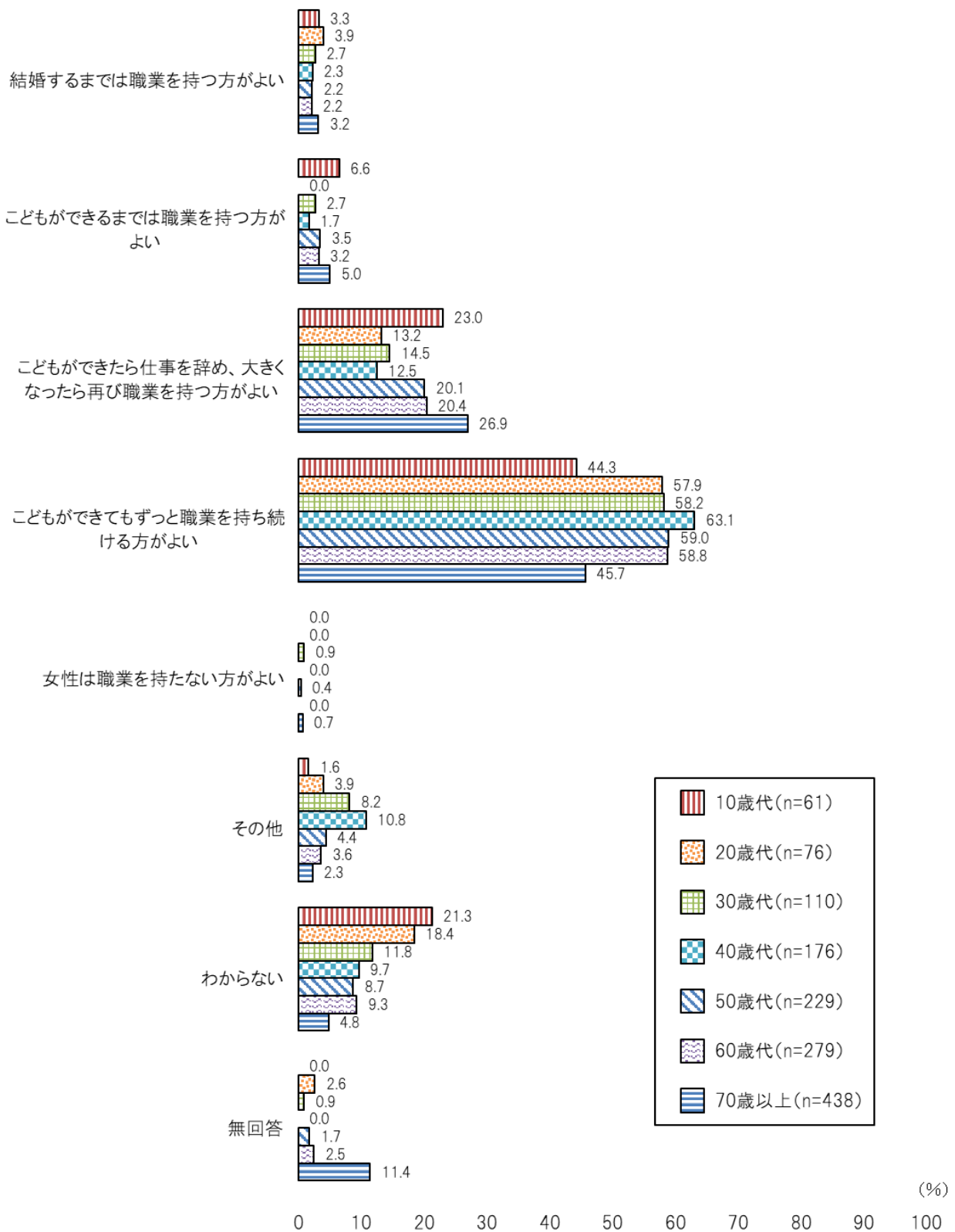
性別にみると、「こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい」の割合は、男性が50.2%、女性が58.9%で女性の方が男性よりも8.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい」の割合は40歳代で最も高く63.1%となっており、10歳代で44.3%と最も低くなっている。

問42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか



問42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか



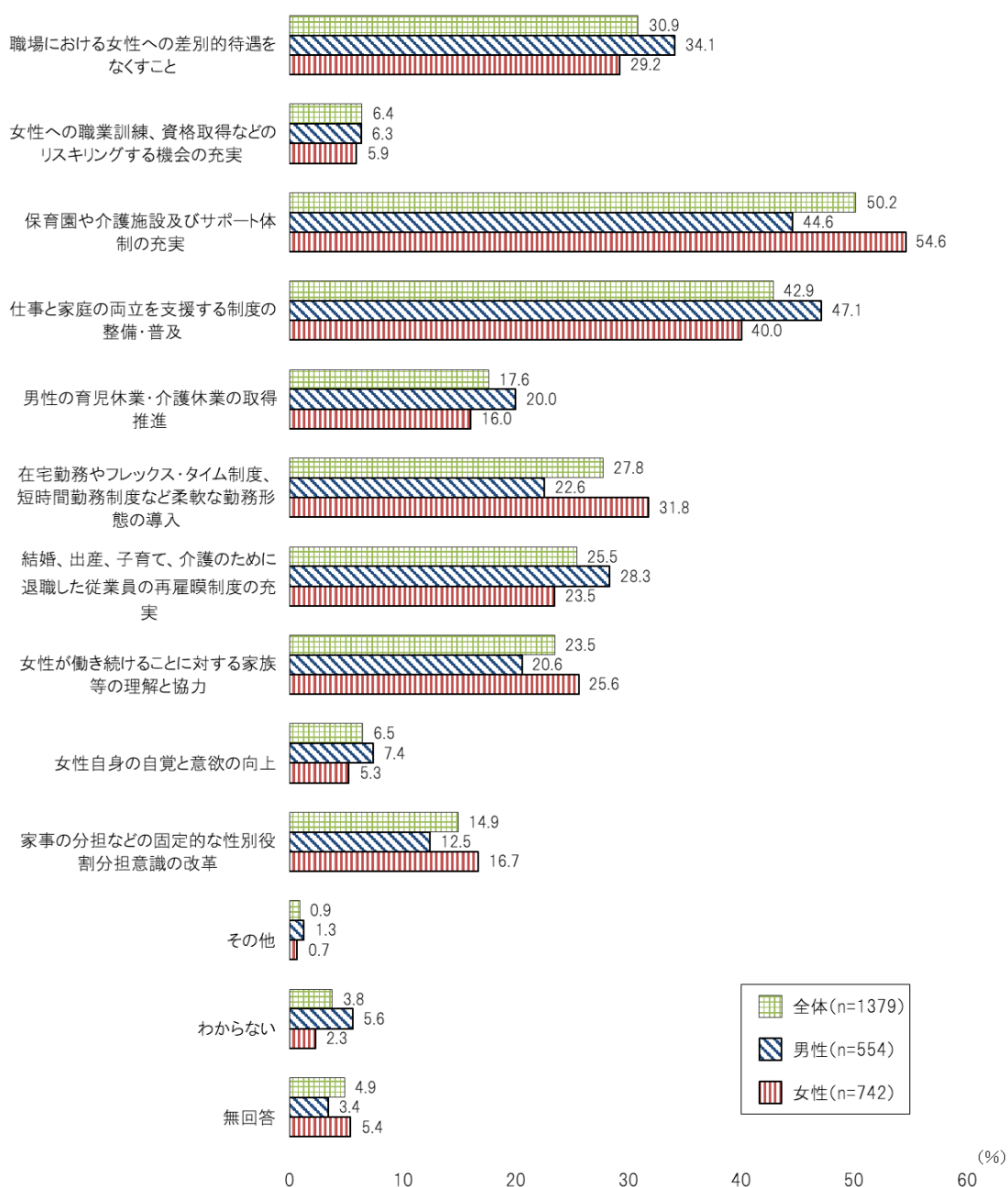
問 43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか。（○は3つまで）

「保育園や介護施設及びサポート体制の充実」が50.2%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及」42.9%となっている。

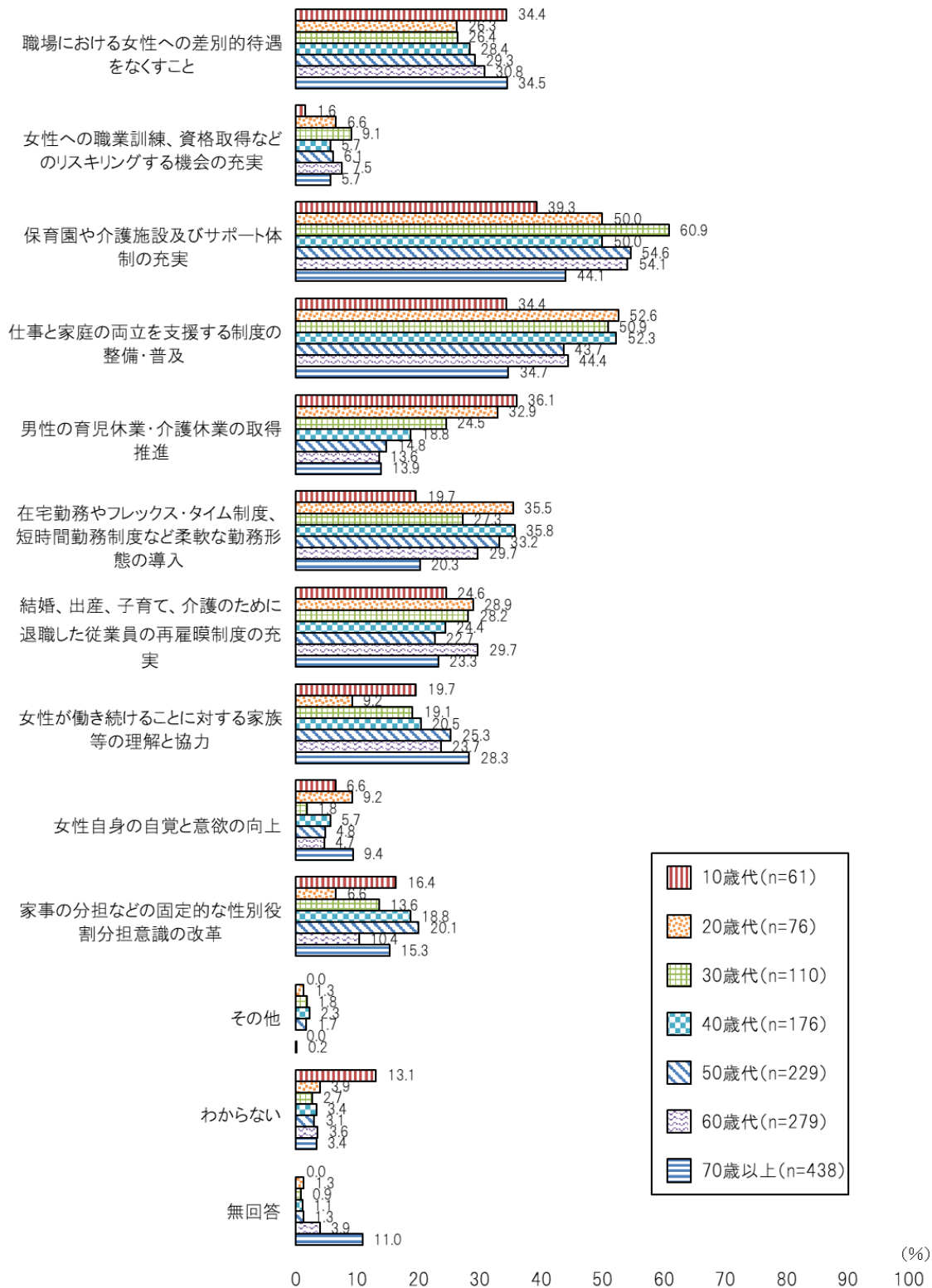
性別にみると、「保育園や介護施設及びサポート体制の充実」の割合は、男性が44.6%、女性が54.6%で女性の方が男性よりも10.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「保育園や介護施設及びサポート体制の充実」の割合は30歳代で最も高く60.9%となっており、10歳代で39.3%と最も低くなっている。

問43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか



問43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか



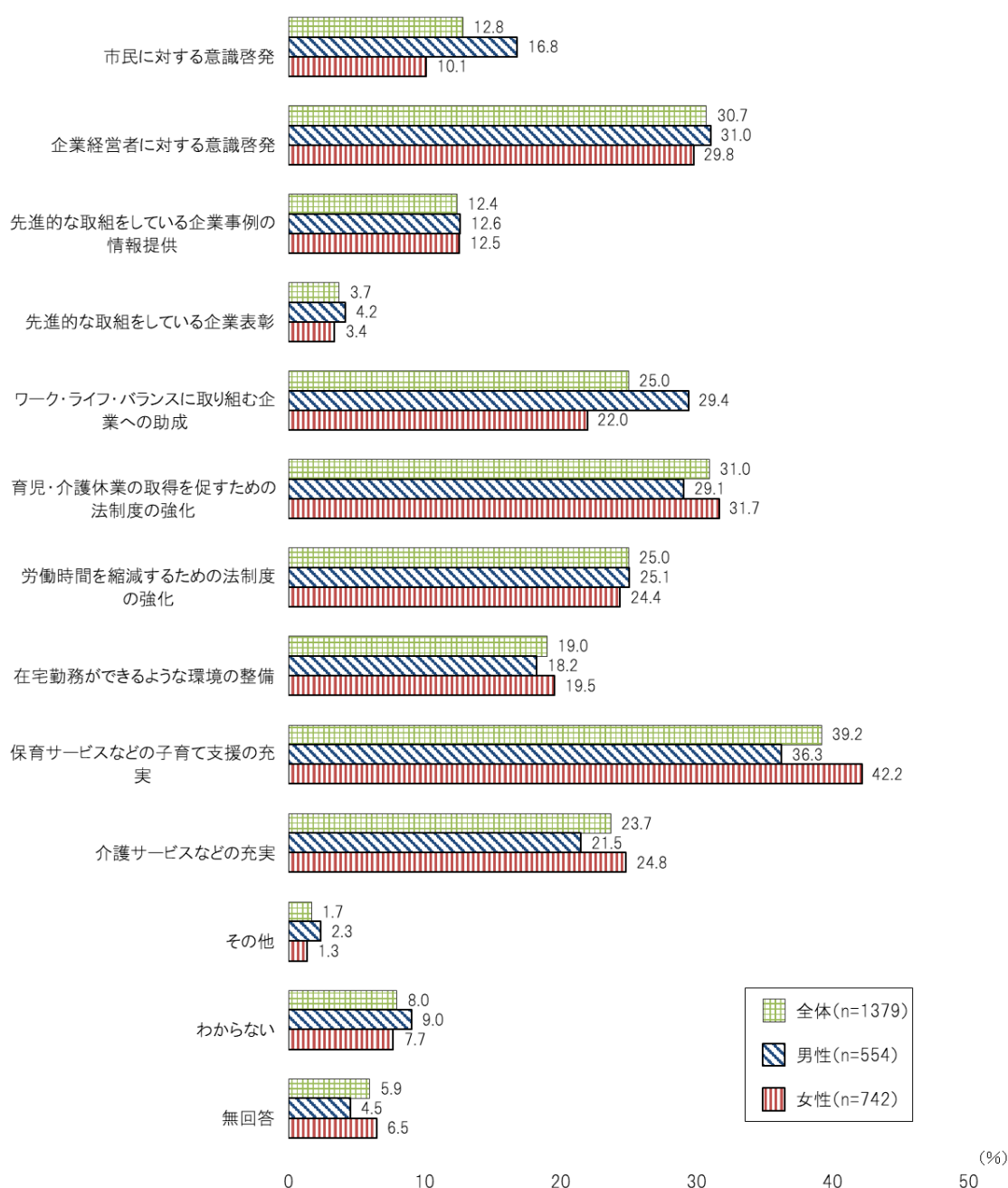
問 44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか。（〇は3つまで）

「保育サービスなどの子育て支援の充実」が 39.2%と最も高く、次いで「育児・介護休業の取得を促すための法制度の強化」31.0%となっている。

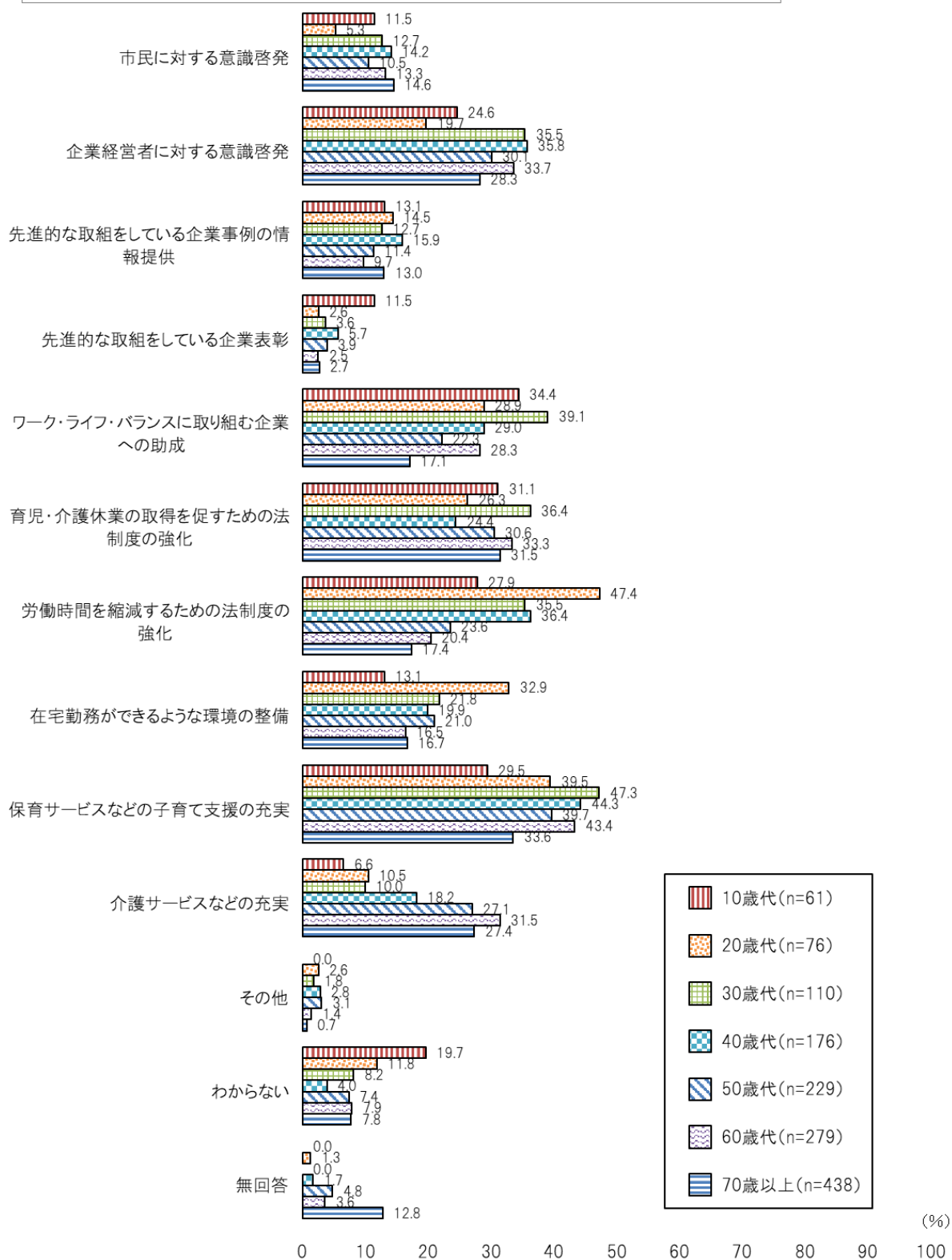
性別にみると、「保育サービスなどの子育て支援の充実」の割合は、男性が 36.3%、女性が 42.2%で女性の方が男性よりも 5.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「保育サービスなどの子育て支援の充実」の割合は 30 歳代で最も高く 47.3%となっており、10 歳代で 29.5%と最も低くなっている。

問44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか



問44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか

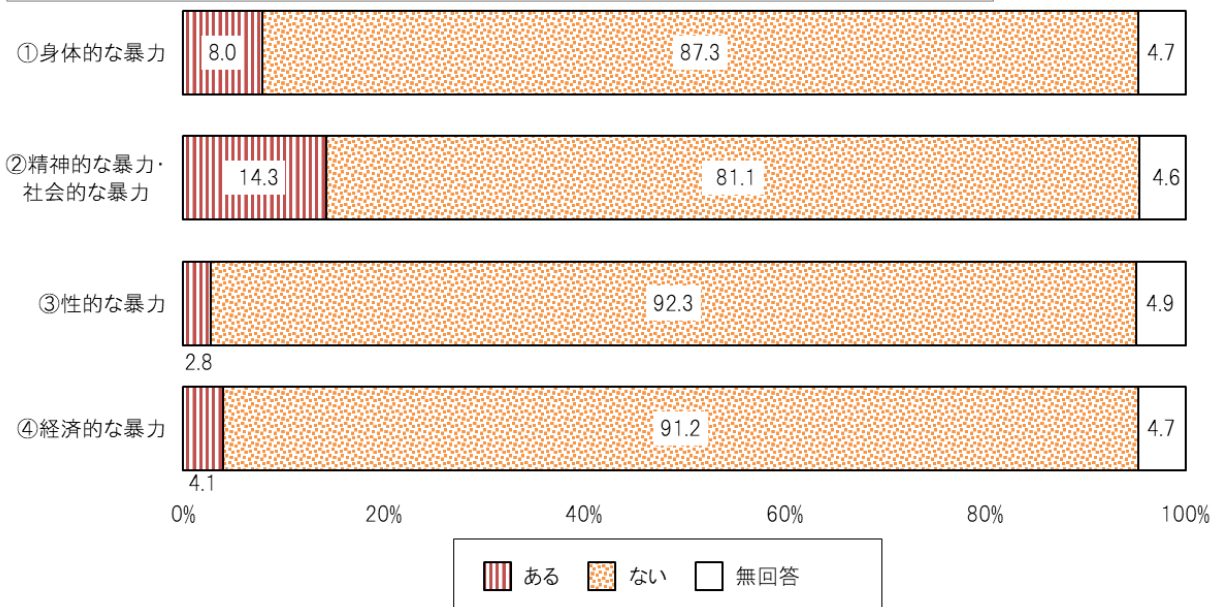


DV(ドメスティック・バイオレンス)について

問 45 あなたはこれまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 身体的な暴力は「ない」が87.3%と最も高く、次いで「ある」8.0%となっている。
- ② 精神的な暴力・社会的な暴力は「ない」が81.1%と最も高く、次いで「ある」14.3%となっている。
- ③ 性的な暴力は「ない」が92.3%と最も高く、次いで「ある」2.8%となっている。
- ④ 経済的な暴力は「ない」が91.2%と最も高く、次いで「ある」4.1%となっている。

問45 あなたはこれまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人から次のようなことをされたことがありますか



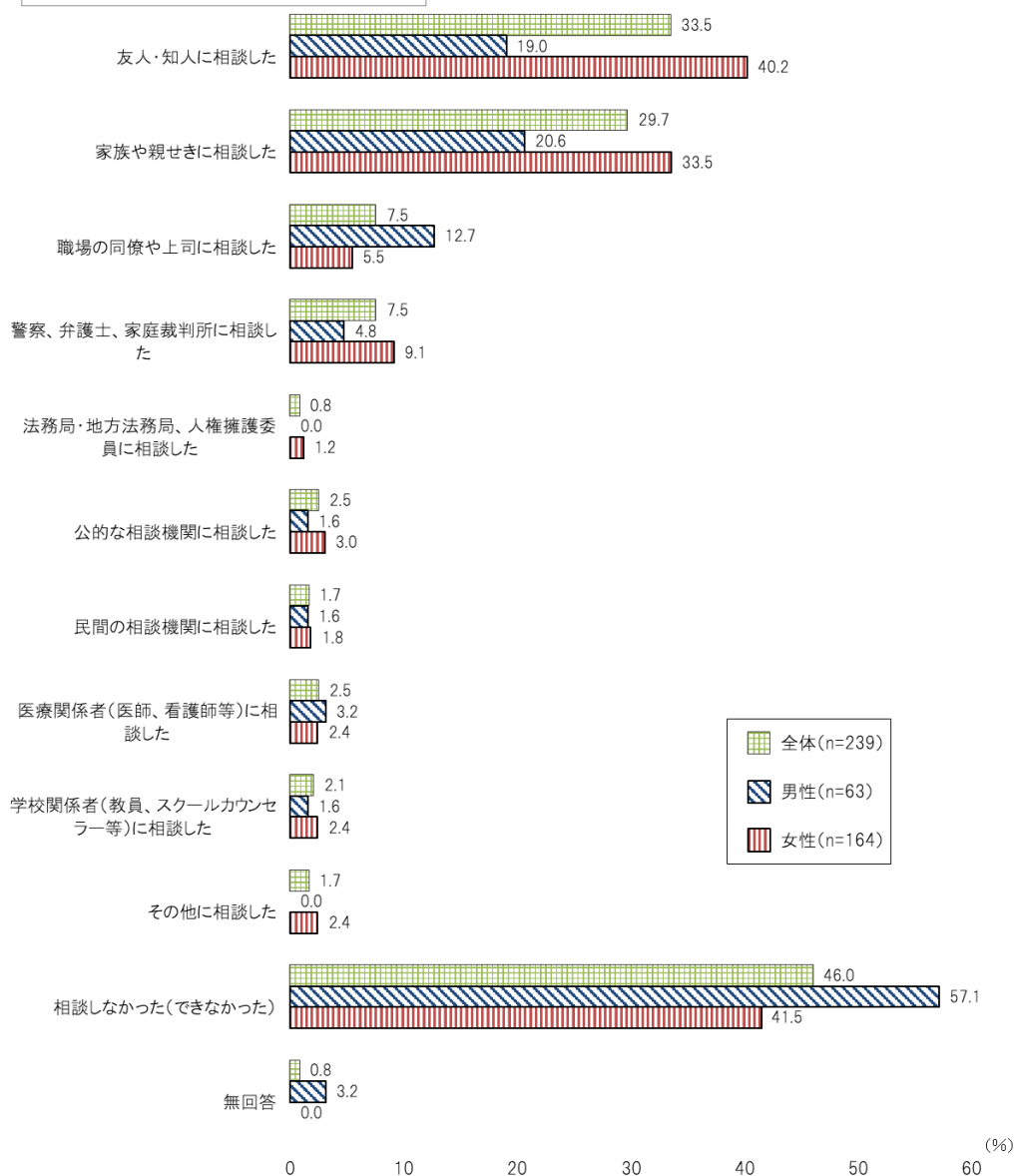
問 46 問 45 で 1 つでも「1. ある」に○と答えた方におききます。その後どこか（だれか）に相談しましたか。（○はいくつでも）

「相談しなかった（できなかった）」が 46.0%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」33.5%、「家族や親せきに相談した」29.7%となっている。

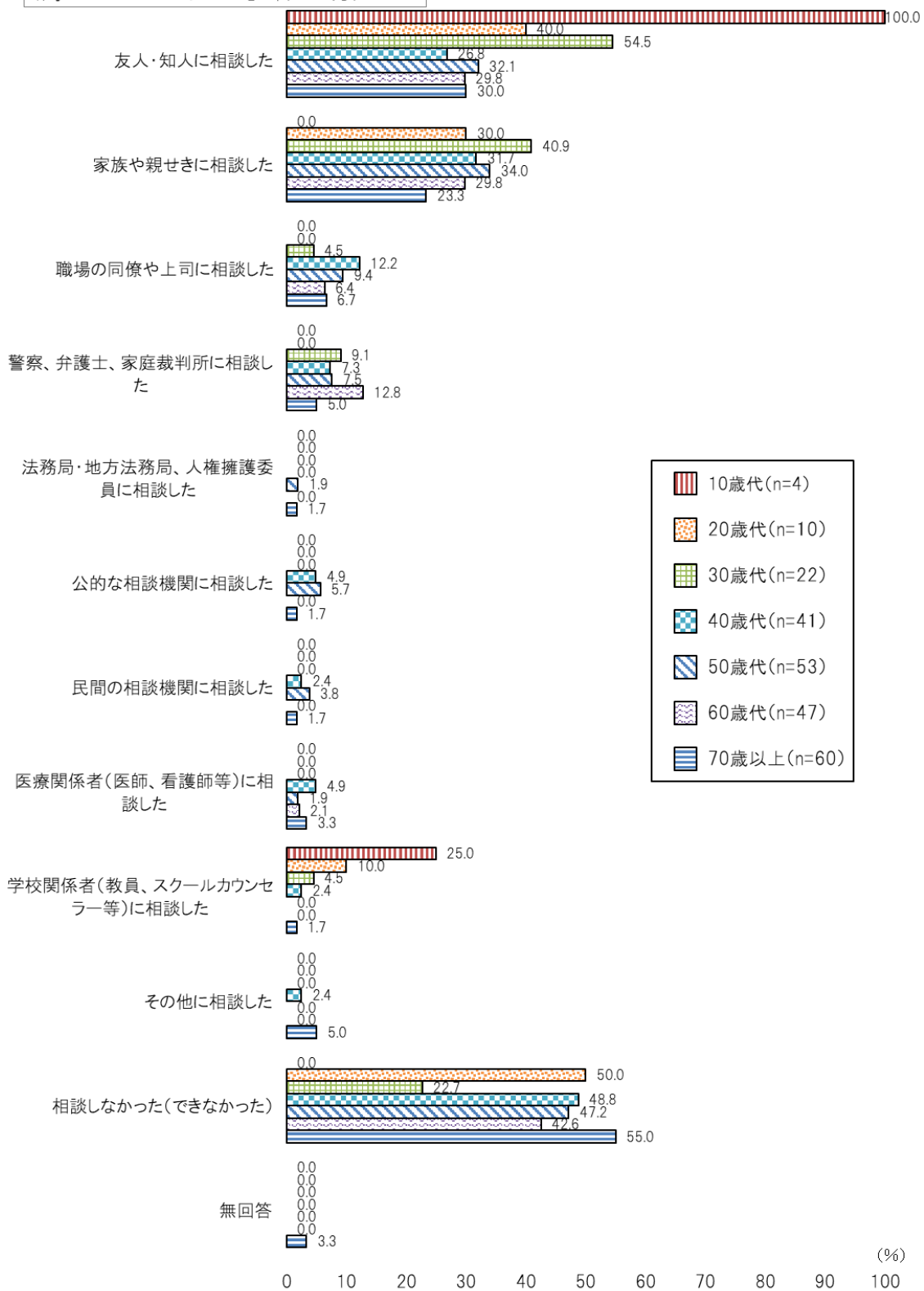
性別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は、男性が 57.1%、女性が 41.5%で男性の方が女性よりも 15.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は 70 歳以上で最も高く 55.0%となっており、30 歳代で 22.7%と最も低くなっている。

問46 その後どこか（だれか）に相談しましたか
（問45 でひとつでも「はい」と答えた方）



問46 その後どこか(だれか)に相談しましたか
(問45 でひとつでも「はい」と答えた方)

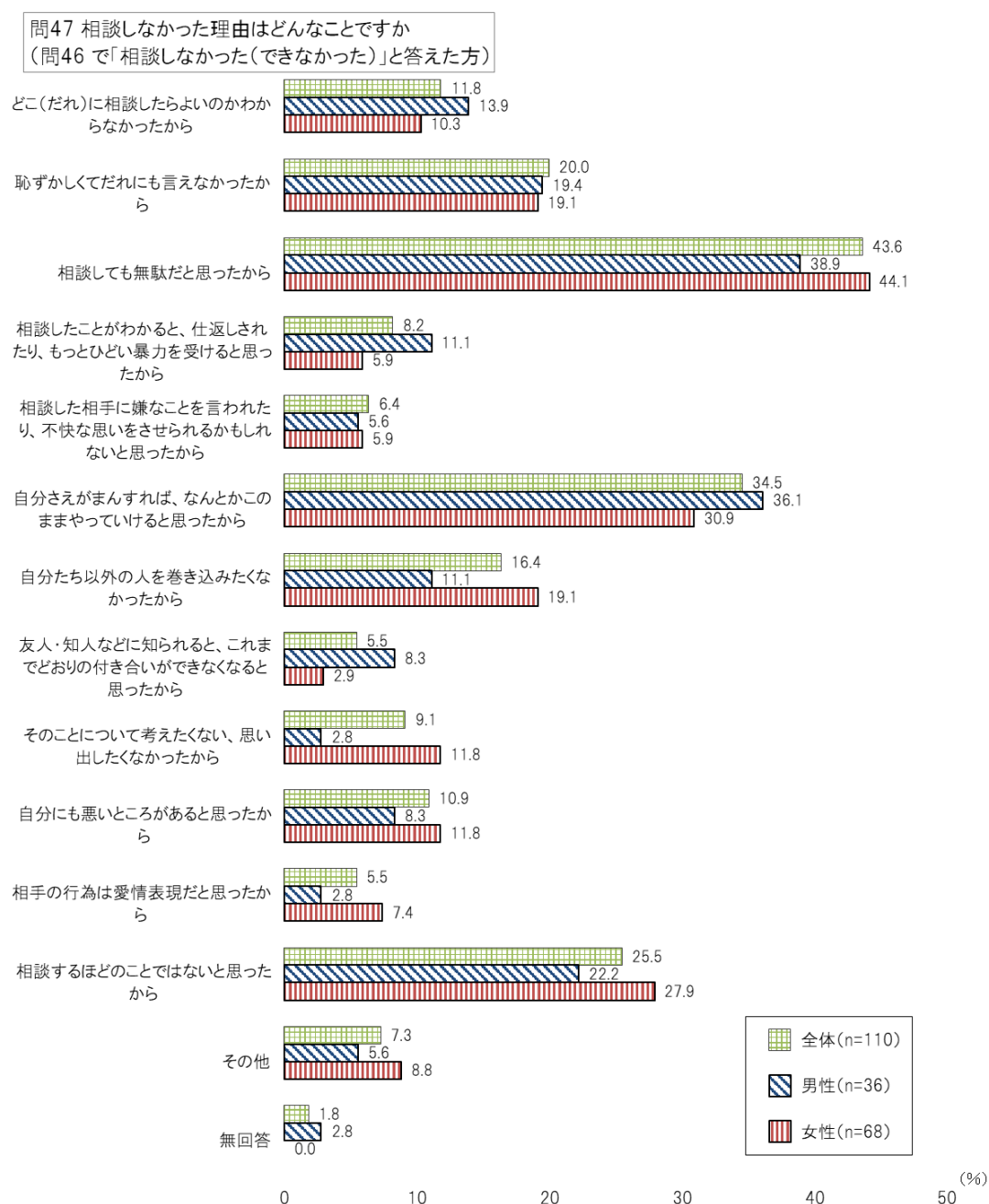


問 47 問 46 で「11. 相談しなかった（できなかった）」に○と答えた方におききします。
相談しなかった理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

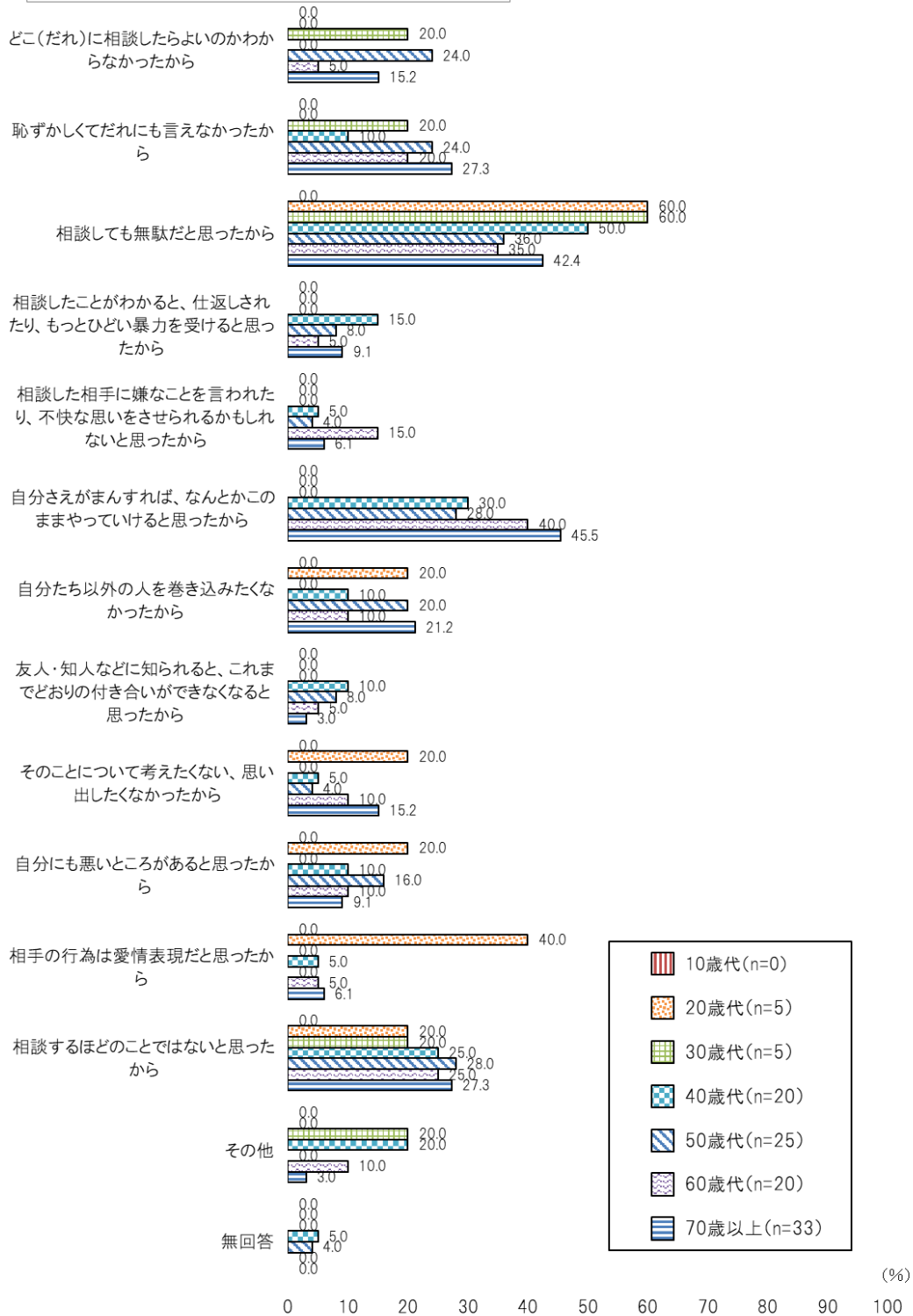
「相談しても無駄だと思ったから」が 43.6%と最も高く、次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」34.5%、「相談するほどのことではないと思ったから」25.5%となっている。

性別にみると、「相談しても無駄だと思ったから」の割合は、男性が 38.9%、女性が 44.1%で女性の方が男性よりも 5.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談しても無駄だと思ったから」の割合は 20 歳代、30 歳代で最も高く 60.0%となっており、60 歳代で 35.0%と最も低くなっている。



問47 相談しなかった理由はどんなことですか
(問46で「相談しなかった(できなかった)」と答えた方)



セクシュアル・ハラスメントについて

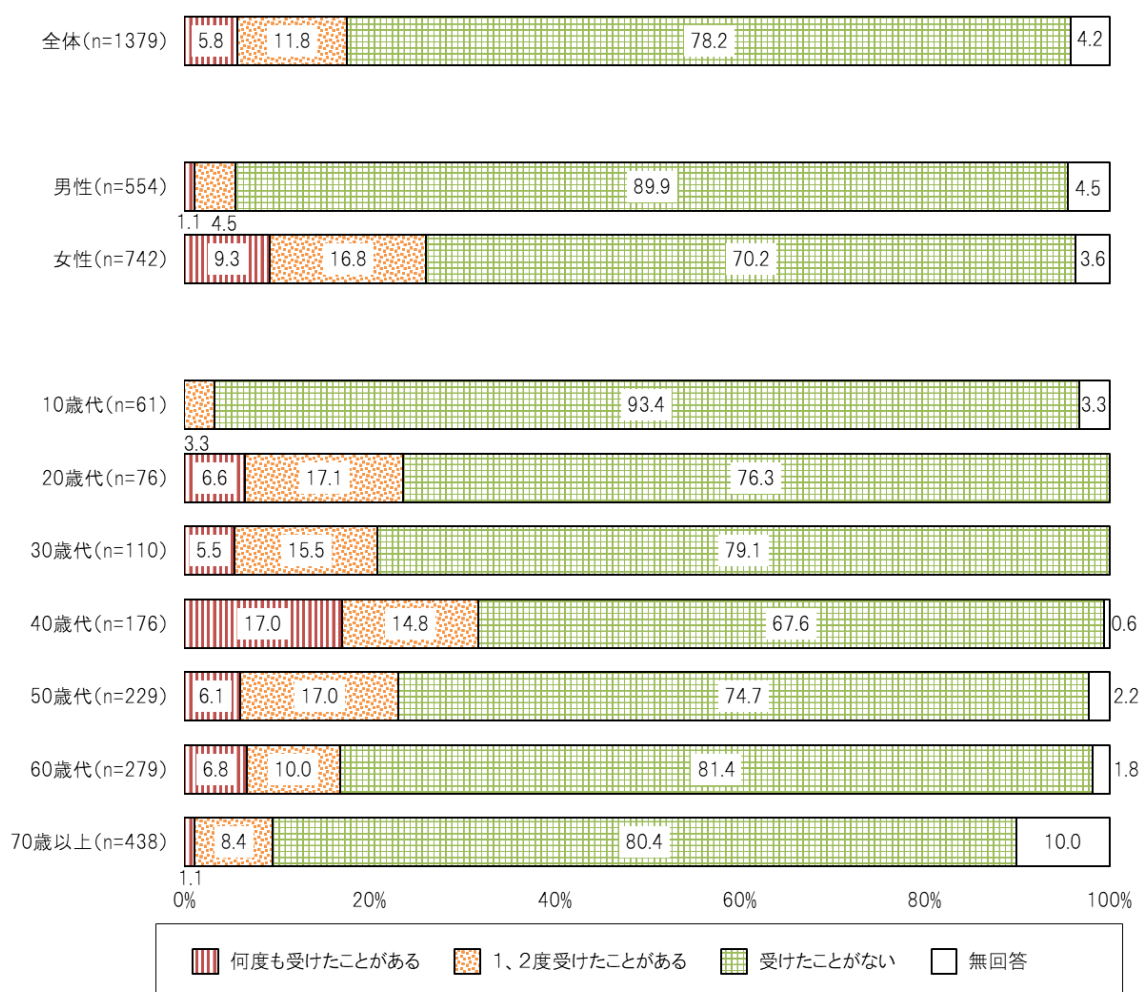
問 48 あなたはこれまでにセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。（○は1つだけ）

「受けたことがない」が78.2%と最も高く、次いで「1、2度受けたことがある」11.8%、「何度も受けたことがある」5.8%となっている。

性別にみると、「受けたことがない」の割合は、男性が89.9%、女性が70.2%で男性の方が女性よりも19.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「受けたことがない」の割合は10歳代で最も高く93.4%となっており、40歳代で67.6%と最も低くなっている。

問48 あなたはこれまでにセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか



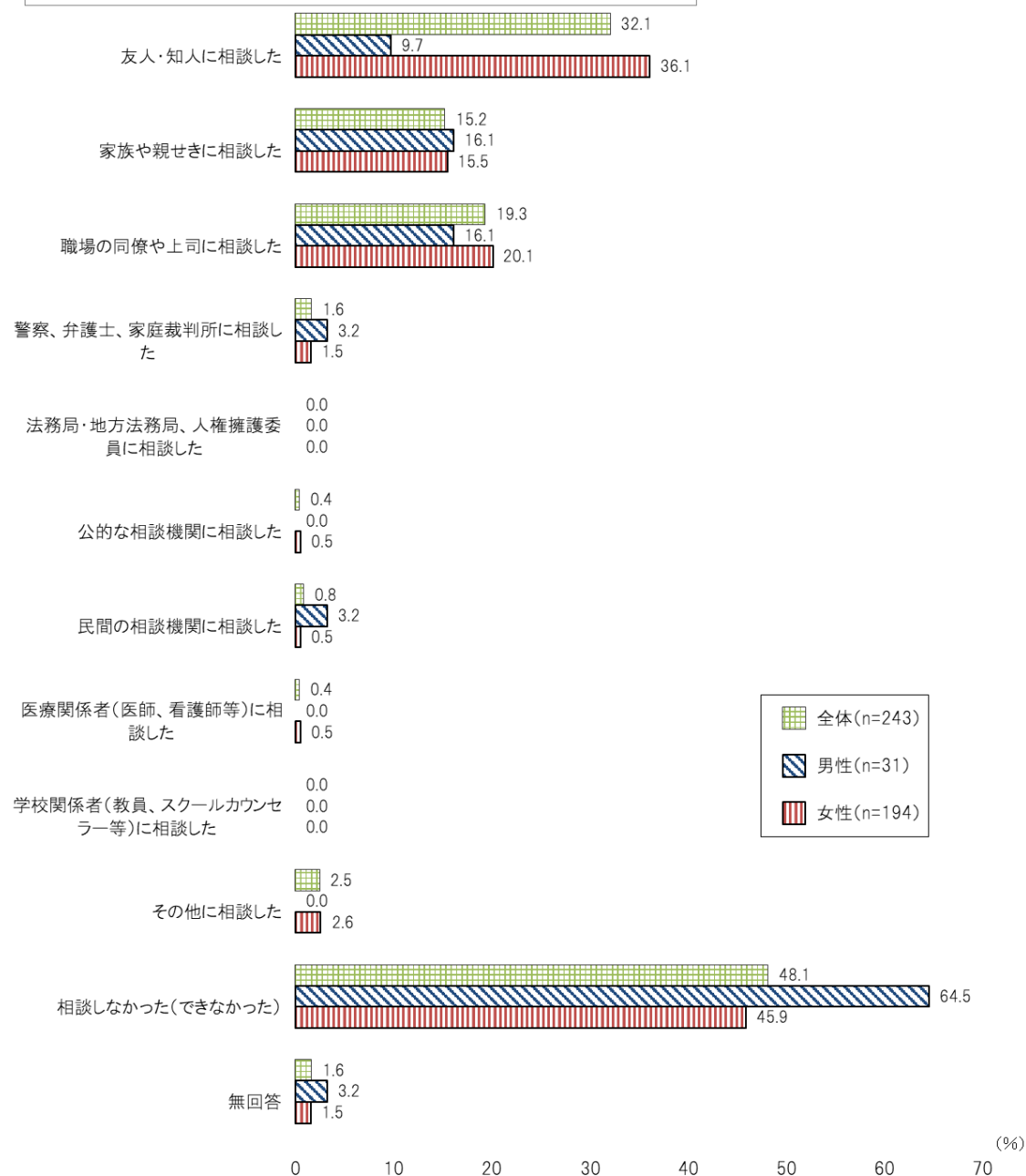
問 49 問 48 で「1. 何度も受けたことがある」「2. 1、2度受けたことがある」に○と答えた方におききます。その後どこか（だれか）に相談しましたか。（○はいくつでも）

「相談しなかった（できなかった）」が 48.1%と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」32.1%、「職場の同僚や上司に相談した」19.3%となっている。

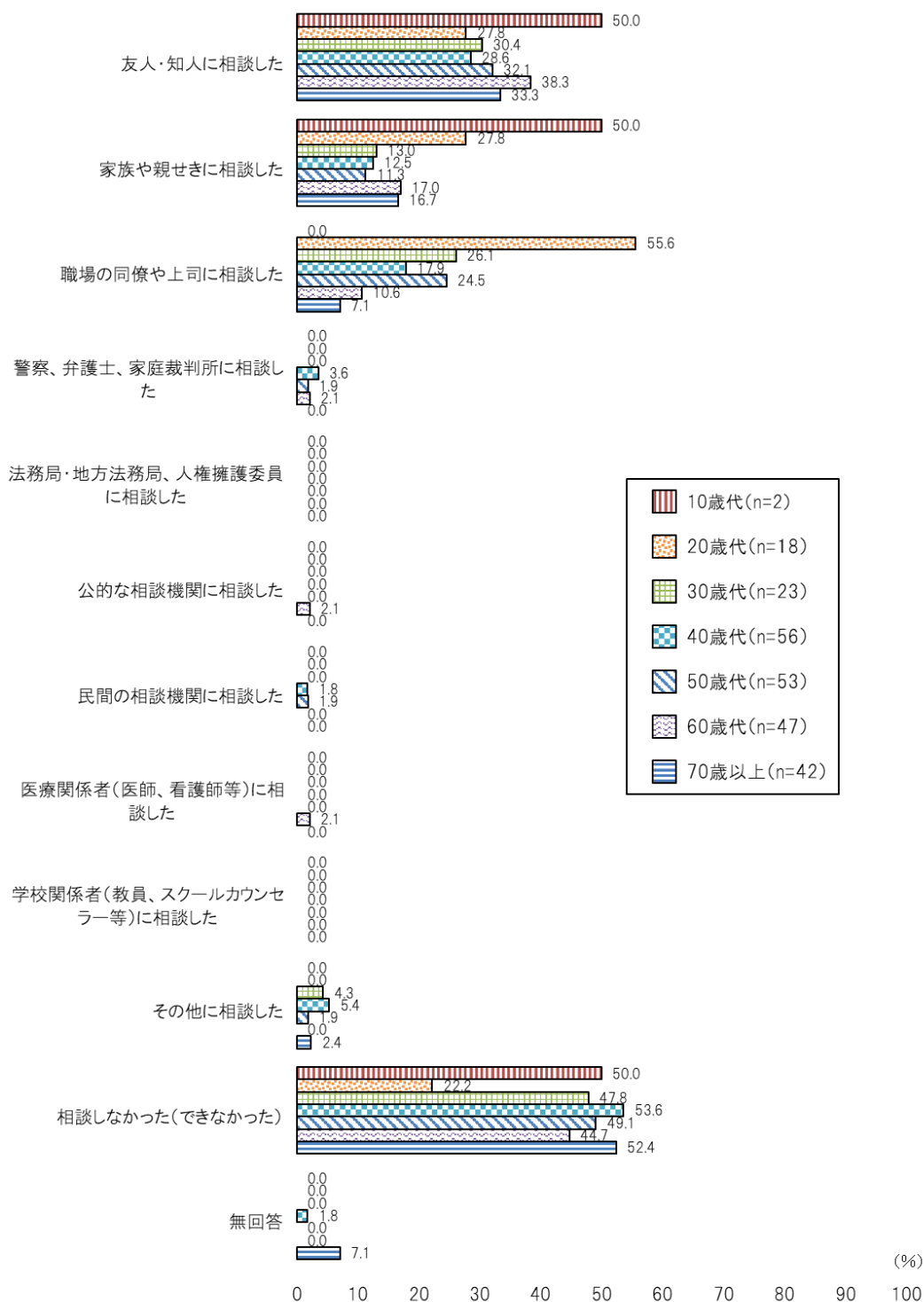
性別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は、男性が 64.5%、女性が 45.9%で男性の方が女性よりも 18.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談しなかった（できなかった）」の割合は 40 歳代で最も高く 53.6%となっており、20 歳代で 22.2%と最も低くなっている。

問49 その後どこか（だれか）に相談しましたか
（問48 で「何度も受けたことがある」、「1、2度受けたことがある」と答えた方）



問49 その後どこか(だれか)に相談しましたか
(問48 で「何度も受けたことがある」、「1、2度受けたことがある」と答えた方)



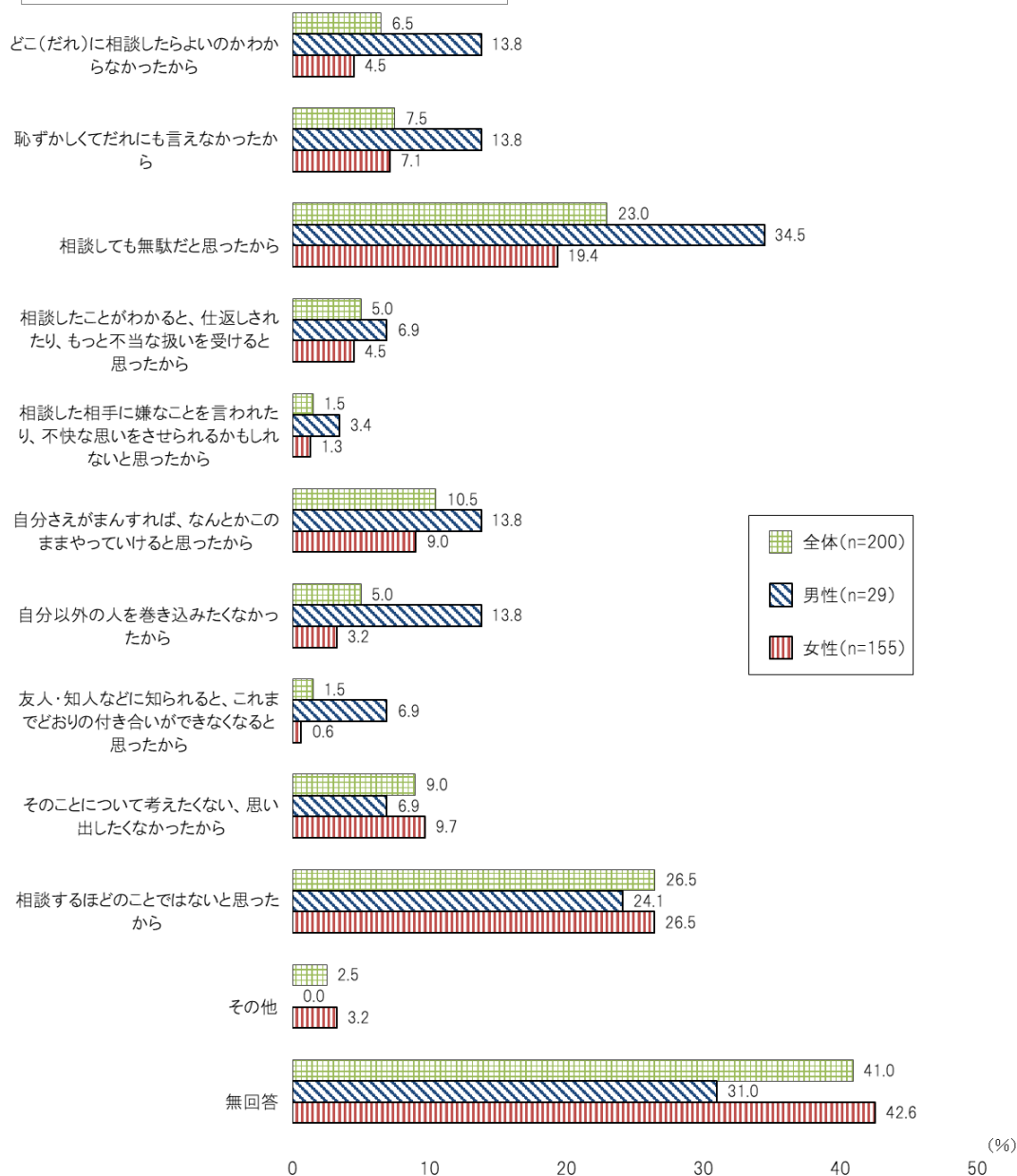
問 50 問 49 で「11. 相談しなかった（できなかった）」に○と答えた方におききします。
相談しなかった理由は何なことです。 （○はいくつでも）

「相談するほどのことではないと思ったから」が 26.5%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」23.0%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」10.5%となっている。

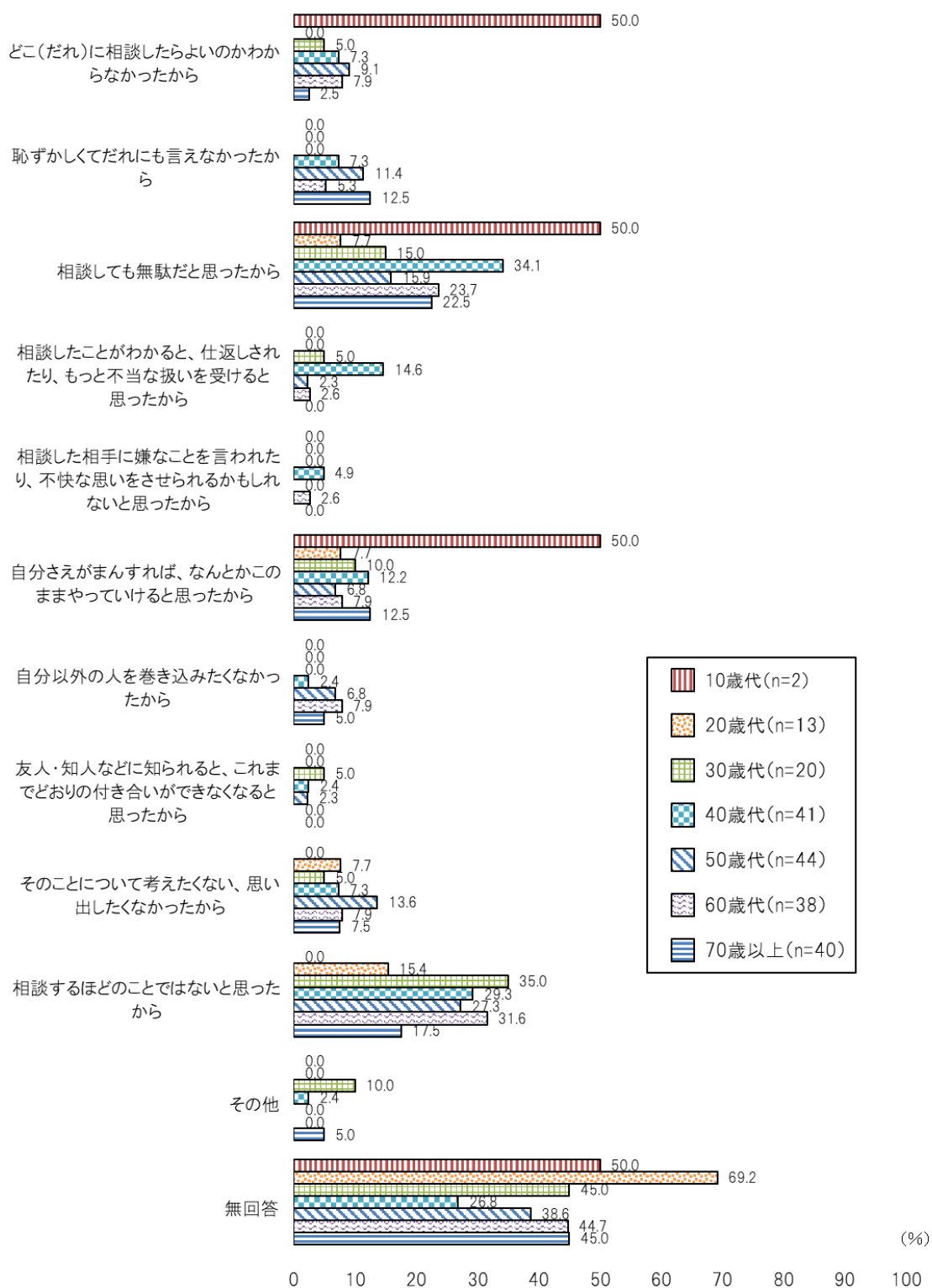
性別にみると、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合は、男性が 24.1%、女性が 26.5%で女性の方が男性よりも 2.4 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合は 30 歳代で最も高く 35.0%となっており、20 歳代で 15.4%と最も低くなっている。

問50 相談しなかった理由は何なことです
(問49 で「相談しなかった(できなかった)」と答えた方)



問50 相談しなかった理由はどんなことですか
(問49 で「相談しなかった(できなかった)」と答えた方)



政策・方針の場への男女共同参画について

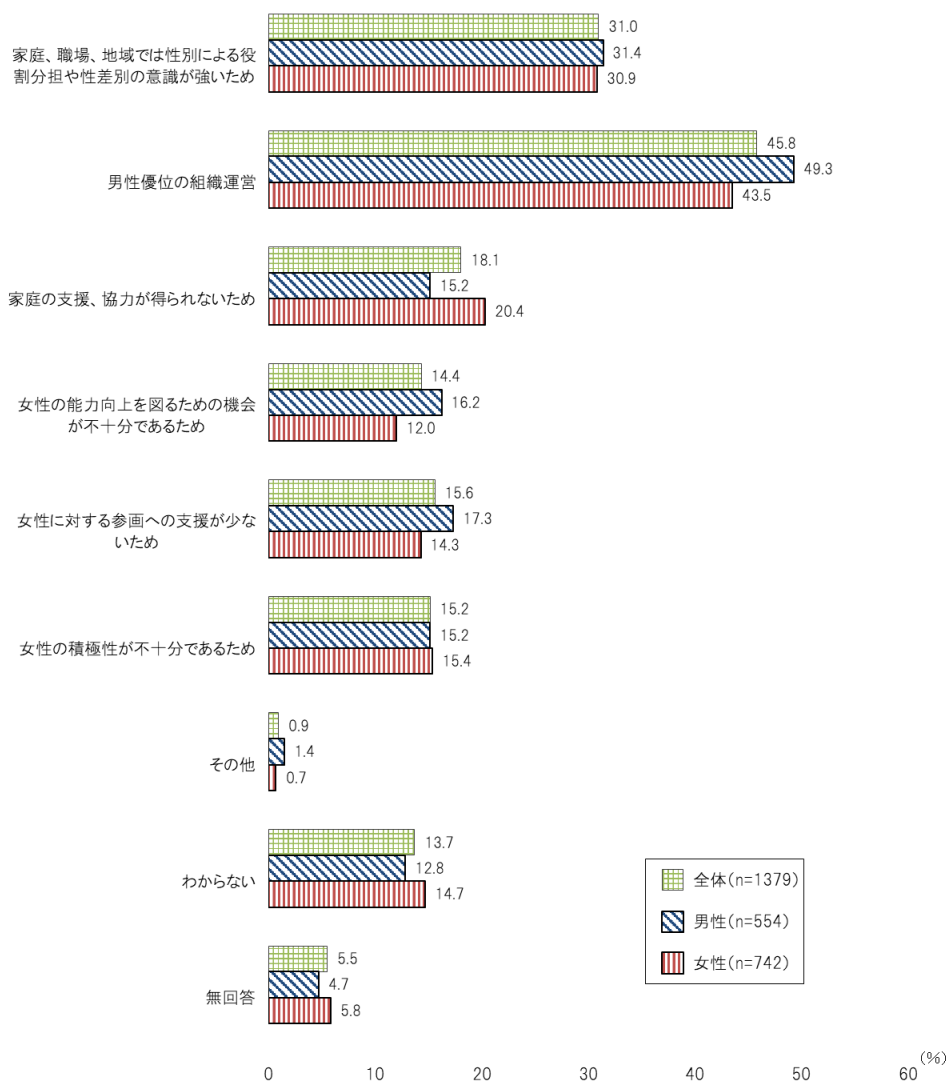
問 51 「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思われますか。（○は2 つまで）

「男性優位の組織運営」が 45.8%と最も高く、次いで「家庭、職場、地域では性別による役割分担や性差別の意識が強い」ため」31.0%、「家庭の支援、協力が得られない」ため」18.1%となっている。

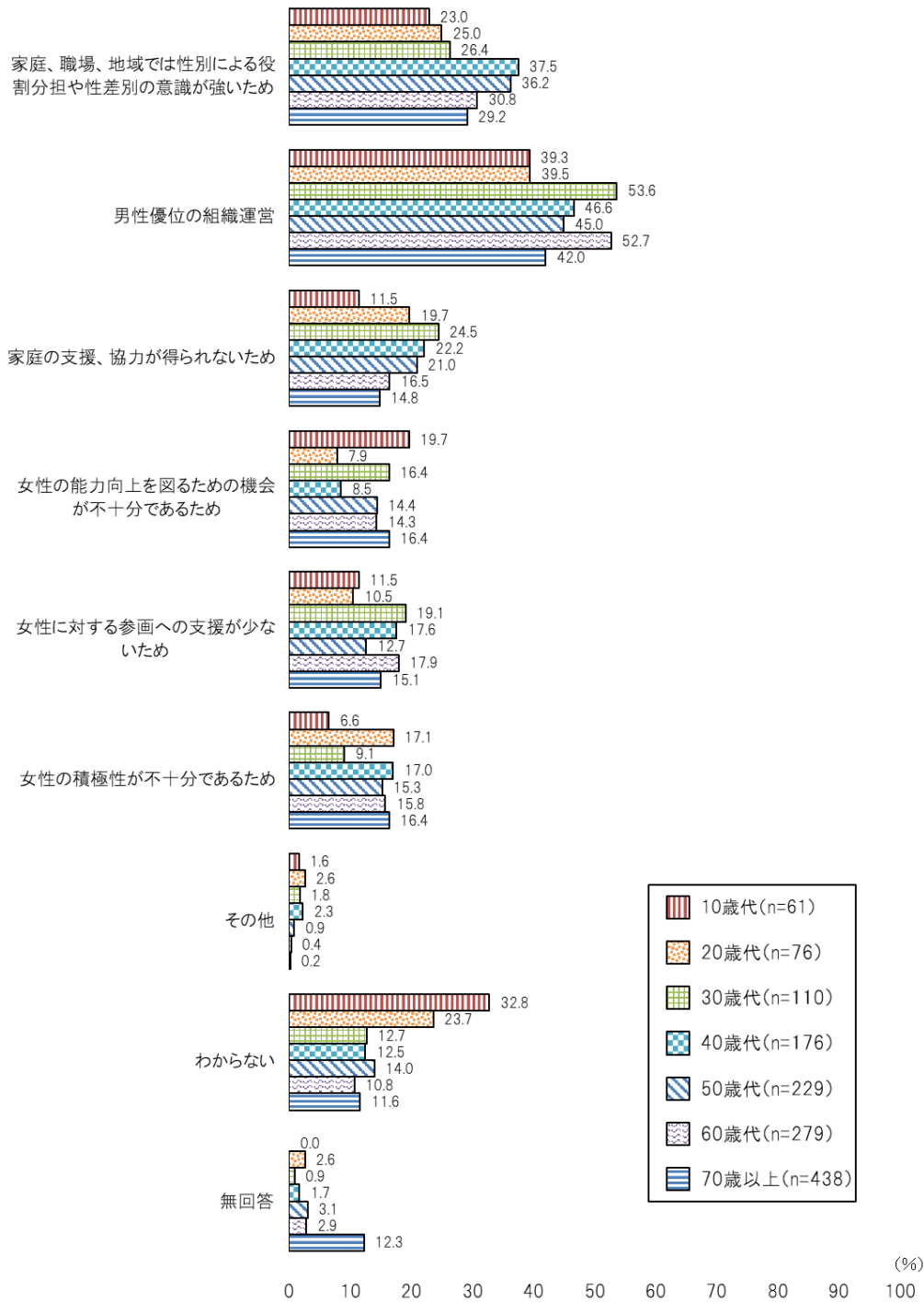
性別にみると、「男性優位の組織運営」の割合は、男性が 49.3%、女性が 43.5%で男性の方が女性よりも 5.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「男性優位の組織運営」の割合は 30 歳代で最も高く 53.6%となっており、10 歳代で 39.3%と最も低くなっている。

問51「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思われますか



問51「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思いますか



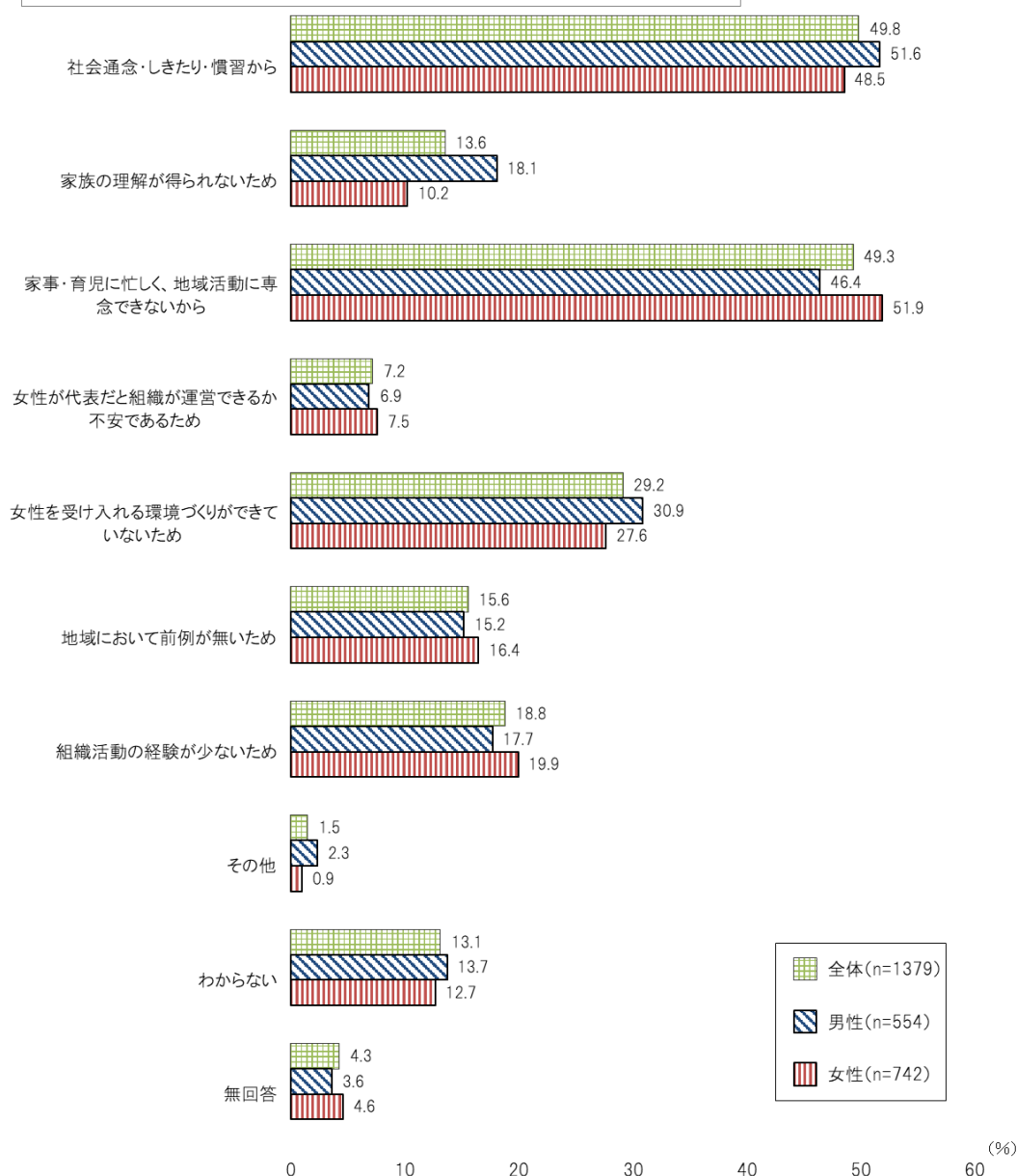
問 52 住民自治協議会（まちづくり協議会）など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか。（〇は3つまで）

「社会通念・しきたり・慣習から」が49.8%と最も高く、次いで「家事・育児に忙しく、地域活動に専念できないから」49.3%、「女性を受け入れる環境づくりができていないため」29.2%となっている。

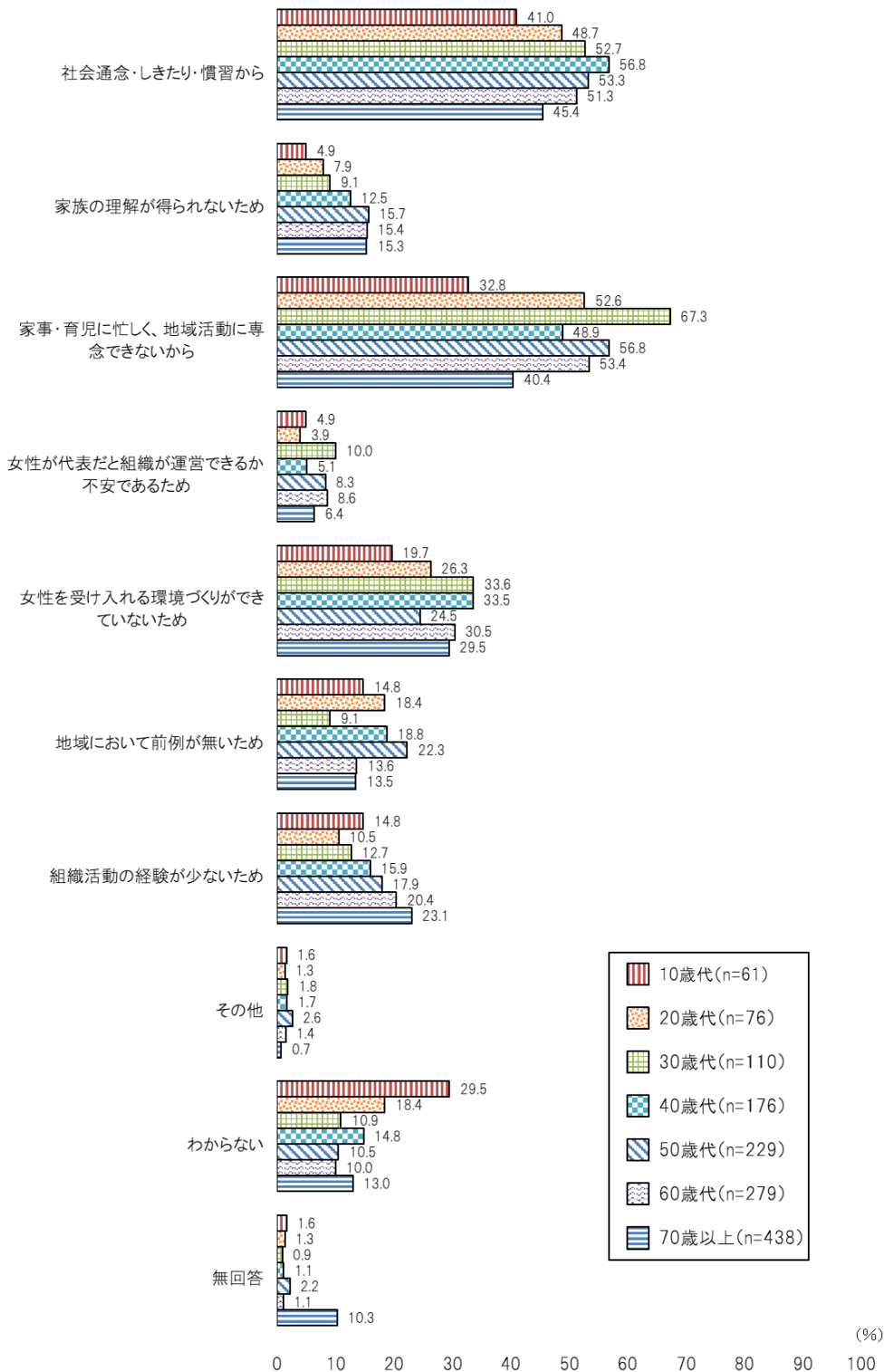
性別にみると、「社会通念・しきたり・慣習から」の割合は、男性が51.6%、女性が48.5%で男性の方が女性よりも3.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、「社会通念・しきたり・慣習から」の割合は40歳代で最も高く56.8%となっており、10歳代で41.0%と最も低くなっている。

問52 住民自治協議会(まちづくり協議会)など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか



問52 住民自治協議会(まちづくり協議会)など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか



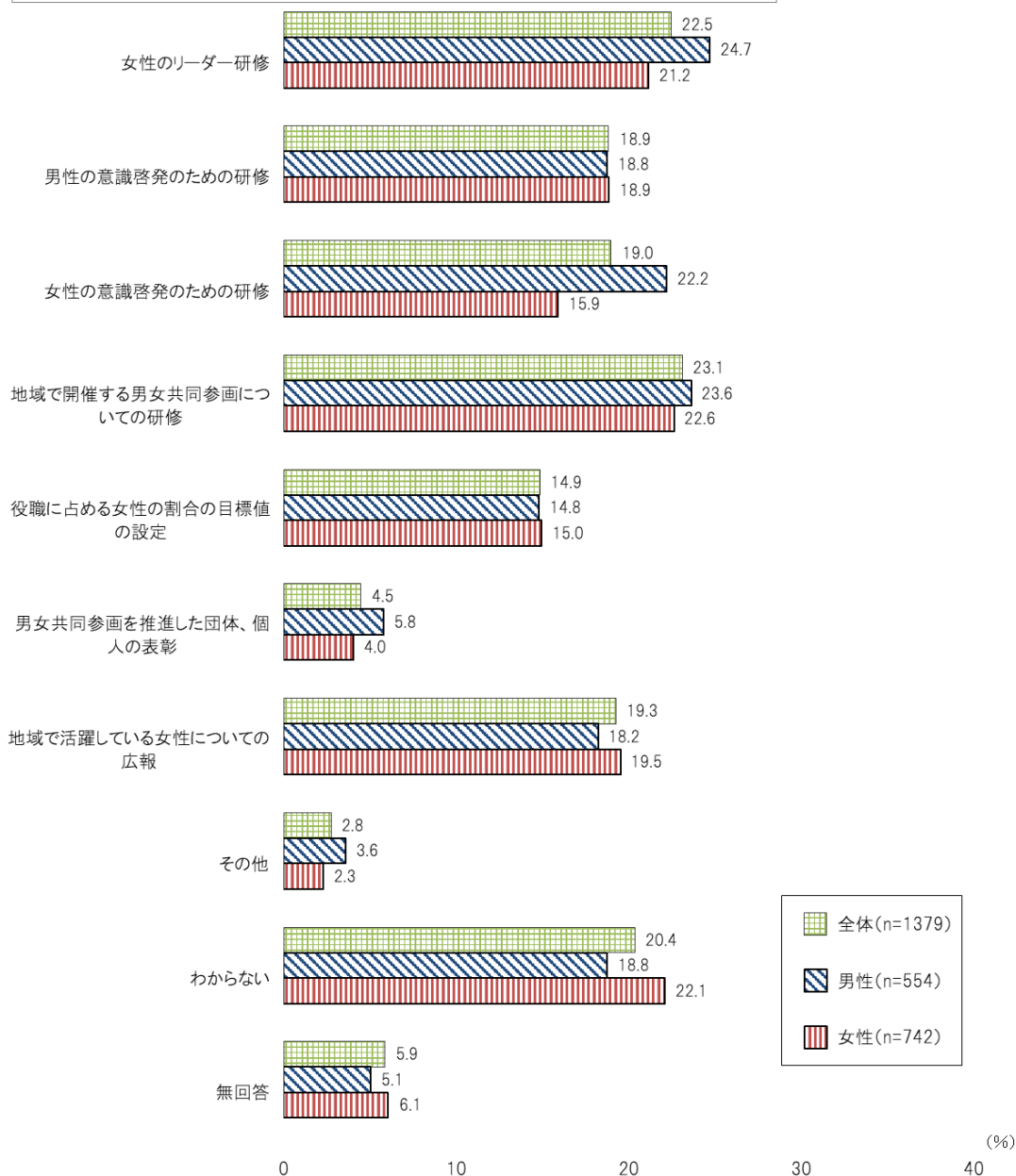
問 53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか。（〇は2つまで）

「地域で開催する男女共同参画についての研修」が23.1%と最も高く、次いで「女性のリーダー研修」22.5%、「地域で活躍している女性についての広報」19.3%となっている。

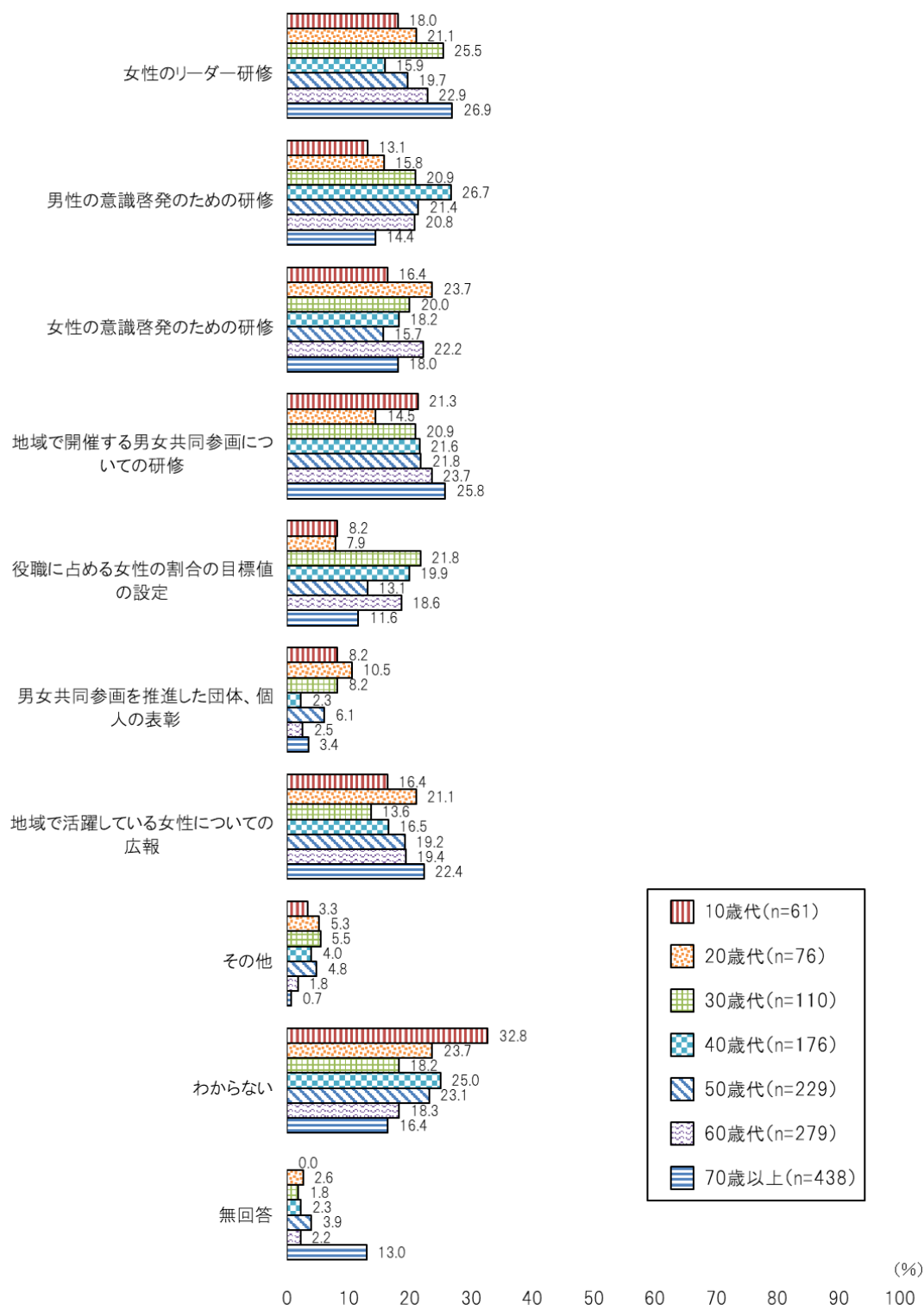
性別にみると、「地域で開催する男女共同参画についての研修」の割合は、男性が23.6%、女性が22.6%で男性の方が女性よりも1.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「地域で開催する男女共同参画についての研修」の割合は70歳以上で最も高く25.8%となっており、20歳代で14.5%と最も低くなっている。

問53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか



問53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか

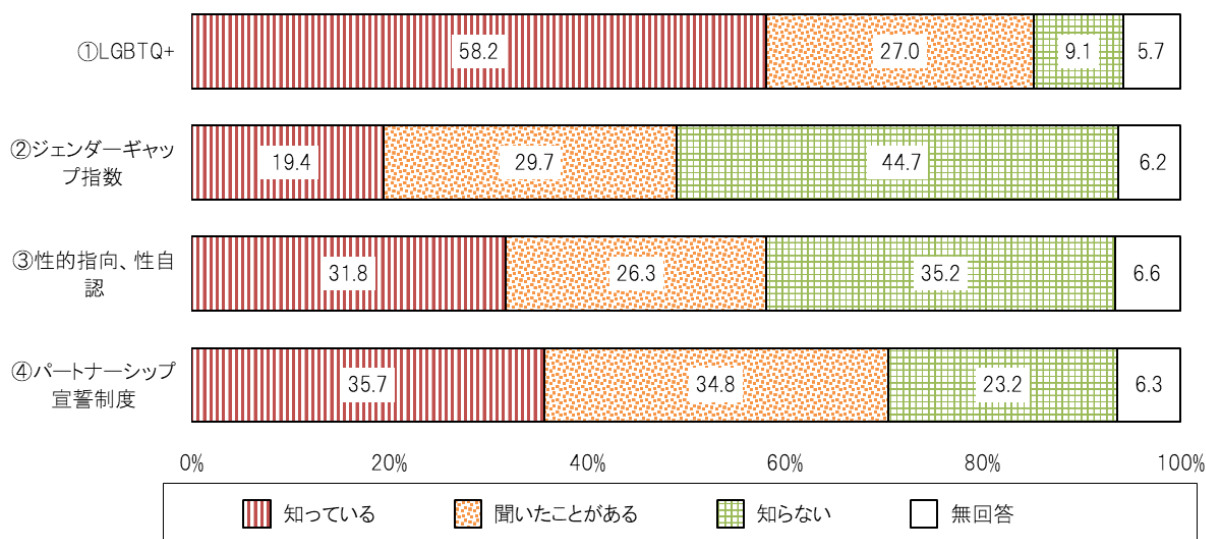


性の多様性について

問 54 次のことばについておききします。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① LGBTQ+は「知っている」が58.2%と最も高く、次いで「聞いたことがある」27.0%となっている。
- ② ジェンダーギャップ指数は「知らない」が44.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」29.7%となっている。
- ③ 性的指向、性自認は「知らない」35.2%と最も高く、次いで「知っている」31.8%となっている。
- ④ パートナーシップ宣誓制度は「知っている」が35.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」34.8%となっている。

問54 次のことばについておききします



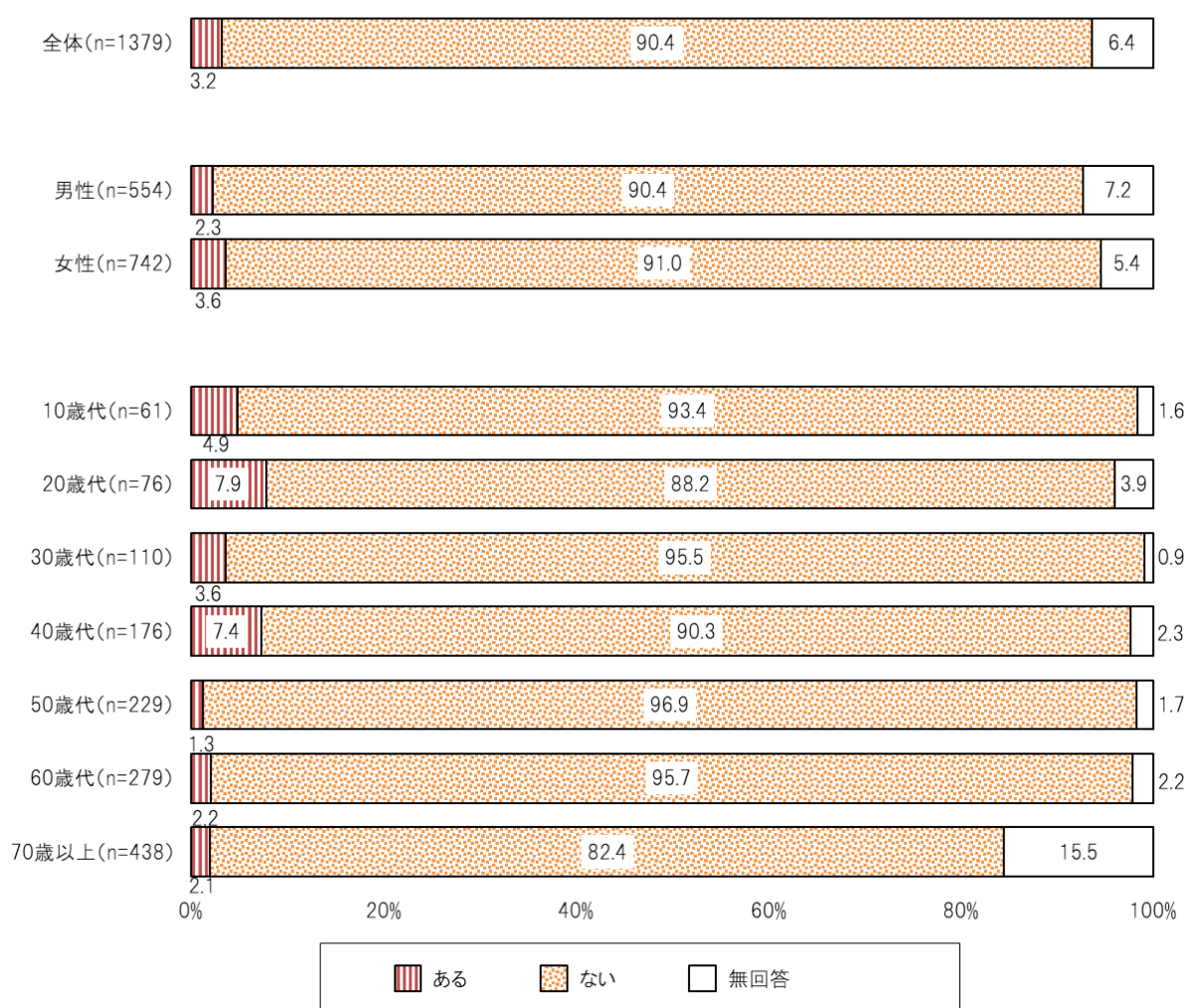
問 55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか。（○は1つだけ）

「ない」が90.4%と最も高く、次いで「ある」3.2%となっている。

性別にみると、「ない」の割合は、男性が90.4%、女性が91.0%で女性の方が男性よりも0.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「ない」の割合は50歳代で最も高く96.9%となっており、70歳以上で82.4%と最も低くなっている。

問55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか



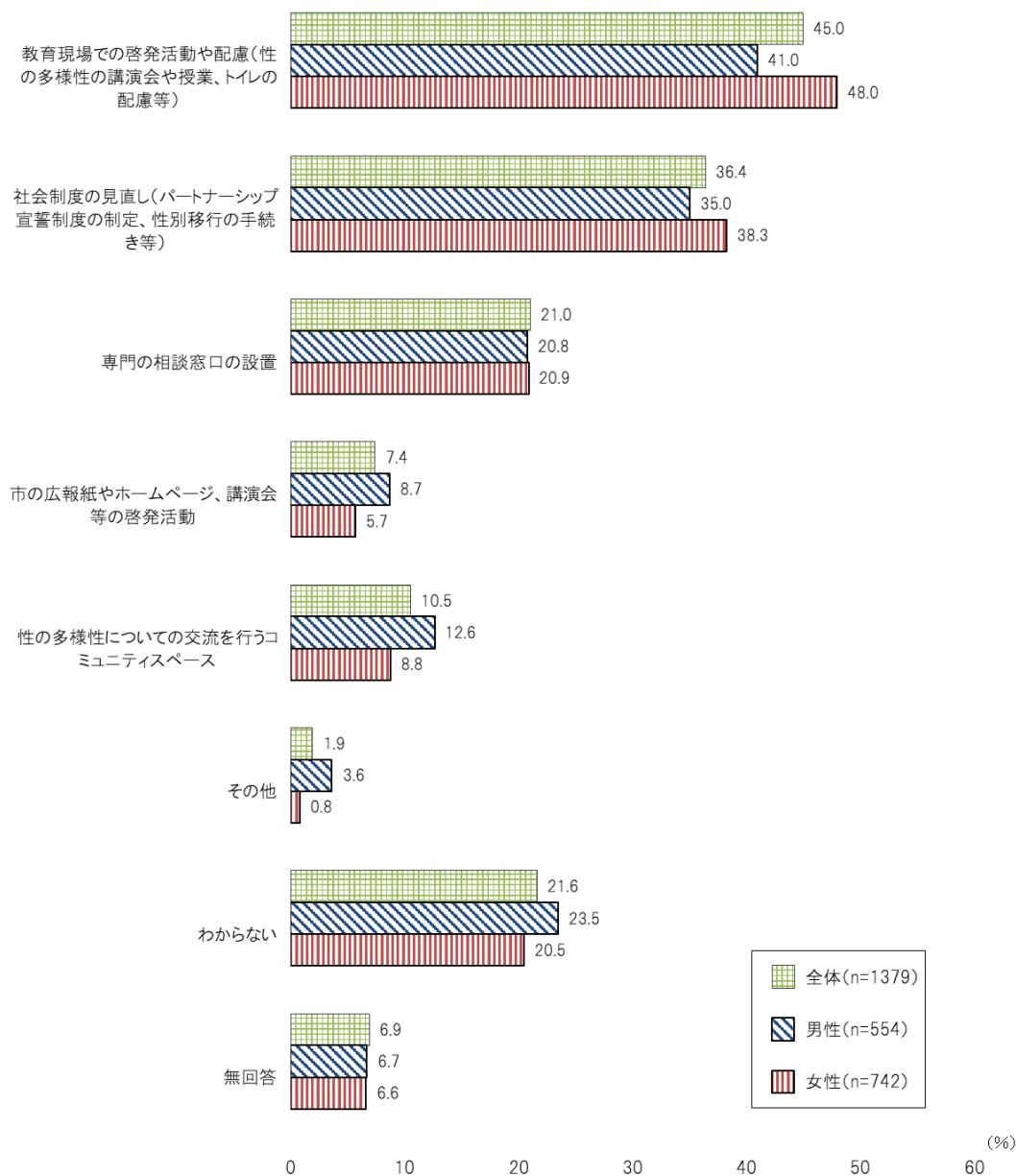
問 56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」が45.0%と最も高く、次いで「社会制度の見直し（パートナーシップ宣誓制度の制定、性別移行の手続き等）」36.4%となっている。

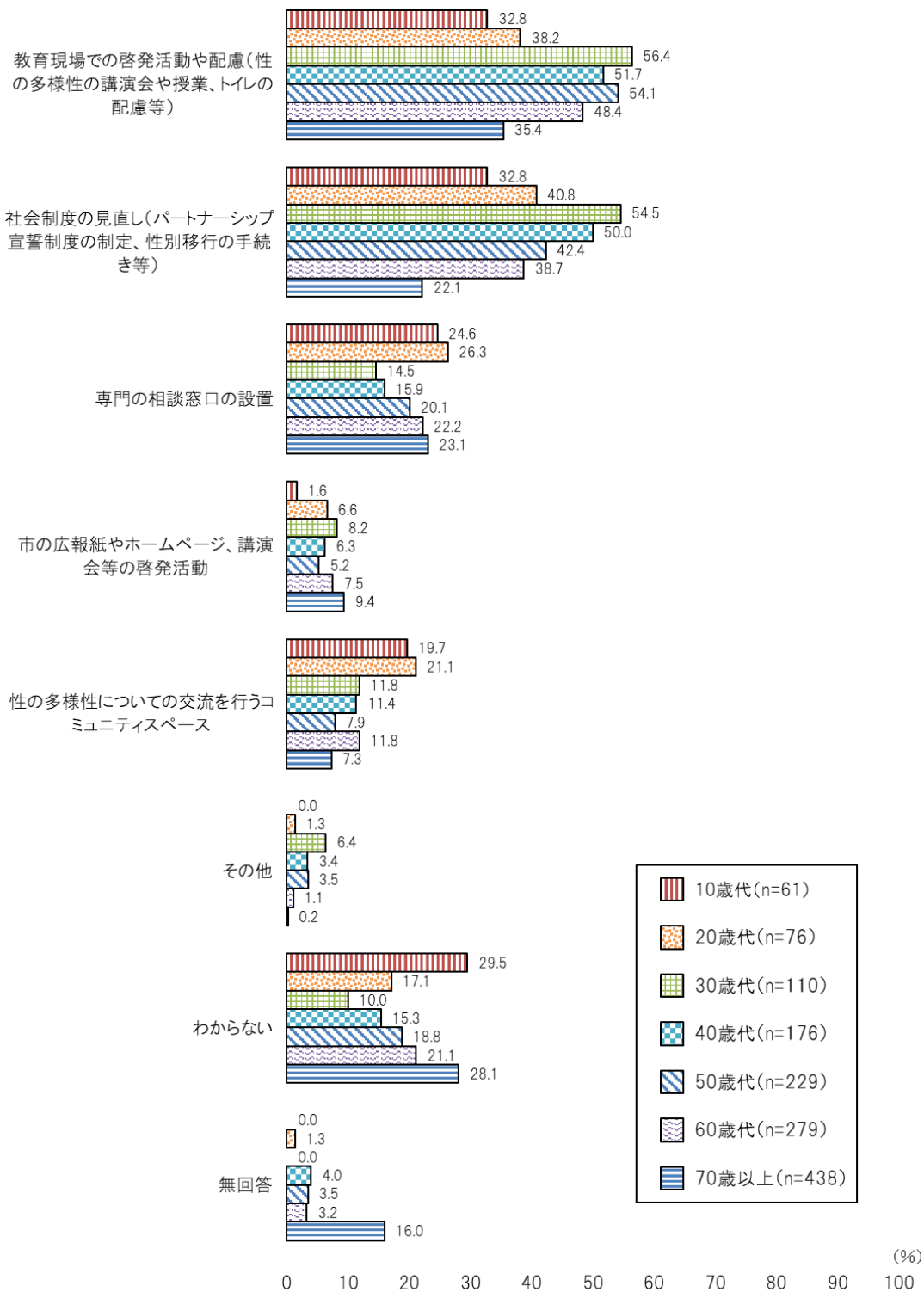
性別にみると、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」の割合は、男性が41.0%、女性が48.0%で女性の方が男性よりも7.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等）」の割合は30歳代で最も高く56.4%となっており、10歳代で32.8%と最も低くなっている。

問56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか



問56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか



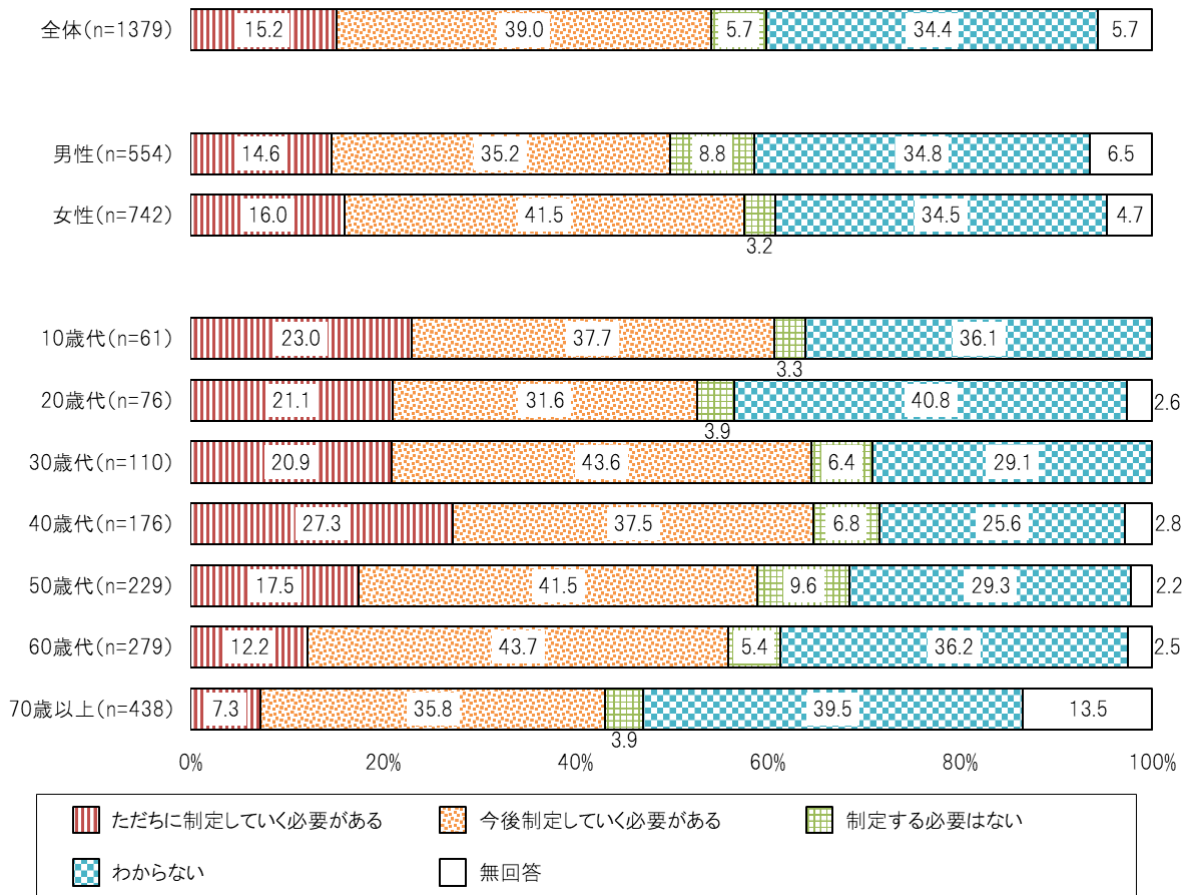
問 57 三重県では令和 3 年 9 月 1 日から「三重県パートナーシップ宣誓制度」が始まりました。松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか。
(○は 1 つだけ)

「今後制定していく必要がある」が 39.0%と最も高く、次いで「わからない」34.4%、「ただちに制定していく必要がある」15.2%となっている。

性別にみると、「今後制定していく必要がある」の割合は、男性が 35.2%、女性が 41.5%で女性の方が男性よりも 6.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「今後制定していく必要がある」の割合は 60 歳代で最も高く 43.7%となっており、20 歳代で 31.6%と最も低くなっている。

問57 松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか



行政の取組について

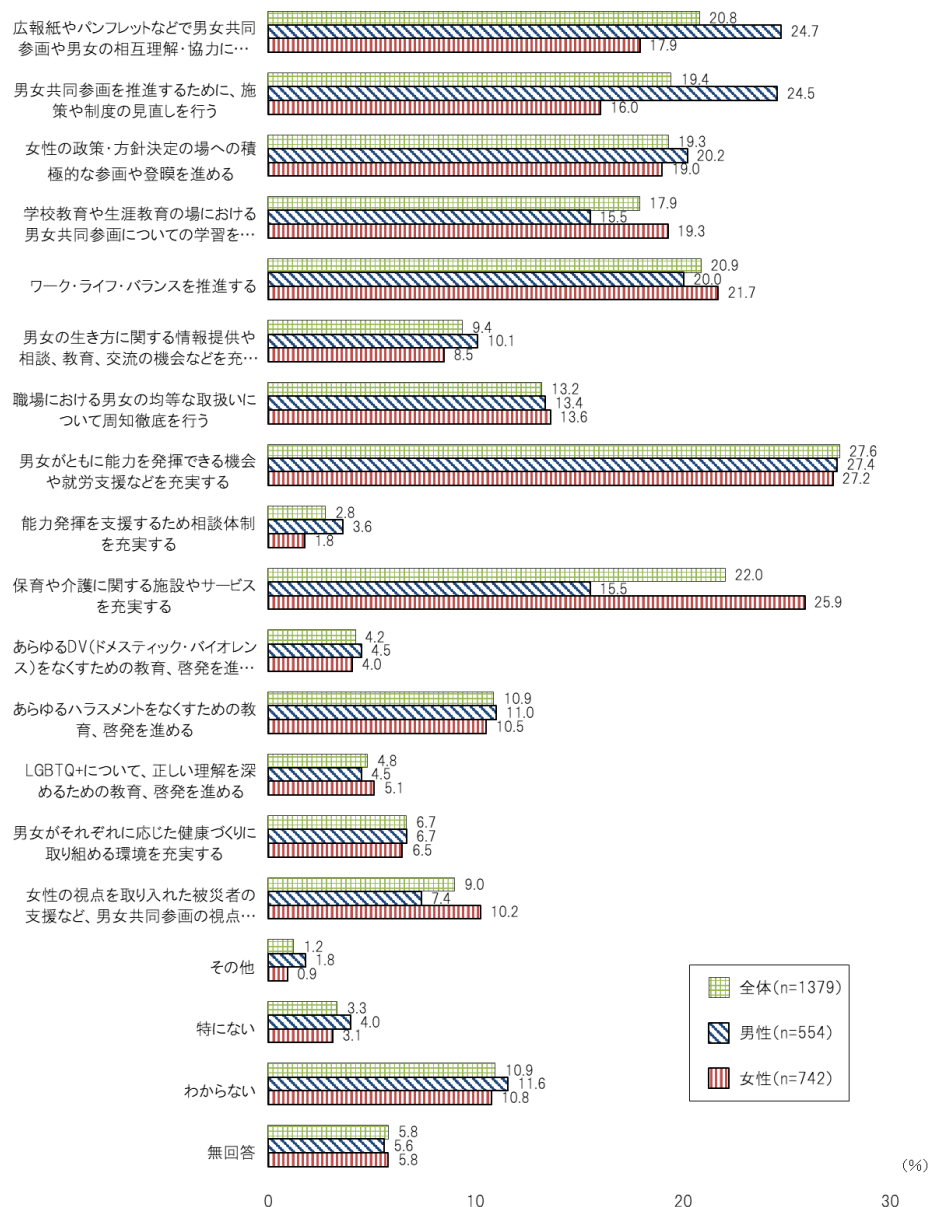
問 58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。（〇は3つまで）

「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」が27.6%と最も高く、次いで「保育や介護に関する施設やサービスを充実する」22.0%となっている。

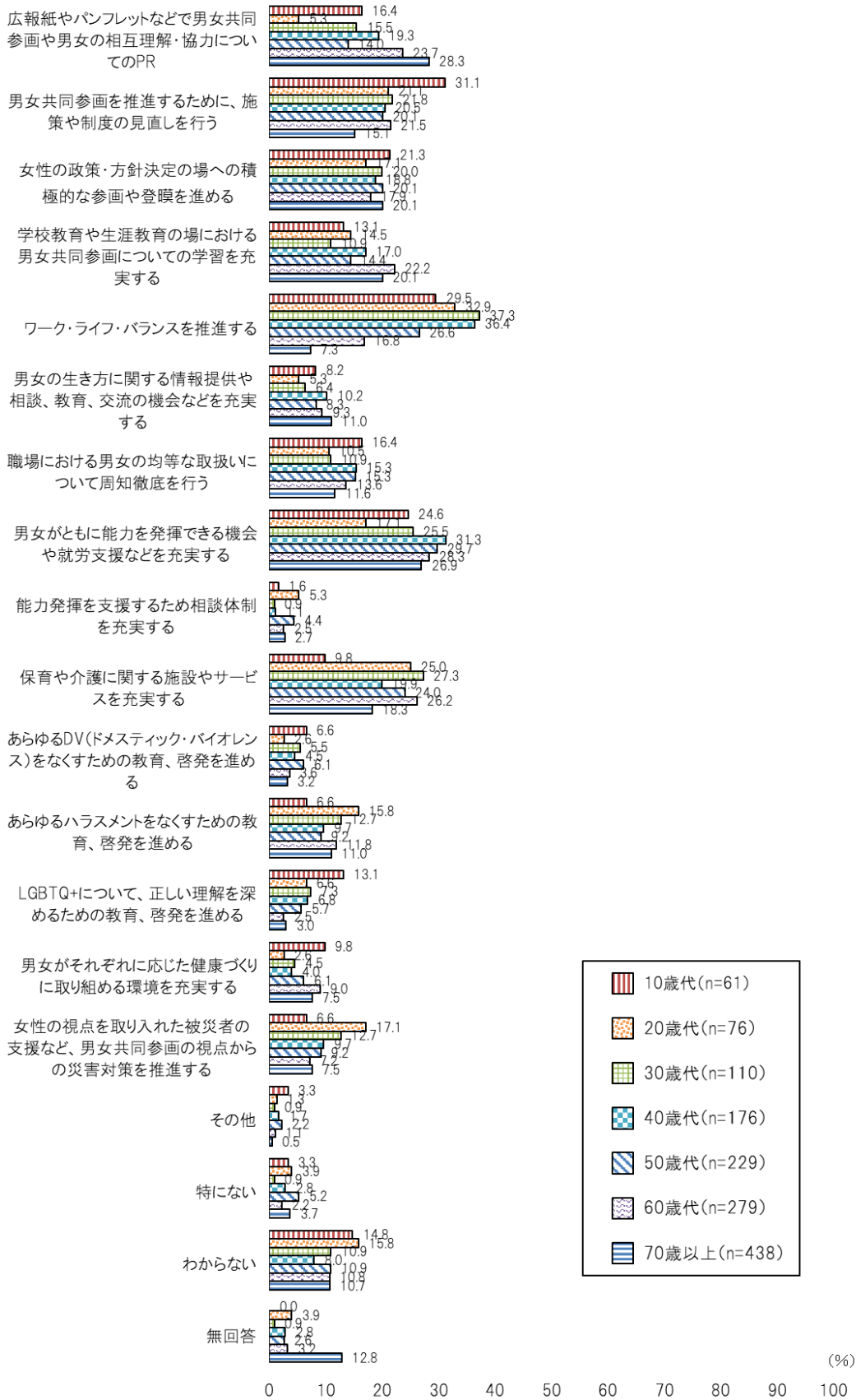
性別にみると、「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」の割合は、男性が27.4%、女性が27.2%で男性の方が女性よりも0.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する」の割合は40歳代で最も高く31.3%となっており、20歳代で17.1%と最も低くなっている。

問58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか



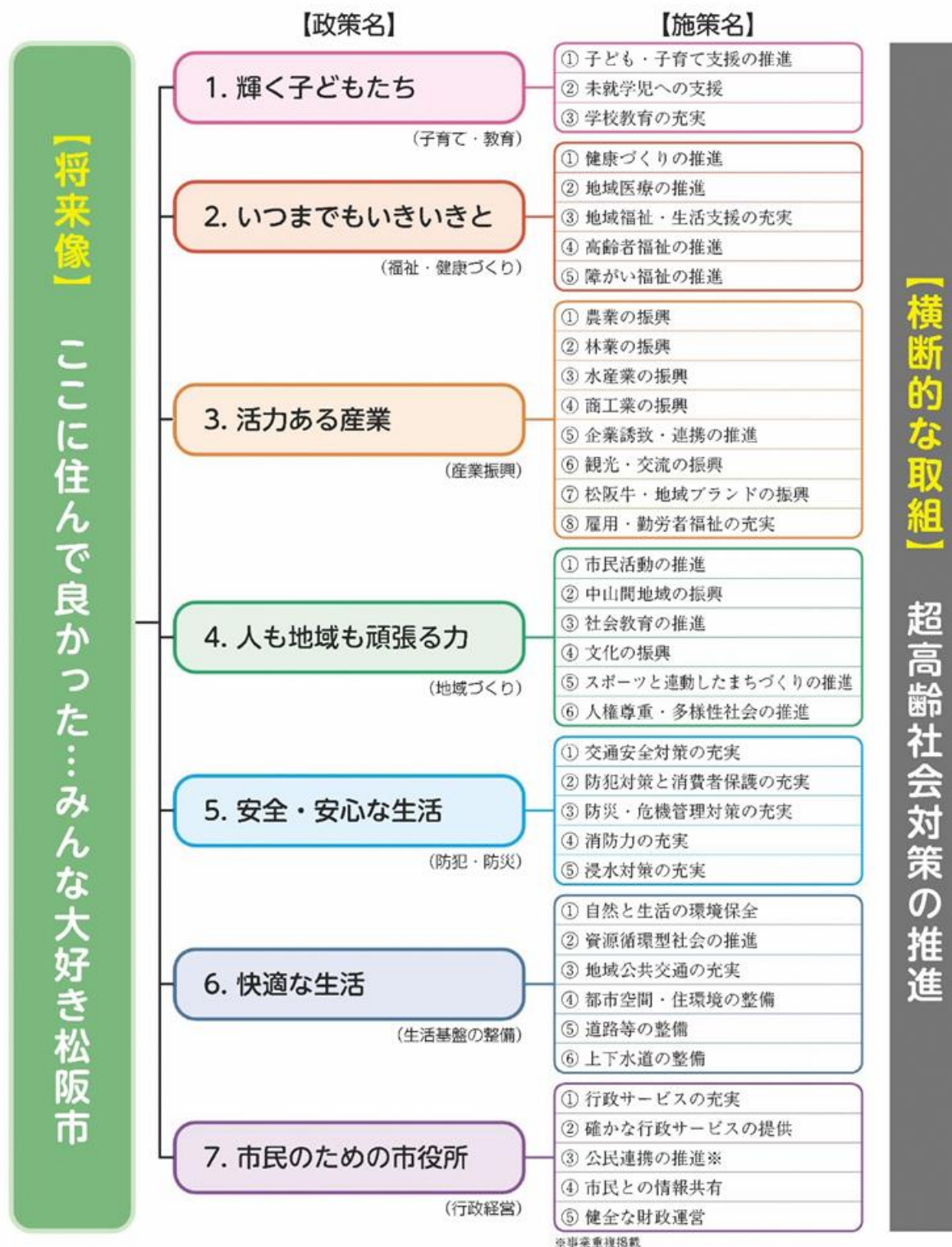
問58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか



Ⅲ 自由記述

市政に対するご意見については、311 人の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の主なものを総合計画の政策分野ごとに分類し、政策分野に属さないご意見については、「市政全般」等に分類しました。

できる限り原文に忠実に記述していますが、不適切な表現は一部修正しています。また、誤字等についても修正させていただいています。ご了承ください。



【横断的な取組】

超高齢社会対策の推進

《主な意見》

1. 輝く子どもたち

○子育ての支援をもっと充実してほしいです。他県などで見られる、学習や遊びなどができる児童館(小学生も利用可)の建設。子どもが未就園の時は支援センターにも行きましたが、廃園した園舎を再利用しており、足が不自由な私には、子どもをだっこして、離れた駐車場から歩いたり、階段を上ったりするのは大変で、障害や病気のあるお母さんには何も優しくないと思いました。病気や障害を持ちながら子育てしている人のコミュニティや支援の場があればよいと思いました。でも、はるるがあったのは良かったです。コロナの時でも予約なしで遊べたし、保健師さんたちも体調を気遣って下さって、よく子どもの身体計測に行くなどしていたのですが、イスを持って来て下さったり、声をかけて下さったりしてくれました。

○保育園に待機児童が多く、就労時間をのばせない。保育園でのイベントが減ると、保育士さんの負担が減るのではないかなと思う。子どもがもう 1 人ほしいと思うが、働かなければお金はないし、出産～育児にお金がかかるし、生活にお金がかかるし、息苦しくなる。たぶん子どもは産まない選択をすると思う。

○養育費を市で立て替え、市が回収してほしい。明石市等行えている市があるので、毎月振り込まれるか不安の日々です。

○不妊治療の助成金を増やして欲しい。

○今年度から夏休みなどだけ利用できる学童保育が始まり、良い取り組みだと思っています。学童の法人運営化の検討が始まると聞き、保護者としては、負担が減るので助かる一方、保育料金や保育環境面で不安があります。検討が始まったばかりで、具体的にはこれからの事と思いますが、早い段階で法人化に対しての期待することや不安事項のアンケートを取ってほしいです。予算の都合があると思うが、PTA から出している通学路の整備が何年も行われていない。新しい施設や開発も必要だが安心して子どもが過ごせる環境に投資をしてほしい。

○子どもの未来のためにお金を使う事

○子育て、保育とは小さな子供に対してだけではなく、子供が自立するまで継続するものであるのに、保育系の支援は小さな子供に対してのものしかなく、結局仕事に支障が出ることをお知りおき頂きたいです。

○平日休日祝日や時間関係なく、子供を預けることができる施設、制度がほしい。1ヶ月前から予約が必要とか、予定時刻を過ぎると担当職員に理由を責められるようなものではなく、必要なときに気兼ねなく利用できる場所がほしい。

○女性が働きやすい環境においては、核家族も多いあるいは協力依頼する両親が働き盛りで頼らない等が働くことを阻害している。過疎地域では保育の延長もないことから働く時間が縛られる。そのため働く時間をセーブしなくてはならない。たとえ 30 分でも延長できるならばありがたい。過疎地域の学童保育を公設公営化して、働き世代が働きやすくしてもらいたい。親が出向く機会が多くなると働く時間を削らなくてはならない。働きたいから子を預ける先が預けやすい環境であってほしい。

○他の自治体の子育て支援の取組でいいなと思ったのは、生まれて 1 歳までの子どもがいる家に、6 回まで家政婦さんが 2～3 時間ほど 1 回 500～1000 円程度で家事や掃除などをしてくれるという制度は、精神的にも負担が大きい時期に手伝ってくれる人がいるのはすごいなと思った。

○老朽化や少子化によって保育園の統合が進んでいるように感じますが、使わなくなった保育園がそのままになっているところもあります。古民家の再利用のように全て壊さず費用を抑えて子どもたちのた

めの施設へ再利用していただけると嬉しいです。

○フルタイムで働いているものの、保育時間や土日保育のシステムに、不便さを感じます。公務員や兼業主婦中心の仕組みのように思います。 託児所併設の企業も少なく、仕事と育児の両立の難しさを体感しています。 子育てとキャリアの両立ができる街作りをお願いいたします。

○習い事の支援など、子育てにおいてここで育てたいと思えるような助成や他県でなくても就職できるような環境があれば良い。松阪から通える安い大学がないので他県に行き、そのまま就職してしまう。大学が必要なのでは？

○多様性と言う部分においては、はみ出た子供を排除する教育が根強い、多少コミュニケーションがうまく出来なくても、勉強の理解がおそくても、おなじクラスで勉強する事で子供のころからたすけ合い、考え、はじめて多様性を理解出来る。一律の教育は、子供を成長させない、「教員がたらない過酷」って、本当？夏休み・春休み・冬休み、土日祭日休みが確保され給料も充分である。1日の仕事が教員1人で対応出来ないのであれば、複数教員にする。出来るだけ個別教育(クラス内で)ができる様、人員確保し、1クラス複数担任を実現すべく、教員と育てる学校、教育を育てる実習の場を増やしてほしい。子供は社会の宝です。

○人それぞれの悩みがあると思いますが、私は市に対して、発達障害やグレーゾーンについても関心を持ってもらいたいな、と思いました。特性をもっていると仕事内容に支障が出たり、人間関係の悪化で職場に行けなくなってしまう人もいます。教育する側の無理解が二次障害を生む事もあります。教育現場の方々の理解を深めていただきたいです。

○コロナが終りつつ今ある。大谷翔平君のグローブを野球やスポーツの好きな子供に使わせず、学校にかざるだけのグローブ、大人からは可愛そうで、好きな子供達が使うのがプレゼントのありがたいと思うのでは？使えない淋しさや、くやしさが気持ちに残る子供達、どう思いますか？

○高齢者福祉の推進も重要だが、新しい世代、児童、学童への学校教育の充実を願います。

○PTAなくしてほしい。働く母には大変すぎる。

○給食で豚肉が含まれる時に、宗教的な理由で食べられないメニューがある。どうにかして、食べられる物に変えてはいただけませんか。(ハラルのチーズ?)

○子どもたちの教育の充実のために、教育予算の拡充、 人的配置の充実をお願いします。

○小中学校の給食無償化は是非実施してほしい。

○学力向上に努めてほしい

○教員不足が深刻化しすぎていて、子どもに不利益が生じている。 また、大人の都合で統廃合を進めているのに、加配が4校に1人しかつかない学校があり、取りこぼしなく授業を行うために、異なる学年が同時に別々の授業を1人の先生が行うような場面が増えると聞いている。心理面でのサポートも手厚くなくとはいけないはずなのに今まで以上に子どもを見てもらえなくなる状態にしているのか？ 子どもの大切な一年の重さをどう考えているのか。しっかり今いる子の不利益にならないように考えてもらいたいし、授業や加配のことを地域保護者に直接その辺りを説明しないまま統廃合を進めたのはなぜか疑問やずるさを感じる

○子供の学力、スポーツ力も上げてほしい。 なぜ学校の勉強だけでは成績があがらないのか。 放課後、教職員以外の先生を雇用して、小学校などで安い月謝で勉強や、スポーツを習える場所を作ってもらえると、ありがたい。 子供がたくさんいると送迎が難しい。 近くに祖父母がいても車の免許がないと、送迎は母親1人の仕事となり、小さい子がいるとかなり負担になる 家庭では子供が少ない方が充

実した環境を作れるのは当たり前。　たくさん子供を産んだ方が充実した教育、習い事や家庭環境が整うとなると産む人もふえるのではないかな。

2. いつまでもいきいきと

○歯の治療で抜歯しなくてはいけない時のインプラント(義歯ではない)を作成する補助金を考えて欲しい。いくつになっても、歯は大切。身だしなみ、生きがい。

○インフルエンザの予防接種の助成も高齢者だけでなく、子供にもあってほしい。保育園や学校でインフルエンザをもらってくる事が多いし、小さい子供は2回接種分のお金がかかり、兄弟がいると高額になってしまい負担がかかる。

○健康診断などの充実、など望みます。

○救急相談ダイヤル 24 は本当に助かっています。

○70 才以上 2 人世帯なので救急車を呼ぶことにためらってしまうので安心して、利用できるようにもう少し不安を取りのぞいてほしいです！

○松阪市民病院の公的病院から外す事に強く反対です。救急医療に対する不安しか無いです。病院も元々少ないのに、どうするのだろうという不安しか無いです。しかもそれが市民にほとんど知らされていない。理解されていないのもズルいと思います。

○救急車増やしても搭乗する人がいなければ経費だけがかかる。大病院や救急車が市内集中してる飯南、飯高への往復時間無駄。有料は仕方がないが、タクシー代より高い気がする。遠くの人は躊躇するかも。

○市民病院の市民に対する説明がなく新聞によって勝手に決まっていってる。近くの病院がなくなるのは残念。病院で働いてる人も、公務員-安定、市の病院だと思い就職したのに退職とか生活があるのに…かわいそうに思える。働いている人の意見は聞いての流れでしょうか?!市長しっかり守ってしてあげてほしい。間違いだらけですいません。市民にも、聞いてほしい、この市民病院の存続を。

○問 34 について疑義をかんじます。なぜ、呼吸器疾患の質問だけがあるのですか?いくら、市民病院の院長が専門医であり、市民病院の看板診療科であるからですか?市民の意識調査を行うのは、他の医療機関や他の疾患への不平等を感じました。

○地域のクリニック・診療所のキャッシュレス化を推し進めてください。

○救急要請を選定療養費による 7700 円の徴収は全国各自治体で先駆けて実施したことは評価に値します。命とお金を天秤にかける場合は支払っても良いと思います。然しながら、その天秤にかける判断を持ち、的確且つ明瞭に実施が出来る人の割合はどうでしょうか?自身の経験則ですが、今年の夏ごろ、体調不良になり相談先の 0120-4199-17 が全く繋がらず焦りました。まだ実施されて期間が経っていないので、検証後の結果は難しいかもしれませんが、市民や全国の各自治体へ向けて情報開示をしっかりとお願いします。

○救急車を呼んだ際に入院ほどのものでなければ、負担させるのは反対です。さきほど、アンケートでもあった怪我や病気について相談できる窓口(電話番号)があることをもっと広く知ってもらうことが必要だと思います。そうすれば、救急車を呼べばいいのか迷った時に困ることが少なくなるのではないのでしょうか。正直、素人の私たちには救急車を呼べばいいかなんてわからないし、負担しなければならぬならしるるかもしれない。それこそ守れる命も守れない。だから、この窓口の存在はすごくありがたいもので、もっと多くの人に知ってもらいたいと願います。

○問 29 にもあった救急車について。この制度を取り入れたことによって、重症の方が助かることや救

急隊員に対しても、仕事が減ることは理解はしておりますが、救急隊員にとってはそれが仕事であり、松阪市内の声を聴き助けるのが普通ではないのか。消防職員の現状のことは公開されていない為知らない。どのような事例が何件あり、何人が助からなかった。等は知らない。が、呼ぶか呼ぶまいか悩み、呼んだらお金が取られる。お金が無い方はどーしたらいいのですか、松阪市さん。どーにか改善して頂きたい。他の市はこのようなことをしていません。考え直してください。

○全体的に医療レベルが低い。徹底的にお年寄り優先で現役世代は事実上医療を受けられない。徹底的に後回しとなり、医者とは年寄り以外は真面目にみていない。また、単なる薬売りの医者が多い。この点を改善してほしい。

○(難病)病気で働きたくても働けない者への生活支援の充実地域の出会いで、草刈などの作業を行っているが、高齢になってきているので大変です。市政の協力をお願いしたいと願っています。(作業が大変な所があります)終わった後、体がくたくたになります。

○より福祉につとめて欲しい。

○障がい者、生活困窮者に対する支援をもっと手厚くして欲しい。

○フードバンク松阪や、フードたすけあいプロジェクト等の活動もぜひ、見たりされ、支援の輪が広がっていくことを願います。

○現在生活保護を受けていますが、光熱費の値上がりに伴い 毎月の保護費を上げて欲しい!

○生活保護の割合が他の市に比べ多く感じられます。受給者が本当に必要な状態ではない方に多々遭遇します。

○お金の支援をもっとしてほしい。本当に子供がいるところとか 低所得者ばかり 優遇されてますが 実際 普通に生活している所も お金は厳しいんです。税金は 高いし それを考えて 全員に支援して欲しいと思います。

○限界集落になりつつあり仕方ないかもしれないが高齢化していく上でこれからの生活(交通・買物)等も不安でしかない。

○朝でも夕方でもいいので一日一回ラジオ体操を町内でしてほしいとの、おとしよりの意見がある 地域の交流、孤立をふせぐ、こどく死をふせぐのに、いいと思う

○今後、どんどん高齢化が進んでいくので、介護・福祉を充実させて欲しい。田舎で交通や買い物も不便なことが多い。地域での協力サポート、就業時間の考慮などで育児や介護が負担にならない街づくりをして欲しい。元気な人は短時間でも働けるシステムなど…。(年齢に関係なし。)

○介護の必要な者への施策をよりいっそう充実して欲しい。(介護老人対策の充実)

○子育て支援にばかり力を入れているように感じます。高齢者が安心して生活できるようにして下さい、年金だけで生活できるように。

○日頃は大変便利な所で生活できていると思っていました。車なしになると確実に生活が一変します。買物難民となり、毎日考える事が多くなりました。移動販売車を公園や広場に一週間に一回でもまわって頂けたら本当に有難いです。

○65 歳以上で配偶者と子など 3 親等以内の親族がいない「身寄りのない高齢者」が 2050 年で 448 万人になるという新聞記事を読んだ。老後の施設入居や入院時に求められる身元保証人のほか、遺体の引き取り手がない人が増えるという。家人によると「老後ひとり難民」と呼ぶそうだ。公的介護サービスで不都合はないのか、自分なりに調べてみようと思う。身元保証人がいない高齢者でも、医療や信頼できる民間業者がいて、サービスが受けられる社会であれば、老後ひとりも気楽でいいかと思える。市でできる対

策を進めてほしいと願う。

○私は高齢者で、ひとり暮らし、頼れる人がいなく、年金も少なく、働ける限り働いて、でもその先が非常に不安。例えば死等はどこに相談すればよいのかわからない。この先の生活と病気、死のことが不安で、例えば、熱中症でクーラーをつけて下さいといっても電気代も高く、とても昼間クーラーをつけることは考えられないといった人も知っているのでしょうか？

○高齢者が 1 人暮らしになったり、交通の不便さがあって外出の機会が減ったりすることで健康を害することのないような支援を増やして欲しい。いつまでもなるべく健康に過ごせるようなサービスを提供して欲しい。

○田舎から若者がいなくなってきました 賑やかな子供の声が聞こえ老人も楽しく住める様にして欲しい。老人ホームも入りやすい(低額の料金)施設を!!

○65歳以上の高齢者に対する物価高騰対策支援金の配布をお願いします。所得制限無しで検討ください。

○しょうがいをもつ方が働いているお店にぜひいかれて、飲食されたり、お買い物されたりして、感じとられ、支援の輪が広がってほしいと思います。よろしくお願い致します!!

3. 活力ある産業

○耕作放棄地が目立ってきた。先祖から受けつげられてきた農地を市が補助をして出口を作り農業をうけつぎ続けられる環境作りが大切だと思う。例えば休耕田畑が多い地域など、もっと使ってもらったらどうだろうか。子や孫の為と農薬減らしてもらえたら健康になり医療費(救急車も)も下がると思う。食は健康の源。妊婦に無農薬の松阪の米を毎月送るのも良いかと、家族農園やりたい方には地域の畑を安く借りれるしくみあるとありがたい。

○環境問題野焼による公害(ダイオキシン)非常に空気がくさい。今初まった事ではない。夜になると野焼をするのか窓も開けられない。市の対策が急務、市も回収し処分するとか!皆さん判っているががまんしている。

○用水路の水を止めたりすると臭いがきついのでずっと流してほしいです。まだ下水の処理をされていない所もあるため自治会に前話をしたら、水田の方が使用しない時は流れないと言われましたが、水が止まるのは、つらいです。お願いですから、用水路の水をずっと流したままにしてほしいです。

○ベルタウン、よいほモールの活用方法を考えてほしい。松阪駅周りがさみしい

○まちなかをもっと活性化させて欲しい。取り組みが目で見える形になると魅力が伝わるのでは。まちなかの商店街が大幅に変化することを期待します。歩道が屋根続きになっているのはいいことだがシャッター街化してしまっている。オフィスビルの建設でまちなかへ人を流せないだろうか。

○松阪駅西通り→新町通りの一本道は、中心通りなのに閑散として寂しい気がします。松阪らしい趣きのある町づくりが出来たらいいのにと、朝夕通るたびに思います。

○松阪みんなの商品券をもっと購入できるようにしてほしい。家族人数分買えるなど。

○松阪の商品券、前みたいに 10,000 円で 5,000 円のをしてほしいですお得感もっとあればうれしいです

○個々の事業、商店、若者への経済的支援

○少々活気が無いように感じます。「松阪牛」というブランド力を活かさないかと思います。商店街とか作れないでしょうか。やはり個人商店の力が皆無!駅西は飲み屋さんばかりになってしまい 主婦や子供たちには利用しにくい。市外及び県外にもっと「松阪」をアピールして下さい。

○薬局ばかり作るのではなく、もっと魅力的なお店ができると嬉しい。駅周辺をもっと魅力的なものにして欲しい。居酒屋しかない。若い人がもっと楽しめるような場所が増えると良い。他県からお客様がみえても 松阪は案内するところがない。大型店も、松阪を通り越して伊勢、津に集まる。もっと魅力的な町にして欲しい。

○企業誘致を進めて。

○駅西ベルタウンに“映えスポット”があると活気づきそう。

○伊勢の「おかげ横丁」のような観光客が多く訪れる工夫をしていただきたい。

○松阪の花火大会を『ふっかつ』してください

○観光全国1位の伊勢が近くにあるのに、そこへ向う人を松阪に呼べないのは残念。色々試行錯誤するべき。松阪に行きたいと思わせる場所を作るべき。雇用も増えるから。

○松阪市の特産品を新しく見つけて、市を盛り上げていけると良いなと感じました。

○病院やクリニック等でなく、学校、福祉施設で働く看護師や職員の賃金アップをしてほしい。

○若者の流出を防ぐための進学先や就職先の確保。

○公務員と一般企業との給料、休日、福利厚生に差がありすぎ、公務員にあわせた労働条件にあわせていく様、法整備すべき。公務員ばかりが優遇され、一般企業は全くおいついておらず過酷な労働を課せられている。公務員の労働条件を見て、良しとせず、過酷な労働をしている人に目をむけるべきだ。(公務員にあわせることが大事)

○多くの若者が定住してもらえる市政、大手企業誘致、子育て支援を期待します。高齢者問題なども重要ですが、やはり若い人が地元で働いてもらって、原動力にならないと解決策にはならないと思います。このようなアンケートを多くの若者に発信してみてください。

○介護施設を経営しております。人材不足が深刻化しております。なんとか対策をお願いしたいです

○外国人が安い労働力で働いたりさせるから日本人の働く場所がない！外国人を優遇しすぎ！

○保育士さんの給料をもっと上げてあげてほしい。責任と労働力に対し、給料や休み体制がまったく釣り合っていないと思う。

4. 人も地域も頑張る力

○自治会の運営はもう時代にそぐわない。会長や役員はなり手がおらず、負担も大きすぎる。現代社会は年齢に関係なく引退させてくれない上に、富裕層以外の普通の世帯の生活が苦しく、ボランティアどころではない。行政が主導または適正な報酬がないともはや無理である。時代は変わった。

○中心市街地だけではなく中山間地域にもっと目を向けて置き去りにされない様に。

○山間部でも暮らしやすいまちづくりをお願いしたいです。

○山間部などにも、もう少し力を入れてもらえると嬉しいです。

○クラギホールなどでのコンサート、演劇等文化的なものの実施が他町村に比べて少ないと思う。いいものを見ようとすると名古屋まで出かけないといけな。年間を通しての実施と市民には料金を安くするなどして欲しい。

○数年前から始まった「松阪マラソン」の時期を変更していただきたいです。年の瀬の忙しい時期に半日以上も道路規制されるとすごく困る。困っている人が多いのもわかっていただきたい。マラソン自体はとても良い企画だと思いますが…。

○市民が気軽に利用できる運動ができるような大きなしせつがあればと思う。ウォーキングや夜間でも、

安心して利用できるような場。

○質問内容で男女という言葉を使うこと自体が捉え方によって差別に繋がるのではないか。質問によっては異性という表記では駄目なのか。

○性の多様性も理解はあるつもりだが自認の性ではなく身体的な性を分けるのは大切。トイレや着替え、銭湯等。それは差別ではなく区別である為、全ての人が安心して暮らせる地域にしてほしい。

○質問に対する用意された選択肢が、ずれていると感じた。政治に関心が薄いと言われている若い世代に何を求めて送ってきたのかがわからない。特に男女共同参画プランについて、何を聞いているのか、質問、解答ともに理解できない。そもそも松阪市の市政について 20 年生活してきて全く情報が流れてこないのにどのようにして市政についての回答をするのか、今回のような調査なら、原稿用紙を送っていただいたほうがよかったように感じた。

○松阪市は保守的なイメージがある。男性優位で女性が生活しづらい。政策決定の場に女性が少ないこと、女性自身が活躍する場が少ないことも問題。女性が暮らしやすい地域は男性も暮らしやすくワークライフバランスも充実するので積極的に女性の意見を取り入れるべきだと思う。古い考えの政治家や行政職員はいりません。

5. 安全・安心な生活

○交通マナーを指導して欲しい。右折車が、交差点の中央を通らず、斜目に右折してくる。中央より右折する車が少ない。自車にぶつかりそうになる。駐車場で、前進で止める車が多い。こちらはバックで止めるか、発車する時、両側前方が確認しにくい。全車、バックで、駐車するように法律で決めて欲しい。

○松阪市内で運転するのが怖いです。交通マナーのある人がいない。他の市では考えられないマナーが悪い人が多いです。

○松阪市は交通の便があまりよくないし、高校も少ない。飯高・飯南の山間部など田舎に住む高校生がバスで通学し、市街の高校へ通うために自転車を置く場所がない。以前は北村テントに貸し駐輪場があったが今はなくなり、サンパークに停めているようだが、市の方で駐輪場を作ってもらえると助かるのではないかと思います。

○もっと、松阪市の治安を良くして下さい。

○消防出初式もまちなかでやれば消防団の士気も上がるかも。消防団の処遇改善、負担軽減を考えて欲しい。

○災害が起きる前の備えが地域ごとに充実して欲しい。避難所等の整備を早急にしてもらいたい。避難が苦痛となるなら、家にいると思ってしまう、特に高齢なので各家庭でペットも多くいる中で対応できる所も少なく遠方、色々と考えて頂きたい。

○南海トラフ地震などへの避難所、施設の確保の不足があると思います

○日本中が今災害に見舞われています。能登地方の現状をテレビで見るとつらいです。松阪も南海トラフ地震がくると言われていますし、台風も直撃しました(8 月に)とても不安です災害対策に力を入れて欲しいと思います。

○ペット同伴避難所をもっと増やして下さい。

○台風、水害の時は、防災無線は聞こえません。携帯電話で、どんどん情報を知らせて下さい。

○川の中に生えている木々が生い茂っており…災害時に不安でした。早く木々を切って頂きたいです。各地域の公園を活用して防災用品。(コンロになるベンチ)や水道確保してもらいたいです。もっともっ

と防災に力を入れて下さい。コンテナホテルだったり、もっとたくさん作って下さい。

○災害対策地震台風などで孤立した場合の山方面地区の支援対策。松阪市の地震津波等の支援対策。仮設住宅をどこに設置するか。避難所での生活(テントや食事等備蓄)等の置き場をどうするか?北陸での災害の報道受けての市の方針。

○最近の異常気候をみていて、松阪での災害対策について不安を感じます。川は草だらけ、田は荒れはて、道路は草だらけ…。この町をみていて人の心がきれいでいられるのかと不安になり、先日以上の災害がおきた時には行政にはどのくらい助けて頂けるのか不安になります。人作りも大切ですが災害に強い町作りをお願いしたいと思います。

○防災無線の放送は、聞こえませんが、特に雨が降っていたり、窓を閉めていたりするとまったく聞こえません。災害時困ります。

○伊勢市楠部町にあるような、体験型防災センターを松阪市にも創ってほしいです。火災で煙が充満した部屋を避難したり、浸水した場所での車のドアの開けにくさ、消火器を使つての初期消火等々様々な体験が出来ます。大人も子供も体験出来、防災意識を高めるのに最適な場所になると思います。

○日頃より市政にご尽力ありがとうございます。このようなアンケート結果から松阪市に必要な新たな政策を検討していただくこともあるかと思いますが、現在取り組んでいただいている政策の見直しや建物などの設備が安全かも。再度確認していただけるとありがたいです。先日の大型台風で、多くの個所で浸水被害がありました。子どもの保育園でも前の道と駐車場の浸水で保育園に入ることが困難でした。その様子を見て、保育園の建物も大丈夫なのかな?と不安になりました。松阪市は幸い大きな被害はないようですが、今後の自然災害に備えた建物の安全や未来を担う子どもを含めた全市民の安全に繋がると思います。

○先日、松阪市の職員による「自分たちで行う防災」の講義は非常に有効であった。職員の方と直接触れ合って話を聞く事で、防災の中のまず自助が大切であると理解を深められた。

○災害時の対応について。街中の対応は出来ているのでは無いかと感じますが、山間部の方はどうでしょうか。山道は台風が過ぎてからもあらゆる所から水が溢れ、倒木や落石がある中で、地元で最初はどうにかするのように見受けられ、不安を感じる。

○先月台風10号による線状降水帯で阪内川に対する警報の発令がありましたが、今後大雨による河川の氾濫の危険を防ぐ為に堆積している土砂の撤去をお願いします。

○普段から、雨で道路が冠水ぎみな所、先日のような大雨時の冠水、川や用水路(大小)の水害がいつも出ている所やその付近、上下流の対策も今後のことを考えて新たにしっかり行ってほしいです。

○道路工事が近年、良く見かけます。河川にも目を向けて下さい。私の住む近くには、阪内川が流れています。ここは何十年前に台風により、土のうを積む事がありました。それからは、川幅も広くしてもらい、良かったのですが、ここ何年かその川に雑草等で、川幅も狭くなり、土砂利等が溜まり、先日の台風時には水位が、今迄、見た事ないくらいに上っており心配しました。どうか、川の雑草、砂利等を取り除いて欲しいと強く願います。

○今から、10年前より町の環境整備ができていない、草は生え伸び放題ですのできちんと整備をして下さい。何年か前のように大雨が降ったとき川の氾濫になるのは目に見えてます

○肥留町の用水路が溢れる問題、早くなんとかしてほしい。今回の台風で3回目/25年で、こんな行政の問題、災害たいさくが出来てない。今回、消防も来たけど通行止めにしたぐらいで何も対策しない。床下浸水があったら市のせいです。

6. 快適な生活

○山を切りはらって、太陽パネルを作るのやめてほしい。松阪のきれいな環境が、ここ最近パネルばかりでひどい!10年先を見えますか?ゴミですよ!!!

○ZEHって言葉、知っている人少ないんじゃない。なんか作る時のエネルギーやCO2で相殺されている気がする。

○道路へのポイ捨てゴミを徹底した取締りを。

○松阪には、野鳥(ウグイス、カワセミ等)が身近に居ます。開発する時、コンクリートではなく、自然を生かして、人間以外の生き物が豊かに住める事を考慮して欲しいです。今は、あまりに人間中心すぎると思います。

○市道・国道等のセンターライン・白線を直してほしい。うすくなっている場所。

○近隣に外国人が住むのは良いのですが、ゴミ捨てや、騒音などマナーが良くない方が目立ってきました。複数言語で分別やマナーを啓発する事はできないでしょうか?あまりに酷いと分断に繋がりそうな予感します。

○昔からあります野良猫問題、また最近は高齢者のペット問題(飼育が無理になり、遺棄、飼育放棄など)、など増えているようです。動物愛護に遅れている日本ですが、危機感を持ち、すでにいろいろなことを試し取り組んでいる市町村もあるようです。環境や福祉などとても人間社会に関係する大きな問題だと思います。今なんとかしないと大変なことになるのではと思うことがあります。

○カラスのフンに困っている。しかたがないと諦めているがゴミ集積所を公費(一部負担でもよい)で作って欲しい(幸通りのように!)

○津市や四日市市の様に可燃ゴミの分別範囲を広げてほしい。(焼却炉の新設してほしい。)

○リサイクルやゴミについて関心があります。ジモティーのような不要品を譲り合えて送料もかからないコミュニティが増やしてほしいです。(フリマなど)

○現在、1つ困っていることがあります。リチウムイオン電池(モバイルバッテリーやゲーム機等のもの)の膨張してしまったものの処分方法がわからず、苦慮しています。膨張していないものは回収等されているのですが、膨張してしまったものはどうしたらよいのでしょうか。有償、月に数回収する等でも構わないので市で対応していただく、又は適切な方法(どうしたらよいか、対応可能な業者がいるようでしたらその業者のリスト等)を周知いただく等、対応をお願いできないでしょうか。その後、清掃事業課の方に、膨張してしまったリチウムイオン電池は松阪市リサイクルセンターに直接持ち込むよう教えていただきました。ありがとうございました!ただ、現在は車を運転できる家族がおりますので持ち込むことができますが、将来的に車を運転できる家族がいなくなった場合、どうしたらよいのかとも思っています。(発熱・発火等の危険性が膨張してしまったリチウムイオン電池にある以上、公共交通機関を利用して持ち込むわけにもいかず…。)このような場合について、膨張してしまったリチウムイオン電池の戸別回収・拠点回収についてもご検討いただけると幸いです(私自身は、このような場合の戸別回収等については有償でも構わないと考えています)。

○伊勢市みたいな、資源ごみステーションなど、日時を気にせずほれる場所がほしい

○ゴミの置き場所の間隔を狭くわかりやすくしてほしい。

○まだまだ使える不用品のゴミ。再利用できませんか? 不要だから、クリーンセンターへ持ち込む→不燃物か可燃物だけの選択ではなく 欲しい方にあげたり、売って市の財源になるような仕組みがほし

いです。

○みなさまいつもありがとうございます 私は今年 84 才です。足のこともあり家の近くにもコミュニティバスを出来ればお願いします。ありがとう。

○バス停をもっと増やして欲しい。子供を松阪駅に雨の日に送迎出来ない時があるのでバスがあれば子供の行動もしやすくなると思う。

○交通弱者を守るための交通機関の発展。

○コミュニティバスの走る所が国道の所は走ってないので、家からはなれているのでふべんです 市民病院、済生会の事が先ばしりになっているようで、市民の方が、ふあんなことにかんがえている

○私は身体障害者です。目も右目しか見ません。鈴の音ドライバー(バスの運転手)さんにひとこと言いたいです。身体障害者や老人、ヘルプカードを持っている人への対応がひどいです。なんとかありませんか。私は何度も相談(市役所)に行っても改善されません。いい運転手はたくさん見ますが、悪い人は同じ人です。とても悲しくなります。よろしくお願いします。

○下村町のケアハウス付近まで、コミニティーバスが来て欲しい。

○コミニティバス(市内廻り)たいていガラガラ。高齢者、児童・生徒を無料にして、とにかく利用者をふやす。協賛を集めるより、利用者を増やす、工夫が大切。マラソンも良いですが、バス利用をふやすのが一番だと思います。

○鈴の音バス(幸中央線)を時々見ますが、ほとんど乗っている人を見かけません。「税金がもったいない」と思っています。(細かいことですが、いつも思うことなのでかきました)

○自分の住んでいる地域は行政サービスがとどきにくい(交通手段、図書館が遠く利用しづらい)。将来車の移動手段がなくなったとき、生活していけるのが不安を感じる。

○公共交通機関が不便になった。コミニティ交通(病院等)=増やす=雇用・道路が狭い、暗い、166 号の交差点は慢性的な渋滞。

○免許返納すれば買物・病院への交通手段がありません、バス等走ってなく、最大の悩みです。松阪市も高齢化が高いので移動手段の問題をもっと考えてほしいです。

○高れい者の運転が心配、免許返納をしても、交通手段が充実していれば安心。

○公共交通機関(バス)の走行地区が限られているので、これから高齢者が増加(団塊の世代を含む)することを踏まえ、主要道路だけでも、バスを走行させてほしい。(バスが、走っていないのに、高齢者に対し、「運転免許証を返納せよ」とは、おかしい理論である。)

○コミュニティバスについて地域協賛金の一戸につき 800 円の一戸とは一世帯・一家族一軒の事ですか?

○子育ても大事だけど(支援)高齢者(免許返納)も考えていますが、交通手段が不便(一人暮らしなので)・タクシー無料券を考案していただきたいです(ぜひともお願いしたい)

○アンケートに答える機会をいただき、ありがとうございます。交通の便があまりよくないところに住んでおり、車の免許がないので、コミュニティバスにはとても助かっています。空気がきれいで住みやすいので、松阪市にはずっと住みたいと思っています。

○朝のバスのダイヤの見直し。(早朝のダイヤが減った。)

○高齢者が生活できるように、交通の便が悪い地域にコミュニティバスを配置して頂きたい。

○高齢になった時、車に乗らなくなった時に、交通の不便を感じます。住んでいるところは、バスが通っておらず、車がないと生活できません。バスを増やして欲しいです。こどもも大きくなったら駅まで送迎しないといけないなど、仕事をしながらだと大変です。

○飯南に帰る交通機関が不便

○松阪ファミリーサポートについて。習い事の送迎の際に利用しにくい。学校迎えではなく、自宅付近迎えの方が利用しやすいと思う。コミュニティバスに関して。駅までの利用をもっと使いやすくしてほしい。

○旧松阪市外で安心して遊べる公園。

○散歩などしてると、途中休めるイスが欲しい。(高齢者のため)

○駅西ベルタウンの老朽化を感じる、駐車場の整備。

○松阪駅(松阪の顔)がパツとしない。トンネルをぬけたら雪国だった、みたいな松阪駅にしてほしい。並木を作るとか。前に駅改札横にあったうどん屋(立ちぐい)さんをもう一度やってほしい。駅横内で時間つぶせる場所もほしい。

”○大きい公園はあるが、中小規模の公園が少ない。子供たちが安心してあそべる場所が限られている。中部台公園の遊具の老朽化が著しい。安全性の高い遊具に変更してほしい。”

○地元の公園でボール遊び禁止の自治会も、小学生達の体を健全に出来ず、この時代の子供達の先が心配です(遊べる公園をいくつか作ってほしいです。)お願いします。日本の大事な子供達です。

○JR 松阪駅側の派出所近辺(駐車場周辺)の歩道が暗い為、歩行者確認しづらい。駅までの送迎車が多数駐車している為、危険ですので外灯の設置をお願いします。そうする事により駅前の暗さが改善され、より安全で快適な環境が実現されと考えます。

○前の公園の木が大きくなり電線にかかりそうで、毎日落ちる葉がとっても大変。

○他市の公園と比較しても松阪の公園で犬の散歩禁止がすごく多いです。理由をおしえてください。男女平等と同じく、現在では犬は家族かと思います。意識低いです。がっかりします。

○ベルタウンのゴーストタウン脱出化、駅西商店街の活性化、国道 42 号等建設途中の道路等の早期開通など。

○駅周辺をリニューアルして欲しい。(シャッター多すぎ)

○昔の駅西は賑やかでした 今は閑散としており、駅西に行くと寂しく思います ベルタウンも空き家が多くて、昔の活気ある駅西にならないものかと思っています。

○犬が遊べる公園がたくさん欲しい

○公園のブランコを低年齢が乗れるのに変えてください。

○市営住宅に住んでいて町内費を銀行引き落としにしてほしい。

○松阪駅西の再開発が進展していないように思う。進展に向けて取り組み、情報発信を行って欲しい。

○松阪駅西商店街は街の顔 在り方を考え、積極的な街づくりを！

○松阪駅西の通りが閑古鳥状況のため、駅から降り立ったら活気の有る街にして欲しい

○松阪市の幸小学校の周辺(それ以外の地域)の歩道にカラスの糞が大量に落ちており、衛生面も不安で、松阪市にとっても不利だと思います。どうにか対応してもらえませんか。

松阪インターから中央病院にかけての歩道で草が背丈を超えるほど茂っていて、そこを通る中高生がいつも困っています。少しずつ刈られてはいます。これからもより一層その草を一掃してください。”

○空き家対策をして頂きたい。そして、土地を増やして欲しい。

○公園の設備充実して欲しい。EV をすでに購入している場合でも、V2H や V2L 購入、導入補助を充実して欲しい。

○松阪駅を開発した方がいい。

○道路整備(中央白線や停止線)多々消えている所があるので危険。直ちに調べてかいてほしい。道路、歩道の草刈りを年に1、2回ではなく、伸びたら早急に刈るようにしてほしい。事故につながる!!

○生活環境の中で市道等脇の雑草がのび放題であり見通しが悪く不安全だと思う。

○アクセス道路のセブンイレブン周辺の道路排水が非常に悪い。観光などで松阪インターでおりた車がびっくりしているのをよく見ます。何とかしてほしいです。

○道路の整備をお願いします

○交通事故が発生しやすい場所をリストアップして、その場所を重点的に白線標識を塗り替えて頂きたい。(かなり、消えかかっている市道が多い)県道については、積極的に働きかけて頂きたい。

○道路の整備が悪いもあります。コンクリートのドブ板?本当に必要ですか?陥没したりしていて危ないです。車が通る際の音もうるさい。不満しかありません。

○通学路の歩行者スペースが狭く、自動車と接触しないかとヒヤヒヤする場所がいくつかある。学校や保護者から聞きとりを行い安全に登下校できるよう道路等を整備してほしい。

○通学路整備草刈

○道路の白線や止まれなど消えてきて見にくいところがあったり、雑草が刈られていなく見えにくいところがある。交通マナーが悪く、子供だけで外出させるのが怖い。

○今後年寄り人口が増して来ますが、免許返納後、移動手段として、バス、徒歩になり、特に健康も兼ねて歩いて買物もするので、歩道の整備、安全な歩道作りをお願いします。

○早急に道路端の草の除去をして欲しい。

○道路の整備、(白線、黄色線、矢印、停止線など消えかかっており特に雨の日などほとんど見えない)歩道の整備。

○道路状況がバリアフリーになってない。

○嬉野中川地域の市道を、整備していただきたい。

○地域の道路整備ができていない。白線が完全に消えていて白線であったであろう所を大幅にはみ出して走行する車がいるので危険・道路標識が剥がれている。カーブミラーが見えづらい、雑草だらけで歩道が歩けない。とにかく雑草が凄いので頻繁に除草して頂けると助かるし、危険がなくなると思っています。雑草がある場所にゴミをポイ捨てしてある事が多いです。除草の人員を雇用してチームをつくれば、常に道路を綺麗に保てるし景観も良くなるのではないのでしょうか。景観が良くなれば、ポイ捨てをする人も減少すると思います。

○道路の除草、街路樹の手入れをもう少し頻繁に行って欲しいです。綺麗に保たれた街の方が、ゴミに対する意識も上がって、より綺麗な街になると思います。それはまた治安の良さにも繋がるのでは。

○道路について。道路側溝に蓋がかかっておらず、更に電柱が飛び出している事で、幅員はもちろんの事だが、狭くなります。車の前方の危険センサーで、反応し急ブレーキがかかって危険です。場所は宝塚古墳公園から北に下がっていく道です。どーにか改善して頂きたい。住宅街の改良より先に大通りを改善するべきです。松阪市の要望制度を知りません。要望がないと動いていただけないのでしょうか?何件待ちになるのでしょうか?有効幅員を広げるためにも、どーにか改善して頂きたい。

○国・県・市で管轄区分けもあるだろうが、左右に雑草が伸びっぱなしになっている荒れた道路を通るたび、地域のさびれを感じる。新しいものを作るのも大事ですが、もう少し維持に力を入れてほしい。

○公共機関、道路などの環境整備を必要性のランクに分けながら早急に整備して行ってほしい。例えば側道の雑草問題など・・・標識の色褪せや腐敗など

○電気・ガス料金の補助はあるのに水道料金の補助はないですなあ。意識調査に協力して、返信させてもらったことに感謝してください。

○水道使用量の下水道使用料金に不平等を感じる。下水道の工事がされてない所は、水道料金の単価を上げるべき子育て世代の優遇ばかりで子育てを自力でやった世代の老後は、どうなるのか?!

7. 市民のための市役所

○市関係・応募作品・写真・クイズ・名称募集等インターネットでの申込みだけでなく、ハガキ等で応募できる様にして下さい。アナログ志向です。

○国道 166 号、山間部の道等事故の多いところを年間通じて、広報等で、地図を書いて、啓発してほしい。

○地域振興局ですませられる事項を増やしてほしい、今は減る一方で不便。

○色々な情報が調べないと出てこないことが多い。出生届、婚姻届等市へ出しに行くのでその時に全て教えてほしい。せっかく色々補助しますとあるのに知らずに期限が過ぎていることがありショックだった。

○役所の職員募集年齢をせめて 45 歳までにしてほしい。専門職の募集を定期的にしてほしい。

○子供達の為に市の施設を使う事が中々出来ないのは何故なのか？ 職員の対応が酷すぎる。外部団体への対応は最低。高齢化社会だから、年寄りには減法優しい。それに対して子供や若者には冷たい。いかに若者世代を増やすか！安心して預けられる場所、遊べる公園、若い親達が気軽に使えるコミュニティが少ない。今からの子供を大事に出来ない市は衰退の一步を辿るしかないと思う。

○松阪市は美味しい食べ物がたくさんあるのに、せっかく食べにきてもらっても他に行くところもないので、食べ歩きができたり、駅周辺など町おこしに力を入れてもらいたいです。鈴おどりも、もっと PR してもよいと思います。活気のある町にしてほしいので、若い世代の意見もどんどん聞いてほしいです。SNS などで募集してもよいかと思います

○<回覧板の頻度を減らして欲しいです。または町内グループ LINE で>仕事から帰って、読んで日付と印→次へ回すのが負担。うちは隣でないので遠いです。回したと思ったら、また来る年配の方もいらっしゃるの、希望者のみ LINE やメールにして欲しいです。広報もスマホで見られるので、希望者だけで良いのでは？

○屋外に設置されている行政無線が聞えないと言う声が多数あります。FM ラジオを使った行政放送をすればよいのではないかと思います。

○広報まつさかを読んでいる若年層がいないので、ご高齢者向けなのかとは思いますが、毎月の発刊をやめるとか、デジタル化に移行していくとか、何か改善されればと思います。町内会の負担、ごみの増加につながっていると感じています。

○松阪市の HP を活用しています。コロナワクチンの接種等は良かった。ハローワークの広報も利用しています。市役所は利用しやすくて便利です。

○市が取組んでいることをホームページや地域紙だけでは、伝わらない、スマホに挙げるようにしたらもっとみんなに伝わる。

○就職を機に松阪へ移住しました。住みやすく、働きやすい所ですが、もっと魅力をいろんな人に知ってもらえるといいと思います。SNS やイベントなども充実してきていると感じています。これからがんばってください。

○フランクに書かせてもらおうと、私は松阪市が結構気に入っています。田舎ですがとても住みやすく、便利でもあります。 ですが市外からの観光客や移住者は少なく思います。松阪には特色が結構あると思いますがアピールが足りないと思います。現在では多様な情報のツールがあるのでもっと活用してもらいたいです。 また男女平等やジェンダーレスなどは、学ぶより感じる事が先に必要だと思います。問題を抱えている方がどう感じているのか、どうしてもらいたいのかを万人が周知し理解してからお互いに意見のすり合わせをしていきたいです。

○広報以外にやってる事を見れる媒体(SNS やホームページなど)があるなら、その QR コードでもなんでもを駅や公共施設、商業施設にポスターなどで貼って置くとか、飲食店で松阪の公式 LINE を登録すると、50 円割引クーポンつくとか協力してくれた飲食店に補助金行くとか、色々やってまず松阪市の市政に興味持ってもらおうとか、目を向けて貰う施策をした方がいいと思う。

○ 松阪市行政チャンネルを時々見るのだが、再生回数が回っておらず悲しい。

○税金について、年をとると、パソコン等の機械物は、あつかいにくく、聞いても、分からない事ばかりです。

○税金が高い

○税金が高い街で松阪は住みづらい街だと、みんな口を揃えて言います。みんなが幸せに暮らすなら、多気のように税金が安いほうが良いと思います。松阪マラソンに賞金を出すなら、市民の税金を安くする方法も考えていただきたいものです。

○市民税が高過ぎて生活が苦しいです

アンケートについて

○質問の内容が悪い。

○質問数が多いと思いましたが、重複内容(質問)もあるように思いました。またある程度、回答誘導かと…。

○アンケート内容によっては年令的に解答しづらいこともありました。

○市民意識調査でより良い松阪市が盛り上がり発展する事を願います

○松阪市民でありながら、知らない事が多すぎると意識調査を通じて、感じました。ありがとうございました。

○えんぴつかボールペンかどちらが良いのかわからなかったの、えんぴつで書きました。案内してほしかったです。

○まったく意味の無いアンケート。良質の用紙を使っ的の無いアンケート このアンケートにより何がつかめるのだろうか？

○まだ成長過程の松阪市だと思っています。 この調査内容をしっかりと市政に反映してほしいですが、どれだけの回答があったかも公表してほしいです。 このようなアンケートは初めての実施だとは思いますがしっかりと結果報告が必要です。そしてどのように次の課題にして行くか、どう改善するかだと思います。ただデータ取るだけなら言うことはやめていただきたい。 必ず全市民に対して報告と内容についてコメントと改善策及び対策を示して次の対策と計画として欲しいです。

○質問数が多すぎます。 忙しいのに、時間をとられ、これが何の役にたつのか疑問です。 みなさんからの回答は本当にきちんと回答した答えだと思われませんか？ めんどくさくて、普通ばかりを選択する方がいたらこのアンケートは無意味です。

○このような意見を伝えさせていただく場を設けていただきありがとうございます。この調査を行うということは、3000 人の調査結果を周知して頂けるんですね？調査結果がどーであったのと、このような意見に対しての回答も 3000 人を対象に回答して頂きたい。

○このようなアンケートをして頂いて 良かったです

○問 6 で市政に関する質問がありましたが、全体的に現状どのような取り組みが行われているかをまず教えて欲しいです。例えば防災対策が今どの程度不足しているかによって、重要度が変わってくると思います。今このように力を入れているが、もっと強化するべき。なのか、現状何も対策できていないから重点的に対策するべきなのか。考えるための情報が欲しいと思いました。アンケートにある項目について、日頃から周知してもらえると、松阪のことを考える機会ができると思います。

窓口対応について

○令和 5 年から令和 6 年、現在に至る間、父親が亡くなった事もあり、何度か、市役所へ行く機会がありましたが、とっても親切で、ていねいな対応、又、窓口の方も笑顔で対応して下さり、とっても快適でした。これからも、どうか、継続して頂けたら、何よりも市政の誇り、宝と成るのではと思います。ありがとうございました。

○職員があいさつをまったくしてない。こちらが頭下げているのにみんな無視している、そんなに職員ってえらいんですか？声ださなくても頭ぐらい下げてもいいのではないのでしょうか。

○勤務中の雑談がカウンター越しから聞こえてくる。トイレでも情報を話している、レベルが低い。たばこでさぼっている人が多い。

○市役所の職員の方はほとんど方が良い対応で安心出来ますが びっくりするような馬鹿にされたような対応をされた職員の方がおられ残念でした。（電話での対応）お忙しいとは思いますが改善して欲しいです。

○以前に比べて、市役所は親切になりました。以前は怖い役所でした、こんなに変わるのですね。 これからも、市民の悩み？に的確なアドバイスをお願いします。

市政全般について

○自宅が市街地にあり外灯も少なく害獣の被害も多い。市からの無線も隣の字から聞こえてくるのをきき耳をたてて聞くなど不安な要素が多い。

○広く市民に目を配り温かく血の通った施策を求めます。よろしくお願いします。

○松阪のためにいろいろご尽力いただきありがとうございます。様々な分野で工夫を凝らした取組をしていただいており、松阪市民はとってもうれしいです。大好きな町ですが、今後、我が子が別の町で暮らすなら、私たちも松阪に残るかどうかわかりません。我が子が、住む町に松阪を選んでくれるような魅力的な町であり続けてほしいと願っています。

○変なカタカナ言葉を使わない事！例、シビックプライド 本来日本語で表現できるものをカタカナで書かない。わざとわからない様にしたいのか？

○財政難を節約ではなく、企業誘致などで法人税アップなど増収増施策で解決する市政運営を望む。出張所廃止、救急車の選定療養費徴収など後ろ向きの政策ではなく、市民が希望の持てる積極政策を進めてほしい。

○昔に比べたら保育医療、学校でも充実し良くなって来ていると思います。中には自分さえ良ければと

か人の事を考えない勝手な人が増えて来ていると思います(救急車の問題でも)行政が市民の要求に努力して下さるのは有難いが家族相互の助けあいや近隣社会での助けあいが必要になる。行政は個人の市民の言う事にふりまわされていてはいけない。出来る事はここまでとか、何でもしてあげるのは問題。最近個人の無茶ぶりが目立つ。出来る事は助けてあげるのが大切であり、生命にかかわる事があるが、早く見てもらえるようにとか指切った位で救急車要請はおかしいし駄目な事は出来ない姿勢が大切。今回は天晴れ市長バンザイ。

○松阪市に来て 6 年在住していますが、地域によって交通面、住環境等に差があり目立ちます。誰も取り残さない松阪市だと自信を持って言える様な、市になって頂ければ全てではなくとも、1 個 2 個が改善されれば、そこから歯車が良い方向に動いていく事を切に願います。

○沢山の問に対して、充実した検討と対処出来るのでしょうか。ただの仕事作りで終わらない様にして下さい。

○松阪市で図書館の建て替えをしようという話があったとき、このまま進んで実現できれば最高にすばらしい町になると思いましたが、たち消えになって、がっかりしました。駅西のさみしさ、活気のなさには、何が原因なのか分かりませんが人とのコミュニティを作る場がない為だと思います。それを図書館が担えたかもしれないのに。

○※少子化対策、子育て世帯の招致など推進し、子供の声が聞ける地域作りを推進してほしい。市役所の窓口対応の改善、市役所職員の出張(出前)講座の推進!!を希望します。

○フランクに市政に参加できる機会が多くあれば良いと思う、意見・要望をよく知ってもらえる。

○若者世代が増加するような抜本的な政策を考えてほしい。

○人にやさしい町づくりをして下さい。近所でもあいさつしない人ばかりです。広報は松阪市民に全て届けてほしいです。

○電磁波対策やワクチンによる健康を害する認識の促進、自然環境を保全、利益を優先させない、過去の不必要なつながりをやめる。地球のため、皆のためになる政策を…国の圧力に負けない

○誰もが住みやすいと思える松阪市であってほしいです。本当に困っている人が、自分で助けを求められないような人が抜け落ちない様に…。そのような方は色々な申請さえできないこともあるかもしれません。生活保護や、他の色々な制度があることも、その方たちに寄り添い、伝え、一緒にこなし、生きやすい松阪市がつくっていただけることを望みます。

○`人にやさしいまち松阪、`ということばに期待しています。

○年齢や性別に関係なく、個人の能力を活かすことができる環境であればうれしいです。教育は大切ですが、学校教育だけに頼るのではなく、公民でできることを取り組んで頂けたらと思います。

○松阪市よりも小さな自治体の方が、より身近に行政の動きを感じます。子どもや福祉に対する支援はもちろんですが、それを支えている働く世代にも支援が見える形でお願いしたいです。子どもがいない、子育てが終わった…などそれぞれ状況は異なります。今後の松阪市の描く未来に対して、行政としてどう動いてくれるのか…期待しています。「松阪ってええとこやに」と今の子ども達が胸をはって言う…そんなまち作りができれば良いですね。松阪市へ転入して 4 年。コロナ禍で何 1 つ良い思い出はありません。(転出した町ではコロナ支援金が 1 人数万円配付されたり、コロナになった時は大量の生活物資がもらえたそうです。)運がなかった…としか言えませんが。

○松阪市に住んでいて良かったと思うことが少ない。うらやましがられる様な市になりたい。他の市では助成があるのに、松阪市ではない事があったりする。

○救急車有料やコミュニティバスなどは本来、行政としてもっとはやく取り組んでこなかったことが原因。本来は市民からお金を取らずに運営できるように市の収入を増やすため、企業誘致などを積極的に行って来なかったのが問題。お金がないから市民から徴収するのはナンセンス。

○意見というか 要望がある。市政で出来るかはわからないけど 世の中 様々な物価が上がってるなか、給料は上がらない。 ならば市から何かしらの援助みたいなのがあれば助かる。 少し前では金券や多気町では期間限定で水道代が無料だとかあった。 今なら電気代とかなどの援助とか何かしらあれば経済的に助かる。

○少子化対策は急務、明石市や流山市に出来て松阪市に出来ないのは、ただただ本気で無いから。出来ない理由を並べるより一つでもやれば松阪は先進市になれるはず。聖域なき規制の見直しもやれば、地域間競争に勝利し松阪は雄市として持続可能。まずは成功例に学び、松阪に人を呼び経済活性化して頂きたい。まだまだ、幾らでもやれる事、潜在力は眠っています。

○僅かだが人口が増えていることは、将来に対して良いことだと思うが、ドーナツ化現象が著しいので、旧市街地区（駅西など）の思い切った再開発を進めて欲しい。このままだと鉄道やバスの利用がしにくくなり、益々車社会になり、高齢者には住みにくい街になるような気がする。

○世界の風潮に流されないで欲しい。本当に正しいと判断して実行してほしい。必ずしも国の決めた事は正しいと限らない。

○観光地では無い。と答えましたが、必ずしも観光地にしなくてもいいと思います。現在私が住んでいる地域では、公共交通機関があり、衣食住も充分にあり、住みやすいと感じています。そこで、「住みやすい街」を目指すのはどうでしょうか。住みやすくするには、公共交通機関を便利にするなど様々な問題があると思いますが、私は松阪市が好きなので、これからも積極的に市政やアンケートなどに参加しようと思っています。ありがとうございました。

○さまざまな市としての計画があるのはわかるが、それに対しての市民への負担を考えていない。 それを実行していくのであれば少なからず補助金制度や支援をしっかりとすべき！市民の大半は今の物価高の中、給料もさほど上がらず何とか暮らしている！それをもっと理解してそれなりの対応を取っていくのが絶対的に必要！

○資源の有効活用

○観光行政、スポーツ推進が大切にされていることがよくわかります。全てに満遍なくは理想になりますので、松阪の特色を活かした市政作りが松阪市を大きく飛躍することになると信じています。

○松阪市の救急診療や在宅診療の充実が、子育てしていて心強いです。 青山や南伊勢のほうでは風力発電が設置されていますが、自然の生態系や近隣住民の健康被害、防災の面で不安しかないので、松阪市での計画は反対です、 住民の意見を必ずきいてください。

その他

○松阪市を見直すよい機会になりました。

○・松阪市は住みやすい街であり、ゆったりと生活が出来る。

・松阪市で子ども達も育ち、孫たちも育ち愛する好きな我が街である。

・市政もがんばってくれている。”

○市議会の質疑応答の際は資料を読み上げるだけでなく、自分の頭で、理解して、前を向いて答える様にしていれば、顔が正面に映っていて、議員に対峙して応答している様に見えますよ。

○さまざまな取り組み大変ご苦労さまです 頑張ってください。

○学生の頃、松阪駅をよく利用しており、シーズン毎や行事毎にかわる松阪駅西にある小さい中のおきものに、元気をもらっていました。いつか感謝を伝えたいと思っていたのですが、この場をかりさせていただきます。これからも、活動が続けてもらえたらうれしいです、応援しています！

○弱者に光を！！

○デジタル化推進といっておいてかえって職員の負担が増えているのやめてあげてください。

○ゴミ回収の事について私の町の事です、現役の立場では、時間や体力にかなり制約があるため、高齢者の方々と同じように手伝えることは難しい状況です。もちろんできる範囲で協力したいとは思っていますが、現実的にはどのようにバランスを取れるかを一緒に考えていただければ助かります。

○参考にならないかもしれませんが松阪市大好きですよ。

○折角えらんでいただきましたが、大切な調査に、現社会から離れつつある私にはむづかしい間が多くてお役に立てず、お許し下さい。

○市役所の業務分散、市役所周りに集中してるような？現市役所を防災センターにして別の場所に移転。

○一階ロビーの新聞、お茶は不要

○目安箱を設置してほしい。

○市政・ご苦労様です。宜しくお致します。

○容易でないことはわかっていますが ここに住む人が、一生住み続けたいと思う松阪市になれば嬉しい。

○不満はそれほど感じてません。

○こんなアンケートが初めて届いたので自分の意見を記入してみました。 松阪市の運営する公園や図書館を普段からよく利用しており お世話になっております。職員の皆様については このような複雑多様な世の中で色々ご苦労もあろうかと思いますが お世話になり よろしく願いいたします。若者の未来があってこそその世の中だと思います。よろしくお願いします。

○松阪市が発展するよう頑張ってください。

○休職している職員が多いことを知り、休職しているぐらいならもっと、新しい人員を増やすべき。休職している職員の事も考えつつ、違う風を入れた方がもっと変わるんじゃないか。また、こんなアンケートもいらないと思う。

○所得格差が大きすぎる。しっかり働いても貧困で苦しんでいる市民は大勢いる。

○松阪市は長年住んでおり、非常に住みやすい街だと思います。これからも今以上に住みやすい街として発展する事に期待します。

○市長、メディア（特に新聞）に顔出しすぎです。もう少し自粛したほうがいいと思います。

○市民の声を聞き、それを基に討論を行い、決定の際も市民にアンケートを行ってから、みんなが納得行く取り組みを行っていただきたい。勝手に話が決まっていく傾向があり、それでは良い方向に進まないと思います。

○カスハラによる防衛手段の法令改正、長期勤務年数、評価に対しての昇進の評価が無い。

○住みやすいまちづくりの実施ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

○僕は身体障がい者なんで、人生諦めてるんで。

○応援しています。未来の子供達が安心安全に暮らせるように。外国の方の人口が多くなってきます。その方々の就業先の監査等、不当に働かされていないか、犯罪に手を染めないように日頃からの

サポートをしていただければと思います。

○市民からの意見、要望に対して速やかに実施して欲しいと思います。またホームページなどで市民から寄せられた意見や要望に対して、どのような回答をされたのか載せて欲しいです。役所に電話をして要望を伝えたことがあります、一年以上経過しても全く進展がありません。このような場合は再度電話して要望を伝えた方がいいのでしょうか？こちらから再度連絡をしない限りは放置していいというようなお役所対応はやめて欲しいです。市民からの要望や意見に対し早急に対応していただけるようお願いします。

○観光客が少なく、洋服を買い物するところも少なく、まだまだ男性優位な松阪。 がんばれ！！

○子育て、介護しながら働きやすい企業、環境作りをしてほしい。 仕事の募集で家庭都合 OK と記載されてても、記載されているだけ、採用されない。

○できるだけ多くの人が幸せと感じられる未来を作ること。

IV 調査票

松阪市市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、このアンケートは本市のまちづくりの指針となる「松阪市総合計画」の進捗や効果をはかり、市民の皆さまが市の政策や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために実施させていただきます。

アンケートの結果は、市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

令和 6 年9月

松阪市長 竹 上 真 人

- 【対 象】 松阪市にお住まいの 15 歳以上の市民の中から無作為に選んだ 3,000 人
※必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。
※介護が必要な状態、病院に入院中等でご本人が回答できない場合は、お答えいただかなくてかまいません。なお、その場合でもお礼状が届きますのでご了承ください。

【回答方法】

① 郵送

回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。切手は不要です。

または

②インターネット

パソコンやスマートフォンなどから以下のサイトにアクセスし、回答してください。

【URL】
<https://questant.jp/q/shiminishikichosa>



- 【期 限】 令和 6 年 10 月 4 日(金)までにご回答ください。
(氏名、住所をご記入いただく必要はありません)

【お問合せ】

調査実施主体:松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町 1340 番地 1

TEL : 0598-53-4319 FAX : 0598-22-1377



*本アンケートはUD(ユニバーサル・デザイン)フォントを使用しています。

問1 あなたご自身についておききします。

性 别

(3)はお住まいの町名をお答えください。

[illegible]

(1) 健康だと思いますか。(○は1つだけ)

1. 健康だと思う
2. どちらかというと健康だと思う
3. どちらかというと健康だと思わない
4. 健康だと思わない
5. わからない

(2) 現在の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 満足している | 4. 満足していない |
| 2. どちらかというと満足している | 5. わからない |
| 3. どちらかというと満足していない | |

(3) 余暇は充実していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 充実している | 4. 充実していない |
| 2. どちらかというと充実している | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというと充実していない | |

(4) 生きがいにしているものはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというとある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとない | |

(5) 地域への愛着はありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ある | 4. ない |
| 2. どちらかというとある | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとない | |

(6) あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと感じる | 4. 幸せでないと感じる |
| 2. どちらかというと幸せだと感じる | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというと幸せでないと感じる | |

(7) あなたは幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康であること | 12. 地域に憩いの場があること |
| 2. 食生活が良好であること | 13. 頼れる人がいること |
| 3. 住まいがあること | 14. 地域に愛着があること |
| 4. 生活に経済的な余裕があること | 15. 人から頼りにされること |
| 5. 家族との関係が良好なこと | 16. 自分が活躍する場があること |
| 6. 災害に対する備えができていること | 17. 社会に貢献していると感じること |
| 7. 治安が保たれていること | 18. 働く場所があること |
| 8. 食の安全が保たれていること | 19. 仕事にやりがいを感じる |
| 9. 生活環境が良好なこと | 20. 生きがいがあること |
| 10. 近所づきあいが良好なこと | 21. 余暇が充実していること |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 22. その他() |

問3 あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておききます。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. している | 4. していない |
| 2. どちらかというとしている | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかというとしていない | |

(2) かかりつけ医*がいますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

*かかりつけ医…風邪などの病気や体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする決まった医療機関(医師)のことです。

(3) (2)で「1. いる」と答えた方におききます。

かかりつけの医療機関を教えてください。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 地域の病院や診療所 |
| 2. 総合病院(済生会松阪総合病院、松阪市民病院、松阪中央総合病院など) |
| 3. その他() |

(4) あなたは、この1年間で運動(散歩を含む)・スポーツ(登山、ハイキング、キャンプなどの野外活動を含む)をどの程度行っていますか。いろいろなスポーツを行っている人は、トータルで(合わせて)お答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1回 | 7. 年に6~10回 |
| 2. 週に4~5回 | 5. 月に2~3回 | 8. 年に1~5回 |
| 3. 週に2~3回 | 6. 月に1回 | 9. 特にしていない |

(5) 最近(この2~3年間で)、松阪市の公共スポーツ施設(散歩やウォーキングなどで総合運動公園、中部台運動公園等の利用や小中学校の夜間開放を含む)を利用していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. よく利用する | 3. あまり利用しない(これまでに数回利用した程度) |
| 2. たまに利用する(年に数回程度) | 4. 利用したことがない |

問4 あなたのお住まいの地域づくりについておききします。

- (1) あなたのお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)*を知っていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1. 知っている | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない | |

*住民自治協議会(まちづくり協議会)…住民協議会、自治会連合会、公民館と市が住民自治のあり方を協議した結果できた、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的に地域づくりを行う組織です。

- (2) あなたはお住まいの地域の住民自治協議会(まちづくり協議会)のまちづくり活動(清掃活動・防災訓練・お祭りなど)に参加したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 積極的に参加している | 3. 参加していない |
| 2. とときどき参加している | |

問5 市全般に関することについておききします。

- (1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っている | 14. 防災対策が進んでいる |
| 2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている | 15. 騒音などの公害が少ない |
| 3. 道路が整備されている | 16. 歴史や伝統がある |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い | 17. 商業や事業を行うのに有利 |
| 5. 買い物が便利 | 18. 情報・通信が整備されている |
| 6. 働く場所がある | 19. 市の情報公開や情報提供が積極的 |
| 7. 子育てやこどもの教育の環境が整っている | 20. ごみが落ちていない |
| 8. 保健・福祉施設が整っている | 21. 観光資源が豊富 |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 22. 食べ物がおいしい |
| 10. 医療施設、救急医療が整っている | 23. 交通マナーが良い |
| 11. 人と人とのつながりがある | 24. 空気がきれい |
| 12. 市政に参加する機会が多い | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている |
| 13. 治安が良い | 26. その他() |

(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っていない | 14. 防災対策が遅れている |
| 2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない | 15. 騒音などの公害が多い |
| 3. 道路が整備されていない | 16. 歴史や伝統がない |
| 4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い | 17. 商業や事業を行うのに不利 |
| 5. 買い物が不便 | 18. 情報・通信が整備されていない |
| 6. 働く場所がない | 19. 市の情報公開や情報提供が消極的 |
| 7. 子育てやこどもの教育の環境が整っていない | 20. ごみが落ちている |
| 8. 保健・福祉施設が整っていない | 21. 観光資源が少ない |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 22. 食べ物がおいしくない |
| 10. 医療施設、救急医療が整っていない | 23. 交通マナーが悪い |
| 11. 人と人とのつながりが薄い | 24. 空気が汚れている |
| 12. 市政に参加する機会が少ない | 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない |
| 13. 治安が悪い | 26. その他() |

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかという住みやすい | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかという住みにくい | |

(4) あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 観光地である | 4. 観光地ではない |
| 2. どちらかといえば観光地である | 5. どちらでもない |
| 3. どちらかといえば観光地ではない | |

問6 (1)～(39)の項目について、松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
(1)地震や台風などの災害に強いまちづくり(防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)浸水被害の軽減に向けた河川改修や雨水排水施設の整備(浸水対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)交通事故のないまちづくり(交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり(防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)中心市街地の賑わいをつくるまちづくり(市街地・拠点等の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)安全で快適に利用できる道路づくり(道路の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)地域における多様な移動手段の確保(公共交通の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供(上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)生活排水の適切な処理による水質保全(下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)安全で快適に生活できる住環境づくり(住環境の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備(公園・緑地の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12)森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組(自然環境の保全)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組(廃棄物(ごみ)対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)さまざまな災害にすばやく対応できる地域の消防力(消防力の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり(健康づくりの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16)どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組(保健・医療の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)さまざまな福祉課題を地域で支え合うまちづくり(地域福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)お年寄りの方が地域で安心して暮らせるまちづくり(高齢者福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19)障がいを持つ方が地域で安心して暮らせるまちづくり(障がい福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)子どもたちがのびのび育つ環境づくり(児童・家庭福祉の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
(21)子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり(学校教育の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)子どもや若者がすこやかに成長できるまちづくり(青少年の健全育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり(生涯学習の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)地域の歴史や芸術文化を生かしたまちづくり(文化活動の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)気軽にスポーツを行うことができる環境づくり(スポーツの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)地域の特色を生かした農業・水産業の取組(農業・水産業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27)森林保全や森林資源の活用促進などの取組(林業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)魅力的な中小企業の支援など地域の産業を育てる取組(商工業の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29)企業誘致を促進し雇用の確保に努める取組(企業誘致の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30)地域資源を生かした観光政策(観光の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり(雇用・勤労者対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり(人権の尊重)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり(男女共同参画の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり(多文化共生の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現(バリアフリー社会の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36)市民と行政との協働を推進するまちづくり(市民参加の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37)中山間地域の地域資源を活用したまちづくり(中山間地域の振興)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組(情報・通信の環境整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制(情報公開・情報提供)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 3. ふつう | 5. 不満 |
| 2. やや満足 | 4. やや不満 | |

ここからは、
「松阪市の個々の課題について」
おきします。



選挙啓発について

問8 昨年9月3日に松阪市長選挙が実施されましたが、その選挙で選挙権はありましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. あった | 3. わからない |
| 2. なかった(18歳未満や転入された方など) | |

問9 松阪市長選挙が実施されたことを知っていましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問10 問9で「1. 知っていた」と答えた方におきします。

松阪市長選挙が実施されることを何で知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 投票所入場券が届いた | 5. 広報紙 |
| 2. ポスター掲示場(候補者ポスター掲示用) | 6. 祭り会場等にて配られた啓発物品 |
| 3. 新聞折り込みのチラシ | 7. その他() |
| 4. 啓発ポスター(中日ドラゴンズの岡林選手) | |

問11 選挙の実施を知るための情報ツールとして、どのようなものを望めますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. Instagram への広告 | 4. テレビ CM |
| 2. YouTube への広告 | 5. その他() |
| 3. Facebook への広告 | |

シビックプライドについて

シビックプライドとは、「市民の・都市の」という意味の「Civic」と、「誇り」を意味する「Pride」から成り立つ言葉で、「都市に対する市民の誇り」を表します。

問12 松阪市では、文化や歴史などの郷土教育を通じて、こどもたちの松阪市に対する愛着・誇りを育む教育を進めていますが、あなたは松阪市というまちに対して愛着・誇り(シビックプライド)を持っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 大変持っている | 3. あまり持っていない |
| 2. まあまあ持っている | 4. ほぼ持っていない |

問 13 問 12 で「1. 大変持っている」「2. まあまあ持っている」と答えた方におききます。

松阪市のどのようなところに愛着・誇り(シビックプライド)を持っていますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 歴史的な名所 | 8. 良い治安 |
| 2. 豊かな自然 | 9. 高い教育レベル |
| 3. おいしい食事 | 10. 充実した働く場所 |
| 4. 充実した公共施設 | 11. 充実した医療施設 |
| 5. 祭りなど伝統文化 | 12. 充実した商業施設 |
| 6. 便利な公共交通 | 13. その他() |
| 7. きれいな景色 | |

総合計画の横断的取組について

問 14 少子高齢化や若者の流出など、さまざまな課題解決をめざし、「若者定住」「高齢者福祉」「公民連携」について、重点的に取り組んでいこうと考えています。

この考えに賛同しますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|----------|----------|
| 1. 賛同する | 2. 賛同しない | 3. わからない |
|---------|----------|----------|

問 15 問 14 で「1. 賛同する」と答えた方におききます。「若者定住」「高齢者福祉」「公民連携」の中で、特に重点を置く必要があると思う取組はどれですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 若者定住 | 3. 公民連携 |
| 2. 高齢者福祉 | 4. わからない |

問 16 問 15 で「1. 若者定住」と答えた方におききます。

「若者定住」の取組を進めていくには、どのような対策が必要だと思いますか。

(○は5つまで)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. こども・子育て支援の推進 | 11. スポーツと運動したまちづくりの推進 |
| 2. 学校教育の充実 | 12. 交通安全対策の充実 |
| 3. 地域医療の推進 | 13. 防犯対策と消費者保護の充実 |
| 4. 地域福祉・生活支援の充実 | 14. 防災・危機管理対策の充実 |
| 5. 企業誘致・連携の推進 | 15. 自然と生活の環境保全 |
| 6. 観光・交流の振興 | 16. 資源循環型社会の推進 |
| 7. 雇用・勤労者福祉の充実 | 17. 都市空間・住環境の整備 |
| 8. 市民活動の推進 | 18. 道路等の整備 |
| 9. 中山間地域の振興 | 19. その他() |
| 10. 文化の振興 | 20. わからない |

問 17 若者定住の促進の1つとして、UIJ ターンなどで就職した方を対象に、経済的負担を軽減し、奨学金返済の一部補助を行っている自治体が増えています。一方で、高等教育機関に進学すること自体が個人の選択であるため、自分で責任を負うべきとの意見もあります。松阪市で、このような支援を行っていくべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 行うべきだと思う | 4. 行う必要はない |
| 2. どちらかといえば行うべきだと思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば行う必要はない | |

問 18 多くの自治体で出会いの場を提供する婚活支援事業が行われていますが、一方では行政が個人の生き方に介入すべきでないという意見もあります。あなたは、どのように考えますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 取り組むべきだと思う | 4. 取り組む必要はない |
| 2. どちらかといえば取り組むべきだと思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば取り組む必要はない | |

各種手続きのオンライン化について

この設問では、個人や事業者、団体等が行政に行う申請や届出などの手続きを「行政への手続き」と呼びます。

問 19 あなたは、これまでにご自身で「行政への手続き」をしたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問 20 問 19 で「1. ある」と答えた方におききます。

その「行政への手続き」が必要であることをどのように知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. インターネットやSNS等で知った | 5. 市役所の職員からの説明を受けて知った |
| 2. 新聞記事やテレビ放送で知った | 6. 家族や知人から聞いて知った |
| 3. 市の広報紙で知った | 7. 利用施設からの説明等で知った |
| 4. 市から届いた文書で知った | 8. その他() |

問 21 問 19 で「1. ある」と答えた方におききます。松阪市では「行政への手続き」をパソコンやスマートフォン等から行うことができる「オンライン化(オンライン申請)」を進めています。あなたは、これまでに松阪市役所の「行政への手続き」で、オンライン申請を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問 22 問 21 で「2. ない」と答えた方におききます。あなたが、オンラインで「行政への手続き」をするためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 手続きに対応する機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)を持つこと |
| 2. 手続きに対応する機器(パソコンやスマートフォン、タブレットなど)の操作方法を知っていること |
| 3. オンラインでどのような手続きができるかを知っていること |
| 4. オンラインでできる手続きが多くなること |
| 5. 手続きの操作方法が分かりやすく、使いやすいこと |
| 6. 手続きの方法や手順などの丁寧な説明があること |
| 7. 手続きに必要な個人情報が安全に守られていること |
| 8. 手続きが正しく送信され行われ、市役所で受領されたとわかること |
| 9. 職員による対面での支援があること |
| 10. 特になし |
| 11. その他() |

ゼロカーボンシティの実現に向けて

松阪市は、2023(令和 5)年 2 月 15 日、2050 年までに CO2 排出量を実質ゼロにする脱炭素社会の実現をめざした「松阪市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、その実現に向けて、国と同水準の目標を掲げた「松阪市ゼロカーボンビジョン」を策定しました。

問 23 「松阪市ゼロカーボンビジョン」では、脱炭素社会の実現のために、主に行政が取り組むべき事柄をまとめていますが、「ゼロカーボン」や「カーボンニュートラル」などと呼ばれる脱炭素社会の実現をめざした地球温暖化対策について知っていますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 知っている | 4. 知らない |
| 2. ある程度知っている | 5. どちらともいえない |
| 3. 聞いたことはあるが、あまり知らない | |

問 24 あなたは、地球温暖化の防止や脱炭素社会の実現に関心はありますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 非常に関心がある | 4. 全く関心がない |
| 2. 関心がある | 5. わからない |
| 3. あまり関心がない | |

問 25 松阪市は、市民一人ひとりが脱炭素社会の実現のための様々な取組を「自分のこと」として意識していただくことで、その意識や行動の変化が地域やまち全体に波及し、脱炭素社会の実現につながっていくと考えています。あなたがすでに取り組んでいるものはありますか。(○はいくつでも)

1. ZEH(ゼロエネルギー住宅)の購入や自宅へ太陽光パネルや蓄電池を設置
2. 自宅の窓を断熱窓に取り換えるなどの省エネリフォーム
3. 省エネ家電への買い替え
4. 日常的な節電や節水
5. 通勤や通学はなるべく自転車や公共交通機関を使う
6. 宅配ボックスを使う
7. なるべく地元産の食品や製品を選ぶ
8. 食べ残さない、食材を使いきるなど食品ロスをなくす
9. ごみの分別の徹底
10. マイボトルやマイバッグを使う
11. リーマーケットを利用したり、モノや服を修理するなどして長く使うなどサステナブルな生活
12. 環境保全活動などへの参加
13. その他()
14. 今は取り組んでいないが、これから始めようと思っている
15. 今後も取り組むつもりはない

問 26 松阪市は、脱炭素社会の実現に向けて、公共施設への太陽光発電の導入や LED 照明への切替、公用車の EV(電気自動車)化などを積極的に進めています。また、ZEH や蓄電池などの導入、断熱窓への改修に対する補助金制度、市民の行政手続きの電子化などに取り組んでいます。今後、さらに脱炭素化施策を促進していくため、松阪市が取り組むべきものとして、あなたの考えに近いものに○をつけてください。(○は 3 つまで)

1. 宅配 BOX の設置義務化や宅配 BOX への補助など、宅配便の再配達の防止
2. 食品ロスの削減や食品残渣の有効活用
3. 歩行者中心のまちづくりや自転車が利用しやすい都市空間の整備
4. 公共交通の EV 化や EV 充電設備の充実
5. こどもや地域への脱炭素教育や啓発
6. 市民の脱炭素化への取組(省エネ住宅や EV 購入など)に対する補助制度の充実
7. 中小企業の脱炭素化への取組に対する補助制度の充実
8. 水素エネルギーや地中熱エネルギーなど新たな再生可能エネルギーの活用
9. AI 技術の活用や企業の脱炭素化技術の積極的な活用
10. その他()

選定療養費、救急車の適正利用、適切な医療機関受診について

選定療養費とは「初期の診療は地域の病院で、高度・専門医療は大きな病院で行う」という医療機関の機能分担制度のことです。紹介状を持参せず 200 床以上の病院を受診した場合に負担が義務付けられており、三基幹病院(松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、松阪市民病院)において運用しています。

問 27 急な病気やケガ等で「病院を受診した方が良いか、不安なので相談したい」時の問合せ先(松阪地区救急相談ダイヤル 24:TEL 0120-4199-17(24 時間))を知っていますか。(○は 1 つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問 28 救急車を呼ぶほどではない急な病気やケガ等の時、「今診てもらえる医療機関を案内する」問合せ先(三重県救急医療情報センター:TEL 059-229-1199(24 時間))を知っていますか。(○は 1 つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問 29 現在、松阪地区では、救急車の出動要請が重なり、最寄りの救急車が出払ってしまい、遠方の消防署から救急車が出動する事態が発生しています。この状態では、早期治療を必要とする方に、速やかに救急医療が届かない可能性があります。

このようなことから、三基幹病院、医師会、消防等の関係機関と2年間にわたり、協議・調査等を行い、一次二次救急医療の適切な機能分担等を実現するため、救急車利用の場合であっても基本的に入院に至らない軽症の方を選定療養費の対象※とすることとしました。この取組に対して、「救急車利用の場合に負担額が発生する可能性があること」を反対する声もありますが、この取組は、皆さまの命や松阪地区の救急医療体制を守るために実施するものです。もちろん、緊急時には、ためらわず、迷わず、救急車を呼んでいただきたいことには変わりありません。このようなことを踏まえ、この取組についてどう思いますか。(○は1つだけ)

※個別の病院・医師が患者の状況もふまえ判断されるもので、一律に行うものではありません。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 賛同する | 4. 賛同しない |
| 2. どちらかといえば賛同する | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば賛同しない | |

問 30 なぜ、松阪地区は救急車の出動件数が多いと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 総合病院には診療時間外にウォークイン(自ら受診すること)ができないから
(救急車で行かないと診てもらえないから) |
| 2. 救急車を呼ぶと「必ず診てもらえる」という安心感があるから |
| 3. 高齢化が進んでいるから |
| 4. 医療機関を受診する交通手段がないから |
| 5. 軽症者が要請しているから |
| 6. 「重症か、軽症か」の判断がつかないから(要請基準がわからない) |
| 7. 総合病院で診てもらえるから |
| 8. 救急車の方が早く診てもらえると思うから |
| 9. 地域の医院やクリニックは診療曜日・時間等の制限があるから |
| 10. 夜間や休日等で受診可能な医療機関がわからないから |
| 11. わからない |
| 12. その他() |

鈴の音バスとコミュニティ交通にかかる地域負担や税負担の増加を踏まえた今後のあり方について

問 31 松阪市のコミュニティ交通は、地域が支えるという考え方から、地域・乗る人・税金の3つで支える仕組みになっています。路線の周辺地域の皆さまが払う地域協賛金(負担金)について、コミュニティ交通を利用する・しないに関わらず、路線の周辺地域の皆さまが負担することに賛同しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 賛同する | 2. 賛同しない |
|---------|----------|

問 32 地域協賛金は現在、沿線地域より1戸につき800円程度ご負担いただいておりますが、1戸あたりで毎年どれくらいの負担が適切だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 負担なし | 4. 1戸あたり 1001円～1500円 |
| 2. 1戸あたり 1円～500円 | 5. 1戸あたり 1501円～2000円 |
| 3. 1戸あたり 501円～1000円 | 6. 1戸あたり 2001円以上 |

問 33 コミュニティ交通は、限られたバス・運転手数の中で最大限の運行ができるよう運営していますが、現在バスが通る地域は限られており、また便数も多いとは言えません。今後需要が増えていくコミュニティ交通に、市民として何を望みますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 今のままで維持してほしい |
| 2. 地域負担や税負担が増えてもいいので、便数を増やしたり、路線を増やしたりしてコミュニティバスを充実させてほしい |
| 3. 地域負担や税負担が増えてもいいので、バス停留所に行くまでに遠い地域には、その地域内で利用できるデマンド交通(予約あった際に運行)など、一般のバスとは別のサービスを導入してほしい |
| 4. 地域負担や税負担が増えてもいいので、電車や三重交通バスとの乗継停留所を整備し、乗継案内を充実させることで移動範囲を広げ、もっとバスを便利に使えるようにしてほしい |
| 5. その他() |

COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

問 34 あなたは COPD(慢性閉塞性肺疾患※)という病気を知っていますか。(○は1つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1. どんな病気か知っている |
| 2. 聞いたことがあるが、内容までは知らない |
| 3. 知らない |

※COPD(慢性閉塞性肺疾患)…たばこの煙などの有害物質を吸い続けることで肺や気管支に慢性的な炎症を起こして、息切れや咳がひどくなり呼吸困難を招く進行性の病気。以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。

ここからは、
**「松阪市男女共同参画プラン
 策定にかかる意識調査」**

になります。



松阪市では、男女共同参画社会の実現に向けて、様々な取組を行ってきました。この度、令和 8 年度から令和 12 年度までの「松阪市男女共同参画プラン」を策定するにあたり、市民の皆さまに家庭や地域など様々な場における意識や実態をお伺いしプラン策定等の基礎資料とさせていただきますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

男女共同参画の意識について

問 35 次のことばについておききします。

①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	知 つて い る	あ ら う な い	知 ら な い
①男女共同参画 男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、ともに責任を担うこと	1	2	3
②固定的性別役割分担 男女を問わず、個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、性別を理由として役割を固定的に分けること	1	2	3
③女性活躍推進法 女性が活躍できる場を充実させ、仕事と生活が両立できる体制づくりを事業主に求めた法律	1	2	3
④ワーク・ライフ・バランス 働く全ての人が「仕事」と「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと	1	2	3

問 36 あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

①～⑥の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	男 性 の ほ う が 優 遇 さ れ て い る	ど ち ら か の ほ う が 優 遇 さ れ て い る	平 等 で あ る	ど ち ら か の ほ う が 優 遇 さ れ て い る	女 性 の ほ う が 優 遇 さ れ て い る	な ど い ち ら と も い え
①家庭生活では	1	2	3	4	5	6
②職場では	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
④地域社会では (住民自治協議会(まちづくり協議会)などの地域活動の場)	1	2	3	4	5	6
⑤社会通念、慣習、しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度では	1	2	3	4	5	6

問 37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。(○は1つだけ)

1. 法律や制度の上で見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
2. 女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 女性が経済力をつけたり、技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図ること
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
5. 官公庁や企業などの管理職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. その他(具体的に:)
7. わからない

問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。(○は1つだけ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問 39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。

①～③の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	男性 主として	分担 共同して	女性 主として	い 該 当 し な	そ の 他
①家事 (炊事、洗濯、掃除など)	1	2	3	4	具体的に:
②育児 (こどもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4	具体的に:
③介護 (介護が必要な親等の世話など)	1	2	3	4	具体的に:

問 40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか。(○は2つまで)

1. 進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う
2. クラブ活動等の役割分担について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視する
3. 児童生徒に対し、人権や男女平等に関する授業を行う
4. 教員に対し、人権や男女平等に関する研修を行う
5. 保護者や地域の方を対象とした人権や男女平等に関する講座を行い、男女平等の意識を育成しやすい生活環境をつくる
6. 女性の校長や教頭を増やすことによって児童生徒の男女平等意識を醸成する
7. 今のままでよい
8. その他(具体的に:)
9. わからない

就労やワーク・ライフ・バランスについて

問 41 あなたの思うような仕事と生活のワーク・ライフ・バランスは実現できていますか。
(○は 1 つだけ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 実現できている | 4. もっと個人の生活を優先したい |
| 2. もっと仕事を優先したい | 5. その他(具体的に:) |
| 3. もっと家庭生活を優先したい | |

問 42 女性が職業を持つことについて、どう思いますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 結婚するまでは職業を持つ方がよい | 5. 女性は職業を持たない方がよい |
| 2. こどもができるまでは職業を持つ方がよい | 6. その他(具体的に:) |
| 3. こどもができたら仕事を辞め、大きくなったら再び職業を持つ方がよい | 7. わからない |
| 4. こどもができてずっと職業を持ち続ける方がよい | |

問 43 女性が働き続けるために必要だと思うことは何ですか。(○は 3 つまで)

1. 職場における女性への差別的待遇をなくすこと
2. 女性への職業訓練、資格取得などのリスキリング※する機会の充実
3. 保育園や介護施設及びサポート体制の充実
4. 仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及
5. 男性の育児休業・介護休業の取得推進
6. 在宅勤務やフレックス・タイム制度、短時間勤務制度など柔軟な勤務形態の導入
7. 結婚、出産、子育て、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実
8. 女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力
9. 女性自身の自覚と意欲の向上
10. 家事の分担などの固定的な性別役割分担意識の改革
11. その他(具体的に:)
12. わからない

※リスキリング…働き方の変化によって、今後新たに発生する業務で役立つスキルや知識を習得すること

問 44 男女がともにワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか。
(○は 3 つまで)

1. 市民に対する意識啓発
2. 企業経営者に対する意識啓発
3. 先進的な取組をしている企業事例の情報提供
4. 先進的な取組をしている企業表彰
5. ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への助成
6. 育児・介護休業の取得を促すための法制度の強化
7. 労働時間を縮減するための法制度の強化
8. 在宅勤務ができるような環境の整備
9. 保育サービスなどの子育て支援の充実
10. 介護サービスなどの充実
11. その他(具体的に:)
12. わからない

DV(ドメスティック・バイオレンス)※について

※DV(ドメスティック・バイオレンス)…配偶者や恋人など親しい関係にある、又はあった者から振るわれる暴力

問 45 あなたはこれまでに配偶者や恋人など親しい関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。

①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	ある	ない
①身体的な暴力 なぐる、ける、物を投げつける、つきとばす、刃物でおどす等	1	2
②精神的な暴力・社会的な暴力 人格を否定するような暴言、長時間の無視、どなる、見下した発言、身の危険を感じるような脅迫、交友関係の監視や制限等	1	2
③性的な暴力 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない、中絶の強要等	1	2
④経済的な暴力 生活費を入れない、外で働くことを妨害する、正当な理由なく仕事を辞めさせる、家計の管理に関与させない、借金をさせてお金を取り上げる等	1	2

問 46 問 45 で 1 つでも「1. ある」に○と答えた方におききます。

その後どこか(だれか)に相談しましたか。(○はい/くつでも)

1. 友人・知人に相談した
 2. 家族や親せきに相談した
 3. 職場の同僚や上司に相談した
 4. 警察、弁護士、家庭裁判所に相談した
 5. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
 6. 公的な相談機関に相談した
 7. 民間の相談機関に相談した
 8. 医療関係者(医師、看護師等)に相談した
 9. 学校関係者(教員、スクールカウンセラー等)に相談した
 10. その他に相談した(具体的に: _____)
 11. 相談しなかった(できなかった)

問 47 問 46 で「11. 相談しなかった(できなかった)」に○と答えた方におききます。

相談しなかった理由はどんなことですか。(○はい/くつでも)

1. どこ(だれ)に相談したらよいのかわからなかったから
 2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
 3. 相談しても無駄だと思ったから
 4. 相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
 5. 相談した相手に嫌なことを言われたり、不快な思いをさせられるかもしれないと思ったから
 6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
 7. 自分たち以外の人を巻き込みたくなかったから
 8. 友人・知人などに知られると、これまでどおりの付き合いができなくなると思ったから
 9. そのことについて考えたくない、思い出したくなかったから
 10. 自分にも悪いところがあると思ったから
 11. 相手の行為は愛情表現だと思ったから
 12. 相談するほどのことではないと思ったから
 13. その他(具体的に: _____)

セクシュアル・ハラスメント※について

※セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)…他の者を不快にさせる性的な言動

問 48 あなたはこれまでにセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。
(○は1つだけ)

- 1. 何度も受けたことがある
- 2. 1、2度受けたことがある
- 3. 受けたことがない

問 49 問 48 で「1. 何度も受けたことがある」「2. 1、2度受けたことがある」に○と答えた方におき
きします。その後どこか(だれか)に相談しましたか。(○はいくつでも)

- 1. 友人・知人に相談した
- 2. 家族や親せきに相談した
- 3. 職場の同僚や上司に相談した
- 4. 警察、弁護士、家庭裁判所に相談した
- 5. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 6. 公的な相談機関に相談した
- 7. 民間の相談機関に相談した
- 8. 医療関係者(医師、看護師等)に相談した
- 9. 学校関係者(教員、スクールカウンセラー等)に相談した
- 10. その他に相談した(具体的に:)
- 11. 相談しなかった(できなかった)

問 50 問 49 で「11. 相談しなかった(できなかった)」に○と答えた方におききします。
相談しなかった理由はどんなことですか。(○はいくつでも)

- 1. どこ(だれ)に相談したらよいのかわからなかったから
- 2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3. 相談しても無駄だと思ったから
- 4. 相談したことがわかって、仕返しされたり、もっと不当な扱いを受けると思ったから
- 5. 相談した相手に嫌なことを言われたり、不快な思いをさせられるかもしれないと思ったから
- 6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 7. 自分以外の人を巻き込みたくなかったから
- 8. 友人・知人などに知られると、これまでどおりの付き合いができなくなると思ったから
- 9. そのことについて考えたくない、思い出したくなかったから
- 10. 相談するほどのことではないと思ったから
- 11. その他(具体的に:)

政策・方針の場への男女共同参画について

問 51 「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない」と言われていますが、その原因は何だと思いますか。(〇は 2 つまで)

1. 家庭、職場、地域では性別による役割分担や性差別の意識が強い
2. 男性優位の組織運営
3. 家庭の支援、協力が得られない
4. 女性の能力向上を図るための機会が不十分である
5. 女性に対する参画への支援が少ない
6. 女性の積極性が不十分である
7. その他(具体的に:)
8. わからない

問 52 住民自治協議会(まちづくり協議会)など地域の団体の代表において女性が少ない原因は何だと思いますか。(〇は 3 つまで)

1. 社会通念・しきたり・慣習から
2. 家族の理解が得られない
3. 家事・育児に忙しく、地域活動に専念できない
4. 女性が代表だと組織が運営できるか不安である
5. 女性を受け入れる環境づくりができていない
6. 地域において前例が無い
7. 組織活動の経験が少ない
8. その他(具体的に:)
9. わからない

問 53 地域活動における方針決定の場に女性が増えていくために効果的だと思うことは何ですか。(〇は 2 つまで)

1. 女性のリーダー研修
2. 男性の意識啓発のための研修
3. 女性の意識啓発のための研修
4. 地域で開催する男女共同参画についての研修
5. 役職に占める女性の割合の目標値の設定
6. 男女共同参画を推進した団体、個人の表彰
7. 地域で活躍している女性についての広報
8. その他(具体的に:)
9. わからない

性の多様性について

問 54 次のことばについておききします。

①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	知っている	聞いたことがある	知らない
①LGBTQ+ レズビアン(女性の同性愛者)、ゲイ(男性の同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(出生届・戸籍上の性別とは違う性別で生きる人、生きたい人)、クエスチョニング(「性のあり方」を決めたくない人、迷っている人、わからない人)、キア(性的少数者の総称)、「+」は分類できない社会が含まれる	1	2	3
②ジェンダーギャップ指数 経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出される、男女格差を示す指標	1	2	3
③性的指向、性自認 どのような性の人を好きになるのか、自分の性をどう認識しているかということ	1	2	3
④パートナーシップ宣誓制度 各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書等を発行する制度	1	2	3

問 55 あなたはこれまでに自分の恋愛対象の性について悩んだり、自分の性に違和感を覚えたりしたことはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 56 あなたは性の多様性を認め合う社会を作るためにどのようなことが必要だと思いますか。
(○は2つまで)

1. 教育現場での啓発活動や配慮(性の多様性の講演会や授業、トイレの配慮等)
2. 社会制度の見直し(パートナーシップ宣誓制度の制定、性別移行の手続き等)
3. 専門の相談窓口の設置
4. 市の広報紙やホームページ、講演会等の啓発活動
5. 性の多様性についての交流を行うコミュニティスペース
6. その他(具体的に:
7. わからない

問 57 三重県では令和 3 年 9 月 1 日から「三重県パートナーシップ宣誓制度」が始まりました。松阪市でも「パートナーシップ宣誓制度」の制定が必要だと思いますか。(○は 1 つだけ)

1. ただちに制定していく必要がある 3. 制定する必要はない
2. 今後制定していく必要がある 4. わからない

行政の取組について

問 58 男女共同参画社会を実現するために、今後、松阪市ではどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。(〇は 3 つまで)

1. 広報紙やパンフレットなどで男女共同参画や男女の相互理解・協力についての PR
2. 男女共同参画を推進するために、施策や制度の見直しを行う
3. 女性の政策・方針決定の場への積極的な参画や登用を進める
4. 学校教育や生涯教育の場における男女共同参画についての学習を充実する
5. ワーク・ライフ・バランスを推進する
6. 男女の生き方に関する情報提供や相談、教育、交流の機会などを充実する
7. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う
8. 男女がともに能力を発揮できる機会や就労支援などを充実する
9. 能力発揮を支援するため相談体制を充実する
10. 保育や介護に関する施設やサービスを充実する
11. あらゆる DV(ドメスティック・バイオレンス)をなくすための教育、啓発を進める
12. あらゆるハラスメント※をなくすための教育、啓発を進める
13. LGBTQ+について、正しい理解を深めるための教育、啓発を進める
14. 男女がそれぞれに応じた健康づくりに取り組める環境を充実する
15. 女性の視点を取り入れた被災者の支援など、男女共同参画の視点からの災害対策を推進する
16. その他(具体的に:)
17. 特にない
18. わからない

※ハラスメント…人に対する「嫌がらせ」や「いじめ」などの迷惑行為

最後に

市政に対するご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。



郵送でご回答いただく方は、
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
10月4日(金)までに、郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

松阪市 市民意識調査
結果報告書

令和7年1月

松阪市企画振興部経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町 1340 番地 1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-22-1377

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp